V601SH 基本操作編

V601SH 基本操作編

This Manual includes an English Abridgement

V601SH
基本操作編

vodafone

V601SH 取扱説明書 基本操作編

2003年11月　第１版

ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V601SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJ2184AFZZ
03L 173.0 YM AI516①

はじめに

このたびは、「V601SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V601SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V601SHのボーダフォンライブ！に関する説明は付　のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.17-22）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V601SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V601SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.17-22）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

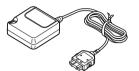
付属品について

■電池パック（SHBP01）※

（1タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■卓上ホルダー（SHES01）※

■急速充電器（SHCQ01）※

■ビデオ出力ケーブル（SHPS01）※

※オプション品としても取り扱いしております。

- 付属品につきましては、お問い合わせ先（☞P.17-22）までご連絡ください。
- V601SHは、SDメモリカードを利用することができますが、本製品にはSDメモリカードは同梱されていません。市販のSDメモリカードをお買い求めいただくことにより、SDメモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。

本文中のマークの表記

⓪ : Vodafone live!編を示しています。

補足操作の表記

項目などの選択を示します。　押すボタンを示します。

操作の目的を示します。

操作の中止や操作後の復帰方法、分岐する操作など、一連の操作から派生する応用操作を示します。

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。

その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険　誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。

 警告　誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 注意　誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

■絵表示の意味

 記号は してはいけないこと（禁止）を表しています。

 記号は しなければならないこと（強制）を表しています。

 記号は 気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V601SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V601SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.ii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金　などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.ii）。
- 電池パックを V601SH に装着するときに、うまく装着できない場合は、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属の電池パックは、V601SH専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V601SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

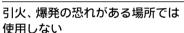
V601SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V601SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。
また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV601SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V601SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- V601SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V601SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V601SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V601SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

衝撃を与えない

V601SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、V601SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V601SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

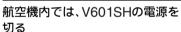
V601SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V601SHを絶対にお使いにならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオヘッドホンを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ストラップを持ってV601SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V601SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定に注意してください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 急速充電器
  AC100V
- シガーライター充電器
  DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

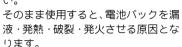
感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

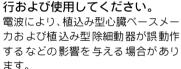
- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V601SHから取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会［平成9年4月］)に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人　電波産業会」)の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V601SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、V601SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV601SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V601SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがう。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

V601SH、電池パック、充電器の取り扱いについて(共通)

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所(特に密閉した自動車内)や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。

置き場所について(続き)

- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

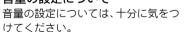
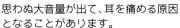
使用場所について

- ほこりの多い所では使わないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV601SHや充電器に近づけないでください。カードに記　されているデータが消えることがあります。

V601SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V601SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

自動車内でご使用のとき

V601SHを自動車内で使用した場合、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

V601SHの取り扱いについて

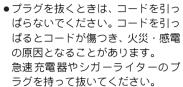
皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（メインディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（サブディスプレイ側）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
背面飾り（カメラ側）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アルミ蒸着，アクリル系塗装）
背面飾り（サブディスプレイ側）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓	アクリル樹脂
サブディスプレイ窓	アクリル樹脂／表面ＵＶコート処理インモールド箔
カメラ飾り	メッキ部：クロムメッキ（下地：ABS樹脂）樹脂部：PC樹脂
カメラ透明窓	アクリル樹脂
ネジカバー（ディスプレイ上側）	ウレタン樹脂
ネジカバー（ディスプレイ下側）	PET
サイドツマミ	PC樹脂
キャビネット（操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
Ｆボタン、マルチガイドボタン	ABS樹脂／PC樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
ボーダフォンライブ！ボタン、ダイレクトボタン	ABS樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
電源ボタン、開始ボタン	ABS樹脂／PC樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン	PC樹脂
メモリカードスロットカバー	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
ネジカバー（電池カバー下）	シリコン樹脂
電池パック	PC樹脂／PPフィルム
充電端子	ナイロン６Ｔ／BRASS、Auメッキ（下地：ニッケル、銅）
ネジ（メインディスプレイ側）、ネジ（操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC コンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

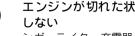
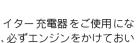
安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V601SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

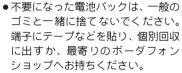
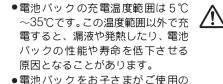
ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。
- 電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないように注意してください。

- 電池パックの充電温度範囲は5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックを初めてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV601SH／SDメモリカードに登 したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V601SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V601SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V601SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与える場合がありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V601SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいた上で、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながらV601SHをご使用になると危険ですので、おやめください。
- V601SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V601SHを車内で使用した場合、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V601SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客さまが登　・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- V601SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- V601SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、　ンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用される場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V601SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V601SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V601SH を閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。周囲の人の迷惑にならないように注意してください。
- **V601SH は防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV601SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **V601SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - ■V601SH をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - ■荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- V601SHのVIDEO OUT／イヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V601SHを傷めることがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データ　ースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記　したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

次の機能をご活用ください。
- **マナーモード**
  着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
  また、マナートークモード、簡易留守　を同時に設定できます。
  電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）
- **オフラインモード**
  電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブの利用などもできなくなります。
- **バイブ設定**
  電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。
- **音量調節**
  「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。
- **マナートークモード**
  通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。
- **メール着信音／ウェブ着信音／ステーション着信音設定**
  メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。
- **簡易留守録**
  電話に出られないときに相手の用件をV601SHに　音できます。

※　その他にも、オプションサービスの転送電話サービスや留守番電話サービスをご利用いただけます。

目次

はじめに i
付　品について ii
安全上のご注意 iii
お願いとご注意 xiii
マナーについて xv

1 ご利用になる前に

機能一覧 1- 2
各部の名称と機能 1- 4
■本体：正面 1-4
■本体：側面／背面 1-6
■ディスプレイ 1-8
■サブディスプレイ 1-10
■電池レ　ル表示 1-12
電池パックと充電器のお取り扱い 1- 13
■ご利用になる前に 1-13
■電池パックを取り付ける／取り外す 1-16
■急速充電器を利用して充電する 1-18
■卓上ホルダーを利用して充電する 1-19
■シガーライター充電器を利用して充電する 1-20
機能の呼び出し方 1- 21
■インデックスメニュー 1-21
■操作ガイダンス 1-23
■クイックオペレーション 1-24
暗証番号 1- 25
■操作用暗証番号 1-25
■交換機用暗証番号 1-25

2 基本的な操作のご案内

電源を入れる／切る 2- 2
■電源を入れる 2-2
■電源を切る 2-3
日付・時刻の設定 2- 4
電話をかける 2- 6
■以前かけた電話番号にもう一度かける 2-8
電話を受ける 2- 10
■かけてきた相手にかけ直す 2-12
インフォメーションメニュー 2- 14
■インフォメーションメニューのみかた 2-15
■インフォメーションメニューを確認する 2-16
■各種設定 2-18
迷惑電話対策 2- 20
電話に出られないとき 2- 21
■着信を保留する 2-21
■メッセージを　音する 2-22
マナーモード設定 2- 23
■マナーモードを設定／解除する 2-23
■マナーモードの設定内容を変更する 2-24
受話音量の調節 2- 26
通話中に相手の声を録音する 2- 27
通話中にメモを登録する 2- 28
■ノートパッドメモリに登　する 2-28
■登　したノートパッドメモリを確認する 2-29
通話時間表示 2- 30
通話料金表示 2- 31
通話明細自動表示設定 2- 32
自分の電話番号とプロフィールの確認 2- 33
簡単な操作で機能を呼び出す 2- 34
■ユーザーショートカットに登　する 2-34
■ユーザーショートカットを利用する 2-35
操作中に他の機能を呼び出す 2- 37
■操作中にメールを利用する 2-37
■操作中に他の機能を呼び出す 2-38

3 文字の入力方法

入力できる文字と入力モード 3- 2
■入力できる文字 3-2
■入力モード 3-2
文字入力方法 3- 4
■ダイヤルボタンの割り当て 3-4
■漢字・ひらがなを入力する 3-6
■小文字（a、っ、ッなど）を入力する 3-9
■だく点（゛）や半だく点（゜）を入力する 3-9
■スペースを入力する 3-9
■記号・絵文字を入力する 3-10
■顔文字を入力する 3-11
■メールアドレス、URL の一部を簡単に入力する 3-12
■区点コードを利用する 3-12
■ポケ　ル方式で文字を入力する 3-13
文字サイズ（フォント）変更 3- 16
文字の編集 3- 17
■文字を修正する 3-17
■文字のコピー／切り取りを行う 3-17
■文字を消去する 3-18
■カーソル前後の文字をまとめて消去する 3-19

3 文字の入力方法

便利な文字入力機能 3- 20
■変換方法を設定する 3-20
■カナ英数字変換を利用する 3-21
■ワンタッチ変換を利用する 3-22
■変換履歴の消去 3-24
■メモリダイヤルを利用する 3-24
ユーザー辞書 3- 25
■ユーザー辞書に登　する 3-25
■ユーザー辞書を修正する 3-26
■ユーザー辞書を消去する 3-27
ダウンロードした辞書の設定 3- 27
テキストメモ 3- 28
■テキストメモ文章を登　する 3-28
■ノート形式で登　する 3-30
■テキストメモを修正する 3-31
■テキストメモを消去する 3-32

4 メモリダイヤル

メモリダイヤルの登録 4- 2
■メモリダイヤルに登　できる項目 4-2
■メモリダイヤルに登　する 4-3
■リダイヤルや着信履歴の番号を登　する 4-6
■メモリダイヤルの登　件数を確認する 4-7
■メモリカードに登　する 4-7
メモリダイヤル登録時のオプション設定 4- 8
■個別に着信音などを設定する（音声着信時）........ 4-8
■個別に着信音などを設定する（メール受信時）........ 4-10
■着信時に指定した画像を表示する 4-11
■個別にメールフォルダを設定する 4-12
メモリダイヤルを利用して電話をかける 4- 13
■ディスプレイ表示 4-13
■メモリダイヤル検索方法を選択する 4-14
■スピードダイヤルで電話をかける 4-17
メモリダイヤルの編集 4- 18
■メモリダイヤルを修正する 4-18
■メモリダイヤルを消去する 4-19
■電話番号やメールアドレスをコピーする 4-19
グループ設定 4- 20
■グループ名を変更する 4-20
■グループ着信音を設定する 4-20
秘密にしたい電話番号の登録 4- 23
■シークレットメモリを登　する 4-23
■シークレットモードを設定する 4-24
メモリダイヤルの登録内容をコピーする 4- 25
■メモリカードを利用してデータ転送を行う 4-25
■赤外線を利用してデータ転送を行う 4-26
プロフィールの登録 4- 28

5 カメラ機能

カメラをご利用になる前に 5- 2
■カメラ利用時のご注意 5-2
■ディスプレイ表示 5-3
■オートフォーカス 5-5
■ガイド機能 5-6
静止画の撮影 5- 6
■静止画撮影モード 5-6
■静止画を撮影する 5-8
■静止画撮影で利用できる機能 5-11
■フレームを付けて撮影する 5-12
■静止画を連続して撮影する 5-14
動画の撮影 5- 17
■動画撮影モード 5-17
■動画を撮影する 5-19
■動画撮影で利用できる機能 5-22
メモリ使用状況の確認 5- 23
便利なカメラ機能①～撮影方法 5- 24
■セルフタイマーを利用する 5-24
■サブディスプレイを利用して撮影する 5-26
■V601SH を閉じて撮影する 5-26
■モバイルライトを利用する 5-27
■オートフォーカスの状態やマニュアル撮影を設定する 5-28
■ズームを利用する 5-29
■画像の表示サイズを設定する 5-29
■撮影時のシャッター音を設定する 5-30
■静止画や動画の登　先を設定する 5-30
■自動保存を設定する 5-31
■カメラ設定を初期化する 5-31
便利なカメラ機能②～画像設定 5- 32
■画像の明るさを調整する 5-32
■静止画や動画の撮影サイズを設定する 5-32
■撮影環境を設定する 5-33
■静止画や動画の画質を設定する 5-33
■動画の　画方法（動き優先／画質優先）を設定する 5-34
■動画の音声　音を設定する 5-34
静止画のプリントを指定する（DPOF）........ 5- 35
■プリントする静止画と枚数を指定する 5-35
■すべての静止画に同じプリント枚数を指定する 5-36
■日付を付けてプリントする 5-36
■インデックスプリントを指定する 5-37
■プリントの指定状況を確認する 5-37
撮影した画像の確認 5- 38
■静止画の確認 5-38
■動画の確認 5-40

5 カメラ機能

撮影した動画の編集 5- 41
■動画を切り出す 5-42
■動画の１場面を静止画として保存する 5-43
■指定した２点間の動画を切り出す 5-43
■動画の一部を消去する 5-44
■テロップを編集する 5-45
静止画や動画のメール添付 5- 48
■写メールモードで撮影した静止画を添付する 5-48
■デジタルカメラモードで撮影した静止画を添付する 5-50
■ムービー写メールモードで撮影した動画を添付する 5-51

6 ディスプレイ設定

壁紙設定 6- 2
■壁紙を設定する 6-2
■壁紙設定時に待受画面のアイコンを消す 6-3
Disney キャラクター設定 6- 4
スクリーンアニメ設定 6- 4
背景アニメ設定 6- 6
ボーダフォンライブ！アニメ設定 6- 6
時計やカレンダー表示設定 6- 7
■時計の表示形式を設定する 6-7
■カレンダーの表示形式を設定する 6-7
サブディスプレイ設定 6- 8
■サブディスプレイの表示／照明を設定する 6-8
■液晶濃度を設定する 6-10
■表示内容を設定する 6-10
■壁紙を設定する 6-12
■着信中の表示を設定する 6-13
■メール本文の表示方法を設定する 6-14
■表示方向を設定する 6-15
ディスプレイやボタンの照明設定 6- 15
■ディスプレイ照明／ボタン照明を設定する 6-15
■シガーライター充電器に接続したときの照明を設定する 6-16
背景パターン設定 6- 17
マイキャラクタ設定 6- 17
電源を入れたときにメッセージを表示する 6- 19
ディスプレイの表示を英語にする 6- 19

7 音の設定

着信設定 7- 2
■着信音量を設定する 7-2
■着信パターンを設定する 7-3
■着信を振動でお知らせする 7-5
■モバイルライト／スモールライトを設定する 7-6
■着信呼出時間を設定する 7-7
各種効果音の設定 7- 8
■操作音のパターンを設定する 7-8
■操作音の音量を設定する 7-9
■操作音の鳴動時間を設定する 7-10
着信音出力切替 7- 10
スピーカーホン／スピーカー受話設定 7- 11
着信用ボイス録音 7- 11
オリジナル着信音の作成 7- 12
■オリジナル着信音作成の基礎知識 7-12
■オリジナル着信音を作成する 7-15
■メロディの入力方法 7-17
■メロディの音色を設定する 7-19
■メロディの強弱を設定する 7-24
■オリジナル着信音を修正する 7-24
■オリジナル着信音を消去する 7-27
オリジナル音色の作成 7- 28
■オリジナル音色作成の基礎知識 7-28
■オリジナル音色を作成する 7-32
音色の音程を設定する 7- 34

8 ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーをご利用になる前に 8- 2
■はじめてお使いになるとき（ミュージックキーのご購入とミュージックプレイヤーの起動） 8-2
■ミュージックプレイヤーのはたらき 8-3
音楽を録音する 8- 4
■オーディオ機器の接続方法 8-6
■　音する 8-8
■　音状態を設定する 8-10
音楽を再生する 8- 12
■再生する 8-14
■再生に関する設定を行う 8-16
■音楽ファイルを管理／編集する 8-18

9 ボイスレコーダー

音声を録音する 9- 2
音声を再生する 9- 6
録音した音声を着信音に登録 9- 9
■着信ボイスを作成する 9-10
■着信音に設定する 9-10

10 メモリカード

メモリカードをご利用になる前に 10- 2
■メモリカードの取り扱い 10-2
■メモリカードを取り付ける／取り外す 10-3

10 メモリカード

メモリカード概要 …… 10- 5
■メモリカードのメモリ管理方法について …… 10-5
メモリカードを利用する …… 10- 6
■保存されているデータを確認する …… 10-6
■メモリカードの使用状況を確認する …… 10-7
■メモリカード内のデジタルカメラフォルダ、ビデオカメラフォルダを表示する …… 10-8
■メモリカード内のモーションカメラフォルダを表示する 10-9
■メモリカード内のローカルコンテンツを表示する …… 10-9
■メモリカードの情報を更新する …… 10-10
■メモリカードをフォーマット（初期化）する …… 10-11
■自動的にHTMLファイルを実行する …… 10-12
メモリカード内のデータ転送 …… 10- 13
■指定したデータをコピー／移動する …… 10-13
■データをまとめて転送する …… 10-14

11 データ管理

データフォルダの概要 …… 11- 2
■データフォルダの構成 …… 11-2
■データフォルダのしくみ …… 11-3
保存されているファイルの確認 …… 11- 5
■データフォルダ内のファイルを確認する …… 11-5
■フォルダ内の画像を連続して表示する …… 11-10
■フォルダやファイルの情報を確認する …… 11-11
フォルダの作成／編集 …… 11- 12
■新しくフォルダを作成する …… 11-12
■フォルダ名やファイル名の変更 …… 11-13
■フォルダやファイルを消去する …… 11-14
■フォルダを保護する …… 11-14
■ファイルを移動する …… 11-15
■ファイルをコピーする …… 11-16
アニメーションの作成 …… 11- 17
■簡単アニメを作成する …… 11-17
■アニメーションの保存形式を変換する …… 11-20
■E-アニメータを作成する …… 11-20
■アニメーションを確認する …… 11-27
画像やアニメーションの編集 …… 11- 28
■画像サイズを変更する …… 11-28
■画像に文字を入力する …… 11-30
■画像にマーカーを入力する …… 11-31
■画像を装飾する …… 11-31
■顔写真を加工する …… 11-32
■画像にフレームを付ける …… 11-34
■画像にムービングフォトフレームを付ける …… 11-35
■画像を回転する …… 11-36
■画像の保存形式やファイルサイズを変更する …… 11-36
画像の合成 …… 11- 37
■分割画像を作成する …… 11-37
■２枚の画像をパノラマ合成する …… 11-39
■画像分割メールを結合する …… 11-40
画像やアニメーションの利用 …… 11- 41
■画像やアニメーションを壁紙に登 する …… 11-41
■画像やアニメーションをマイキャラクタに登 する …… 11-42
■連写画像を個別の画像として登 する …… 11-42
メロディファイル …… 11- 43
■メロディを編集する …… 11-43
■再生音量を設定する …… 11-44
■メロディの音色を設定する …… 11-44
■メロディの強弱を設定する …… 11-44
■着信パターンに設定する …… 11-45
■効果音に設定する …… 11-45
vファイル …… 11- 46
■vファイルのしくみ …… 11-46
■vファイルを作成（保存）する …… 11-47
■vファイルを転送する …… 11-48
■データフォルダのvファイルを取り込む …… 11-48
SVGファイル …… 11- 49
電子ブックを利用する …… 11- 50
■書籍データを読む …… 11-50
■書籍データ内の画像を利用する …… 11-53
■辞書データを利用する …… 11-53
辞書ファイルを利用する …… 11- 54
テレビなどで静止画や動画を見る …… 11- 55
■テレビなどの接続方法 …… 11-55
■静止画や動画を見る …… 11-55

12 セキュリティ機能

誤ってボタンが押されるのを防ぐ …… 12- 2
■誤動作防止を設定する …… 12-2
■誤動作防止を解除する …… 12-2
無断で利用されたくないとき …… 12- 2
■ダイヤル操作禁止を設定する …… 12-2
■ダイヤル操作禁止を解除する …… 12-3
電源を入れるたびにダイヤルの操作を禁止する …… 12- 3
■簡易ロックを設定する …… 12-3
■簡易ロックを解除する …… 12-4
メモリダイヤル使用の禁止 …… 12- 4
ダイヤルボタン発信の禁止 …… 12- 5
電話の着信を制限 …… 12- 5
■リストに電話番号を登 する …… 12-6
■指定した電話番号の着信を許可する …… 12-7
■指定した電話番号の着信を拒否する …… 12-7
■非通知の電話や公衆電話からの着信を拒否する …… 12-7

12 セキュリティ機能

暗証番号を変更する 12- 8
登録内容をお買い上げ時の状態に戻す 12- 9
■各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す 12-9
■メモリダイヤルなどの登　内容を消去する 12-9

13 赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に 13- 2
■送受信できるデータ 13-2
■赤外線通信モード 13-3
赤外線通信を利用する 13- 4
■データを１件ずつ送受信する 13-4
■データを全件送受信する 13-6
■フォルダ単位でデータを送受信する 13-8
認証パスワード設定 13- 9

14 その他の機能

通話時の便利な機能 14- 2
■電波が弱いことをお知らせする 14-2
■プッシュトーンを送る 14-2
発信時の便利な機能 14- 3
■番号を付加して電話をかける 14-3
サイドキー設定 14- 4
■着信時の動作を設定する 14-4
■待受時の動作を設定する 14-5
電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する . 14- 5
■簡易留守　に設定する 14-5
■簡易留守　を解除する 14-6
■　音された用件を聞く 14-6
■　音された用件を消去する 14-7
■応答時間を変更する 14-7
■シガーライター充電器に接続したとき 14-8
アラーム設定 14- 8
■アラームを設定する 14-8
■指定時刻に自動的に電源を入れる 14-11
■アラーム／自動電源 ON の各種設定 14-12
■アラームを解除する 14-14
■アラームを再設定する 14-15
■指定した時刻に電源を切る 14-15
スケジュール機能 14- 16
■スケジュールを登　する 14-16
■スケジュールの各種設定 14-18
■スケジュールを管理する 14-21
■スケジュールの表示方法を設定する 14-22
■スケジュールを確認する 14-22
■スケジュールを編集／消去する 14-23
■スケジュールをまとめて消去する 14-24
ストップウォッチ 14- 25
キッチンタイマー 14- 26

通話内容や自分の声を録音する 14- 27
スポットライト 14- 28
■スポットライトを点灯する 14-28
■スポットライトの点灯方法を設定する 14-29
バーコードを読み取る 14- 30
■モバイルカメラで撮影して読み取る 14-31
■データフォルダ内のバーコードを直接読み取る 14-36
■読取データを確認する 14-36
バーコードを作成する 14- 37
■バーコード専用モードを利用する 14-37
■各情報の画面からバーコードを作成する 14-40
文字を読み取る 14- 41
電波の送受信を停止する 14- 43
電池の消費を抑える 14- 44
■電池パックの消費を抑える 14-44
■ディスプレイの消費を抑える 14-44
簡易電卓 14- 46
マネー積算メモ 14- 47
■マネー積算メモを入力する 14-47
■入力したマネー積算メモを確認する 14-47
■明細名を変更する 14-48
機能の操作方法を確認する 14- 48
マイク付液晶オーディオリモコンを利用する 14- 49
■ワンタッチで電話をかける 14-49
■ワンタッチで電話を受ける 14-49
外部機器を利用してデータ通信をする 14- 50
■FAX 通信をする 14-50
■パソコン通信をする 14-50

15 オプションサービス

オプションサービスの概要 15- 2
転送電話サービス 15- 3
■転送先の電話番号を登　する 15-3
■転送電話サービスを開始する 15-3
■転送電話サービスを停止する 15-4
留守番電話サービス 15- 4
■留守番電話サービスを開始する 15-4
■留守番電話サービスを停止する 15-5
■伝言メッセージを聞く 15-5
転送電話／留守番電話の呼出し時間設定 15- 6
運転中モード 15- 7
■運転中モードを開始する 15-7
■運転中モードを停止する 15-7
割込通話サービス 15- 8
■割込通話サービスを設定する 15-8
■割込通話サービスの設定を確認する 15-8
■割込通話サービスを受ける 15-8

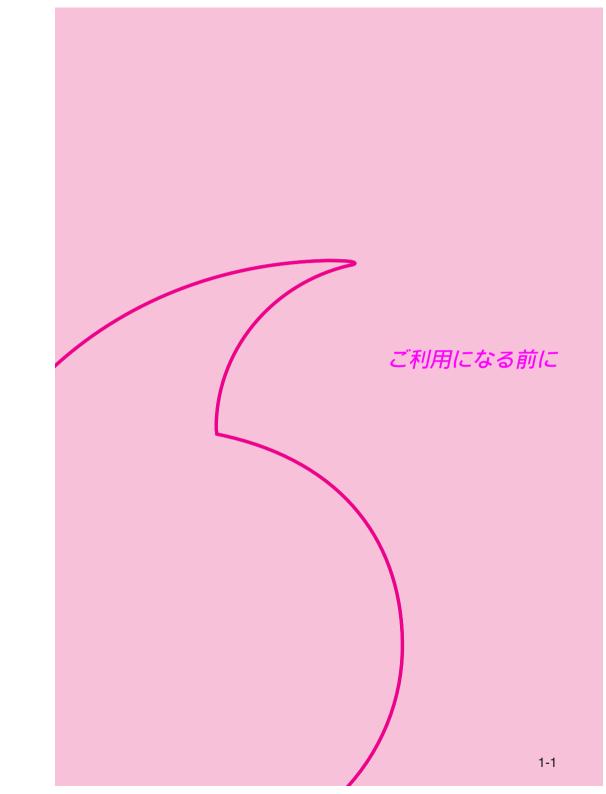
15 オプションサービス
三者通話サービス 15- 9
■通話中にもう１人へ電話をかける 15-9
■相手を切り替えながら通話する（切替通話） 15-9
■三人で同時に通話する（三者通話） 15-10

16 Abridged English Manual
Accessories 16-2
Safety Precautions 16-2
DANGER 16-3
■Handset, Battery & Charger 16-3
■Battery 16-3
WARNING 16-4
■Handset, Battery & Charger 16-4
■Handset 16-5
■Charger 16-5
■Battery 16-6
■Handset Use & Electronic Medical Equipment 16-6
CAUTION 16-7
■Handset, Battery & Charger 16-7
■Handset 16-7
■Charger 16-7
■Battery 16-8
General Notes 16-9
■General Use 16-9
■In Automobiles 16-9
■Aboard Aircraft 16-9
■Handset Care 16-10
Minding Mobile Manners 16-11
■Basic Handset Etiquette 16-11
■Manner-Related Features 16-11
Handset Parts & Functions 16-12
■Handset (Front) 16-12
■Handset (Side & Back) 16-13
■Charging Battery 16-15
■Display 16-17
■Symbols 16-21
■Handset Code 16-21
Basic Handset Operations 16-22
■Turning Handset On/Off 16-22
■ Display Language 16-22
■Your Phone Number 16-22
■Clock Setting 16-22
■Initiating a Call 16-22
■Redial 16-23
■Total Charges & Talk Time 16-23
■Incoming Call 16-23
■Placing a Caller on Hold 16-24
■Message Recorder & Voice Mail 16-24
■Forwarding a Call 16-25
■Calling from Received Calls 16-25
■Manner Mode 16-25
Entering Characters 16-26
■Character Types 16-26
■Key Assignments 16-27
■Symbols, Pictographs & Emoticons 16-28
Saving to Phone Book 16-29
■Phone Book Entry Items 16-29
■New Phone Book Entries 16-30
■Editing Phone Book 16-31
■Saving from Received Calls 16-31
Dialing from Phone Book 16-32
■Entry Number Search 16-32
■Search by Reading 16-32
Mobile Camera 16-33
■Before Using Camera 16-33
■Capturing Still Images 16-34
Data Folder 16-34
■Data Folder Contents 16-34
■Opening Data Folder 16-35
■Super Mail Attachments 16-35
F Function Shortcuts 16-36
Specifications 16-40
Customer Service 16-42

17 付録
F機能一覧 17- 2
設定リセットで初期化される内容 17- 6
トラブルシューティング 17- 7
スモールライト／電池残量表示 17- 9
■電源が入っているとき 17-9
■電源が切れているとき 17-10
保証書とアフターサービス 17- 10
区点コード一覧 17- 11
お問い合わせ先一覧 17- 22
索引 17- 23
主な仕様 17- 27

MEMO

ご利用になる前に

機能一覧

- ■ はおすすめ機能です。
- ■ の利用には市販のSDメモリカードが必要です。

サブディスプレイ
着信状態を確認できます。モバイルカメラのファインダーとしても利用できます。

P.1-10

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守に設定することができます。

P.2-23

多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、推測頭出し変換、ワンタッチ変換など、便利な文字変換機能が利用できます。

P.3-20、P.3-22、P.3-23

メモリダイヤル
最大500件（1件につき電話番号とE-メールアドレス各3件）まで登　できます。

P.4-2

モバイルカメラ
V601SH内蔵のカメラで静止画や動画を撮影することができます。モバイルライト撮影も可能です。

P.5-2

プリント指定（DPOF）
SDメモリカード内の静止画に対してプリント情報を設定し、ショップなどでプリントすることができます。

P.5-35

画面表示設定
壁紙やマイキャラクタ、文字表示などを設定することができます。

P.6-2

Disneyスタイル
いろいろな場面でDisneyキャラクターを表示することができます。

©Disney

P.6-4

外部出力
テレビやビデオで静止画や動画を見ることができます。

P.11-55

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。

P.6-19

ミュージックプレイヤー
V601SH で音楽を　音したり、再生することができます。

P.8-2

ボイスレコーダー
V601SHで音声を　音・再生したり、　音した音声を着信音にすることができます。

P.9-2

メモリカード
いろいろなデータをSDメモリカードに保存できます。

P.10-2

電子ブック
SDメモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、V601SHで閲覧することができます。

P.11-50

データフォルダ
いろいろなデータをまとめて管理することができます。

P.11-2

画像一覧表示
メール添付、壁紙設定など画像を選択するときに画像一覧を表示することができます。

P.11-6

パノラマ合成
2枚の画像を1枚の画像に合成することができます。

P.11-39

指定着信許可／拒否
指定した電話だけを受けたり、受けないようにできます。

P.12-5

赤外線通信
赤外線通信を利用してデータのやりとりができます。

P.13-2

スケジュール
予定を登　することができます。

P.14-16

スポットライト
暗い所を8種類の色で照らすことができます。

P.14-28

バーコード
バーコードを読み取ったり、メモリダイヤルなどの情報からバーコードを作成することができます。

P.14-30

メール
ボーダフォンの携帯電話や E-メール対応の携帯電話、パソコンなどとの間で文字メッセージをやりとりすることができます。

別冊

ウェブ
サービスセンターやインターネットから情報を入手できます。

別冊

ステーション
いろいろな配信情報をV601SHで確認できます。

別冊

スカイメロディ
スカイメロディセンターから受信したメロディを着信音にできます（スーパーハーモニー対応）。

別冊

Vアプリ
インターネットなどからVアプリを入手し、V601SHで利用することができます。

別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.15-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。

P.15-4

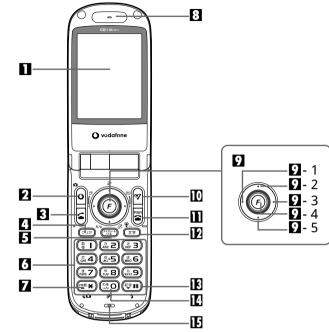
割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けることができます。

P.15-8

三者通話サービス
3人で同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます。

P.15-9

各部の名称と機能

本体：正面

1 ディスプレイ

2 ボーダフォンライブ！ボタン
ボーダフォンライブ！を利用するときに使用します。（短押し）
また、モバイルカメラ起動時にも使用します。（長押し）

3 開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 クリアボタン
入力した電話番号、文字などを削除するときや各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

5 スケジュール／メモ／A／aボタン
スケジュールを登　・表示するときや、通話内容や声のメモを　音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。

6 ダイヤルボタン
電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。また、いろいろな機能のショートカットにも使用します。（長押し）

7 ⋇ボタン
モバイルカメラで、ディスプレイとサブディスプレイを切り替えるときに使用します。画像やメール表示中は、前の表示へ逆戻りします。また、文字入力中は、絵文字リストの表示に使用します。

8 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

9 マルチガイドボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

9-1　リダイヤル／ノートパッドメモリボタン
以前かけた電話番号に再度かけるときに使用します。（短押し）
また、ノートパッドメモリ呼び出しにも使用します。（長押し）

9-2　メールボタン
メールを利用するときに使用します。（短押し）
また、受話音量調節にも使用します。（長押し）

9-3　メモリダイヤルボタン
メモリダイヤルに登　した電話番号を呼び出すときなどに使用します。（短押し）
また、メモリダイヤル登　にも使用します。（長押し）

9-4　F（エフ）／誤作動防止ボタン
各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。また、誤動作防止機能を設定するときに使用します。（長押し）

9-5　着信履歴ボタン
かかってきた電話の内容を表示するときに使用します。（短押し）
また、受話音量調節にも使用します。（長押し）

10 ダイレクトボタン
ユーザーショートカットリストを表示するときなどに使用します。

11 電源／終了ボタン
電源を入れるときや切るときに使用します。また、通話を終了するときや着信時の応答を保留するとき、メニューの設定中止などにも使用します。

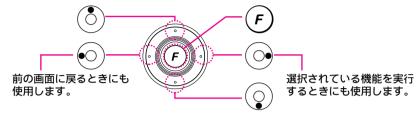
12 文字／マナー（）ボタン
文字の種類を変えたり、メモリダイヤルの登　をするときに使用します。また、マナーモードを設定／解除するときに使用します。（長押し）

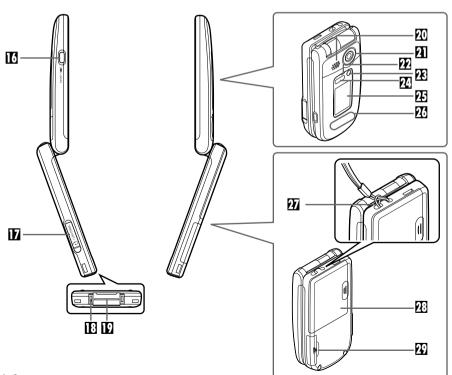
13 ♯ボタン
モバイルカメラで、モバイルライトをON／OFFにするときに使用します。画像やメール表示中は、次の表示へ順送りします。また、文字入力中は、記号リストの表示に使用します。

14 0ボタン
V601SHに登　されている「**バウリンガル コネクト**」（Vアプリ）を起動するときに使用します。（長押し）

15 マイク（送話口）
自分の声をここから伝えます。

マルチガイドボタンの表記

■ メニュー項目を選ぶときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときは、マルチガイドボタンを使用します。
なお、本書では、マルチガイドボタンでの操作を次のように表記しています。

■ 使用するボタンによって、次のように表記している場合もあります。
●◎または◎を押すとき .... ◎　●◎または◎を押すとき............◎
●◎◎◎◎を押すとき .... ◎

本体：側面／背面

16 サイドキー（シャッター／）
カメラモードにしたり、着信中に簡易留守　などを設定するときなどに使用します。また、サブディスプレイのバックライトを点灯させたり、詳細画面を表示させたりするときにも使用します。

17 VIDEO OUT／イヤホンマイク端子
付属のビデオ出力ケーブルやオプション品のスイッチ付イヤホンマイクなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

18 充電端子

19 外部機器端子
急速充電器やオプション品のシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

20 スピーカー
着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

21 モバイルカメラ
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

22 スモールライト
充電中、赤色に点灯します。パネルセーブ時は橙色に、オフラインモード時は、赤色→緑色→橙色…の順に点滅します。また、着信時に設定したパターンで点滅させることもできます。

23 モバイルライト
電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

24 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

25 サブディスプレイ
着信のお知らせなどが表示されます。メールの内容も確認できます。

26 内蔵アンテナ
この部分にアンテナが内蔵されています。

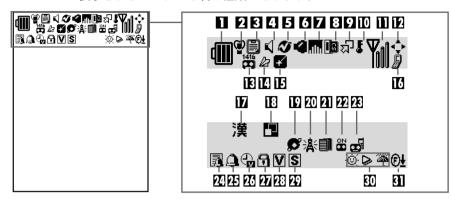
27 ストラップ取り付け穴
図のようにストラップを取り付ける穴です。

28 電池カバー

29 メモリカードスロット
SDメモリカードを挿入する場所です。

注意　内蔵アンテナについて
●V601SHは内蔵アンテナで受信するため、外部アンテナはありません。
●内蔵アンテナ部分には、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。
また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

ディスプレイに表示されるマークには次の種類があります。

1 （電池残量表示）／（スポットライト表示）
電池パックの残量（電池レ　ル）の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」を交互に表示します。

2 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

3 （インフォメーションあり表示）
不在着信、簡易留守、未読のメッセージ、スーパーメール、ウェブ情報、ステーション情報、通信レポート、送信が完了した送信予約メールがあることを表示します。

4 （スピーカーホン表示）／（スピーカー受話表示）／（ステーションメニュー手動更新表示）
スピーカーホンで通話しているときは「」が、スピーカー受話しているときは「」が表示されます。また、ステーションのメニューを手動で更新しているときには「」（グレー）が表示されます。

5 （Vアプリ起動中表示）／（Vアプリ一時停止中表示）
Vアプリを起動しているときには「」が、一時停止しているVアプリがあるときには「」が表示されます。

6 （回線接続表示）
メールサーバーと通信しているときやウェブでサービスセンターと通信しているときなどに表示されます。

7 （音楽再生／音楽録音中表示）／（音声再生／音声録音中表示）／（外部出力表示）
音楽や音声の再生／　音中は、「」や「」が表示されます。また、付属のビデオ出力ケーブルを使って他の機器と接続中は「」が表示されます。

8 （SDメモリカード状態表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。

9 （ユーザーショートカット表示）／（SSL表示）
ユーザーショートカットに登　できる画面では「」が表示されます。また、SSLに対応している情報画面では「」が表示されます。

10 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットメモリを呼び出したときは点滅表示します。

11 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）／（赤外線通信表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外
また、オフラインモードに設定したときは「」が、赤外線通信中は「」が表示されます。

12 （スクロール表示）

13 （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

14 （メール受信表示）
スカイメールなどのメールを受信すると表示され、未読のメールがあることをお知らせします。

15 （スーパーメール受信表示）
スーパーメールなどを受信したときに表示され、未読のメールがあることや、メールサーバーにメールをお預かりしていることをお知らせします。

16 （本体表示）／（SDメモリカード表示）
表示されている情報が、V601SHに保存されているときには「」が、SDメモリカードに保存されているときには「」が表示されます。

17 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を示します。

18 ／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを示します。

19 （ウェブ受信表示）
ウェブで、情報を受信すると表示され、未読の情報があることをお知らせします。

20 （ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると「」（赤色）で表示され、未読の情報があることをお知らせします。

21 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

22 （留守表示）
簡易留守　に設定したときに表示されます。

23 （録音表示）
簡易留守　の用件が　音されているときに表示されます。

24 ／（スケジュール表示）
スケジュールが登　されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

25 （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

26 （Vアプリタイマー起動設定表示）
Vアプリタイマー起動が設定されているときに表示されます。

27 （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止がかかっているときに表示されます。

28 （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているとき表示されます。

次のページに続きます。

ご利用になる前に

29 Ⓢ（サイレント表示）／Ⓢ（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「サイレント」のときは「Ⓢ」、「ステップ」のときは「Ⓢ」が表示されます。

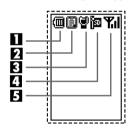
30 ☼▷☂など（お天気アイコン表示）
ステーションによって、現在いるエリアの天気が表示されます。

31 （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

補足
- バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ！の各着信のそれぞれに設定できますが、ディスプレイに表示されている「Ⓥ」、「Ⓢ」、「Ⓢ」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（☞P.6-2）しているときは、ディスプレイのマーク表示を消すこともできます。（☞P.6-3）

サブディスプレイ

サブディスプレイの１行目に表示されるマークには次の種類があります。

- サブディスプレイの待受表示内容設定（☞P.6-8）の「2マーク」を「OFF」に設定しているときは、待受画面でサイドキーを１秒以上押すと、同様に表示されます。

1 （電池残量表示）／（スポットライト表示）
電池パックの残量（電池レ　ル）の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」を交互に表示します。

2 （インフォメーションあり表示）
不在着信、簡易留守、未読のメッセージ、スーパーメール、ウェブ情報、ステーション情報、通信レポート、送信が完了した送信予約メールがあることを表示します。

3 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

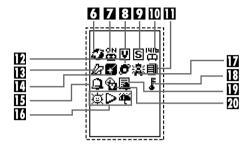
4 （SDメモリカード状態表示）／（音楽再生／録音中表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。また、音楽の再生／　音中には「」が表示されます。

5 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）
電波の強さを表示します。「」の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外
また、オフラインモードに設定したときは「」が表示されます。

ご利用になる前に

２行目以降に表示されるマーク

サイドキー設定（待受時）（☞P.14-4）を「マーク表示」に設定しているとき、待受画面でサイドキーを１秒以上押すと、P.1-10のマークに加えて、次のようなマークが２行目以降に表示されます。

- それぞれのマークの意味はディスプレイと同様です。（☞P.1-8～P.1-10）
- 詳細マークは、サイドキーから手を離してしばらくすると消えます。

6 （Vアプリ起動中表示）／（Vアプリ一時停止中表示）

7 （留守表示）／（録音表示）

8 Ⓥ（バイブレータ表示）

9 Ⓢ（サイレント表示）／Ⓢ（ステップ表示）

10 （メッセージお預かり表示）

11 （通信レポート受信表示）

12 （ウェブ受信表示）

13 （メール受信表示）

14 （スーパーメール受信表示）

15 （アラーム表示）

16 ☼▷☂など（お天気アイコン表示）

17 （ステーション受信表示）

18 （シークレットモード表示）

19 ／（スケジュール表示）

20 （Vアプリタイマー起動設定表示）

補足
- サブディスプレイは、V601SHを閉じたときだけ表示されます。ただし、カメラモードのときは、V601SHを開いたままサブディスプレイに表示されます。
- V601SH を閉じたとき、およびサイドキーを操作したときに、サブディスプレイのパネル照明が点灯します。（サブディスプレイの照明設定（☞P.6-8）が「OFF」に設定されているときは、点灯しません。）
- 本書では、サブディスプレイを上の図のように点線で囲んで表記しています。

電池レベル表示

●電池レベルは、ディスプレイで確認できます

電池パックのレベルを４段階で表示します

- レベル３：十分ある
- レベル２：残り少ない
- レベル１：ほとんどない
- レベル０：なし

15:05

15:05
2003/12/20Sat

●「□」になると確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。（☞P.1-15）

●電池レベルについて

電池レ　ル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
ディスプレイの電池レ　ル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）

●ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レ　ル１が早めに表示されます。
高温下では、レ　ル１が遅めに表示されます。

注意

- 上記の電池レ　ル表示は電池残量の目安です。
- 電池レ　ル表示がレ　ル１になると、音楽の　音や再生、ボイスレコーダーの　音、モーションカメラ（MPEG）モードでの撮影など利用できない機能があります。（☞P.5-18、P.8-4、P.8-12、P.9-2）

電池パックと充電器のお取り扱い

ご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：５℃〜35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

使用時のご注意

- 電池パックや V601SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

補足

- 電池パック単体で充電することはできません。
- V601SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「■」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- V601SHを開いた状態でも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

●完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約130分
連続待受時間	約400時間
連続操作時間	約230分
連続再生時間	約８時間

※上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「**明るさ４**」（お買い上げ時）に設定されているときの時間です。

●連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- ■連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V601SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- ■連続操作時間とは、通話をしないで連続してV601SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- ■連続再生時間とは、オフラインモードで連続して音楽（ミュージック）を再生し続けたときの利用可能時間です。
- ■電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

●使用環境
- ■極端な低温／高温の状態で使用･保存されているとき（５℃～35℃の温度範囲でお使いください。）
- ■V601SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
- ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受しているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）

●操作
- ■Vアプリを起動しているとき
- ■ステーションサービスを使用しているとき
- ■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
また、モバイルライト撮影を多く使用したとき
- ■スポットライトを多く使用したとき
- ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
- ■音楽（ミュージック）やボイスレコーダーを　音･再生させたとき
- ■赤外線通信を多く使用したとき
- ■V601SHを頻繁に開閉したとき

電池パックの持ちについて（続き）

●設定
- ■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき
- ■壁紙にアニメーションを設定したとき
- ■スクリーンアニメを設定したとき
- ■パネルセーブが働かないように設定したとき
- ■パネル照明を明るくなるように調整したとき
- ■サブディスプレイに壁紙を設定したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

- **●照明設定（☞P.6-15～P.6-16）**
- **●サブディスプレイ設定（☞P.6-8）**
- **●モバイルライト（☞P.5-27）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.14-28～P.14-29）**
- **●パネルセーブ（☞P.14-44）**

電池が切れたら

●電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ…**」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
電池アラーム音が鳴っているときにを押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。（マナーモード設定時には、警告音は鳴りません。）

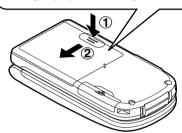
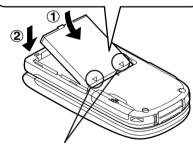
また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「**ピピ**」と断続音が約５秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

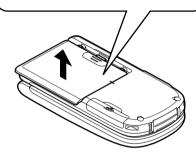
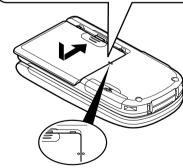
不要になった電池パックは

●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

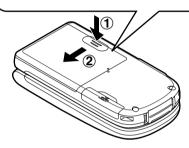
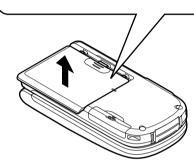
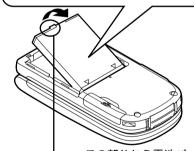
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドさせる。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

印刷面を上にして、本体のくぼみに▽の先のツメを合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

本体と電池カバーを図の位置に合わせ、電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

取り外す

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドさせる。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

この部分から電池パックを持ち上げます。

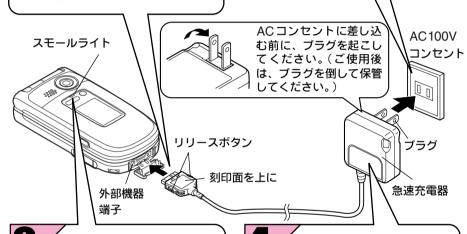
- 電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。データの登　やメール送信等の動作中に電池パックを取り外すと、登　内容が消えてしまうことがあります。

V601SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  - ■ショートさせない。
  - ■分解しない。

Li-ion

急速充電器を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。
「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。
充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。

3 スモールライトが消灯すれば、充電完了。
充電時間は約110分※です。
（電源OFF時）

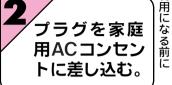
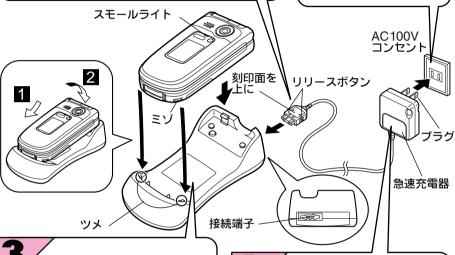
※常温での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。

4 充電が完了したら、V601SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。
接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
V601SHの端子キャップを元に戻してください。

●急速充電器を携帯されるときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

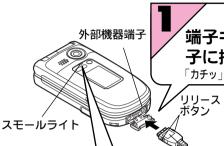
1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。
「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

3 V601SHに電池パックを取り付け卓上ホルダーに置く。
❶のようにV601SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、❷の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
スモールライトが赤色点灯します。
（消灯すれば充電完了）
充電時間は約110分※です。
（電源OFF時）

4 充電が完了したら、V601SHを卓上ホルダーから取り外し、急速充電器のプラグをACコンセントから抜く。

※常温での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。

●卓上ホルダーの裏面には、市販のデジタルカメラ用の三脚台に対応したネジ穴があります。卓上ホルダーにV601SHを固定して撮影することができます。

シガーライター充電器を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。

「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかけ、スモールライトが赤色点灯していることを確認する。

充電が完了すると、スモールライトが消灯します。充電時間は約110分※です。(電源OFF時)

※常温での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。

4 充電が完了したら、V601SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

V601SHの端子キャップを元に戻してください。

注意

- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。(12V、24V両用)
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

補足

- シガーライター充電器の操作方法等については、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
- シガーライター充電器を使って充電する場合、V601SHを固定させるため、オプション品の車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

機能の呼び出し方

インデックスメニュー

V601SHのいろいろな操作は、待受画面でⒻを押すと表示される、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面から行います。
インデックスメニューには９つの項目があり、◎で各項目を選びⒻを押すと、各項目内のメニューが表示されます。

待受画面

インデックスメニュー

- 下記の各項目内のメニューを表示します。
- Vアプリライブラリを表示します。
- オススメメニューを表示します。

ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニュー(☞P.5-3)が表示され、撮影やバーコード読み取りなどを行うことができます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行うことができます。
インフォメーション	インフォメーションメニュー(☞P.2-15)が表示され、簡単な操作で情報を確認することができます。
ファンクション	ファンクションメニュー(☞P.1-22)が表示され、各機能の設定や確認を行うことができます。
電話	メモリダイヤルの登　・検索や、リダイヤル・着信履歴の確認などを行うことができます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V601SHに保存したデータを確認することができます。
メモリカード	メモリカードメニュー(☞P.10-2)が表示され、SDメモリカードに保存したデータを確認することができます。

オススメメニュー

■ インデックスメニューで、Ⓞ（オススメ）を押すと、オススメメニューが表示されます。
オススメメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が表示され、簡単に各機能の画面に移動することができます。

インデックスメニュー

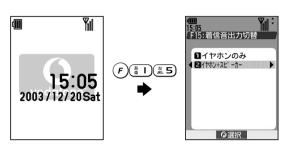
ファンクションメニュー

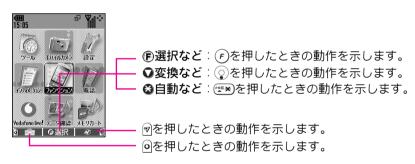
インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、Ⓕを押すと、ファンクションメニューが表示されます。
V601SHの各機能の設定や登　、確認は、ファンクションメニューから行います。
ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に「**F番号**」と呼ばれる番号がつけられています。（☞P.17-2）

■大分類を選ぶ

Ⓒを押し、大分類を選んだあと、Ⓕを押す。

■F番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面でⒻ（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

操作ガイダンス

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

※オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、(文字)を押したときの動作を示します。

クイックオペレーション

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能がディスプレイに表示されます。
（右の画面は数字を1ケタ入力したときのものです。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルの場合は）を押すと、その機能が操作できるようになります。

機能＼入力する数字のケタ数	1	2	3	4	5～6	7～12	13～24
スピードダイヤル☞P.4-17	○	○					
マネー積算メモ☞P.14-47～P.14-48	○	○	○	○	○		
メモリダイヤル新規登録☞P.4-2～P.4-5	○	○	○	○	○	○	○
メモリダイヤル検索※1☞P.4-14	○						
簡易電卓☞P.14-46	○	○	○	○	○	○	
簡単メール送信☞P.3-19	○						
リピートアラーム設定※2☞P.14-8				○			
スケジュール表示※3☞P.14-16				○			

※1　アカサタナ検索のみ利用できます。
※2　設定したい時刻を24時間制の4ケタで入力します。（すでに5件のリピートアラームが登　されている場合はエラー表示となります。）
※3　表示したい月・日を4ケタで入力します。現在の日付を含む、以後1年間のスケジュールを表示することができます。

ダイヤルボタンでのショートカット

ユーザーショートカット（☞P.2-34）に登　されている機能やデータは、待受画面で、ダイヤルボタンまたは を1秒以上押すと起動します。

暗証番号

V601SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号で、V601SHの各機能を操作するときに使用します。
●入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
●操作用暗証番号が間違っていたときは、確認メッセージが表示されます。

交換機用暗証番号

お客さまがご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作する場合に必要な番号です。

●「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、お問い合わせ先（☞P.17-22）までご連絡ください。
●「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

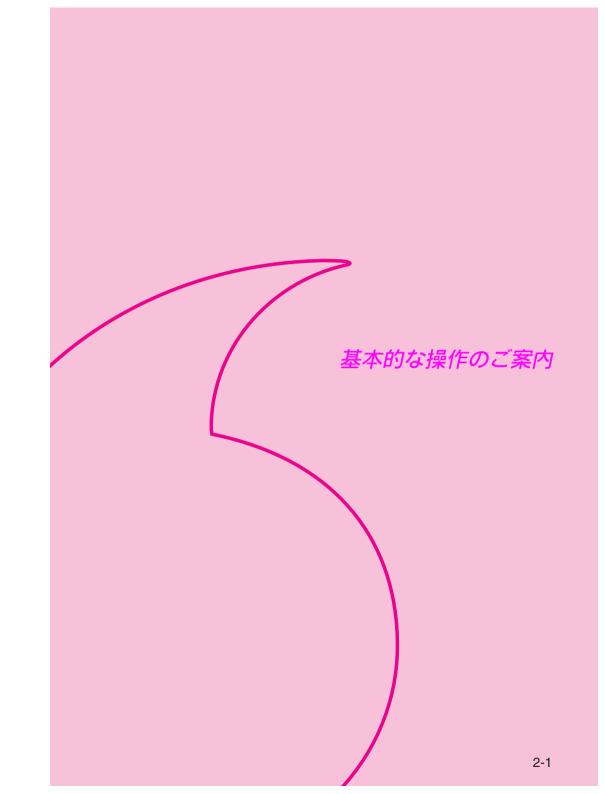
●「**操作用暗証番号**」はV601SHの操作で変更できます。（☞P.12-8）
●「**交換機用暗証番号**」はV601SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、手続きが必要となります。
●詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-22）までご連絡ください。

MEMO

基本的な操作のご案内

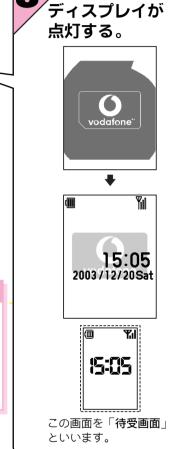
電源を入れる／切る

電源を入れる

この画面を「待受画面」といいます。

時刻が設定されていないとき

アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されます。

- 「1YES」を選びⒻを押すと、時刻設定の画面になります。（P.2-4）
- 「2NO」を選びⒻを押すと、時刻が設定されていない待受画面になります。

注意

- 初めてお使いになるときは、V601SH内蔵の時計を合わせてください。（P.2-4）
- 電源を入れたときや、切ったときにディスプレイが一瞬暗くなりますが、故障ではありません。
- V601SHを開くときは両手で持って軽く開いてください。力を入れすぎると、破損の原因となります。
- 携帯するときは、V601SHを閉じておくことをおすすめします。

補足

- V601SHを閉じたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けることができます。
- V601SHを開いたまま、操作をしない状態が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：P.14-44）
- 本書では、これ以降V601SHを開いた状態での操作を中心に説明しています。
- 通話中にV601SHを閉じると、電話を切ることができます。

V601SHを閉じたときに通話を切らないようにするとき

- 次の操作を行うと、V601SHを閉じても通話を切らないで、こちらの声を相手に伝えないようにすることができます。
  1. Ⓕ 1 0を順に押す。
  2. 「1通常着信」を選び、Ⓕを押す。
  3. 「7クローズ終話設定」を選び、Ⓕを押す。
  4. 「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
     - ■ クローズ終話の設定は、「1ON」を選び、Ⓕを押します。
- お買い上げ時には、閉じると通話を切るよう（ON）に設定されています。

電源を切る

日付・時刻の設定

1
Ⓕ 5 9の順に押す。

2 西暦の年を入力する。

入力したい位置にでカーソルを移動し、入力してください。

例：2003年➡2 0 0 3

3 月・日を入力する。

例：12月20日➡1 2 2 0

4 時・分を入力する。

F59:時刻設定
2003年
12月20日(ー)
15:05
決定

時刻は24時間制で入力します。

例：午後3時5分➡1 5 0 5

5 Ⓕを押す。

時計が「0秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。

曜日は自動的に設定されます。

注意

- 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約1ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦・日付・時刻を再設定してください。

補足

- 西暦・日付・時刻を合わせていない場合、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、を押しカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 月・日および時・分に、誤った数字（たとえば13月）を登　することはできません。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.6-7）

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

電波状態を確認してください。

ディスプレイに「圏外」や「」と表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.17-9）

2 市外局番からダイヤルする。

同一市内への通話の場合でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

ディスプレイに「」「」が表示されているときは、ダイヤルできません。（☞P.17-9）

電話番号通知／非通知の設定

電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。

- 通知するとき……186
- 通知しないとき…184

3 電話番号を確認して、を押す。

電話番号を間違えたとき

またはをカーソル「＿」を動かしたあとクリアを押すと、カーソル位置の番号が消えます。クリアを1秒以上押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。を押したあとは、PWRを押して電話を切り、かけ直してください。

4 通話が終わったら、PWRを押す。

V601SHを閉じても、電話は切れます。V601SHを閉じても、電話が切れないようにすることができます。（☞P.2-3）

通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-32）

累積の通話時間（☞P.2-30）や通話料金（☞P.2-31）の目安を確認することもできます。

■ 相手がお話し中のときは
PWRを押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

■ 国際電話の使い方
「サービスガイドブック」を参照してください。

補足

- スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.7-11）

注意

- オフラインモードに設定されている場合は、電話をかけることができません。（☞P.14-43）
- 通話時マイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を最新の20件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単にかけることができます。（リダイヤル）

- 時刻設定（☞P.2-4）がされていないときや、間違って設定されているときは、電話をかけた正しい日時が表示されません。
- 同じ番号に２回以上の電話をかけた場合、最後に電話をかけた日時のデータのみ記憶されます。
- 相手の電話番号がメモリダイヤルに登　されているときは、名前も表示されます。ただし、シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。

リダイヤルの番号を消去する

■１件ずつ消去するとき

1 消去したいリダイヤルの電話番号を表示し、Ⓕを押す。

2「5 一件消去」を選び、Ⓕを押す。

右のような画面が表示されます。

3「1 YES」を選び、Ⓕを押す。

- リダイヤルが消去され、次のリダイヤルの電話番号が表示されます。リダイヤルが１件もないときは、待受画面に戻ります。

■すべてを消去するとき

1 リダイヤルを表示し、Ⓕを押す。

2「6 全件消去」を選び、Ⓕを押す。

右のような画面が表示されます。

3「1 YES」を選び、Ⓕを押す。

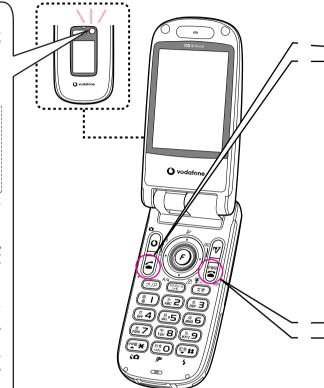
- 電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古い記憶から消去されます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、V601SHを開く。

バイブレータを設定しているときは振動でお知らせします。（☞P.7-5）

着信音量を「サイレント」に設定しているときは着信音は鳴りません。（☞P.7-3）

V601SHのメモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきたときは、名前が表示されます。また、相手表示設定を「OFF」に設定しているときは、サブディスプレイに名前は表示されません。（☞P.6-13）

2 ［通話キー］を押す。

他のボタンでも受けられます

［通話キー］の他に次のボタンを押しても、電話を受けることができます。（エニーキーアンサー）

［0］〜［9］、［＊］、［#］、［スケジュール/メモ］、［クリア］、［カメラ］、［メール］、［左］、［右］

3 通話が終わったら、［PWR］を押す。

V601SHを閉じても、電話は切れます。V601SHを閉じても、電話が切れないようにすることもできます。（☞P.2-3）

V601SHのメモリダイヤルに登録した画像が表示されます。（ピクチャーコール／メール機能）

V601SHのメモリダイヤルのピクチャーコール／メールを「ON」に設定しているとき相手から電話がかかってきたときは、上記の着信画面と画像が交互に表示されます。（☞P.4-11）

- メモリダイヤルに登録した画像がアニメーションなどのとき、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- V601SHを閉じているときは、サブディスプレイに画像が表示されます。

注意

- オフラインモードに設定されている場合は、電話を受けることができません。オフラインモードを解除してください。（☞P.14-43）

補足

- メモリダイヤルやオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信について、着信時の動作を約3秒間遅らせることができます。（ワンコールサイレント☞P.2-20）
- 着信音の音量やパターン、モバイルライト／スモールライトの色や点滅パターンを変えたいときは「**着信設定**」（☞P.7-2〜P.7-7）を参照してください。

■ **簡易留守録設定時**

- 応答メッセージが流れ、簡易留守録を開始します。
  また、着信中に［F］［文字］の順に押すと、簡易留守録を開始します。（☞P.14-5）
  いずれの場合も相手に通話料金がかかります。
- サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-4）を「**1 簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押すと、簡易留守録を開始します。

■ **表示について**

- 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。（☞P.14-4）
- SDメモリカード内のメモリダイヤルに登録している相手からの着信時は、名前やピクチャーコール／メールの画像は表示されません。また、指定着信音で設定した着信音も鳴りません。（☞P.4-8、P.4-11）
- 着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認することができます。（☞P.2-12）

2 基本的な操作のご案内

かけてきた相手にかけ直す

過去にかかってきた電話の着信内容と時刻を、最新の20件まで記憶して、確認できます。（着信履歴）
また、かかってきた電話に発信者番号通知があった場合、その電話番号を表示し、電話をかけることができます。

1 を押す。

直前にかかってきた電話の内容が表示されます。
メモリダイヤルに登 している相手から電話がかかってきたときは、名前も表示されます。
（着リレキ）を押しても着信履歴を表示できます。

2 かけたい電話番号が表示されるまで、または（□）を押す。

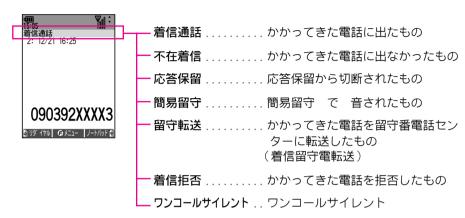
新しいものから順に表示されます。

3 を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

●時刻設定（P.2-4）がされていないときや、間違って設定されているときは、正しい日時が表示されません。

着信履歴に記憶されるもの

- 着信通話 .... かかってきた電話に出たもの
- 不在着信 .... かかってきた電話に出なかったもの
- 応答保留 .... 応答保留から切断されたもの
- 簡易留守 .... 簡易留守 で 音されたもの
- 留守転送 .... かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
- 着信拒否 .... かかってきた電話を拒否したもの
- ワンコールサイレント .. ワンコールサイレント

●発信者番号通知があったものは、電話番号が表示されます。
このとき、メモリダイヤルに登 している方からであれば、名前も表示されます。
ただし、シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●公衆電話からかかってきたときは、「**公衆電話**」と表示されます。
●相手が電話番号を通知してこなかったときは、「**非通知設定**」と表示されます。
●電源を切っても着信履歴の記憶は消えません。

着信履歴を消去する

■1件ずつ消去するとき

1. **消去したい着信履歴を表示し、Ⓕを押す。**
2. **「5一件消去」を選び、Ⓕを押す。**
3. **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**
   ●着信履歴が消去され、次の着信履歴が表示されます。着信履歴が1件もないときは、待受画面に戻ります。

■すべてを消去するとき

1. **着信履歴を表示し、Ⓕを押す。**
2. **「6全件消去」を選び、Ⓕを押す。**
3. **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

インフォメーションメニュー

電話に出られなかったときや、メールなどを受信してすぐに確認できなかったときには、インフォメーションメニューが表示されます。
インフォメーションメニューを利用すれば、簡単な操作で情報を確認できます。

（例）着信があった場合

1 着信があると…
着信が終了すると、着信のあった日時と不在着信や簡易留守 の件数が表示されます。

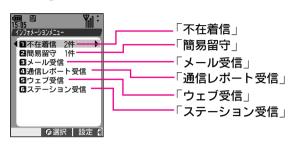
2 約5秒後、インフォメーションメニューが表示される。

3 (◎)で確認する項目を選び、(F)を押す。
インフォメーションメニューのみかた：☞P.2-15
確認した項目は、情報が消去されます。

補足

- 情報を確認しないで、インフォメーションメニューを終了するときは、操作2のあと[icon]を押します。（待受画面に「[icon]」が表示されます。）
あとで情報を確認するときは、P.2-16を参照してください。
- センター内のメールサーバーの蓄積量が、保存できる全容量の80%以上になると、インフォメーションメニューが表示されます。「**メール蓄積量警告**」を選び(F)を押すと、警告画面が表示されます。サーバーからメールを受信するか、サーバーのメールを削除してください。（☞P.5-3、P.5-7）
- このV601SHの蓄積メモリの容量がなくなると、インフォメーションメニューが表示されます。「**本体メモリフル警告**」を選び(F)を押すと、警告画面が表示されます。不要なデータを削除してください。

インフォメーションメニューのみかた

確認したい項目を選び(F)を押すと、内容が表示されます。

項目	説明
不在着信	不在時に着信があったときは、件数が表示されます。
簡易留守	V601SHがお預かりしている、メッセージの件数が表示されます。
メール受信	受信メッセージが届いたことを示しています。（☞P.4-2）
通信レポート受信	サービスセンターからの通信レポートが届いたことを示しています。（☞P.4-2）
ウェブ受信	自動配信サービスによるメッセージが届いたことを示しています。（☞P.11-2）
ステーション受信	新着情報や緊急情報が届いたことを示しています。（☞P.16-10）

補足

- インフォメーションメニューから表示した各画面で(クリア)を押すと、インフォメーションメニューに戻ります。（インフォメーションメニューに確認できる情報がないときは、待受画面に戻ります。）
ただし、簡易留守 の 音データの再生中に(クリア)を押すと、データ消去の確認画面になります。

インフォメーションメニューを確認する

インフォメーションメニューがあるときは、待受画面に「📄」が表示されます。
●V601SHを閉じているときは、サブディスプレイに「📄」が表示されます。

不在時のお知らせ表示

不在着信のみ	簡易留守録のみ	両方あり
（例：不在着信２件）	（例：簡易留守録３件）	（例：簡易留守録３件、不在着信２件）

インフォメーションメニューから確認したい内容を選んでⒻを押したあと、Ⓒをくり返し押すと、不在時の着信内容（着信の種類、着信日時、相手の電話番号や名前）を確認することができます。

●Ⓒを押すたびに着信日時の新しいものから順に表示されます。
　Ⓒを押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。
●Ⓢを押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
●確認を終わるときは、Ⓟを押します。

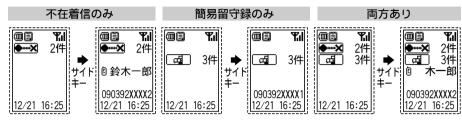
■ 着信内容を確認しないで、不在時の着信お知らせ表示を消す：Ⓟ

■ 不在時の着信お知らせ表示を消したあとで不在時の着信内容を確認：
☞P.2-12

● 着信拒否は、不在着信として記憶されます。

■ 簡易留守　：☞P.14-5

■V601SHを閉じているとき

サブディスプレイに、不在時の着信お知らせが表示されているときにサイドキーを押すと、最新の不在時に着信した相手の名前や電話番号が表示されます。

●このあとサイドキーを押すと、着信日時の新しいものから順に表示されます。
●サイドキーを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

各種設定

インフォメーションリセット

インフォメーションメニューの件数をリセットすることができます。

1 インフォメーションメニューを表示し、（設定）を押す。

2「1インフォメーションリセット」を選び、Ⓕを押す。

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。

●インフォメーションリセットを行っても「**メール蓄積量警告**」、「**本体メモリフル警告**」の表示はそのままです。

ランプ表示設定

インフォメーションメニューに用件があるとき、モバイルライトを点滅させることができます。ランプ表示設定は、不在着信、メール受信、ウェブ受信など、項目ごとに設定できます。
●お買い上げ時には、すべて「**ランプ表示なし**」に設定されています。

1 インフォメーションメニューを表示し、（設定）を押す。

2「2ランプ表示設定」を選び、Ⓕを押す。

3 ランプ表示する項目を選び、Ⓕを押す。

4「1モバイルライト」を選び、Ⓕを押す。

■ ランプ表示しない：「**2ランプ表示なし**」選択➡Ⓕ

5 設定するカラーパターンを選び、Ⓕを押す。

「モバイルライト」に設定すると
●インフォメーションメニューに設定した項目の用件があるとき、モバイルライトが点滅します。
●オフラインモード設定中にV601SHを閉じているとき（☞P.14-43）は、オフラインモード中のランプ表示が優先されます。
●「**モバイルライト**」に設定すると、「**ランプ表示なし**」に設定しているときに比べて、電池の利用可能時間が短くなります。

タイムアウト設定

インフォメーションメニューが表示されたとき、自動的にインフォメーションメニューを終了し、待受画面に戻るように設定できます。（タイムアウト設定）
●お買い上げ時には、「**タイムアウトしない**」に設定されています。

1 インフォメーションメニューを表示し、（設定）を押す。

2「3タイムアウト設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1タイムアウトする」を選び、Ⓕを押す。

■タイムアウトしない：「**2タイムアウトしない**」選択➡Ⓕ

「タイムアウトする」に設定すると
●着信があったりメールなどを受信して、インフォメーションメニューが表示されたとき、約10秒後に自動的に待受画面に戻ります。

迷惑電話対策

「ワンコールサイレント」を「ON」にすると、メモリダイヤルやオーナー情報に登録されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信音を鳴らすのを約３秒間遅らせるように設定できます。

●お買い上げ時には「OFF」に設定されています。

1 F あ1 わ0 あ1 の順に押す。

2 「6 ワンコールサイレント」を選び F を押す。

3 「1 ON」を選び F を押す。

電話に出られないとき

着信を保留する

相手にアナウンスを流し、電話を保留します。（**応答保留**）

1 電話がかかってきたら、V601SHを開く。

2 PWR を押す。

約５秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。

サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-4）を「**2 応答保留**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、応答保留になります。

3 電話に出られる状態になったら、を押す。

エニーキーアンサー（☞P.2-11）の各ボタンを押しても電話に出られます。

注意

●応答保留中に PWR を押すかV601SHを閉じると、応答保留中の電話は切れます。（クローズ終話を「OFF」に設定している場合は、電話は切れません。）

●応答保留中に相手が電話を切ると、保留中の電話は切れます。

補足

着信音量を「サイレント」にするとき

●着信中に 文字 を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。

●サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-4）を「**4 クイックサイレント**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを１秒以上押しても、クイックサイレントになります。

着信を拒否するとき

●サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-4）を「**5 着信拒否**」に設定している場合、着信中にサイドキーを１秒以上押すと、かかってきた電話を切ることができます。このときは、着信履歴に「**着信拒否**」が記憶されます。

メッセージを録音する

かかってきた電話を簡易留守 で応答し、相手のメッセージを 音します。

1 電話がかかってきたら、V601SHを開く。

2 着信音が鳴っている間に、(F)(文字)の順に押す。

応答文が流れたあと、 音が始まります。この場合、その着信に限り留守 音します。

サイドキー設定の着信時の動作(☞P.14-4)で「**1 簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押すと、応答文が流れたあと、 音が始まります。

補足 ● 音できる時間が7秒以下のときや、すでに20件 音されているときに操作すると、確認メッセージが表示され、留守 音はしません。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

■マナーモードを設定する

1 (文字)を1秒以上押す。

「🅼：マナーモード」が点灯します。また、マナーモードの設定内容に応じて「ON」(留守表示)「V」(バイブレータ)「S」(サイレント)「🅼」(ステップ)も表示されます。

(☞P.2-24)

■マナーモードを解除する

1 マナーモードが設定されている待受中に、(文字)を1秒以上押す。

「🅼」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードの設定中

- ■ ボタン確認音／エラー音／パワーON／パワーOFF時のサウンドやバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。
- ■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- ■ ミュージックモードで再生中の音楽や、ボイスレコーダーで再生中の音声がV601SHのスピーカーから聞こえなくなります。
(オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用しているときは、イヤホンから聞くことができます。)
- ■ 簡易留守 、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。

補足
- ●マナートークモードが設定されると、通話中に小さな声でお話しできるようになります。(このとき「🅼」が点滅します。)
- ●マナートークモードを設定していなくても、通話中に(文字)を1秒以上押すと、マナートークモードの設定をすることができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。
- ●簡易留守 の 音中は、相手の声が受話口から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードを設定したとき自動的に設定される機能（簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更することができます。

●お買い上げ時には、次のように設定されています。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
Vアプリ再生音量	サイレント	Vアプリバイブレータ	ON		

●マナートークモード設定中、次の機能はマナーモードの設定内容に従って働きます。
■簡易留守　および着信音量 ■バイブレータ　■ランプ設定
■サウンド再生音量　■Vアプリ再生音量　■Vアプリバイブレータ

簡易留守録／マナートークモードの設定を変更する

1 Ⓕ4 6の順に押す。

2「1 簡易留守録」または「5 マナートークモード」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」を選び、Ⓕを押す。

4 設定を終わるときは、（戻る）を押す。
設定解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

着信音量／バイブレータの設定を変更する

着信音量やバイブレータは「通常着信」「メール着信」「ウェブ着信」「ステーション着信」「受信完了通知」「配信確認」（☞P.7-2）のそれぞれに設定することができます。

1 Ⓕ4 6の順に押す。

2「2着信音量」または「3バイブレータ」を選び、Ⓕを押す。

3 設定を変更したい着信の種類を選び、Ⓕを押す。

4 設定内容を選び、Ⓕを押す。

5 設定を終わるときは、クリアを押したあと、（戻る）を押す。

マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定

■ 着信設定の着信音量（☞P.7-2）やアラーム設定のアラーム音量調節（☞P.14-12）を「サイレント」に設定していると、音量は「サイレント」になります。また「音量１」〜「音量５」に設定していると、設定されている音量までの「ステップ」になります。（「音量３」に設定しているとき：「音量１」→「音量２」→「音量３」）

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定

■ 着信設定のバイブ設定（☞P.7-5）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.14-12）を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

ランプの設定を変更する

マナーモード時のランプ設定を変更することができます。
変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定などで設定されている内容に従う
スモールライト	スモールライトが点滅
OFF	すべて点滅しない

1 Ⓕ4 6の順に押す。

2「4ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定内容を選び、Ⓕを押す。

4 設定を終わるときは、（戻る）を押す。

サウンド再生音量／Vアプリ再生音量の設定を変更する

1 Ⓕ4 6の順に押す。

2「6 サウンド再生音量」または「7Vアプリ再生音量」を選び、Ⓕを押す。
「7Vアプリ再生音量」の設定：「1サイレント」／「2音量１」選択➡Ⓕ➡操作4へ

3 で設定したい音量を選び、Ⓕを押す。

4 設定を終わるときは、（戻る）を押す。

Vアプリバイブレータの設定を変更する

1 Ⓕ4 6の順に押す。

2「8Vアプリバイブレータ」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」を選び、Ⓕを押す。
設定解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

4 設定を終わるときは、（戻る）を押す。

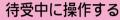
受話音量の調節

受話口から聞こえる相手の声の大きさ（受話音量）を、５段階で調整することができます。

●お買い上げ時には、「音量５」に設定されています。

1 通話中に◎を押す。

現在の設定内容が表示されます。

待受中に操作する

待受画面で◎を１秒以上押します。

2 ◎（小さくするとき）または◎（大きくするとき）を押す。

押すたびに受話音量が調節できます。

約５秒間そのままにしておくかⒻを押すと、設定されます。

補足

●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

●Ⓕ①①の順に押しても、調節することができます。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に（スケジュール/メモ）を1秒以上を押す。

2 録音を終了するときは、もう１度（スケジュール/メモ）を押す。

注意

●クローズ終話設定（☞P.2-3）が「ON」に設定されているときにV601SHを閉じると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

補足

●電源を切っても　音内容は保存されています。

●音声メモの再生方法や消去方法は、簡易留守　と同様です。（☞P.14-6～P.14-7）

通話中にメモを登録する

通話中に入力した数字を、最大３件まで登　できます。相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。(ノートパッドメモリ)

●１件につき、最大24ケタまで登　できます。(数字0〜9、＊、#のみ)
●すでに３件登　されている状態で登　すると、古いものから順に消去されます。
●登　した番号を、メモリダイヤルに登　することもできます。

ノートパッドメモリに登録する

1 通話中に、数字を入力する。

2 スケジュール/メモを押す。
通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登　されます。

登録したノートパッドメモリを確認する

1 ◉を１秒以上押す。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

補足
●最後に登　したノートパッドメモリが表示されます。◎を押すと、他のノートパッドメモリを確認することができます。
●Ⓢを押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。
ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
●リダイヤルがあるときは、◉Ⓜ(ノートパッド)を押しても、ノートパッドメモリを表示することができます。

ノートパッドメモリをメモリダイヤルに登録する

1 登録するノートパッドメモリを表示する。

2 Ⓕを押したあと、「4メモリダイヤル登録」を選び、Ⓕを押す。
以降の操作:☞P.4-6

ノートパッドメモリを消去する

1 消去するノートパッドメモリを表示する。

2 Ⓕを押したあと、「5一件消去」を選び、Ⓕを押す。
すべてのノートパッドメモリをまとめて消去:「6全件消去」➡Ⓕ

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。

通話時間表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話時間の目安を確認します。
●電話をかけた場合と電話がかかってきた場合の両方とも表示します。
●累積の通話時間の目安を確認することもできます。

累積の通話時間の目安を確認する

1 F 6 2 の順に押す。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積の通話時間の目安を消去する

1 累積の通話時間の表示中に、Fを押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

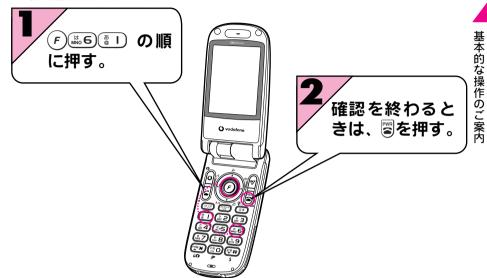
3「1YES」を選び、Fを押す。

補足
- ●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
- ●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（応答保留中は計算されます。）
- ●表示される時間はあくまで目安であり、実際の時間とは異なることがあります。

通話料金表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話料金の目安を確認することができます。
●累積の通話料金の目安を確認することもできます。

累積の通話料金の目安を確認する

1 F 6 0 の順に押す。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積の通話料金の目安を消去する

1 累積の通話料金の表示中に、Fを押す。

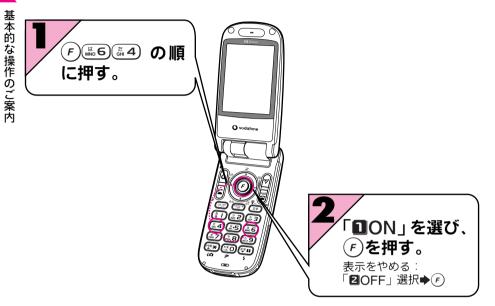
2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「1YES」を選び、Fを押す。

補足
- ●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
- ●直前の通話が着信通話のときなどは、「−−−−−−−円」と表示されます。
- ●累積の通話料金が7ケタを超えると、自動リセットされ、0円から再び累積されます。
- ●オプションサービスの三者通話サービスをご利用いただいたときは、合算した通話料金を表示します。
- ●電波が弱くなって通話が切断された場合など（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。
- ●表示される料金はあくまで目安であり、実際の料金とは異なることがあります。

通話明細自動表示設定

通話が終わったあと、自動的に通話時間および通話料金の目安を表示させることができます。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

●通話中転送を行った場合は、通話料金は表示されません。

自分の電話番号とプロフィールの確認

お客さまご自身のV601SHの電話番号を確認することができます。

プロフィール（オーナー情報）を確認するとき

●F 0➡☑（詳細）➡操作用暗証番号（4ケタ）

■オーナー情報画面のみかたは、メモリダイヤルと同様です。（☞P.4-13）

■オーナー情報の登　：☞P.4-28

簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能やデータなどをユーザーショートカットに登　しておけば、簡単な操作で、その機能やデータの画面を表示することができます。
- ユーザーショートカットに登　できる画面では、「[アイコン]」が表示されます。

2 基本的な操作のご案内

ユーザーショートカットに登録する

登　できるユーザーショートカットは、[V][1]～[V][9]、[V][*]、[V][#]、[V]（長押し）です。「[アイコン]」が表示されていない画面は登　できません。
- お買い上げ時に登　されている内容は、次のとおりです。（お買い上げ時に登　されているユーザーショートカットにも、上書きで登　することができます。ただし、[V][0]には登　できません。）

[V][1]	簡易電卓	[V][4]	画面表示設定
[V][2]	リピートアラーム設定	[V][0]	バウリンガル コネクト
[V][3]	着信設定	[V]（長押し）	Vアプリライブラリ

1 登録したい機能一覧またはファイル一覧で、登録したい機能名やファイル名を選んで、[スケジュール/メモ]を1秒以上押す。

2 登録する番号のダイヤルボタン（[1]～[9]、[*]、[#]）または[V]（1秒以上）を押す。

確認画面が表示されたあと、元の画面に戻ります。

- ユーザーショートカットに登　すると、自動的に登　名がつきます。登　名は変更することもできます。（☞P.2-36）

Vアプリを[V]（長押し）に設定するとき
- [◎]➡「4Vアプリ」選択➡[F]➡「3ダイレクトキー登録」選択➡[F]➡「1登録」選択➡[F]➡Vアプリ選択➡[F]（登　先は[V]（長押し））（☞[0]P.14-8）

すでに登録されている番号に登録するとき
- 確認メッセージが表示されたあと、「1YES」を選び[F]を押すと、登　が完了します。

ユーザーショートカットを利用する

1 表示する画面のダイヤルボタン（[0]～[9]、[*]、[#]）または[V]を1秒以上押す。

登　している画面が表示されます。

2 基本的な操作のご案内

- [V][0]を1秒以上押すと、あらかじめV601SHに登　されている「**バウリンガル コネクト**」（Vアプリ）が起動します。
- [V]を押したあと、表示する画面のダイヤルボタンを押しても、利用できます。ただし、[V]（**長押し**）に登　している画面を表示するときは、[V]を1秒以上押します。
- データが登　されているときは、登　されているデータが表示・再生されます。

ユーザーショートカットが利用できないとき
- メール機能やウェブ機能、ステーション機能、Vアプリ機能を停止しているとき
- SDメモリカードが差し込まれていないとき

ユーザーショートカットに登録しているデータを消去していたとき
- ユーザーショートカットでデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。
「1YES」を選び[F]を押すと、ユーザーショートカットが消去され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

ユーザーショートカットの設定を行う

ユーザーショートカットの名前を変更や消去します。

■名前を変更するとき

1 ⓥを押す。

2 名前を変更する項目を選び、ⓥ（メニュー）を押す。

3「名前変更」を選び、Ⓕを押す。

4 名前を修正し、Ⓕを押す。

名前が変更され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

■文字の入力方法：☞P.3-4〜P.3-15

▪絵文字は入力できません。

■消去するとき

1 ⓥを押す。

2 消去する項目を選び、ⓥ（メニュー）を押す。

3「消去」を選び、Ⓕを押す。

4「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

ユーザーショートカットの画面に戻ります。

●お買い上げ時に登　されているユーザーショートカットは、消去できません。
●お買上げ時に登　されているユーザーショートカットに上書き登　した内容を消去すると、お買上げ時の登　内容に戻ります。
●Vアプリライブラリや Vアプリに関する機能など、ユーザーショートカットの名前を変更できない場合があります。

操作中に他の機能を呼び出す

機能の操作中にメールを利用したり、他の機能を呼び出して使用できます。呼び出した機能の操作を終了すると、元の機能の画面に戻ります。

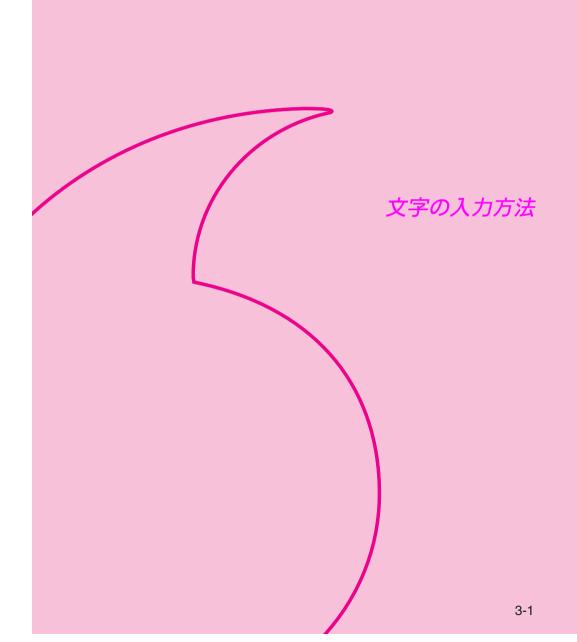
●通話中や待受画面、Vアプリ画面では使用できません。

操作中にメールを利用する

●呼び出したメールの画面（受信メールリスト画面を除く）でⓥを1秒以上押すと、新たに受信メールリスト画面が表示されます。この画面からは、メールの確認のみが行えます。クリアを押すと、最初に呼び出したメールの画面に戻ります。
●メールが呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

操作中に他の機能を呼び出す

補足

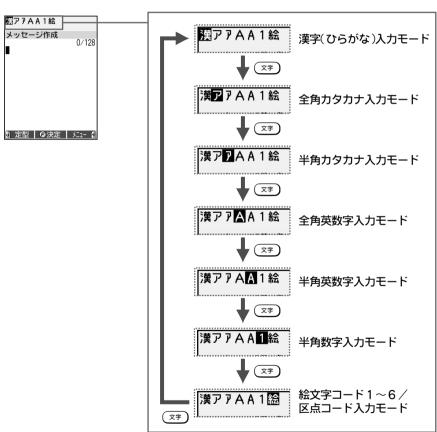
- 呼び出した機能の画面でⓄを1秒以上押しても、新たに他の機能を呼び出すことはできません。
- 呼び出した機能の画面で✉を1秒以上押すと、受信メール画面が表示されます。この画面からは、メールの確認のみが行えます。クリアを押すと、呼び出した機能の画面に戻ります。
- 新たな機能が呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

文字の入力方法

入力できる文字と入力モード

入力できる文字

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。文字入力には、かな入力方式とポケ　ル入力方式（☞P.3-13）の２種類の方法があります。

入力モード

文字入力選択状態で文字を押すごとに、入力できる文字（入力モード）が切り替わります。

- 入力モード切替中は、◎を押しても上記の順に切り替わります。◎を押すと逆の順に切り替わります。
- メモリダイヤルのヨミ入力やEメールアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

■入力モードの表記（画面１行目に、現在の入力モードが表示されます。）

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小文字）	区	区点コード

- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードでスケジュール/メモを押すと、大小文字←→小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード(大小文字)　全角英数字入力モード(小文字)

- 絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、◎を押すと次の順に切り替わります。
  - ■絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…
- 絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

絵文字コード番号

文字入力方法

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
　例：カタカナ入力モードで1を3回押すと、「ウ」が表示されます。
- 漢字（ひらがな）入力モードの場合、ひらがなを入力中にバックを押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。
　例：「い」を入力しているときにバックを押すと、「あ」になります。

全角文字

ボタン	漢字（ひらがな）入力モード	全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード	
			大小文字	小文字
あ@1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@．／＿―1 （スペース）	@．／＿―1 （スペース）
かABC2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２
さDEF3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３
たGHI4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４
なJKL5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５
はMNO6	はひふへほ	ヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６
まPQRS7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７
やTUV8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８
らWXYZ9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９
わをん0	わをんー、。（改行）※1	ワヲンー、。（改行）※1	，．０（改行）※1	，．０（改行）※1
゛゜絵＊	゛゜／記号入力（全角）／絵文字入力（全角）※2		メールアドレス用／URL用変換（半角）※3	
記号#	記号入力（全角）／絵文字入力（全角）			
↑	変換（前候補）	カーソル上移動		
↓	変換（後候補）	カーソル下移動（改行）※1		
←	カーソル左移動			
→	カーソル右移動			
文字	文字入力モードの切り替え			
スケジュール/メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字の場合のみ有効）		小文字/大文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え	大文字/小文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え
クリア 短く押す	1文字消去、変換中止	1文字消去		
クリア 長く押す	全文字消去			
バック	最大64文字まで復元※4			
F	決定			

※1　改行は、メールのメッセージ本文、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などに有効です。（↓での改行は、文末の場合のみ有効です。）
※2　変換中の文字があるときは入力できません。
※3　メールアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※4　クリアを短く押して消去した文字は、直後にバックを連続して押すと、最大64文字まで復元することができます。

補足
- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。

半角文字

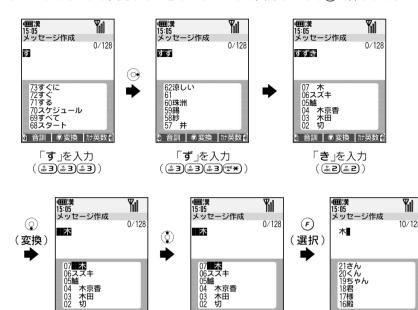
ボタン	半角カタカナ入力モード	半角英数字入力モード		半角数字入力モード	絵文字コード1～6/区点コード入力モード
		大小文字	小文字		
あ@1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@./_-1 (ｽﾍﾟｰｽ)	@./_-1 (ｽﾍﾟｰｽ)	1	1
かABC2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc2	abc2	2	2
さDEF3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef3	def3	3	3
たGHI4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi4	ghi4	4	4
なJKL5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl5	jkl5	5	5
はMNO6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno6	mno6	6	6
まPQRS7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
やTUV8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv8	tuv8	8	8
らWXYZ9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
わをん0	ﾜｦﾝｰ､｡（改行）※1	,.0（改行）※1	,.0（改行）※1	0	0
゛゜絵＊	ﾞ ﾟ -	メールアドレス用／URL用変換（半角）※2		＊ー,（ポーズ）※3	
記号#	記号入力（半角）／絵文字入力（全角）			#	
↑	カーソル上移動				
↓	カーソル下移動（改行）※1				
←	カーソル左移動				
→	カーソル右移動				
文字	入力モードの切り替え				
スケジュール/メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字の場合のみ有効）	小文字/大文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え	大文字/小文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え		
クリア 短く押す	1文字消去				入力済みコード消去/1文字消去
クリア 長く押す	全文字消去				
バック	最大64文字まで復元※4				
F	決定				
カメラ					絵文字コード1～6/区点コード入力モードの切り替え

※1　改行は、メールのメッセージ本文、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などに有効です。（↓での改行は、文末の場合のみ有効です。）
※2　メールアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※3　「-」や「,（ポーズ）」は、電話番号入力時のみ有効です。
※4　クリアを短く押して消去した文字は、直後にバックを連続して押すと、最大64文字まで復元することができます。

注意
- メモリダイヤルのヨミ入力やEメールアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

漢字・ひらがなを入力する

漢字（ひらがな）入力モードにしたあと、ひらがなを入力し、漢字に変換します。

●ひらがなをそのまま入力するときは、ひらがなを入力したあとⒻを押します。

変換候補欄に
カーソルを移動

変換候補を選択

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。採用するときは、を押し変換候補欄にカーソルを移動したあと、で入力したい変換候補を選び、Ⓕを押します。

■ 他の変換候補画面の表示：（**次へ**）／（**前へ**）

■ 変換候補欄での選択中止：クリア➡**文字入力画面へ**

●同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「**あい**」）は、必ずを押してカーソルを移動させてから入力してください。

●「**めーる**」と入力した場合「Mail」、「mail」、「MAIL」、また「**いちまるきゅー**」と入力した場合「109」のように、一部の英数字（半角）が変換候補に表示されます。

カーソル

■ 文字入力時に表示される「■」を「**カーソル**」といいます。カーソルは、を押すと1文字単位で移動することができます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

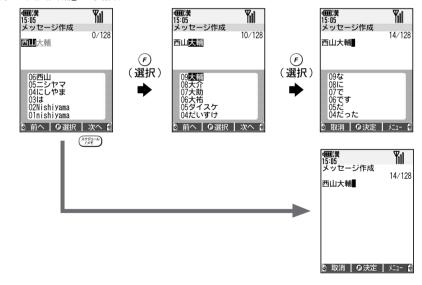
学習機能

■ 漢字変換では、これまでによく変換した漢字が優先してリストに表示されます。

●目的の漢字に変換されないときは、クリア を押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、を押し、変換の対象となる文字（反転している文字：下の例の場合は「み」と「ち」）の区切りを変えて変換し直すことができます。

例：「三智」と変換するとき

●スケジュール/メモを押すと、複数の変換の対象を一度に採用することもできます。

例：「西山大輔」と変換するとき

音訓変換

通常変換で入力したい漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して１文字ずつ漢字を変換します。
漢字（**ひらがな**）入力モードで、ひらがなを入力し、(**音訓**）を押して、漢字に変換します。

●を押して、入力したい漢字を選んだあと、を押して採用します。

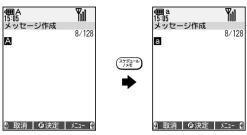
１文字変換

一度、通常の変換方法で入力した漢字を次回入力するときには、先頭の１文字を入力すると漢字に変換します。

例：以前に「　木」を変換したとき

● １文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書と共用しています。(１文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。)
そのため、ユーザー辞書の登　内容や件数によっては、１文字変換が記憶できないことがあります。
● １文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（１文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大５件です。
記憶可能な件数を超える場合、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。(ユーザー辞書は消去されません。)

小文字（a、っ、ッなど）を入力する

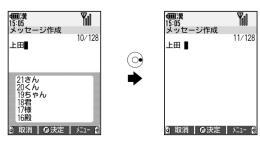
英字またはひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。
小文字に変換したい文字を入力し、を押します。

●小文字にできない文字では、を押しても受けつけません。
●英文字の場合は、を押し小文字に変換すると、小文字入力モードになります。続けて小文字を入力することができます。

だく点（゛）や半だく点（゜）を入力する

だく点や半だく点を付けたい文字を入力し、を押します。

●漢字（ひらがな）や全角カタカナ入力モードの場合、１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が付き、３回押すともとに戻ります。ただし、ひらがなや全角カタカナのだく点や半だく点を付けられない文字では、を押しても受けつけません。
●半角カタカナ入力モードの場合は、１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分として表示されます。
だく点や半だく点を使わないときはを押し、だく点や半だく点を消去します。

スペースを入力する

を押してカーソルを進めます。英数字入力モードのとき、を７回押してスペースを入力することもできます。

記号・絵文字を入力する

リストから入力する

記号変換が可能なモードで(記号#)または(*)を押すと、これまで入力した記号・絵文字が、新しいものから各20件ずつ表示されます。（履歴リスト）

■ 表示されている記号・絵文字を入力：(記号・絵文字選択)➡(F)
■ 他の記号・絵文字を入力：(0)または(記号#)（押すたびに履歴リスト→記号リスト１～３→絵文字リスト６～１の順に切替）➡(記号・絵文字選択)➡(F)
- (*)を押すと、各リストが逆の順に表示されます。
- 記号・絵文字リストでは最大６行分の記号や絵文字が表示されます。(下)を押すと、７行目以降の記号や絵文字が表示されます。

■ 記号・絵文字入力を終了：(戻る)

- 全角のモードで操作したときは全角の記号が、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）
- 漢字（**ひらがな**）入力モードで、記号１リスト表示中は(スケジュール/メモ)を押すたびに、全角記号⇔半角記号と切り替わります。（記号２、記号３はすべて全角）
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し(（**変換**）を押すと、一部の記号を入力することができます。

記号・絵文字履歴の消去

■ 文字入力画面で(メニュー)➡「**0入力／変換設定**」選択➡(F)➡「**5絵／記号履歴リセット**」選択➡(F)➡「**1実行**」選択➡(F)
- 文字入力画面に戻るときは、(クリア)を２回押します。
- 絵文字コード入力モードでは、記号・絵文字履歴の消去は行えません。

コードで入力する（絵文字）

絵文字コード入力モードで、２ケタの数字（絵文字コード：☞P.20-4～P.20-6）を押します。

- 絵文字コードの押し間違い：２ケタ目を押す前に(クリア)

絵文字コード入力モードからの操作

■ 絵文字コード入力モードで(リスト)を押すと、絵文字リストが表示されます。入力する記号や絵文字を選び、(F)を押します。
絵文字リストを切り替えるときは、(0)を押します。（押すたびに絵文字リスト１～６→履歴リストの順に変わります。）

顔文字を入力する

文字入力画面で(**メニュー**)を押し、「**8顔文字**」を選んだあと、(F)を押します。

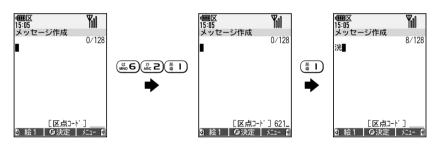
- 入力したい顔文字を選んだあと、(F)を押して選択します。
- ２ケタの数字（顔文字一覧：☞P.20-7）を押すと、番号の候補が選択され表示されます。
- 顔文字は、入力モードにかかわらず半角で入力されます。
- 絵文字１～６入力モードのときは、顔文字入力はできません。
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し(（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し(（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。

メールアドレス、URLの一部を簡単に入力する

英数字入力モードにして、(＊)を押します。

●(◎)を押して、入力したい文字を選んだあと、(F)を押して選択します。
●全角／半角モードにかかわらず、メールアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードを利用する

区点コード入力モードにして、4ケタの数字（区点コード：☞P.17-11〜P.17-21）を押します。

●区点コード表にないコードを入力すると、スペースが入力されることがあります。
■ 区点コードの押し間違い：4ケタ目を押す前に(クリア)

ポケベル方式で文字を入力する

ポケベル入力方式にする

1 文字入力画面で、(☑)（メニュー）を押す。

2「0入力／変換設定」を選び、(F)を押す。

3「1入力方式」を選び、(F)を押す。

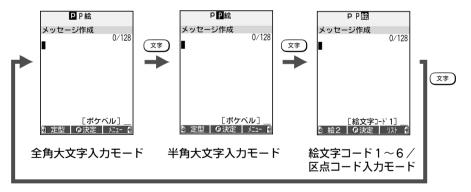
4「2ポケベル」を選び、(F)を押す。

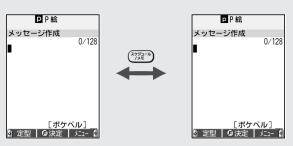
入力方式が設定され、文字入力画面に戻ります。

■ かな入力方式設定時：「1かな」選択➡(F)

補足
●文字入力画面によっては、表示されるメニュー画面の番号や内容が異なります。
●ポケ　ル入力方式は、通常の入力方式（かな入力方式）にするまで継続します。

入力モード

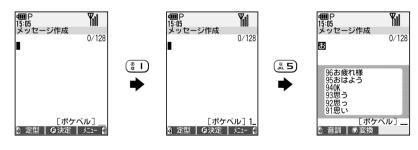
文字入力選択状態で(文字)を押すごとに、入力モードが切り替わります。

●(◎)を押しても上記の順に切り替わります。(◎)を押すと逆の順に切り替わります。

●全角入力モード、半角入力モードで[スケジュール/メモ]押すと、大文字←→小文字が切り替わります。

全角大文字入力モード　　全角小文字入力モード

●絵文字コード１〜６と区点コード入力モードは、[⊙]を押すと次の順に切り替わります。
■絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード入力モード→絵文字コード１…
●絵文字コード番号（１〜６）は、画面下部で確認できます。

絵文字コード番号

ポケベルコードでの入力方法

ポケ　ル入力方式にして、２ケタの数字（ポケ　ルコード：☞P.3-15）を押します。

●ポケ　ルコードとは、文字ひとつひとつにつけられている固有の番号です。
●ポケ　ルコードを押し間違ったときは、２ケタ目を押す前に[クリア]を短く押すと数字が消えます。正しい数字を押し直してください。

●ポケ　ル入力方式で入力した文字の変換や、区点コード入力、スペース入力、小文字入力、記号入力、メールアドレス・URL入力、絵文字入力の操作は、かな入力方式と同じです。
●ポケ　ル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
●だく点、半だく点は、ポケ　ルコード一覧を参照して入力してください。（☞P.3-15）

★ポケベルコード一覧

●全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）＼2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	#	スペース	♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

●全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）＼2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

●半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）＼2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

●半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）＼2ケタ目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				,	.					

※1　[7][0]と押すと、改行が入力されます。（改行は、メールのメッセージ本文、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などに有効です。）
※2　[8][0]と押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。
●「☎」、「♥」は半角２文字分となります。
●空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
●■部分は、文字入力後[スケジュール/メモ]を押すたびに、大文字←→小文字と切り替わります。

文字サイズ（フォント）変更

ディスプレイに表示される文字の大きさ、太さ、書体を変更することができます。
- 文字の大きさは、メニュー／リスト表示や文字入力時、メール、ウェブ、それぞれ別に指定することができます。
- 太さや書体は、共通の指定になります。
- 書体の変更は、漢字以外の文字（ひらがな、カタカナ、英字など）に対して有効です。
- お買い上げ時には、大きさは「**中**」、太さは「**ふつう**」、書体は「**通常**」に設定されています。

1 **Ⓕ③⑥の順に押す。**

2 **大きさを設定する**

1「1文字サイズ設定」を選び、Ⓕを押す。
2「1メニュー／リスト表示中」～「4ウェブ閲覧中」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
3文字サイズを選び、Ⓕを押す。
文字の大きさが設定され、文字サイズ設定の画面に戻ります。

太さを設定する

1「2文字太さ設定」を選び、Ⓕを押す。
2「1極細」～「4太い」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
文字の太さが設定され、文字表示設定の画面に戻ります。

書体を設定する

1「3書体設定」を選び、Ⓕを押す。
2「1通常」または「2ポップ」を選び、Ⓕを押す。
文字の書体が設定され、文字表示設定の画面に戻ります。

文字入力中に文字サイズを変更

■ 文字入力中に☑（**メニュー**）➡「**9文字サイズ設定**」選択➡Ⓕ➡「**1小**」／「**2中**」／「**3大**」選択➡Ⓕ

- サブディスプレイは、文字の大きさ、太さ、書体を変更することはできません。
- Vアプリ、E-アニメータ、SMAFファイルなど、あらかじめ各ファイルに設定されている文字の大きさ、太さ、書体を変更することはできません。
- 電子ブックの書体を変更することはできません。

- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登　商標です。

文字の編集

文字を修正する

◎でカーソルを訂正したい文字まで移動し、クリアを短く押して不要な文字を消去したあと、正しい文字を入力します。

文字のコピー／切り取りを行う

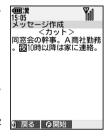
連続した文字列を、他の場所に複写・移動することができます。
- 同じ画面内にも他の画面にも複写・移動できます。（「**メニュー**」が表示されていない画面へは複写・移動できません。）

1 **文字入力画面で☑（メニュー）を押す。**

2 **「1コピー」（複写するとき）または「2カット」（移動するとき）を選び、Ⓕを押す。**

3 **◎を押し、複写・移動する文字列の最初の文字にカーソルを移動したあと、Ⓕ（開始）を押す。**
文字列の開始位置が指定されます。（「終了」が表示されます。）
■ 開始位置の再指定：クリア➡操作3を行う

4 **◎を押し、複写・移動する文字列の最後の文字にカーソルを移動したあと、Ⓕ（終了）を押す。**
- 複写・移動する文字列が記憶されます。最大全角約7500文字（半角約15000文字）まで指定できます。
- 移動する場合、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 複写・移動先の画面を表示する。

6 ☑（メニュー）を押したあと、「3ペースト」を選ぶ。

7 Ⓕ を押したあと、◎ を押し、複写・移動する位置にカーソルを移動したあと、Ⓕを押す。

記憶している文字列が挿入されます。

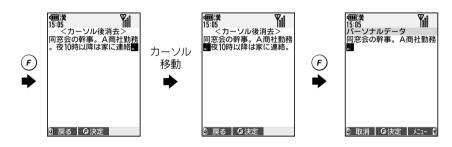
文字を消去する

◎でカーソルを消去したい文字まで移動し、クリアを押します。

- クリアを短く押すとカーソル上の１文字が消えます。
- クリアを短く押して消去した文字は、直後にⓈを連続して押すと、最大64文字まで復元することができます。（Ⓢを押して復元途中に、Ⓢ以外のボタンを押すとそれ以上復元することができません。）
- クリアを１秒以上押すとすべての文字が消えます。この場合はⓈを押しても、消去した文字は復元できません。（「**カーソル後消去**」、「**カーソル前消去**」を行った場合も、Ⓢでは復元できません。）

カーソル前後の文字をまとめて消去する

☑（**メニュー**）を押し、「**6カーソル後消去**」または「**7カーソル前消去**」を選んだあと、Ⓕを押します。カーソルを移動したあとⒻを押すと、消去されます。

例：「**6カーソル後消去**」の場合

便利な文字入力機能

変換方法を設定する

漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～3文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

●お買い上げ時には、両方の変換機能が「ON」（使用する）に設定されています。

1 文字入力画面で☑（メニュー）を押す。

2「0入力／変換設定」を選び、Ⓕを押す。

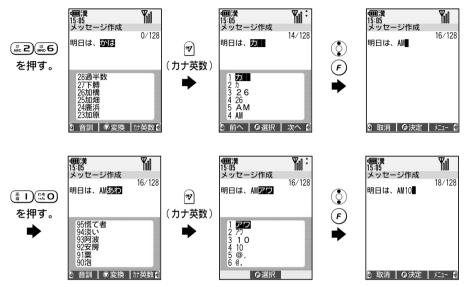
3「2近似予測」または「3連携予測」を選び、Ⓕを押す。

4「1ON」または「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
変換方法が設定され、文字入力画面に戻ります。

カナ英数字変換を利用する

カナ英数変換を使うと、漢字入力モードのまま、カタカナや英字、数字を入力することができます。文字を入力したあと☑（**カナ英数**）を押し、◎で入力したい文字を選び、Ⓕを押します。

例：「明日は、AM10時に集合です。」と入力するとき

「明日は、」と入力したあと…

このあと、「時に集合です」と入力し、文章を完成させます。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点・半だく点つきも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V				
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点・半だく点つきも同様です。）

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4　■な行…5　■は行…6　■ま行…7
■や行…8　■ら行…9　■わ･を･ん･ー（長音）･、･。･改行…0

ワンタッチ変換を利用する

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。
ワンタッチ変換を利用するときは、ひらがなを入力したあと、Ⓢを押します。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「時計」を入力するとき

通常の変換	4 4 4 4 4（と）2 2 2 2（け）1 1（い）Ⓢ（変換）
ワンタッチ変換	4（た）2（か）1（あ）Ⓢ（ワンタッチ変換）

変換用文字を入力（4 2 1）

「ちかあ」と入力しても「たかあ」と同じ変換が行えます。

ワンタッチ変換

変換候補から選択

入力したい候補を選びⒻを押すと採用されます。

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- ワンタッチ変換状態では、カーソルが緑色になります。他のワンタッチ変換の変換候補を表示するときは、Ⓢを押します。
- ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）のとき、Ⓢを押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は働きません。
- だく点・半だく点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを１回押したあと、だく点・半だく点を入力します。（例：「べんきょう」の場合「ばわかやあ」と入力）

■ 通常変換に戻す：変換候補表示中にクリア➡変換前のひらがなに戻る➡Ⓢ（通常変換）

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力した場合

5:00～10:59

11:00～16:59

17:00～22:59

23:00～4:59

- 表示される言葉は、あらかじめ登　されています。
- 表示される言葉は、5:00～10:59、11:00～16:59、17:00～22:59、23:00～4:59の時間帯で変わります。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00～16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合

変換履歴の消去

文字変換や近似予測などで、これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

1 **文字入力画面で（メニュー）を押す。**

2 **「0入力／変換設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「4学習辞書リセット」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1実行」を選び、Ⓕを押す。**

変換履歴が消去されます。

●ユーザー辞書に登　している単語は消去されません。

メモリダイヤルを利用する

文字入力中にメモリダイヤルを呼び出し、登　している電話番号やメールアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入します。

文字入力画面で（**メニュー**）を押し、（ TEL ）を押すと、メモリダイヤルを呼び出すことができます。このあと、を押して入力したい項目を選びⒻを押すと、選んだ項目の内容を記憶します。

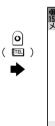
を押し、文字列を挿入する位置にカーソルを移動したあと、Ⓕを押すと、記憶されていた文字列が挿入されます。

●利用できる項目は、「名前」、「電話番号１～３」、「メールアドレス１～３」、「パーソナルデータ」です。

例：「植田ミキオ」の「電話番号１」を挿入するとき

（メニュー）

メモリダイヤル呼出

挿入位置決定後

●<ペースト>の画面で次の操作を行うと、電話番号やメールアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」をつけることができます。
（セット）➡「1TEL:」／「2mailto:」選択➡Ⓕ

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力中に（メニュー）➡➡「1オーナー情報入力」選択➡Ⓕ➡暗証番号入力➡オーナー情報表示

●以降の操作は、上記のメモリダイヤルを呼び出したあとの操作と同様です。

ユーザー辞書

よく使う単語に見出し語をつけて、最大100語まで登　できます。（同じ見出し語は５件までしか登　できません。）

登　した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、入力することができます。

ユーザー辞書に登録する

1 **Ⓕ４３の順に押す。**

2 **「1新規登録」を選び、Ⓕを押す。**

補足

●すでに100語登　されているときは、確認メッセージが表示され、操作１の画面に戻ります。
不要なユーザー辞書を消去してやり直してください。

3 **登録する単語を入力する。**

●最大全角15文字まで入力できます。

●改行や半角スペースは入力できません。

4 **Ⓕを押したあと、見出し語を入力する。**
●ひらがなで最大8文字まで入力できます。

5 **Ⓕを押す。**
ユーザー辞書が登　され、操作1の画面に戻ります。
■ 別の単語の登　：操作2～5をくり返す

●すでに同じ見出し語が5件登　されているときは、確認メッセージが表示され、操作4の画面に戻ります。

補足 ●1文字の見出し語に登　できるユーザー辞書の件数は、1文字変換の記憶と合わせて最大5件です。ユーザー辞書を登　して、登　可能な件数を超える場合、古い1文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

ユーザー辞書を修正する

1 **Ⓕ4 3の順に押す。**

2 **「❷辞書編集」を選び、Ⓕを押す。**
登　されている単語のリストが表示されます。（見出し語はあいうえお順に表示されます。）

●ユーザー辞書に単語が1件も登　されていないときは、確認メッセージが表示され、操作1の画面に戻ります。

3 **修正する単語を選び、Ⓕを押す。**

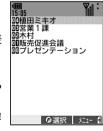
4 **単語を修正し、Ⓕを押す。**
●修正しないときは、そのままⒻを押します。

5 **見出し語を修正し、Ⓕを押す。**
●修正しないときは、そのままⒻを押します。
●単語も見出し語も修正しなかったときは、確認メッセージが表示され、操作2のあとの画面に戻ります。

6 **「❶上書登録」または「❷新規登録」を選び、Ⓕを押す。**
ユーザー辞書が登　され、操作2の画面に戻ります。
■ すでに同じ見出し語が5件登　時：確認メッセージ表示➡操作4の画面へ
■ すでに100語登　時：確認メッセージ表示➡操作6の画面へ

ユーザー辞書を消去する

1 **Ⓕ4 3の順に押す。**

2 **「❷辞書編集」を選び、Ⓕを押す。**

3 **1つずつ消去するとき**
❶消去する単語を選び、（メニュー）を押す。
❷「❷消去」を選び、Ⓕを押す。
❸「❶YES」を選び、Ⓕを押す。
消去した単語以降の番号が、繰り上がります。

全消去するとき
❶（メニュー）を押す。
❷「❸全消去」を選び、Ⓕを押す。
❸「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

ダウンロードした辞書の設定

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を使用します（2件）。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登　されている用語が変換候補に表示されるようになります。
●ダウンロードした辞書ファイルは選択画面から登　することもできます。（☞P.11-54）

1 **Ⓕ4 3の順に押す。**

2 **「❸ダウンロード辞書」を選び、Ⓕを押す。**

3 **辞書を登録する番号を選び、Ⓕを押す。**
データフォルダのetcフォルダに登　されているファイルの一覧が表示されます。

すでにダウンロード辞書が登録されている番号の選択時
●登　されている辞書の内容が表示されます。新しい辞書に変更するときは、（**メニュー**）を押し「**変更**」を選ぶとデータフォルダのetcフォルダ画面になります。

4 **登録する辞書を選び、Ⓕを押す。**
辞書が登　され、ダウンロード辞書の画面に戻ります。

辞書の使用を解除する

1 **F 4 3の順に押す。**

2 **「3ダウンロード辞書」を選び、Fを押す。**

3 **使用を解除する番号を選び、Fを押す。**
データフォルダのetcフォルダに登　されているファイルの一覧が表示されます。

4 **（メニュー）を押す。**

5 **「設定解除」を選び、Fを押す。**
辞書の使用が解除され、ダウンロード辞書の画面に戻ります。

テキストメモ

よく使う文章を登　し、メッセージの本文入力などで利用します。

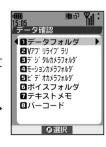
- お買い上げ時には、「**記号絵文字**」が10件登　されています。これらの記号絵文字を編集し、文章を入力し直して登　することもできます。
- 1件のテキストメモに登　できる最大文字数は、メモ形式の場合、全角約500文字（半角約1000文字）です。また、ノート形式の場合は、全角約64文字（半角約128文字）です。
- V601SHには最大20件、SDメモリカードには最大300件のテキストメモを登　できます。

テキストメモ文章を登録する

1 **Fを押したあと、「データ確認」を選び、Fを押す。**

2 **「7テキストメモ」を選び、Fを押す。**
あらかじめ登　されている記号絵文字のタイトルや、登　した文章の最初の部分が表示されます。
- テキストメモの確認：テキストメモ選択➡F
- SDメモリカード内のテキストメモの利用：（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡F（☞P.10-6）

3 **（メニュー）を押す。**

4 **「新規作成」を選び、Fを押す。**

5 **「1新規メモ」を選び、Fを押す。**

6 **登録する文章を入力し、Fを押す。**
- SDメモリカードに登　：（ ）➡<V601SHに戻す>➡（ ）

7 **「1YES」を選び、Fを押す。**
テキストメモに登　されます。
- 他のテキストメモの登　：操作3〜7をくり返す
- テキストメモの登　終了：

補足
- メモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。

メールやメモリダイヤルなどの文字入力画面から登録

1. （メニュー）を押したあと、「4テキストメモ登録」を選びFを押す。
2. テキストメモに登録する文字列の最初の文字にカーソルを移動したあと、Fを押す。
3. テキストメモに登録する文字列の最後の文字にカーソルを移動したあと、Fを押す。
4. 「1YES」を選びFを押す。
   - 「**登録中**」と表示されたあと、テキストメモに登　されます。
   - 内容によっては、すべての文章が登　できない場合があります。

補足
- 赤外線通信機能を利用して、他の機器との間で、テキストメモのやりとりができます。（☞P.13-2）

ノート形式で登録する

1 P.3-28の操作1～4を行う。

2「❷新規ノート」を選び、Ⓕを押す。

3「本文」を選び、Ⓕを押す。

4 登録する文章を入力し、Ⓕを押す。

5「カテゴリ」を選び、Ⓕを押す。

6 設定するカテゴリを選び、Ⓕを押す。

■ 作成日時・修正日時の確認:「詳細」選択➡Ⓕ(日時表示)➡<戻る>➡(クリア)

7 (完了)を押す。

■ SDメモリカードに登 :(　)➡<V601SHに戻す>➡(　)

8「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

■ 他のノートを登 :(メニュー)➡「新規作成」選択➡Ⓕ➡操作2～8をくり返す

■ テキストメモの登 終了:

補足 ●メモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。

テキストメモを修正する

1 P.3-28の操作1～2を行う。

■ SDメモリカード内のテキストメモの修正:(メニュー)➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ(☞P.10-6)

2 修正するテキストメモを選び、(メニュー)を押す。

●このあと、「データフォルダに保存」を選ぶと、テキストメモをvファイルとしてデータフォルダに保存することができます。(☞P.11-47)

●このあと、「ノート形式へ変換」を選ぶと、メモ形式のテキストメモをノート形式に変換して保存することができます。

- 赤外線通信を利用してテキストメモを送信する場合などに便利です。(メモ形式は送信できません。)
- テキストメモの内容によっては、変換時に内容が変化することがあります。
- ノート形式のテキストメモをメモ形式に変換することはできません。

3「メモ編集」を選び、Ⓕを押す。

4 メモを修正するとき

文章を修正し、Ⓕを押す。

ノートを修正するとき

❶「本文」または「カテゴリ」を選び、Ⓕを押す。

❷ 文章を修正、またはカテゴリを選び、Ⓕを押す。

補足 テキストメモの詳しい情報の確認
●「詳細」を選びⒻを押します。を押すと、元の画面に戻ります。

❸ ノートの修正が終われば、(完了)を押す。

5「❶新規登録」または「❷上書登録」を選び、Ⓕを押す。

テキストメモが登 され、テキストメモ一覧に戻ります。

補足 ●メモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。

15:05 46/1K
本日会議を行います。会議室に集合してください。
取消 決定 ﾒﾆｭｰ

テキストメモを消去する

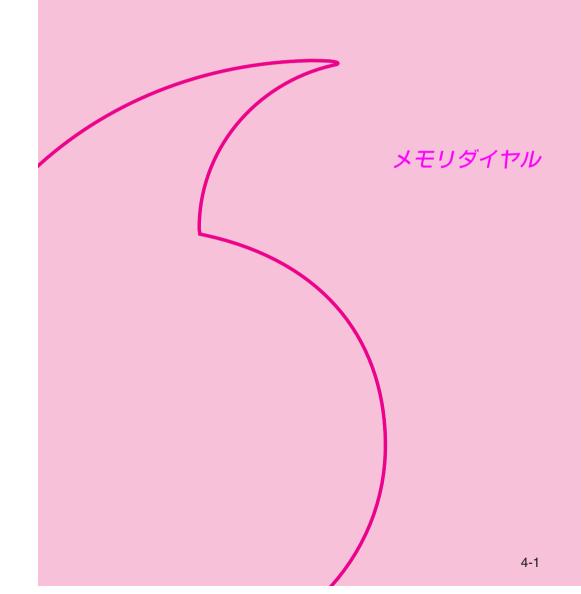
1 **P.3-28の操作１～２を行う。**

■ SDメモリカード内のテキストメモの消去：[メニューキー]（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

2 **消去するテキストメモを選び、[メニューキー]（メニュー）を押す。**

3 **「消去」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❶YES」を選び、Ⓕを押す。**

テキストメモが消去され、テキストメモ一覧に戻ります。

メモリダイヤル

メモリダイヤルの登録

メモリダイヤルに登録できる項目

項目		内容
:名前		最大全角９文字（半角18文字）まで登録できます。 漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登録できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英字数字、記号で自動的に入力されます。最大半角18文字（だく点、半だく点含む）まで登録できます。
:電話番号		メモリダイヤル１件につき、最大３件の電話番号を登録することができます。電話番号は、それぞれ最大24ケタまで登録できます。(「⋇」や「#」も入力できます。)
:Eメールアドレス		メモリダイヤル１件につき、最大３件のEメールアドレスを登録することができます。Eメールアドレスは、それぞれ最大半角60文字まで登録できます。
:グループ		メモリダイヤルを、最大10種類のグループ（グループ０〜グループ９）に分けて管理することができます。グループ名を登録／変更※したり、グループごとに着信音を設定することができます。
:パーソナルデータ		登録した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで登録することができます。
:シークレット設定		他人に見られたくないメモリダイヤルを、秘密のメモリダイヤルとして登録することができます。
:フォト設定		データフォルダの画像や、その場でモバイルカメラを起動して撮影した画像をメモリダイヤルの画面に表示することができます。オプション設定のピクチャーコール／メールを「ON」に設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登録した画像が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定することができます。
	メールコール	登録した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定することができます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登録している画像を表示するかどうかを設定します。ピクチャーコール／メールに画像を登録した場合は、自動的に「ON」に設定されます。
	メールフォルダ	送受信したメールを、自動的に設定したフォルダーに振り分けることができます。

※「グループ０（名称なし）」は、グループ名を登　／変更できません。
- V601SHのメモリダイヤルには、000〜499番の最大500件まで登　できます。
- SDメモリカードのメモリダイヤルには、0000〜9999番の最大10000件まで登　できます。

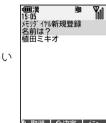
大切なデータを失わないために
- メモリダイヤルに登　した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリダイヤルに登録する

ここでは、V601SHのメモリダイヤルに新規登　する場合を例に、相手の名前とヨミ、電話番号、Eメールアドレスの登　を順に説明します。

名前を入力する

1 （文字）を押す。

2 相手の名前を入力する。
- メモリダイヤルには、名前・電話番号・E メールアドレスのいずれかを入力しないと登　できません。
- 文字の入力方法：☞P.3-4〜P.3-15

3 Ⓕを押す。
「:」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に表示されます。
- ワンタッチ変換、連携予測変換、コピー・ペーストなどで入力したとき、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。
- ヨミの変更：「:」選択➡Ⓕ➡ヨミ入力➡Ⓕ
- 登　の中止：（取消）➡「1YES」選択➡Ⓕ
- メモリダイヤルの編集：☞P.4-18

メモリダイヤル
登録確認画面

電話番号を入力する

名前を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 メモリダイヤルの入力画面で「:」を選び、Ⓕを押す。
電話番号の入力画面になります。

2 電話番号を入力し、Ⓕを押す。

●一般電話の場合は、市外局番も必ず入力してください。
●(＊)を２回押すと、「-」が表示されます。（「-」も電話番号の１ケタとしてカウントされます。）

■ 入力間違い：◎（カーソルを間違った数字に移動）➡(クリア)（数字が消去）➡正しい数字を入力
（(クリア)を１秒以上押すと、数字がすべて消えます。）

■ プッシュトーンの入力：(＊)（３回押す）
（送信方法：☞P.14-2）

3 アイコンを選び、Ⓕを押す。

■ 複数の電話番号の登　：「☎:＜未登録＞」選択➡Ⓕ➡操作２～３

Eメールアドレスを入力する

電話番号を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 メモリダイヤルの入力画面で「✉:」を選び、Ⓕを押す。

2 Eメールアドレスを入力する。

3 Ⓕを押す。

4 アイコンを選び、Ⓕを押す。

■ 複数のEメールアドレスの登　：「✉:＜未登録＞」選択➡Ⓕ➡操作２～４を行う

5 ☑（登録）を押す。

メモリ番号（１件ごとのメモリダイヤルにつけられている固有の番号）の入力画面になります。

■ SDメモリカードに登　：☞P.4-7

6 登録するメモリ番号（３ケタ：000～499）を入力する。

１件分のメモリダイヤルが登　されます。

■ オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.14-49）

■ スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～099を入力（☞P.4-17）

メモリ番号入力画面

空いているメモリ番号に自動登録するとき

■ (＊)を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登　されます。

■ 百の位、十の位の数字を押したあと(＊)を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。

■ **百の位を指定するとき（数字を１ケタ入力後➡(＊)）**
(3)(＊)と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

■ **十の位を指定するとき（数字を２ケタ入力後➡(＊)）**
(2)(1)(＊)と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

グループの設定

■ メモリダイヤルの入力画面で「👥:」選択➡Ⓕ➡グループ選択➡Ⓕ

パーソナルデータの設定

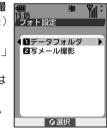
■ メモリダイヤルの入力画面で「:」選択➡Ⓕ➡パーソナルデータ入力➡Ⓕ

フォトの設定

■ メモリダイヤルの入力画面で「📷:」選択➡Ⓕ➡「2写メール撮影」選択➡Ⓕ➡画像をディスプレイに表示➡Ⓕ（撮影）➡Ⓕ（登録）

■ モバイルカメラ撮影時の詳細：☞P.5-8

■ データフォルダの画像を登　：メモリダイヤルの入力画面で「📷:」選択➡Ⓕ➡「1データフォルダ」選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ

●データフォルダから画像を選択する場合、サイズが大きな画像は選択できないことがあります。
●フォトを設定すると、メモリダイヤルにフォトが表示されます。

バーコードからの設定

■ 印刷されたバーコードを読み取り、読み取った情報をメモリダイヤルに登　することができます。

■ バーコードの読み取り：☞P.14-35

こんな表示が出たときは

指定したメモリ番号がすでに使われています。
- 「❶YES」を選びⒻを押すと、すでに登　されている内容は消去され、新しい内容に書き換えられます。
- 「❷NO」を選びⒻを押すと、もう一度メモリ番号を聞いてきます。他のメモリ番号を入力してください。空いているメモリ番号に登　するときは「**空いているメモリ番号に自動登録するとき**」（☞P.4-5）を参照してください。

「これ以上登録できません」と表示されたときは、空いているメモリ番号がありません（登録できません）。
- すでに登　してあるメモリダイヤルの中で、不要なメモリ番号に上書きしてください。または、不要なものを消去（☞P.4-19）したあと、やり直してください。

「シークレットデータが登録されています」と表示されたときは、秘密のメモリダイヤル（☞P.4-23）のメモリ番号を指定しています。
- シークレットモードにしないと書き換えできません。（☞P.4-24）

リダイヤルや着信履歴の番号を登録する

1 **メモリダイヤルに登録したいリダイヤルまたは着信履歴のデータを表示させる。（☞P.2-8、P.2-12）**

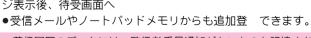
2 **Ⓕを押し、「❹メモリダイヤル登録」を選んだあと、Ⓕを押す。**

3 **新規登録するとき**

1「❶新規登録」を選び、Ⓕを押す。
2名前を入力して、Ⓕを押す。
自動的に電話番号が入力されます。このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了させてください。

追加登録するとき

1「❷追加登録」を選び、Ⓕを押す。
2追加登録したいメモリダイヤルを呼び出す。
■ 呼び出し方法：☞P.4-14～P.4-17
■ 追加登　の完了：右の画面でⒻ（決定）➡ アイコン選択➡Ⓕ➡（登録）➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ➡確認メッセージ表示後、待受画面へ

- 受信メールやノートパッドメモリからも追加登　できます。

- 着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、メモリダイヤルに登　できません。

- 赤外線通信機能を利用して、他の機器との間で、メモリダイヤルのやりとりができます。（☞P.13-2）

メモリダイヤルの登録件数を確認する

Ⓕ31の順に押します。メモリダイヤルに登　されている件数が表示されます。
- 詳しい登　状況を確認するときには、「**❶メモリダイヤル**」を選びⒻを押します。電話番号とEメールアドレスの登　数が表示されます。（最大登　数は電話番号：1500番号、Eメールアドレス：1500アドレスです。）

■ 確認終了：

メモリダイヤル登録件数

メモリカードに登録する

1 **P.4-3～P.4-4の操作を行う。**

2 **（）を押す。**
■ V601SHに登　：再度（）

3 **登録するメモリ番号（4ケタ：0000～9999）を入力する。**
SDメモリカードに登　されます。

空いているメモリ番号に自動登録するとき

■ ＊を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登　されます。
■ 千の位や百の位、十の位の数字を押したあと＊を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。
- **千の位を指定するとき（数字を1ケタ入力後➡＊）**
  3＊と押すと、3000～3999の最も小さいメモリ番号へ登　されます。
- **百の位を指定するとき（数字を2ケタ入力後➡＊）**
  21＊と押すと、メモリカードの場合は2100～2199の最も小さいメモリ番号へ登　されます。
- **十の位を指定するとき（数字を3ケタ入力後➡＊）**
  123＊と押すと、1230～1239の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

メモリダイヤル登録時のオプション設定

電話番号を入力したあと（☞P.4-3）、オプション設定を行うこともできます。オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール、メールフォルダの設定ができます。

補足
- 個別設定が行われているメモリダイヤルに対して一括設定を行うと、個別設定はすべて解除されます。また、一括設定が行われているメモリダイヤルに対して個別設定を行うと、一括設定で設定されていた内容は無視され、個別設定を行った電話番号に対してのみ、設定した内容が有効となります。

個別に着信音などを設定する（音声着信時）

登　しておくと、電話がかかってきたときの着信パターンやバイブレータ、モバイルライト／スモールライトの色や点滅のしかた、サブディスプレイの着信方法（カラーパターン、グラフィックパターン）を設定することができます。

- 1件のメモリダイヤルに複数の電話番号が登　されているときは、一括設定を行うと、すべての電話番号に対してまとめて設定できます。個別設定を行うと、それぞれの電話番号に対して個別に設定することができます。

1「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。

2「❶指定着信音」を選び、Ⓕを押す。

3 一括設定するとき

「❶一括設定」を選び、Ⓕを押す。

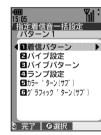
（一括設定の場合）

個別設定するとき

1「❷個別設定」を選び、Ⓕを押す。
2 設定する電話番号を選び、Ⓕを押す。
3「❶ON」を選び、Ⓕを押す。
■ 個別設定の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

指定着信音を解除するとき

「❸OFF」を選び、Ⓕを押す。
オプション設定の画面に戻ります。

4「❶着信パターン」を選び、Ⓕを押す。

（一括設定の場合）

5 内蔵パターンや効果音から選ぶとき

1「❶固定パターン」を選び、Ⓕを押す。
2 パターンや効果音を選び、Ⓕを押す。

内蔵メロディを選ぶとき

1「❷固定メロディ」を選び、Ⓕを押す。
2 メロディを選び、Ⓕを押す。

データフォルダから選ぶとき

1「❸データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。
2 メロディを選び、Ⓕを押す。

ボイスフォルダから選ぶとき

1「❹ボイスフォルダ」を選び、Ⓕを押す。
2 ボイスファイルを選び、Ⓕを押す。

注意
- データフォルダから選ぶときは、V601SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディのみ、着信パターンに設定できます。
ただし、メロディフォルダ内のご自分で作成したフォルダにあるメロディは設定できません。
- ボイスフォルダから選ぶときは、V601SHのボイスフォルダのファイルに登　されているボイスファイルのみ着信パターンに設定できます。
- SDメモリカード内のメロディは、着信パターンに設定できません。

6 他の項目を設定する場合は、設定する項目（「❷バイブ設定」～「❻グラフィックパターン（サブ）」）を選び、Ⓕを押す。

選んだ項目の設定画面になります。次の表を参考にして、必要な項目を設定してください。

項目	初期値	ページ
バイブ設定	OFF	☞P.7-5
バイブパターン	バイブ1	☞P.7-6
ランプ設定	モバイルライト、カラーパターン：マスカット、点滅パターン：パターン1	☞P.7-6
カラーパターン（サブ）	ホワイト	☞P.4-22
グラフィックパターン（サブ）	OFF	☞P.4-22

7 ⓞ（完了）を押す。

指定着信音の相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：操作7のあと電話番号選択画面表示➡ⓞ（完了）➡オプション設定画面へ

8 ⓞ（完了）を押す。

メモリダイヤル登　確認画面に戻ります。

- 指定着信音の着信パターンに設定したデータフォルダ内のメロディやボイスフォルダ内のボイスファイルを消去したり、ファイル名を変更すると、指定着信音の着信パターンは「**パターン1**」になります。
- 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、指定着信音の設定は無効となります。

個別に着信音などを設定する（メール受信時）

登　した相手からメッセージが届いたときの着信パターンなどを設定することができます。

- 1件のメモリダイヤルに複数のメールアドレス／電話番号が登　されているときは、一括設定を行うと、すべてのメールアドレス／電話番号に対してまとめて設定できます。個別設定を行うと、それぞれのメールアドレス／電話番号に対して個別に設定することができます。
- ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコールを設定しても、設定は無効となります。

1 **「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❷メールコール」を選び、Ⓕを押す。**

3 **一括設定するとき**

「❶一括設定」を選び、Ⓕを押す。

個別設定するとき

❶「❷個別設定」を選び、Ⓕを押す。

メールアドレス／電話番号の選択画面が表示されます。

❷設定するメールアドレス／電話番号を選び、Ⓕを押す。

❸「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 個別設定の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

メールコールを解除するとき

「❸OFF」を選び、Ⓕを押す。

オプション設定画面に戻ります。

4 **「❶着信パターン」を選び、Ⓕを押す。**

5 **着信パターンを選び、Ⓕを押す。**

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.4-9の操作5

6 **他の項目を設定する場合は、設定する項目（「❷バイブ設定」～「❻着信呼出時間」）を選び、Ⓕを押す。**

選んだ項目の設定画面になります。次の表を参考にして、必要な項目を設定してください。

項目	初期値	ページ
バイブ設定	OFF	☞P.7-5
バイブパターン	バイブ2	☞P.7-6
ランプ設定	スモールライト、点滅パターン：パターン1	☞P.7-6
カラーパターン（サブ）	ホワイト	☞P.4-22
着信呼出時間	10秒	☞P.4-22

7 **Ⓞ（完了）を押す。**

メールコールの相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定：操作7のあと電話番号選択画面表示➡Ⓞ（完了）➡オプション設定画面へ

8 **Ⓞ（完了）を押す。**

メモリダイヤル登　確認画面に戻ります。

- メールコールの着信パターンに設定したデータフォルダ内のメロディやボイスフォルダ内のボイスファイルを消去したり、ファイル名を変更すると、メールコールの着信パターンは「**効果音 メール**」になります。
- 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、メールコールの設定は無効となります。

着信時に指定した画像を表示する

フォト設定に画像を登　した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登　している画像がディスプレイに表示されます。

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❸ピクチャーコール／メール」を選び、Ⓕを押す。**

- フォト設定に画像を登　していない場合、「**❸ピクチャーコール／メール**」は選べません。

3 **「❶ON」を選び、Ⓕを押す。**

■ 設定の解除：「❷OFF」

4 **Ⓞ（完了）を押す。**

- フォト設定に登　したデータフォルダ内の元の画像を消去すると、ピクチャーコール／メールは解除（OFF）されます。

個別にメールフォルダを設定する

登　した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けることができます。

- 1件のメモリダイヤルに複数のメールアドレス／電話番号が登　されているときは、一括設定を行うと、すべてのメールアドレス／電話番号に対してまとめて設定できます。個別設定を行うと、それぞれのメールアドレス／電話番号に対して個別に設定することができます。
- ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールフォルダを設定しても、設定は無効となります。

1「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。

2「❹メールフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3「❶受信メール自動振分け」または「❷送信メール自動振分け」を選び、Ⓕを押す。

4
一括設定するとき

「❶一括設定」を選び、Ⓕを押す。

個別設定するとき

❶「❷個別設定」を選び、Ⓕを押す。
メールアドレス／電話番号の選択画面が表示されます。

❷設定するメールアドレス／電話番号を選び、Ⓕを押す。

❸「❶ON」を選び、Ⓕを押す。
■ 個別設定の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

メールフォルダを解除するとき

「❸OFF」を選び、Ⓕを押す。
オプション設定の画面に戻ります。操作7を行うと、メモリダイヤル登　画面に戻ります。

5 振り分けるメールフォルダを選び、Ⓕを押す。
振り分けるメールフォルダが設定され、メールフォルダ設定の画面に戻ります。
■ 個別設定：操作5のあとメールアドレス／電話番号選択画面表示➡◙（完了）➡メールフォルダの画面へ

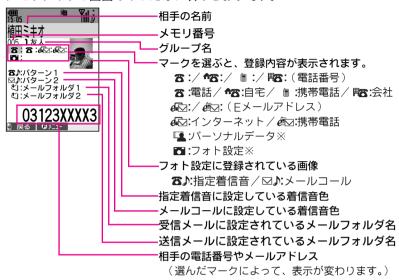
6 ◙（完了）を押す。
オプション設定の画面に戻ります。

7 ◙（完了）を押す。
メモリダイヤル登　確認画面に戻ります。

メモリダイヤルを利用して電話をかける

ディスプレイ表示

メモリダイヤル画面のみかたは、次のとおりです。

※「:」（パーソナルデータ）を選んだときは、登　内容が表示されます。また「:」（フォト設定）を選んだときは、登　されている画像が表示されます。いずれの場合も◙（戻る）を押すと、メモリダイヤルリストに戻ります。

補足
- メモリ使用禁止を設定（☞P.12-4）しているときは、メモリダイヤルは使えません。
- 秘密のメモリダイヤル（シークレットデータ）を使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.4-24）

メモリダイヤルリストに画像を表示する

メモリダイヤルのフォト設定に登　されている画像を、メモリダイヤルリストの画面に表示することができます。

1 ◎（TEL）◎（検索）の順に押す。

2 ◙（メニュー）を押す。

3「フォト付表示」を選び、Ⓕを押す。
フォト設定に登　されている画像が表示されます。
■ リスト表示の設定：フォト付表示時に◙（メニュー）➡「リスト表示」選択➡Ⓕ

メモリダイヤル検索方法を選択する

待受画面で◎（TEL）を押すと、前回利用した検索方法の画面が表示されます。他の検索方法で検索するときは、下記の操作を行い検索方法を変更してください。

1 **◎（TEL）を押す。**

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 **☑（メニュー）を押したあと、検索方法を選ぶ。**

- **メモリNo検索**
  指定したメモリ番号のメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.4-15）
- **アカサタナ検索**
  指定した「**ヨミ**」の行のメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.4-15）
- **グループ検索**
  指定したグループ内のメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.4-16）
- **読み検索**
  入力した「**ヨミ**」ではじまるメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.4-16）

SDメモリカード内のメモリダイヤルの呼び出し

■◎（**切替**）➡SDメモリカードのメモリ番号を選択➡Ⓕ➡☑（**メニュー**）➡検索方法を選択

●SDメモリカードのメモリダイヤルは、メモリ番号500件ごとに分類されています。メモリダイヤルが１件も登　されていない場合、その番号はとばして表示されます。

3 **Ⓕを押す。**

選んだ検索方法の画面が表示されます。

4 **各検索方法の操作を行い、メモリダイヤルを呼び出す。（☞P.4-15〜P.4-17）**

■ 登　されていないメモリダイヤルを呼び出し：
エラー表示➡◎（他のメモリダイヤルリスト表示）

■ 複数の電話番号やメールアドレスを登　時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やメールアドレス表示

メモリ番号を入力して呼び出す（メモリNo検索）

1 **◎（TEL）を押す。**

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**メモリNo検索**」に変更してください。（☞P.4-14）

2 **相手のメモリ番号（３ケタ：000〜499）を入力する。**

●SDメモリカードの場合は、４ケタのメモリ番号を入力します。
●入力したメモリ番号のメモリダイヤルリストが表示されます。

3 **相手を選び、Ⓕを押す。**

メモリダイヤルの内容が表示されます。

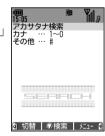
■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のメモリ番号）／◎（次のメモリ番号）

4 **☎を押す。**

登　されている電話番号がダイヤルされます。

「ヨミ」の行を指定して呼び出す（アカサタナ検索）

1 **◎（TEL）を押す。**

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**アカサタナ検索**」に変更してください。（☞P.4-14）

2 **「ヨミ」の行を指定する。**

指定した行のメモリダイヤルリストが表示されます。

★読みの行の指定方法

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

※英字、数字、記号または「**ヨミ**」の入力がされていないデータのときは、「**その他**」になります。

3 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のメモリ番号）／◎（次のメモリ番号）

4 ☎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

グループを指定して呼び出す（グループ検索）

1 ◎（TEL）を押す。

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**グループ検索**」に変更してください。（☞P.4-14）

2 グループを選ぶ。

●グループ名の登　／変更はP.4-20を参照してください。

3 Ⓕを押す。

指定したグループのメモリダイヤルリストが表示されます。

4 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のメモリ番号）／◎（次のメモリ番号）

5 ☎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

「ヨミ」を入力して呼び出す（読み検索）

1 ◎（TEL）を押す。

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**読み検索**」に変更してください。（☞P.4-14）

2 相手の方の「ヨミ」を入力する。

●半角18文字以内で入力してください。

3 Ⓕを押す。

入力した「**ヨミ**」を含んだ行のメモリダイヤルリストが表示されます。

4 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のメモリ番号）／◎（次のメモリ番号）

5 ☎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

スピードダイヤルで電話をかける

V601SHのメモリ番号000～099に登　したメモリダイヤルは、簡単な操作で発信することができます。

1 メモリ番号000～009にかけるとき

メモリダイヤルのメモリ番号の下１ケタの数字（０～９）を押す。

メモリ番号010～099にかけるとき

メモリダイヤルのメモリ番号の下２ケタの数字（10～99）を押す。

2 ☎を押す。

相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。

●登　されていない場合は確認のメッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

●複数の電話番号が登　されているときは、１番目に登　されている電話番号がダイヤルされます。

●メモリ使用禁止を設定（ON）しているときは、この機能は使用できません。（☞P.12-4）

●秘密のメモリダイヤル（シークレットデータ）を使って電話をかけるときは、この操作の前にシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.4-24）通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

メモリダイヤルの編集

メモリダイヤルを修正する

1 修正したいメモリダイヤルを呼び出す。
■ 呼び出し方法：☞P.4-14～P.4-17

2 Ⓕを押す。

3「修正」を選び、Ⓕを押す。

4 修正する項目を選び、Ⓕを押す。
選んだ項目が修正できるようになります。
●このあと、登　時と同様の操作で修正を行います。
■ 文字の修正方法：☞P.3-17

5 修正が終われば、Ⓕを押す。
メモリダイヤル登　確認画面が表示されます。
■ 操作の中止：（取消）➡「❶YES」選択➡Ⓕ

6 操作４～５をくり返し、必要な項目を修正する。
■ オプション設定の変更：「オプション設定」選択➡Ⓕ➡☞P.4-8～P.4-12

7 修正が終われば、（登録）を押す。

8 Ⓕを押す。

9「❶YES」を選び、Ⓕを押す。
変更した内容が元のメモリ番号に登　されます。
■ 別のメモリ番号で登　：「❷NO」選択➡Ⓕ➡メモリ番号入力（または）

●名前を修正した場合、「ヨミ」は自動的に修正されません。「ヨミ」も修正してください。

メモリダイヤルを消去する

1 消去したいメモリダイヤルを呼び出す。
■ 呼び出し方法：☞P.4-14～P.4-17

2 Ⓕを押す。

3「消去」を選び、Ⓕを押す。

4「❶YES」を選び、Ⓕを押す。
メモリダイヤルが消去されたあと、次のメモリダイヤルを表示します。次のメモリダイヤルがないときは、待受画面に戻ります。

●指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルを消去しても、データフォルダ内のメロディや画像は消去されません。

電話番号やメールアドレスをコピーする

メモリダイヤルに登　している電話番号やメールアドレス、パーソナルデータを文字入力画面にコピーすることができます。

1 複写する電話番号やメールアドレスが登録してあるメモリダイヤルを呼び出す。
■ 呼び出し方法：☞P.4-14～P.4-17

2 電話番号やメールアドレス、パーソナルデータを選ぶ。

3 Ⓕを押す。

4「コピー」を選び、Ⓕを押す。
選んだ電話番号やメールアドレス、パーソナルデータが記憶されます。
■ 以降の操作：P.3-18の操作５以降

グループ設定

メモリダイヤルで使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音やサブディスプレイの着信（カラーパターン／グラフィックパターン）を設定します。

グループ名を変更する

1 Ⓕ③⑦の順に押す。

2「❶グループ名変更」を選び、Ⓕを押す。

現在のグループ名が表示されます。

●「グループ０（名称なし）」はグループ名を変更できません。

3 変更するグループ名を選び、Ⓕを押す。

4 グループ名を入力する。

●グループ名は最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。

■ 文字の入力方法：☞P.3-4〜P.3-15

5 Ⓕを押す。

■ 別のグループ名の変更：操作３〜５をくり返す

6 変更を終わるときは、PWRを押す。

グループ着信音を設定する

グループ別に着信音（通常着信、メール着信）を設定することができます。

●お買い上げ時には、すべてのグループで「OFF」に設定されています。

●グループ着信音を「OFF」に設定しているときは、通常着信音の設定に従います。

1 Ⓕ③⑦の順に押す。

2「❷グループ着信」を選び、Ⓕを押す。

3 設定するグループを選び、Ⓕを押す。

●メール機能を「OFF」にしているときは、「❷メール着信」は、選択できません。

4「❶通常着信」または「❷メール着信」を選び、Ⓕを押す。

●着信設定を「OFF」に設定しているときは、「❶着信設定」以外の項目は選択できません。（選択できない項目は、グレーで表示されます。）

5「❶着信設定」を選び、Ⓕを押す。

6「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 着信設定の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

7 着信パターンを設定するとき

「❷着信パターン」を選び、Ⓕを押す。

●設定方法は、通常着信音と同様です。（☞P.7-3）

●お買い上げ時には、「パターン１」（通常着信）／「効果音メール」（メール着信）に設定されています。

バイブレータを設定するとき

「❸バイブ設定」を選び、Ⓕを押す。

●設定方法は、通常着信音と同様です。（☞P.7-3）

●お買い上げ時には、「OFF」（通常着信／メール着信とも）に設定されています。

バイブパターンを設定するとき

「❹バイブパターン」を選び、Ⓕを押す。

●設定方法は、通常着信音と同様です。（☞P.7-3）

●お買い上げ時には、「バイブ１」（通常着信）／「バイブ２」（メール着信）に設定されています。

ランプを設定するとき

「❺ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。

●設定方法は、通常着信音と同様です。（☞P.7-3）

●お買い上げ時には、通常着信、メール着信共、次の内容に設定されています。

通常着信	モバイルライト	カラーパターン	マスカット（緑色系統）
		点滅パターン	パターン１
メール着信	スモールライト	点滅パターン	パターン１

サブディスプレイのカラーパターンを設定するとき

1「6カラーパターン（サブ）」を選び、Fを押す。

●お買い上げ時には、「ホワイト」（通常着信／メール着信とも）に設定されています。

2カラーパターンを選ぶ。

サブディスプレイに表示したときのイメージ（着信カラーサンプル）が表示されます。

3Fを押す。

カラーパターンが設定されます。

サブディスプレイのグラフィックパターンを設定するとき（通常着信のみ）

1「7グラフィックパターン（サブ）」を選び、Fを押す。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

2「1ON」を選び、Fを押す。

3グラフィックパターンを選び、Oを押す。

サブディスプレイに表示したときのイメージが表示されます。

■ グラフィックパターンの変更：O（戻る）

4Fを押す。

グラフィックパターンが設定されます。

メールの着信音の鳴る時間を設定するとき（メール着信のみ）

1「7着信呼出時間」を選び、Fを押す。

着信呼出時間の入力画面になります。

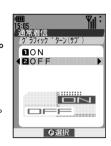
●お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

2呼出し時間（2ケタ：01〜99）を入力する。

3Fを押す。

着信呼出時間が設定されます。

8 設定を終わるときは、PWRを押す。

補足 ●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.4-8〜P.4-12）は、グループ着信の設定は無効となります。

秘密にしたい電話番号の登録

他人に知られたくないメモリダイヤルを、シークレットメモリとして登　できます。

●シークレットメモリは、操作用暗証番号を入力し、シークレットモード（☞P.4-24）に設定しないと、表示することはできません。

シークレットメモリを登録する

1 通常のメモリダイヤルと同様に、名前・読み・電話番号などを登録する。（☞P.4-3〜P.4-5）

●すでに登　しているメモリダイヤルをシークレットメモリにするときは、メモリダイヤルの修正状態にしてください。（☞P.4-18）

2「🔑:」を選び、Fを押す。

3「1ON」を選び、Fを押す。

「🔑:」の行に「ON」が表示されます。

4 ✓（登録）を押したあと、メモリ番号を入力し、メモリダイヤルの登録を終了する。（☞P.4-4、P.4-7）

シークレットメモリを通常のメモリダイヤルに戻す

■ シークレットメモリを呼び出し、修正状態にします。「🔑:」を選びFを押したあと、「2OFF」を選びFを押します。✓（登録）を押して、終了します。

注意 ●操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、メモリダイヤルを見られることも考えられます。重大な秘密などの記　用としてではなく、便利なメモリダイヤルとしてお使いになることをおすすめします。

シークレットメモリを呼び出す

シークレットモードに設定し（☞P.4-24）、通常のメモリダイヤルと同様に呼び出します。
電話をかけるときは、Ⓢを押します。

- 通常のメモリダイヤルは「🔑」が点灯し、シークレットメモリは「🔑」が点滅します。
- シークレットメモリの修正・削除なども、通常のメモリダイヤルと同様に行えます。

シークレットモードを設定する

1 Ⓕ②②の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

確認メッセージが表示されたあと、シークレットモードになります。（「🔑」点灯）

- サブディスプレイのときは、サイドキーを１秒以上押すと、「🔑」が表示されます。（サイドキー設定が「**マーク表示（待受時）**」のとき：☞P.14-5）

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面に戻る

シークレットモードを解除する

1 Ⓕ②②の順に押す。

確認メッセージが表示され、シークレットモードが解除されます。（「🔑」消灯）

- 電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードの解除

■ シークレットメモリとして登　されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきた場合、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。（シークレットモードに設定すると表示されます。）
ただし、シークレットメモリ登　する前に、メモリダイヤルを使って電話をかけたときのリダイヤルの名前や、相手からかかってきたときの着信履歴の名前は、シークレットモードの設定／解除にかかわらず表示されます。

メモリダイヤルの登録内容をコピーする

メモリカードを利用してデータ転送を行う

V601SHのメモリダイヤルに登　したデータを、SDメモリカードに１件ずつコピーします。

- SDメモリカードに移動することもできます。

■ SDメモリカードへの一括転送：☞P.10-14

1 コピーしたいメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.4-15〜P.4-17）

2 Ⓕ（メニュー）を押す。

3 「登録先変更（コピー）」を選び、Ⓕを押す。

4 ◎（SD）を押す。

このあとメモリ番号（４ケタ）を入力すると、指定したメモリダイヤルがコピーされます。

赤外線を利用してデータ転送を行う

赤外線通信機能を利用して、V601SHのメモリダイヤルを１件ずつ送受信します。

■ 赤外線通信を利用した全件送信：☞P.13-6

メモリダイヤルを１件ずつ送信する

1 メモリダイヤルリストを表示する。

●メモリダイヤル画面からでも操作できます。

メモリダイヤル

2 ☑（メニュー）を押す。

3 「赤外線１件送信」を選び、Ⓕを押す。

自動的にオフラインモードになり、タイトルの入力画面になります。

●このあと、タイトルを変更することもできます。ただしタイトルを変更しても、元のデータの登　名は変更されません。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、エラーメッセージが表示され、元の機能の画面に戻ります。

4 タイトルを修正して、Ⓕを押す。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

送信が開始されます。

●送信が完了すると、確認メッセージが表示され、メモリダイヤルリストのメニュー画面に戻ります。

メモリダイヤルを１件ずつ受信する

赤外線通信を利用した１件受信は、赤外線通信画面から行います。

1 待受中にⒻ◎（オススメ）の順に押したあと、「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。

赤外線通信の画面になります。

2 「❷赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。

操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25

認証パスワード（P.13-9）の入力画面が表示された場合

●初めて赤外線受信を行うときなどには、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（４ケタ）を入力すると、受信が開始されます。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV601SHに設定されます。

4 受信が終われば、確認画面が表示される。

5 受信したデータを保存するとき

「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

データが登　され、赤外線通信の画面に戻ります。

受信したデータを保存しないとき

1「❷NO」を選び、Ⓕを押す。

確認メッセージが表示されます。

2「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

赤外線通信の画面に戻ります。

プロフィールの登録

V601SHにオーナー情報として名前、ヨミ、電話番号、Eメールアドレス、郵便番号、パーソナルデータ、フォト設定を登　します。

- V601SHの電話番号は変更できません。
- オーナー情報を利用してバーコードを作成することもできます。（☞P.14-37）

1 Ⓕ0の順に押す。

2 ✉（詳細）を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、Ⓕを押す。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面に戻る

4「修正」を選び、Ⓕを押す。

5 ◎で編集したい項目を選び、Ⓕを押す。
- 以降の操作：☞P.4-18

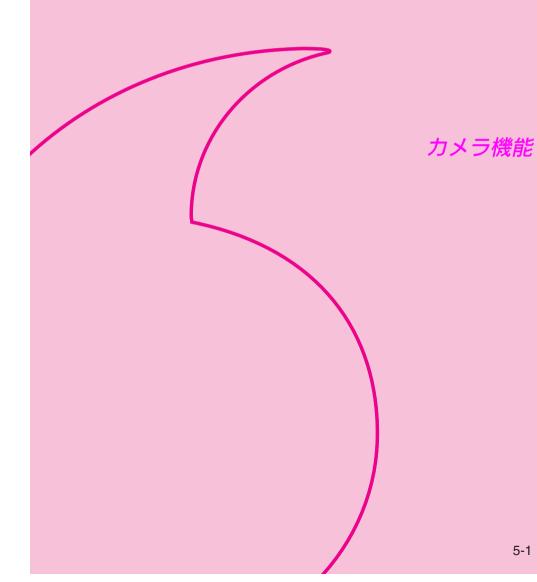
オーナー情報の消去

■ 操作3のあと「消去」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

オーナー情報の複写

■ 操作3のあと◎（項目選択）➡Ⓕ➡「コピー」選択➡Ⓕ➡P.3-18 の操作5以降

4 メモリダイヤル

カメラ機能

カメラをご利用になる前に

カメラ利用時のご注意

■モバイルカメラについて

●V601SHには、静止画が撮影できる「**写メールモード**」／「**デジタルカメラモード**」(☞P.5-6）と、動画が撮影できる「**ムービー写メールモード**」／「**モーションカメラ（MPEG）モード**」／「**ビデオカメラモード**」(☞P.5-17）があります。

●また、バーコードが読み取れる「**バーコード読み取り**」(☞P.14-30）や、文字が読み取れる「**文字読み取り**」(☞P.14-41）もあります。

■ファイル形式について

●撮影した静止画は、「**JPEGファイル**」(.jpg）で保存されます。

●撮影した動画は、「**Nancyファイル**」(.noa：ムービー写メールモードのみ）または「**MPEG-4ファイル**」(.3gp/.ASF）で保存されます。

■手ぶれにご注意ください。

●撮影するときにV601SHが動くと、画像がぶれる原因となります。V601SHが動かないようしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマー（☞P.5-24）で撮影してください。

撮影前にレンズカバーをきれいにしておいてください。

■ レンズカバーに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなります。撮影前に、やわらかい布でふいてください。

CCDカメラを使用しています。

■ カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。

■ V601SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、登　したときは、画質が劣化することがあります。

■ カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

注意

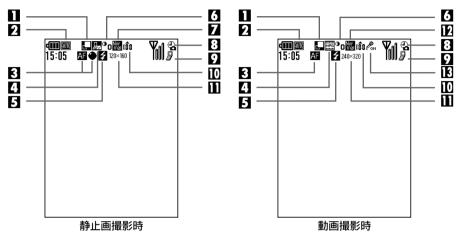
●V601SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示されモバイルカメラを起動することはできません。また、モバイルカメラ使用中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、モバイルカメラが自動的に終了します。

ディスプレイ表示

モバイルカメラでは、ディスプレイの上部に次のようなマークが表示されます。

●連写モード時のマークについては、☞P.5-14～P.5-15を参照してください。

ディスプレイ

静止画撮影時　　動画撮影時

1 画像表示サイズ表示（写メールモード／ムービー写メールモード／モーションカメラ（MPEG）モード）

：等倍／：2倍

2 シーン別撮影表示

：オートモード／：夜景モード／：スポーツモード／：文字モード

3 フォーカス表示／フォーカスロック表示

AF：標準／MF：マニュアル／：接写／：人物／：風景

●（赤）：ピントの自動調整中／●（緑）：フォーカスロック状態

4 モード表示

：写メールモード／：デジタルカメラモード／

：ムービー写メールモード（Nancyモード）／

：ムービー写メールモード（MPEGモード）／

：モーションカメラ（MPEG）モード／：ビデオカメラモード

5 モバイルライト表示

：通常撮影用ON／：オート撮影用ON／：接写撮影用ON

6 明るさ表示

-2　-1　0　+1　+2

暗い ← 普通 → 明るい

7 画質設定表示（写メールモード／デジタルカメラモード）

Normal：ノーマル／Fine：ファイン／HQ：ハイクオリティ（デジタルカメラモードのみ）

8 セルフタイマー表示

：セルフタイマーON

9 登録先表示

：本体（V601SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

10 登録可能件数表示（写メールモード／デジタルカメラモード／ムービー写メールモード）

各モードでの撮影（登　）可能件数が表示されます。

●100件以上撮影（登　）可能なときは、「」が表示されます。

●5件以下になると、背景が赤く表示されます。

11 撮影サイズ表示

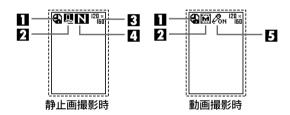
64×96：64×96ドット／120×128：120×128ドット／120×160：120×160ドット／
240×320：240×320ドット（写メールモード）
480×640：480×640ドット／768×1024：768×1024ドット／960×1280：960×1280ドット／
1224×1632：1224×1632ドット（デジタルカメラモード）
80×60：80×60ドット／128×96：128×96ドット（ムービー写メールモード）
128×96：128×96ドット／176×144：176×144ドット（モーションカメラ（MPEG）モード）
240×320：240×320ドット（ビデオカメラモード）

12 画質設定表示（モーションカメラ（MPEG）モード）／録画設定表示（ビデオカメラモード）

Normal：ノーマル／Fine：ファイン（画質設定表示）
15：動き優先／10：画質優先（　画設定表示）

13 マイク表示

ON：ON／OFF：OFF（ムービー写メールモード／ビデオカメラモード）
ON：ON（ノーマル）／ON：ON（ファイン）／OFF：OFF
（モーションカメラ（MPEG）モード）

サブディスプレイ

静止画撮影時　　動画撮影時

1 セルフタイマー表示

2 モード表示

：写メールモード／：デジタルカメラモード／
：ムービー写メールモード（Nancyモード）／
：ムービー写メールモード（MPEGモード）／
：モーションカメラ（MPEG）モード／：ビデオカメラモード

3 撮影サイズ表示

4 画質設定表示

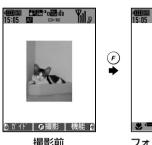
N：ノーマル／F：ファイン／HQ：ハイクオリティ（デジタルカメラモードのみ）

5 マイク表示

ON：ON／OFF：OFF（ムービー写メールモード／ビデオカメラモード）
ON：ON（ノーマル）／ON：ON（ファイン）／OFF：OFF
（モーションカメラ（MPEG）モード）

オートフォーカス

モバイルカメラには自動的に被写体との距離を検知し焦点（ピント）を合わせる、「**オートフォーカス（AF）**」が搭載されています。

撮影操作を行う（Ⓕを押す）と、ディスプレイ上部に「●」（赤）、下部にフォーカスバーが表示され、ピントの自動調整を行ったあと、画像が撮影されます。

撮影前　　フォーカスバー表示（距離検知中は自動的に移動）　　ピント合致後撮影（フォーカスバー消去）

●動画、静止画共に、被写体によってオートフォーカスの状態を設定したり、マニュアル（自分でピントを合わせて）撮影することもできます。（☞P.5-28）

フォーカスロック

■ あらかじめピントを合わせた状態（フォーカスロック）で構図を変えて撮影できます。
モバイルカメラ起動➡撮影したい画像をディスプレイに表示➡➡ピントの自動調整開始

- ディスプレイ上部に「●」（赤色）、下部にフォーカスバーが表示されたあと、ピントの自動調整が行われます。
- ピントが合えば、ディスプレイ上部に「●」（緑色）が表示され、「**ピピ**」と鳴り、フォーカスロックされます。
- 被写体との距離やまわりの明るさなどによっては、フォーカスロックができない場合もあります。

■ フォーカスロックをやり直すとき
フォーカスロック状態➡➡フォーカスロック解除➡➡ピントの自動調整開始

■ フォーカスロック後状態での撮影

- フォーカスロック状態➡Ⓕ（撮影）またはサイドキー
- フォーカスロック状態で撮影すると、ピントの自動調整の動作なしに、すぐに撮影されます。
- 動画撮影の場合、撮影開始後を押すたびに、フォーカスロックをやり直すことができます。

オートフォーカスモードの切替

■ 被写体やまわりの状況に応じて、オートフォーカスモード（AFモード）を「**接写**」、「**人物**」、「**風景**」に切り替えたり、手動でピントを合わせて撮影（マニュアル撮影）することもできます。（☞P.5-28）

ガイド機能

モバイルカメラの撮影画面で◎（ガイド）を押すと、そのモードで利用できるボタン操作が表示されます。

- 1画面で表示できないときは、◎を押すと隠れている項目を確認することができます。
- ◎（戻る）を押すと、撮影画面に戻ります。

静止画の撮影

静止画撮影モード

- モードの選択方法については、P.5-8を参照してください。

写メールモード
メール添付や壁紙登　が可能
連写、装飾なども可能
V601SHのディスプレイやサブディスプレイなどに合ったサイズで撮影可能

こんなときに → メール添付や壁紙登録など、V601SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1632×縦1224ドットの大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由でパソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V601SHでプリントアウトの指定が可能

こんなときに → パソコンで加工・印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

補足
- V601SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）日本電子工業振興協会（JEIDA）で主として、デジタルスチルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントしたい画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記　媒体に記するためのフォーマットです。

外部出力

■ V601SHの写メールモード、デジタルカメラモードで撮影した静止画を、付属のビデオ出力ケーブルを利用してテレビやビデオなどの他の機器で見ることができます。（☞P.11-55）

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	デジタルカメラモード
サイズ	横240　縦320ドット 横120　縦160ドット 横120　縦128ドット 横64　縦96ドット	横1632　縦1224ドット※1 横1280　縦960ドット※1 横1024　縦768ドット※1 横640　縦480ドット※1
登録先	V601SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）	V601SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン	ノーマル／ファイン／　イクオリティ
ズーム	横240　縦320ドット：1～10倍 横120　縦160ドット：1～20倍 横120　縦128ドット：1～20倍 横64　縦96ドット：1～34倍	横1632　縦1224ドット：なし 横1280　縦960ドット：なし 横1024　縦768ドット：1～1.6倍 横640　縦480ドット：1～2.5倍
スーパーメール添付	可能	可能※2
ファイル形式	JPEG形式（.jpg）	
登録可能数（目安）	1220ファイル※3	153ファイル※4

※1　デジタルカメラモードで撮影した場合、実際のサイズの静止画に加えて横120×縦160ドットの小さな静止画も同時に保存されます。この小さな静止画を「**サムネイル**」と言います。
※2　サムネイルまたは横240×縦320ドットの縮小画像が添付できます。また、データフォルダに登　した画像も添付できます。
※3　画像サイズ「**横120　縦160ドット**」、画質「**ノーマル**」の静止画を、お買い上げ時の状態で撮影し、V601SHのデータフォルダに登　したときの画像数です。
※4　画像サイズ「**横640　縦480ドット**」、画質「**ノーマル**」の静止画を、お買い上げ時の状態で撮影し、V601SHのデータフォルダに登　したときの画像数です。

補足
- V601SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.5-23を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード	撮影（登　）日時のファイル名がつきます。（例：2003年06月16日午後12時34分に撮影した場合、「**03-06-16_12-34.jpg**」） 登　先に同じ名前のファイルがあるときは、登　したファイル名に自動的に「**~XX**」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）がつきます。
デジタルカメラモード	「**V6010001.JPG**」、「**V6010002.JPG**」…の順に、ファイル名がつきます。

- 写メールモードのファイル名は、変更することができます。（☞P.11-13）

静止画を撮影する

1 Ⓕを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。

2 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、Ⓕを押す。

● モバイルカメラで、約5分間何も操作しないでおくと、バックライトが消灯します。

3 撮影したい画像をディスプレイに表示する。

■ 画像表示サイズの変更（写メールモード）：スケジュール/メモ（「等倍」→「2倍」→「全画面」→「等倍」切替）
　■撮影サイズ設定「240　320」:「等倍」⇔「全画面」
■ 撮影サイズの変更：0（押すたびに切替）
■ ズームの利用：◎（ズームアップ：画像が拡大）／◎（ズームダウン：画像が縮小）／8（等倍）／9（最大ズーム※）
※写メールモードの場合、9を押したあと、◎を押すと、さらに2倍に拡大され、最大ズームになります。
　■利用できる倍率：☞P.5-7
　■サブディスプレイに表示を切り替えると、等倍に戻ります。
■ マニュアル撮影時：☞P.5-28
■ フォーカスロック撮影：☞P.5-5

モバイルカメラの別の起動方法とモードの切り替え

■ 待受画面で◎を1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時には、写メールモード）
■ モバイルカメラの各モードで次のボタンを押すと、モードを切り替えることができます。

キー	モード	キー	モード
1	写メールモード	5	ビデオカメラモード
2	デジタルカメラモード	6	バーコード読み取り（☞P.14-30）
3	ムービー写メールモード	7	文字読み取り（☞P.14-41）
4	モーションカメラ（MPEG）モード		

■ 待受画面でサイドキーを1秒以上押して、各モード（ビデオカメラモード／バーコード読み取り／文字読み取りを除く）を直接起動することもできます。（☞P.14-5）

補足

● デジタルカメラモードで撮影した静止画は、パソコンのディスプレイのように横長の静止画になり、パソコンで確認したときや付属のビデオ出力ケーブルを利用してテレビやビデオに表示したとき（☞P.11-55）、右に90度回転した静止画となります。デジタルカメラモードで撮影するときは、V601SHを右の図のように横向きに持って撮影することをおすすめします。

4 Ⓕ（撮影）またはサイドキーを押す。

ピントの自動調整（☞P.5-5）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
●スモールライトが緑色で確認点灯します。
●モバイルライトを利用したときは、モバイルライト設定の内容でモバイルライトが点灯します。
●サブディスプレイ表示で撮影したときは、撮影後サブディスプレイの表示は消えて、ディスプレイに撮影した静止画が表示されます。
■ 撮影のやり直し：クリア➡「1YES」➡Ⓕ

注意

●カメラに指や髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
●シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更することはできません。

補足

●V601SHを閉じた状態でも、撮影することができます。（☞P.5-26）
●シャッター音のパターンを変更することもできます。（☞P.5-30）
●撮影後自動的に静止画を登　するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.5-31）
この場合、操作5は必要ありません。

5 撮影した静止画を登録するときは、Ⓕ（登録）を押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。P.5-8の操作3の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

6 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

待受画面に戻ります。

補足

登録していない画像があるとき
終了の確認メッセージが表示されます。
●「1YES」を選びⒻを押すと、撮影した画像を登　しないで、モバイルカメラを終了し待受画面に戻ります。
●「2NO」を選びⒻを押すと、モバイルカメラに戻ります。

撮影後の状態での着信時

■ 撮影画像は保護されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。Ⓕを押すと、登　することができます。

撮影した静止画をメモリダイヤルに登録する（写メールモード）

P.5-9の操作４のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2「メモリダイヤル登録」を選び、Ⓕを押す。

3 新規登録するとき

❶「❶新規登録」を選び、Ⓕを押す。

❷名前を入力して、Ⓕを押す。

自動的に静止画が登　されます。このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了してください。

追加登録

❶「❷追加登録」を選び、Ⓕを押す。

❷追加登録したいメモリダイヤルを呼び出す。

- 呼び出し方法：☞P.4-14〜P.4-17
- このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了してください。

静止画に文字やマーカースタンプを貼り付ける（写メールモード）

P.5-9の操作４のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2「❼テキスト貼付／マーカースタンプ」を選び、Ⓕを押す。

- 以降の操作：P.11-31「画像にマーカーを入力する」の操作２以降

サムネイルだけを登録する（デジタルカメラモード）

P.5-9の操作４のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2「❶サムネイル登録」を選び、Ⓕを押す。

登　中の確認メッセージが表示され、サムネイルがデータフォルダ（ピクチャー）に登　されます。P.5-8の操作３の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

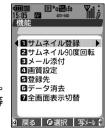
サムネイルを回転する（デジタルカメラモード）

P.5-9の操作４のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2「❷サムネイル90度回転」を選び、Ⓕを押す。

時計回りで90度回転したサムネイルが表示されます。

- さらに回転するときは、Ⓥ（回転）を押します。
- 回転したサムネイルを登　するときは、Ⓕ（登録）を押します。
- 表示しているサムネイルの表示サイズ：（スケジュール/メモ）（「２倍」⇔「等倍」切替）

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓋ（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

AFモード切替	オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.5-28）
表示サイズ切替※1	画像の表示サイズを設定します。（☞P.5-29）
タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.5-24）
モバイルライト設定	モバイルライトのカラーと点灯時間を設定します。（☞P.5-27）
連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.5-15）
フレーム設定※2	画像にフレームを設定します。（☞P.5-12）
撮影サイズ設定	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.5-32）
シーン別撮影	シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.5-33）
シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.5-30）
画質設定	画質を設定します。（☞P.5-33）
登録先	静止画の登　先（V601SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.5-30）
データ消去	V601SHまたはSDメモリカード内のデータを消去します。（☞P.5-23）
全画面表示切替	ディスプレイ全面に静止画を表示します。（☞P.5-29）
自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.5-31）
オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.5-31）

※1　写メールモード（撮影サイズ設定が「240　320」は除く）で利用できます。
※2　写メールモードで利用できます。

撮影直後（画像登録前）

静止画の撮影直後（画像登　前）に ✉（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード

表示サイズ切替	画像の表示サイズを設定します。（☞P.5-29）
画質設定	画質を設定します。（☞P.5-33）
画像加工	撮影した静止画を加工します。（☞P.11-31～P.11-36）
登録先	静止画の登　先（V601SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.5-30）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.5-48）
メモリダイヤル登録	撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。（☞P.5-10）
テキスト貼付/マーカースタンプ	静止画に文字やマーカースタンプを付けます。（☞P.5-10）
データ消去	V601SHまたはSDメモリカード内のデータを消去します。（☞P.5-23）
全画面表示切替	ディスプレイ全面に静止画を表示します。（☞P.5-29）

●連写モードのときは、表示される内容が異なります。

■デジタルカメラモード

サムネイル登録	サムネイルだけを登　します。（☞P.5-10）
サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.5-11）
メール添付	サムネイルまたは縮小した画像をメールに添付します。（☞P.5-50）
画質設定	画質を設定します。（☞P.5-33）
登録先	静止画の登　先（V601SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.5-30）
データ消去	V601SHまたはSDメモリカード内のデータを消去します。（☞P.5-23）
全画面表示切替	ディスプレイ全面に静止画を表示します。（☞P.5-29）

フレームを付けて撮影する

写メールモードで利用可能

フレームを設定すると、フレームの付いた静止画を撮影することができます。

- ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）を利用することもできます。
- 連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。
- モバイルカメラを終了すると、フレームは「OFF」（解除）に設定されます。
- 登　済みの静止画にフレームを付けることもできます。（☞P.11-34）

1 **写メールモード（☞P.5-8）で、✉（機能）を押す。**

●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2 **「6フレーム設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **あらかじめ登録されているフレームを利用するとき**

1「1固定フレーム」を選び、Ⓕを押す。

2 利用するフレームを選び、Ⓕを押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：◎（前へ）／✉（次へ）

3 Ⓕを押す。

フレームが設定され、写メールモードに戻ります。

●撮影サイズ設定が「64　96」のときは、固定フレームを付けて撮影できません。また、固定フレームを付けているときに、撮影サイズ設定を「64　96」に設定した場合、フレームを解除します。

オリジナルフレームを利用するとき

1「2オリジナル」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダの画面が表示されます。

●利用できない画像のファイル名は、グレーで表示されています。

2 利用する画像を選び、Ⓕを押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：◎（戻る）➡画像選択➡Ⓕ

3 Ⓕを押す。

フレームが設定され、写メールモードに戻ります。

●撮影サイズ設定が「240　320」のときは、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択した場合、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除するとき

「3OFF」を選び、Ⓕを押す。

フレームが解除（OFF）され、写メールモードに戻ります。

静止画を連続して撮影する

写メールモード、デジタルカメラモードで利用可能

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影することができます。
連写モードには、次の種類があります。

分割画像
（４枚連写の場合）

４枚連写	４枚の静止画を連続して撮影し、４枚の静止画と分割画像を作成します。
９枚連写	９枚の静止画を連続して撮影し、９枚の静止画と分割画像を作成します。
25枚高速連写	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。
ブラケット連写	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて９枚の静止画を撮影し、９枚の静止画と分割画像を作成します。
オーバーラップ連写	連続して５枚の静止画を撮影し、５枚の静止画と合成画像を作成します。

- 撮影サイズが「240　320」の場合は、25枚高速連写は利用できません。
- デジタルカメラモードでは、撮影サイズが「480　640」で４枚連写のみ利用できます。
- 連写モードでは、１枚目のシャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
- ４枚または９枚連写の場合、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定することもできます。また、ご自分で４回または９回シャッターを押す、「**マニュアル**」に設定することもできます。
- 連写画像から１枚の静止画を選択して登　したり（☞P.11-42）、スーパーメールに添付して送信する（☞P.5-48）こともできます。また、指定した静止画を簡単アニメにすることもできます。（☞P.11-17）

連写モード用のマーク

- 通常のモバイルカメラモードのマークについては、P.5-3～P.5-4を参照してください。

1 枚数表示
- ～ ：右下の数字は、連写枚数を示します。また、左上の数字は撮影済みまたは表示中の枚数を示します。
- ：分割画像を確認中に表示されます。

2 連写モード表示
- ：４枚連写ON／：９枚連写ON／：25枚高速連写ON
- ：ブラケット連写ON／：オーバーラップ連写ON

3 連写スピード表示
- ：速い／：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル

連写モードを設定する

写メールモードの場合

1 **写メールモードまたはデジタルカメラモード（☞P.5-8）で、（機能）を押す。**
- 撮影直後（登　前）は、操作できません。

2 **「連写設定」を選び、Ⓕを押す**

3 **利用するモードを選び、Ⓕを押す。**
連写モードが設定され、元のモードに戻ります。
（連写モードマーク点灯：☞P.5-14）
- 連写モードの解除：「3OFF」選択➡Ⓕ
- 25枚連写の場合：設定完了

4 **４枚連写／９枚連写の場合**

連写スピード（「1速い」～「5遅い」）または「6マニュアル」を選び、Ⓕを押す。
連写モードが設定され、元のモードに戻ります。

ブラケット連写／オーバーラップ連写の場合

連写スピード（「1高速」または「2通常」）を選び、Ⓕを押す。
連写モードが設定され、元のモードに戻ります。

注意
- 連写スピードを「**速い**」（「**高速**」）「**普通**」（「**通常**」）にしているときに、暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- 連写スピードを「**速い**」（「**高速**」）にして連写撮影すると、撮影と撮影確認音が同期しないことがあります。

連写モードで撮影する

あらかじめ、連写モードを設定しておいてください。（☞P.5-15）

1 撮影したい画像をディスプレイに表示させ、Ⓕまたはサイドキーを押す。

１枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が順次撮影されます。

- 連写の中止：☑（停止）➡＜途中まで撮影した枚数分の連写画像の登　＞➡Ⓕ
- 連写の中止（マニュアル時）：◎（取消）➡「❶YES」選択➡Ⓕ➡途中まで撮影した画像は消去

補足 手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）

- １枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押します。

2 連写が終了すると、分割画像または合成画像が表示される。

デジタルカメラモードの場合、分割画像や合成画像は表示されません。

- 連写画像内の静止画の確認：◎
- 連写画像内の静止画の登　：◎（画像選択：分割画像も可能）➡☑（機能）➡「❶表示画像登録」選択➡Ⓕ
- 連写画像内の静止画のメール送信：◎➡☑（機能）➡「❸表示画像添付」選択➡Ⓕ（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

４枚連写の場合

3 撮影した連写画像を登録するときは、Ⓕ（登録）を押す。

写メールモードの場合、分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登　されます。
デジタルカメラモードの場合は、１枚ずつ個別に登　されます。

- 連写画像を登　したあとも、連写モードのままで元のモードに戻ります。
- 写メールモードでの登　場所：データフォルダ内の連写フォルダ
- デジタルカメラモードでの登　場所：デジタルカメラフォルダ

動画の撮影

動画撮影モード

- モードの選択方法については、☞P.5-19を参照してください。

ムービー写メールモード
最大横128×縦96ドットで、
５秒間または10秒間の動画が撮影可能
Nancy形式、MPEG-4形式に対応
メール添付も可能

ムービー写メール用の画像やちょっとした記録用として、手軽に動画を撮影するとき

モーションカメラ（MPEG）モード
１回の撮影で、最長30分の
動画撮影が可能
メール添付用の切り出しや
簡単な編集が可能

簡易ビデオカメラとして、長めの動画を撮影するとき

ビデオカメラモード
横320×縦240ドットの大画面で
動画が撮影可能
簡単な編集が可能

より高品位な動画を撮影するとき

外部出力

■ V601SHのビデオカメラモードで撮影した動画を、付属のビデオ出力ケーブルを利用してテレビやビデオなどの他の機器で見ることができます。（☞P.11-55）

- ムービー写メールモードやモーションカメラ（MPEG）モードで撮影した動画は、外部出力できません。

- 動画の撮影／保存／再生には、Nancy Technologyが使われています。

Nancy Nancy OFFICE NOA INC. は、株式会社オフィスノアの商標です。

- 動画撮影での音声技術には「AMR」が使われています。

The AMR applications incorporates patented material owned by Ericsson and Nokia.

- 動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、また明るい状態で撮影されることをおすすめします。
- モーションカメラ（MPEG）モードやビデオカメラモードは、電池レ　ル表示が「」のときは撮影できません。また、撮影中に電池レ　ルが「」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、撮影が中止されます。

動画撮影モードの機能比較

	ムービー写メールモード		モーションカメラ（MPEG）モード	ビデオカメラモード
	Nancyモード	MPEGモード		
サイズ	横80×縦60ドット	横128×縦96ドット 横80×縦60ドット	横176×縦144ドット 横128×縦96ドット	横320×縦240ドット
登録先	V601SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）※1		V601SHまたはSDメモリカードのモーションカメラフォルダ	V601SHまたはSDメモリカードのビデオカメラフォルダ
録画時間	最大５秒	最大10秒（横80×縦60ドットの場合） 最大５秒（横128×縦96ドットの場合）	V601SHまたはSDメモリカードの容量により変動	
ズーム	1～15倍	1～9.5倍（横128×縦96ドットの場合） 1～15倍（横80×縦60ドットの場合）	1～6.9倍（横176×縦144ドットの場合） 1～9.5倍（横128×縦96ドットの場合）	1～2.5倍（　画設定：動き優先） 1～5倍（　画設定：画質優先）
スーパーメール添付	可能		切り出した部分のみ可能	—
ファイル形式	Nancy形式（.noa）	MPEG-4形式（.3gp）		MPEG-4形式（.ASF）
登録可能数（目安）	380ファイル※2	180ファイル※3	16分※4	90秒※4

※1　登　時にフォルダを選択できます。

※2　マイク設定「**マイクON**」、　画時間最大５秒の動画を、お買い上げ時の状態で撮影し、V601SHのデータフォルダに登　したときの動画数です。

※3　撮影サイズ「**横80　縦60ドット**」、マイク設定「**マイクON**」、　画時間最大10秒の動画を、お買い上げ時の状態で撮影し、V601SHのデータフォルダに登　したときの動画数です。

※4　モーションカメラ（MPEG）モードの場合、撮影サイズ「**横128　縦96ドット**」、マイク設定「**マイクON（ノーマル）**」、画質設定「**ノーマル**」で撮影し、またビデオカメラモードの場合、「**横320　縦240ドット**」、マイク設定「**マイクON**」、　画設定「**動き優先**」（この　画設定により、　画時間は変わりません）で撮影し、V601SHのフォルダに登　したときの　画時間です。１回あたりの最大撮影時間は次のとおりです。

	V601SHに登録	SDメモリカードに登録
モーションカメラ（MPEG）モード	約３分45秒	最大30分
ビデオカメラモード	約30秒	容量により変動

- V601SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる動画数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、**P.5-23**を参照してください。
- 撮影する画像によって、撮影時間は変わります。あくまで目安としてご利用ください。

動画のファイル名

ムービー写メールモード	撮影（登　）日時のファイル名がつきます。（例：2003年12月16日午後12時34分に撮影した場合、「**03-12-16_12-34**」＋「**.noa**」（Nancyモード）または「**.3gp**」（MPEGモード））
モーションカメラ（MPEG）モード	撮影（登　）日時のファイル名がつきます。（例：2003年12月16日午後12時34分に撮影した場合、「**03-12-16_12-34.3gp**」）
ビデオカメラモード	「**MOL001.ASF**」、「**MOL002.ASF**」…の順に、ファイル名がつきます。

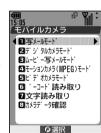
- 登　先に同じ名前のファイルがあるときは、登　したファイル名に自動的に「**~XX**」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）がつきます。（ビデオカメラモードを除く）
- ムービー写メールモード、モーションカメラ(MPEG）モードのファイル名は変更することができます。（☞P.11-13）

動画を撮影する

1 **Ⓕを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「3ムービー写メールモード」、「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**

- モバイルカメラで、約５分間何も操作しないでおくと、バックライトが消灯します。

■「3ムービー写メールモード」選択時：「1Nancyモード」／「2MPEGモード」選択➡Ⓕ

■「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」選択時：　画中の着信確認表示➡「1YES」／「2NO」選択➡Ⓕ

モバイルカメラの別の起動方法とモードの切り替え

■ 待受画面で◎を１秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時には、写メールモード）

■ モバイルカメラの各モードで次のボタンを押すと、モードを切り替えることができます。

1	写メールモード	5	ビデオカメラモード
2	デジタルカメラモード	6	バーコード読み取り（☞P.14-30）
3	ムービー写メールモード	7	文字読み取り（☞P.14-41）
4	モーションカメラ（MPEG）モード		

■ 待受画面でサイドキーを１秒以上押して、各モード（ビデオカメラモード／バーコード読み取り／文字読み取りを除く）を直接起動することもできます。（☞P.14-5）

3 撮影したい画像をディスプレイに表示する。

■ 画像表示サイズの変更：(スケジュール/メモ)(「等倍」⇔「拡大」切替)
- ●モードや撮影サイズ設定によっては、画像の一部が切れます。

■ ズームの利用：(ズームアップ：画像が拡大)／(ズームダウン：画像が縮小)／8(等倍)／9(最大ズーム)

■ 利用できる倍率：☞P.5-18
- ●サブディスプレイに表示を切り替えると、等倍に戻ります。

ムービー写メールモード

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影可能残り時間について
- ●「-000」のときは、１分未満であることを示しています。
- ●モーションカメラ（MPEG）モードでは、「-030」より多い場合でも、１回あたりの撮影可能時間は、最大30分です。（SDメモリカードに登　時）
  1回の撮影で30分が経過すると自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。
- ●撮影する画像によっては、表示される撮影可能残り時間まで撮影できない場合や撮影可能残り時間より長く撮影できる場合があります。あくまで目安としてご利用ください。

撮影時間
撮影可能残り時間（分）
モーションカメラ（MPEG）モード

4 (F)（撮影）またはサイドキーを押す。

ピントの自動調整（☞P.5-5）を行ったあと、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかる場合もあります。）
- ●撮影中はスモールライトが橙色で確認点灯します。
- ●モバイルライトを利用したときは、モバイルライト設定の内容でモバイルライトが点灯します。
- ●マイク設定を「**マイク ON**」に設定している場合、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に　音してください。
- ●動画の撮影中に(サイドキー)を押すと、再度ピント調整を行うことができます。

- ●撮影開始音や撮影終了音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、音量を変更することはできません。
- ●撮影中に着信があった場合は、動画は保護されません。

撮影前にメモリが不足しているとき
- ●空き容量不足の確認メッセージが表示され、P.5-20の操作３の画面に戻ります。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影中にメモリが一杯になると
- ●自動的に撮影が終了し、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。

5 ムービー写メールモードの場合

1 撮影を終了するときは、(F)またはサイドキーを押す。

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。
- ●撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 撮影した動画の再生：「**2画像確認**」選択➡(F)

■ 撮影した動画の消去：「**3取消**」選択➡(F)➡「**1**YES」選択➡(F)

2 動画を登録するときは、「1登録」を選び(F)を押す。

撮影した動画が登　されます。P.5-20の操作３の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

メモリが一杯のとき
- ●P.5-23の操作で他の画像を消去したあと、登　することができます。
- ●SDメモリカードを取り付けている場合、撮影後の画面で「**4登録先**」を選び(F)を押すと、登　先を変更することができます。詳しくは、P.5-30を参照してください。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの場合

1 撮影を停止するときは。(F)（停止）を押す。

撮影終了音が鳴り、完了確認画面が表示されます。
- ●(PWR)を押しても、完了確認画面が表示されます。

■ SDメモリカード登　設定時：撮影終了音➡動画登　➡確認画面表示➡(F)（操作完了）

2「1完了」を選び、(F)を押す。

撮影した動画が登　されます。P.5-20の操作３の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

■ 撮影した画像の消去（登　先がV601SHの場合）：「**2取消**」選択➡(F)➡「**1**YES」選択➡(F)

6 モバイルカメラを終了するときは、(PWR)を押す。

待受画面に戻ります。

登録していない画像があるとき

モバイルカメラ終了の確認メッセージが表示されます。
- ●「**1**YES」を選び(F)を押すと、撮影した画像を登　しないで、モバイルカメラを終了し待受画面に戻ります。
- ●「**2**NO」を選び(F)を押すと、モバイルカメラに戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に（メニュー）（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

機能	説明
AFモード切替	オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.5-28）
表示サイズ切替※1	画像の表示サイズを設定します。（☞P.5-29）
タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.5-24）
モバイルライト設定	モバイルライトのカラーや点灯時間を設定します。（☞P.5-27）
撮影サイズ設定※1	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.5-32）
マイク設定	音声　音を設定します。（☞P.5-34）
画質設定※2	画質を設定します。（☞P.5-33）
録画設定※3	画方法（動き優先／画質優先）を設定します。（☞P.5-34）
登録先	動画の登　先（V601SH／SDメモリカード）を指定します。（☞P.5-30）
データ消去	V601SHまたはSDメモリカード内のデータを消去します。（☞P.5-23）
オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.5-31）
全画面表示切替 ※3	ディスプレイ全画面に静止画を表示します。（☞P.5-29）

※1　ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードでのみ利用できます。
※2　モーションカメラ（MPEG）モードでのみ利用できます。
※3　ビデオカメラモードでのみ使用できます。

撮影直後（登録前）に利用できる機能

ムービー写メールモードでの動画の撮影直後（登　前）には、メニューが自動的に表示され次の機能が利用できます。

機能	説明
登録	撮影した動画を登　します。（☞P.5-21）
画像確認	撮影した動画を再生します。（☞P.5-21）
取消	撮影をやり直します。（☞P.5-21）
登録先	静止画の登　先（V601SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.5-30）
メール添付	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.5-51）
テロップ編集※	動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示できます。（☞P.5-45）

※　MPEGモードでのみ使用できます。

メモリ使用状況の確認

撮影した静止画や動画は、V601SHまたはSDメモリカードに登　されます。V601SHまたはSDメモリカードのメモリの使用状況は、次の操作で確認することができます。

1 （F）（3）（1）の順に押す。

■ SDメモリカード使用状況の確認：（メニュー）（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡（F）

2「3ファイルBOX」を選び、（F）を押す。

各メモリの使用状況（％）が表示されます。

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後に登　しようとすると、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、（PWR）を押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画を登　することができます。

1 （メニュー）（機能）を押したあと、「データ消去」を選び、（F）を押す。

2 消去するデータの種類を選び、（F）を押す。

■ SDメモリカード内の画像を選択：（メニュー）（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡（F）

3 消去する画像を選び、（F）を押す。

4「1YES」を選び、（F）を押す。

画像が消去されます。

便利なカメラ機能①～撮影方法

セルフタイマーを利用する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

撮影前にタイマー設定しておくと、セルフタイマーで撮影することができます。

●タイマー設定はセルフタイマー動作後に、自動的に解除されます。

●写メールモードの場合、連写モードと組み合わせて利用することもできます。（１回目のシャッターとして働きます。）
ただし、連写スピード設定（☞P.5-15）を「**マニュアル**」に設定している場合は、利用できません。

セルフタイマーを設定する

1 利用可能なモードで、Ⓜ（機能）を押す。
●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2「タイマー設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1タイマー ON」を選び、Ⓕを押す。
タイマーが設定され（「⏲」点灯）、各モードに戻ります。

セルフタイマーを解除するとき

●セルフタイマー設定中（「⏲」点灯中）に、上記の操作を行います。ただし、操作３では「**1タイマー OFF**」を選び、Ⓕを押します。（「⏲」点灯中）

セルフタイマーが動作するまでの時間を設定する

シャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押したあと、タイマーが動作するまでの時間を、「**2秒**」、「**5秒**」、「**10秒**」のいずれかに設定することができます。

●お買い上げ時には「**10秒**」に設定されています。

●ここで設定した内容は、モバイルカメラを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 利用可能なモードで、Ⓜ（機能）を押す。
●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2「タイマー設定」を選び、Ⓕを押す。

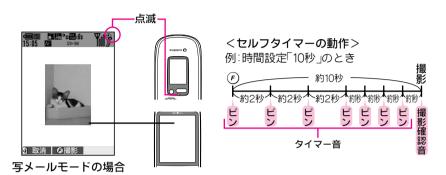
3「2時間設定」を選び、Ⓕを押す。

4 設定する時間を選び、Ⓕを押す。
タイマーの時間が設定され、タイマー設定の画面に戻ります。◎を２回押すと、元のモードに戻ります。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマー設定中（「⏲」点灯中）にⒻ（**撮影**）を押すと、セルフタイマーが動作します。

●セルフタイマー動作中は、スモールライトが点滅し、タイマー音が鳴ったあと、設定している タイマー時間後（お買い上げ時には約10秒後）に撮影（ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモードの場合は撮影開始）され、撮影確認音が鳴ります。（タイマーは解除されます。）

写メールモードの場合

セルフタイマーで撮影した静止画や動画を登　する際は、撮影後、以下の操作を行います。

モード	撮影後の操作
写メールモード デジタルカメラモード	Ⓕ（登録）
ムービー写メールモード	「1登録」選択➡Ⓕ
モーションカメラ（MPEG）モード ビデオカメラモード	Ⓕ（停止）➡（登録先がV601SHの場合）「1完了」選択➡Ⓕ

●セルフタイマー動作中に撮影を中止するときは、Ⓢ（**取消**）またはクリアを押します。このとき、タイマーは設定されたままです。

●セルフタイマー動作中にⒻまたはサイドキーを押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

●セルフタイマー動作中に着信やアラーム動作があったり、電源を押したりすると、撮影は中止されます。このとき、タイマーは解除されます。

●セルフタイマー動作中は、次のことは行えません。
明るさの調整、サブディスプレイへの表示切り替え、モバイルライトの点灯／モード変更

サブディスプレイを利用して撮影する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

各モード撮影画面で(ボタン)を押すと、サブディスプレイに画像が表示されます。（ディスプレイの画像は消えます。）
もう一度(ボタン)を押すと、サブディスプレイの画像は消え、ディスプレイに表示されます。

- ディスプレイに表示されていた画像とは左右逆に表示されます。
- サブディスプレイに表示される画像は、ディスプレイに表示される画像に比べて画質は劣ります。
- サブディスプレイに表示しているときに、画像の明るさの調整やモバイルライトの点灯、モバイルライトのモード切り替えができます。

- サブディスプレイON／OFF（☞P.6-8）を「OFF」に設定しているときは、サブディスプレイの表示に切り替えることはできません。

V601SHを閉じて撮影する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	

V601SHを閉じるとサブディスプレイに画像が表示されます。このあと、サイドキーを押すと撮影できます。
（サブディスプレイON／OFF（☞P.6-8）を「OFF」に設定してるときは、モバイルカメラは終了し、待受画面に戻ります。）

- 撮影後、サブディスプレイに右の画面が表示されます。サイドキーを短く押すと、撮影した画像を登　することができます。（メモリが一杯のときは空き容量不足の確認メッセージが表示されます。V601SHを開き、消去などの操作を行ってください。☞P.5-23）

画像を登録しますか？
YES/短押し
NO /長押し

- 撮影をやり直すときは、右上の画面でサイドキーを長く押します。右の画面が表示されますので、サイドキーを短く押します。

モバイルライトを利用する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

各モード撮影画面で、夜間および室内などでの撮影にモバイルライトが利用できます。
(ボタン)を押すたびに、「ON（通常撮影用）」（「(アイコン)」点灯）→「ON（オート撮影用）」（「(アイコン)」点灯）→「ON（接写撮影用）」（「(アイコン)」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。

通常撮影用	設定するとモバイルライトが点灯します。撮影時には、さらに強い光で発光します。（動画の場合は同じ光量のままです。）
オート撮影用	周囲の明るさによって、モバイルライトが自動的に点灯します。撮影時には、さらに強い光で発光します。
接写撮影用	設定するとモバイルライトが点灯します。撮影時も、同じ光量のままです。

- オート撮影用は写メールモード、デジタルカメラモードでのみ利用できます。

- モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。
- 電池レ　ル表示が「(アイコン)」のとき、連写モードで連写スピード設定が「高速」または「速い」に設定されていたり、25枚高速連写でモバイルライトを利用すると、撮影時に強い光では発光しません。（同じ光量のままです。）

モバイルライトの点灯方法を設定する

モバイルライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定します。

- お買い上げ時には、継続点灯時間は「１分」、点灯カラーは「ライチフルーツ（白色系統）」に設定されています。

1 利用可能なモードで、(ボタン)（機能）を押す。

- 撮影直後（登　前）は、操作できません。

2 「モバイルライト設定」を選び、Ⓕを押す。

3 継続点灯時間を設定するとき

1 「1継続点灯時間」を選び、Ⓕを押す。
2 設定する点灯時間を選び、Ⓕを押す。
継続点灯時間が設定され、操作２の画面に戻ります。

点灯カラーを設定するとき

1 「2点灯カラー」を選び、Ⓕを押す。
2 設定するカラーを選ぶ。
現在選ばれているカラーのモバイルライトが点灯します。
3 Ⓕを押す。
点灯カラーが設定され、操作２の画面に戻ります。

- モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減することができます。

オートフォーカスの状態やマニュアル撮影を設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

被写体に合わせてオートフォーカスの状態を設定したり、ご自分でピントを合わせるマニュアル撮影が利用できます。

(文字)を押すたびに、「**標準**」→「**マニュアル**」→「**接写**」→「**人物**」→「**風景**」の順に切り替わります。

標準	自動的に被写体との距離を感知し、ピントを合わせます。お買い上げ時の設定です。
マニュアル	ご自分でピントを合わせて撮影することができます。（☞P.5-28）
接写	近い距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせることができます。
人物	少し離れた距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせることができます。
風景	遠い距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせることができます。

機能メニューでの設定

1 利用可能なモードで、(機能)（機能）を押す。
2「AF モード切替」を選び、(F) を押す。
3 オートフォーカスの状態やマニュアル撮影を選び、(F) を押す。
- ここでの設定にかかわらず、各モードの撮影画面で (文字) を押すと設定を切り替えることができます。

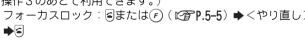
マニュアルで撮影する

ご自分でピントを合わせて撮影します。
- あらかじめ「**AFモード切替**」を「**マニュアル**」に設定しておいてください。

ピント調整バー

1 撮影したい画像をディスプレイに表示する。

2 (◎)を押し、ピントを調整する。
- ピントが合えば、ピント調整バーの背景が青くなります。青が最も濃くなる位置に合わせてください。
- この時点ではズームは利用できません。（操作3のあとで利用できます。）

■ フォーカスロック：(◎)または(F)（☞P.5-5）➡<やり直し>➡(◎)

3 (F)を押す。
■ 以降の操作：☞P.5-9操作4以降／☞P.5-20 操作4以降

ズームを利用する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

各モードの撮影画面で(◎)を押すとズームアップ（画像が拡大）、(◎)を押すとズームダウン（画像が縮小）します。
- ズームの倍率は、モードによって異なります。P.5-7、P.5-18を参照してください。
- 次のモード（撮影サイズ）のときは、ズームは利用できません。
  - ■デジタルカメラモードの撮影サイズ「960　1280」、「1224　1632」

画像の表示サイズを設定する

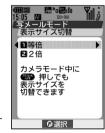
写メールモード	○	デジタルカメラモード	※	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	※

※ (スケジュール/メモ)で全画面表示に切り替えることができます。

- お買い上げ時には、写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードは「**等倍**」に、ムービー写メールモードは「**拡大**」に設定されています。
- ここでの設定にかかわらず、(スケジュール/メモ) を押すと「**等倍**」→「**2倍**」または「**拡大**」→「**全画面**」（写メールモードのみ）→「**等倍**」…の順に切り替えることができます。（☞P.5-8、P.5-20）
- 写メールモードの撮影サイズ設定が「240　320」の場合は、表示サイズを変えることはできません。
- モバイルカメラを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 利用可能なモードで、(機能)（機能）を押す。
- 撮影直後（登　前）は、操作できないモードもあります。

2「表示サイズ切替」を選び、(F)を押す。

3「1等倍」または「2 2倍」を選び、(F)を押す。
表示サイズが設定され、元のモードに戻ります。
■ ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードの場合：「1等倍」／「2拡大」選択➡(F)

全画面表示の設定
（写メールモード／デジタルカメラモード／ビデオカメラモード）

1 利用可能なモードで、(機能)（機能）を押す。
2「全画面表示切替」を選び、(F) を押す。

撮影時のシャッター音を設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	
ムービー写メールモード（MPEG）		モーションカメラ（MPEG）モード		ビデオカメラモード	

撮影時に鳴るシャッター音を設定します。
●お買い上げ時には、「**パターン1**」に設定されています。
●シャッター音の音量を変更することはできません。

1 利用可能なモードで、✉（機能）を押す。
●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2 「シャッター音設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定するシャッター音を選ぶ。
■ シャッター音の再生：⊙（再生）➡＜停止＞➡⊙（停止）

4 Ⓕを押す。
シャッター音が設定され、元のモードに戻ります。

●写メールモードの「**連写モード**」で撮影する場合は、この設定とは関係なく専用のシャッター音が鳴ります。

静止画や動画の登録先を設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

静止画や動画の登　先を、「**本体**」（V601SH）または「**メモリカード**」のいずれかに設定します。
●お買い上げ時には、「**本体**」（V601SH）に設定されています。

1 利用可能なモードで、✉（機能）を押す。

2 「登録先」を選び、Ⓕを押す。

3 「1 本体」または「2 メモリカード」を選び、Ⓕを押す。
登　先が設定され、元のモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

自動保存を設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	
ムービー写メールモード（MPEG）		モーションカメラ（MPEG）モード		ビデオカメラモード	

撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 利用可能なモードで、✉（機能）を押す。

2 「自動保存設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1 ON」または「2 OFF」を選び、Ⓕを押す。
自動保存が設定され、元のモードに戻ります。

カメラ設定を初期化する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

モバイルカメラを終了したときに、各設定をリセットするかどうかを設定します。
●お買い上げ時には、「OFF」（リセットしない）に設定されています。

1 利用可能なモードで、✉（機能）を押す。

2 「オートリセット設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1 ON」または「2 OFF」を選び、Ⓕを押す。
オートリセットが設定され、元のモードに戻ります。

便利なカメラ機能②～画像設定

画像の明るさを調整する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード(Nancy)	○
ムービー写メールモード(MPEG)	○	モーションカメラ(MPEG)モード	○	ビデオカメラモード	○

を押し、調整します。(5段階)
●モバイルカメラを終了すると、「0」に戻ります。

暗い ← 普通 → 明るい

静止画や動画の撮影サイズを設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード(Nancy)	
ムービー写メールモード(MPEG)	○	モーションカメラ(MPEG)モード	○	ビデオカメラモード	

●設定できるサイズについては、P.5-7、P.5-18を参照してください。
●ムービー写メールモード(Nancyモード)およびビデオカメラモードでは、撮影サイズは設定できません。
●お買い上げ時には、写メールモードは「120　160」、デジタルカメラモードは「480　640」、ムービー写メールモード(MPEGモード)は「80　60」、モーションカメラ(MPEG)モードは「128　96」に設定されています。

1 利用可能なモードで（機能）を押す。
●撮影直後(登　前)は、操作できません。

2「撮影サイズ設定」を選び、Ⓕを押す。

3 撮影サイズを選び、Ⓕを押す。
撮影サイズが設定され、元のモードに戻ります。
(設定した内容に応じたマークが点灯します。)

撮影環境を設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード(Nancy)	
ムービー写メールモード(MPEG)		モーションカメラ(MPEG)モード		ビデオカメラモード	

撮影環境を、次のいずれかに設定します。

オートモード	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景モード	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
スポーツモード	スポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
文字モード	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体を撮影する場合に適した設定です。

●お買い上げ時には、「**オートモード**」に設定されています。

1 利用可能なモードで、（機能）を押す。
●撮影直後(登　前)は、操作できません。

2「シーン別撮影」を選び、Ⓕを押す。

3「1オートモード」、「2夜景モード」、「3スポーツモード」、「4文字モード」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
撮影環境が設定され、元のモードに戻ります。

静止画や動画の画質を設定する

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード(Nancy)	
ムービー写メールモード(MPEG)		モーションカメラ(MPEG)モード	○	ビデオカメラモード	

画質を「**ノーマル**」、「**ファイン**」、「　**イクオリティ**」(デジタルカメラモードのみ)のいずれかに設定します。
●「**ノーマル**」→「**ファイン**」→「　**イクオリティ**」の順に画像はきれいになります。
ただし、ファイル容量が大きくなるため、登　可能画像数や　画可能時間は減ります。
●お買い上げ時には、「**ノーマル**」(写メールモードの撮影サイズ設定が「240　320」の場合のみ、「**ファイン**」)に設定されています。
●モーションカメラ(MPEG)モードの場合、撮影中または撮影直後(登　前)は、操作できません。

1 利用可能なモードで、（機能）を押す。

2「画質設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する画質を選び、Ⓕを押す。
画質が設定され、元のモードに戻ります。(設定した内容に応じたマークが点灯します。)

動画の録画方法（動き優先／画質優先）を設定する

写メールモード		デジタルカメラモード		ムービー写メールモード（Nancy）	
ムービー写メールモード（MPEG）		モーションカメラ（MPEG）モード		ビデオカメラモード	○

動画の　画方法を「**動き優先**」、「**画質優先**」のいずれかに設定します。

- 「**動き優先**」に設定すると、「**画質優先**」に比べ動きはなめらかになりますが、画質は落ちます。
- お買い上げ時には、「**動き優先**」に設定されています。

1 **利用可能なモードで、（機能）を押す。**

2 **「5録画設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1動き優先」または「2画質優先」を選び、Ⓕを押す。**
画方法が設定され、元のモードに戻ります。

動画の音声録音を設定する

写メールモード		デジタルカメラモード		ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

動画の撮影時に、音声も一緒に　音するかどうかを設定します。

- 「**マイクON**」と「**マイクOFF**」では、画質が若干異なります。
- モーションカメラ（MPEG）モードでは、音声の品質（「**ノーマル**」または「**ファイン**」）を設定することもできます。「**ファイン**」に設定するとファイル容量が大きくなるため、登　できる　画時間は減ります。
- お買い上げ時には、ムービー写メールモードとビデオカメラモードは「**マイクON**」、モーションカメラ（MPEG）モードは「**マイクON（ノーマル）**」に設定されています。

1 **利用可能なモードで、（機能）を押す。**

2 **「マイク設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **ムービー写メールモード／ビデオカメラモードの場合**

「1マイクON」または「2マイクOFF」を選び、Ⓕを押す。
マイクが設定され、元のモードに戻ります。
（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

「1マイクON（ノーマル）」、「2マイクON（ファイン）」、「3マイクOFF」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
マイクが設定され、元のモードに戻ります。
（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

静止画のプリントを指定する（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V601SHのデジタルカメラモードで撮影したSDメモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

- ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
- DPOFは、SDメモリカードのデジタルカメラフォルダに保存されてる静止画に対してのみ設定できます。
- 操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してやり直してください。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の操作説明書をご覧ください。

プリントする静止画と枚数を指定する

1 **待受中にⒻを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「4プリント指定（DPOF）」を選び、Ⓕを押す。**

3 **プリントを指定するフォルダを選び、Ⓕを押す。**
選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（プリント指定画面）

4 **でプリントしたい静止画を選び、（枚数）を押す。**

5 **プリント枚数（01～99）を入力し、Ⓕ（決定）を押す。**
- 最大99枚まで指定できます。
- SDメモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.5-36）

■ 指定の解除：「00」入力➡Ⓕ

6 **（完了）を押す。**
プリントが指定されます。

7 **操作3～6をくり返し、プリントする静止画と枚数を指定する。**

8 **プリント指定が終われば、（完了）を押す。**

すべての静止画に同じプリント枚数を指定する

SDメモリカードのデジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定します。

1 **待受中にⒻを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❹プリント指定（DPOF）」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「DCIM」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❶枚数一括指定」を選び、Ⓕを押す。**

指定した枚数をすべて解除するとき（枚数一括解除）
- 「❷枚数一括解除」を選び、Ⓕを押します。確認画面が表示されますので、「❶実行」を選び、Ⓕを押します。

5 **プリント枚数（01～99）を入力し、Ⓕを押す。**

プリントが指定されます。
- 最大99枚まで指定できます。

日付を付けてプリントする

- お買い上げ時には、「OFF」（日付なし）に設定されています。

1 **待受中にⒻを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❹プリント指定（DPOF）」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「DCIM」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❸日付付加指定」を選び、Ⓕを押す。**

5 **「❶ON」を選び、Ⓕを押す。**

日付の有無が設定されます。

■ 日付なし：「❷OFF」を選択➡Ⓕ

インデックスプリントを指定する

指定した静止画の画像一覧を並べた、インデックスプリントが必要かどうかを設定します。
- お買い上げ時には、「OFF」（インデックスプリント不要）に設定されています。

1 **待受中にⒻを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❹プリント指定（DPOF）」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「DCIM」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❹インデックスプリント指定」を選び、Ⓕを押す。**

5 **「❶ON」を選び、Ⓕを押す。**

インデックスプリントの有無が指定されます。

■ インデックスプリントなし：「❷OFF」選択➡Ⓕ

プリントの指定状況を確認する

1 **待受中にⒻを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❹プリント指定（DPOF）」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「DCIM」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❺指定状況確認」を選び、Ⓕを押す。**

プリント画像数、総印刷枚数などが表示されます。
- ⓞ（戻る）を押すと、プリント指定画面に戻ります。

- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は、V601SHで変更できません。
- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）がある場合、V601SHでプリント指定を行うと、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多い場合、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコン等でSDメモリカード内の画像を削除したり名前の変更を行うと、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞P.5-36）を行ってからプリント指定し直してください。

撮影した画像の確認

静止画の確認

撮影（登　）した静止画の確認は待受画面から行います。
●データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.11-5）
●テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。（☞P.11-55）

1 待受中にⒻを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。

2「8カメラデータ確認」を選び、Ⓕを押す。

3「1写メールデータ」または「2デジタルカメラデータ」を選び、Ⓕを押す。

静止画の画像一覧が表示されます。
■「2デジタルカメラデータ」選択時：フォルダ表示 ➡フォルダ選択➡Ⓕ➡画像一覧表示
■ SDメモリカード内の画像の確認：Ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ

写メールデータ

写メールモードで撮影した連写画像の確認

1 ⒻⓉ8Ⓙ5の順に押したあと、「連写」を選びⒻを押す。
●V601SHのデータフォルダの連写フォルダ内の画像一覧が表示されます。
●SDメモリカード内の連写画像を確認するときは、このあとⓂ（メニュー）を押し、「メモリーカードへ切替」を選び、Ⓕを押します。

2 連写画像（「▦」マーク付き）を選び、Ⓕを押す。
●分割画像が表示されます。
●このあとⓄを押すと、１枚目の静止画から順に表示されます。Ⓞを押すと、逆の順に表示されます。

■ デジタルカメラモードで撮影した連写画像は、通常に撮影した画像と同様、デジタルカメラフォルダで確認することができます。

4 確認する静止画を選び、Ⓕを押す。
●静止画が表示されます。
■ 別の静止画の確認：Ⓒ（クリア）➡操作4をくり返す

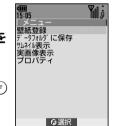
●静止画表示中にⓂ（メニュー）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。以降の操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。詳しくは、P.11-28～P.11-40を参照してください。

デジタルカメラデータの場合
●ディスプレイのサイズに合わせて縮小されたサイズで、表示されます。原寸で表示することもできます。（☞P.5-39）
●Ⓞを押すと、上下左右にスクロールします。
●Ⓕ（回転）を押すと、右に90度ずつ静止画が回転します。

サムネイルまたは原寸で表示する（デジタルカメラデータ）

1 静止画表示中に、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「サムネイル表示」または「実画像表示」を選び、Ⓕを押す。

サムネイルまたは実画像（原寸画像）が表示されます。
■ 元の画像サイズに戻す：Ⓜ（メニュー）➡「通常表示」選択➡Ⓕ

静止画を壁紙やデータフォルダに登録する（デジタルカメラデータ）

デジタルカメラモードで撮影した静止画は、壁紙として登　したり、データフォルダに登　することができます。データフォルダに登　した静止画は、写メールモードで撮影した静止画と同様にメール添付やサブディスプレイの壁紙などに利用できます。

1 静止画表示中に、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「壁紙登録」または「データフォルダに保存」を選び、Ⓕを押す。

■「壁紙登録」選択時：Ⓕ（決定）
■「データフォルダに保存」選択時：フォルダ選択➡Ⓕ（登録）

●静止画を壁紙やデータフォルダに登　したときは、画質が変わる場合があります。
●通常表示状態からデータフォルダに保存したときは、ディスプレイサイズに縮小された画像が登　されます。
●サムネイル表示状態からデータフォルダに保存したときは、横120×縦160ドットの画像（サムネイル）が登　されます。
●実画像表示状態からデータフォルダに保存したときは、ディスプレイに表示されている画像（横240×縦320ドット）部分が登　されます。

動画の確認

撮影（登　）した動画の確認は待受画面から行います。

● データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.11-5）

1 待受中に、Ⓕを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。

2 「8カメラデータ確認」を選び、Ⓕを押す。

ムービー写メールデータ

3 「3 ムービー写メールデータ」、「4 モーションカメラ（MPEG）データ」、「5ビデオカメラデータ」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

動画の画像一覧が表示されます。

■「5ビデオカメラデータ」選択時：フォルダ表示➡フォルダ選択➡Ⓕ➡画像一覧表示

■ SDメモリカード内の動画の確認：操作３のあと（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡Ⓕ

4 確認する動画を選び、Ⓕを押す。

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。

● SDメモリカード内のビデオカメラデータの場合、前回再生した続きから再生が開始されます。本体のビデオカメラデータは、先頭から再生されます。

■ 表示サイズの変更（モーションカメラ（MPEG）データ）：再生中にⒻ（**停止**）➡（**編集**）➡「**7表示サイズ切替**」選択➡Ⓕ➡「**1等倍**」／「**2拡大**」選択➡Ⓕ

■ 全画面表示（ビデオカメラデータ）：再生中に（スケジュール/メモ）

■ 動画を回転（ビデオカメラデータ）：（**メニュー**）➡「**回転表示**」選択➡Ⓕ➡角度または回転なし選択➡Ⓕ

■ 外部機器で見る（ビデオカメラデータ：AVケーブル接続時）：（**メニュー**）➡「**映像の外部出力**」選択➡Ⓕ➡「**1ON**」選択➡Ⓕ

■ 先頭から再生（ビデオカメラデータ）：（**メニュー**）➡「**先頭から再生**」選択➡Ⓕ

■ 別の動画の確認：（**戻る／停止**）➡操作４をくり返す

●V601SHで再生できるモーションカメラデータは、「**MPEG-4形式**」だけです。J-SH52で撮影したモーションカメラデータ（Nancy形式）は再生できません。

再生中にできること

早送りする※1	を押します。早送り中にⒻ（**停止**）を押すと、一時停止状態になります。
早戻しする※1	を押します。早戻し中にⒻ（**停止**）を押すと、一時停止状態になります。
停止する	Ⓕ（**停止**）を押します。一時停止状態になります。
音量を変える	（**音量大**）または（**音量小**）を押します。（ボイス設定「ON」時） 音量は「０」～「５」の６段階で調整することができます。 モバイルカメラを終了すると、サウンド再生音量の設定値に戻ります。 （☞P.7-8）
表示サイズを変える※2	（スケジュール/メモ）を押すたびに、「**等倍**」→「**拡大**」→「**等倍**」…が切り替わります。 （表示サイズを「**拡大**」にすると、表示画像の一部が切れることがあります。）

※1　モーションカメラ（MPEG）データ／ビデオカメラデータのみ利用できます。

※2　ムービー写メールデータ／モーションカメラデータのみ利用できます。

撮影した動画の編集

次の編集が行えます。

切り出し※1	指定したコマから切り出し可能秒数までを別の動画として切り出します。 スーパーメール送信用の動画作成に便利です。切り出した動画は、新しい動画として保存されます。（ムービー写メールモードのMPEG-４ファイル）
静止画キャプチャー※1	動画の１場面を静止画として保存します。
2点間切り出し※2	指定した２点間の動画を切り出します。
前部分消去※2	指定したコマより前の部分を消去して、残った部分を新しい動画として保存します。
後部分消去※2	指定したコマより後の部分を消去して、残った部分を新しい動画として保存します。
全消去※2	再生中の動画を消去します。
テロップ編集※3	画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示します。

※1　モーションカメラ（MPEG）モードでのみ利用できます。

※2　モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモードでのみ利用できます。

※3　ムービー写メールモード（MPEGモード）でのみ利用できます。

● 動画のデータ内容やSDメモリカードの空き容量が不足しているときなどは、編集できない場合があります。

● V601SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用されているときは、編集した動画が正しく再生されない場合があります。

動画を切り出す

- 切り出し後の画像サイズを設定したり、切り出しモード（縮小／切り抜き）を設定することもできます。
- 切り出し設定の「❷画像サイズ設定」（☞P.5-43）で「80　60」を選んでいるときは最長10秒まで、「128　96」を選んでいるときは最長5秒まで切り出しできます。
- マイク設定を「マイクON（ファイン）」に設定して撮影した動画を切り出すと、「マイクOFF」で切り出されます。

1 再生中に、切り出したいコマの付近でⒻ（停止）を押す。
一時停止状態になります。

2 ☑（編集）を押す。

3 「❶切り出し」を選び、Ⓕを押す。

4 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

5 ◎を押し、切り出したい最初のコマを表示する。
■ 切り出しの中止：⊙（戻る）

6 Ⓕ（切出）を押す。
選んだコマから切り出し可能秒数までの動画が切り出されます。このあと、切り出し可能秒数以内に切り出しを終わるときは、Ⓕ（停止）を押します。
■ 切り出した動画の確認：「❷画像確認」選択➡Ⓕ
　▪切り出しが終わると、右の画面が表示されます。
■ 切り出しのやり直し：「❸取消」選択➡Ⓕ
■ 切り出した動画の登　先を指定：「❹登録先」選択➡Ⓕ➡登先選択➡Ⓕ
■ 切り出した動画の送信：「❺メール添付」選択➡Ⓕ➡P.5-51操作2へ
■ テロップ入力：「❻テロップ入力」選択➡Ⓕ➡☞P.5-45操作2へ

7 切り出した動画を登録するときは、「❶登録」を選びⒻを押す。
画像サイズ設定（☞P.5-43）で設定されているサイズに切り出して、データフォルダのムービーフォルダに登　されます。

画像サイズや切り出しモードを設定する

切り出し時の画像サイズを「横80　縦60ドット」、「横128　縦96ドット」のいずれかに設定することができます。（画像サイズ設定）
また、モード設定を行うと、現在の撮影サイズよりも小さなサイズで切り出すように設定されている場合、次のいずれかの方法で切り出すことができます。

縮小	設定されている画像サイズに合わせて動画全体を縮小します。
切り抜き	設定されている画像サイズに合わせて中央部を切り抜きます。

1 再生中に、切り出したいコマの付近でⒻ（停止）を押す。
一時停止状態になります。

2 ☑（編集）を押す。

3 「❷切り出し設定」を選び、Ⓕを押す。

4 モードを設定するとき
❶「❶モード設定」を選び、Ⓕを押す。
❷「❶切り抜き」または「❷縮小」を選び、Ⓕを押す。
　モードが設定されます。

画像サイズを設定するとき
❶「❷画像サイズ設定」を選び、Ⓕを押す。
❷ 設定する画像サイズを選び、Ⓕを押す。
　画像サイズが設定されます。

動画の１場面を静止画として保存する

1 再生中に、保存したいコマでⒻ（停止）を押す。
一時停止状態になります。
- このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ☑（編集）を押したあと、「❸静止画キャプチャー」を選び、Ⓕを押す。

3 Ⓕを押す。
静止画として保存され、一時停止中の画面に戻ります。

指定した２点間の動画を切り出す

1 再生中に、切り出したい最初のコマでⒻ（停止）を押す。
一時停止状態になります。
- このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ✉（編集）を押したあと、「4 2点間切り出し」を選び、Ⓕを押す。

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

4 Ⓕを押す。
切り出しの開始点が指定され、再生が再開されます。

5 切り出したい最後のコマでⒻ（停止）を押す。

6 ✉（完了）を押す。
切り出した動画が保存され、一時停止中の画面に戻ります。

動画の一部を消去する

指定したコマより前または後ろの部分を消去して、残った部分を新しい動画として保存します。

1 再生中に、消去の開始位置に指定したいコマの付近でⒻ（停止）を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ✉（編集）を押したあと、「5前部分消去」または「6後部分消去」を選び、Ⓕを押す。
■ 一時停止中の動画の消去：「8全消去」選択➡Ⓕ（操作完了）

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。

4 ◎を押し、消去の開始位置となるコマを表示する。
前部分消去の場合は、ここで表示したコマより前の動画がすべて消去されます。また、後部分消去の場合は、ここで表示したコマより後の動画がすべて消去されます。
■ 消去の中止：Ⓞ（戻る）

●動画の最初と最後のコマは、消去の開始位置として指定できません。（操作5でⒻを押すことができません。）

5 Ⓕ（切出）を押す。

6「1YES」を選びⒻを押す。
登　の確認メッセージが表示され、新しい動画として登　されたあと、一時停止中の画面に戻ります。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示します。
●表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。
●テロップの編集は、撮影終了直後から行えます。

テロップを入力する

テロップは最大10件まで入力できます。（1件あたり最大全角24文字まで）
●テロップを入力したあと、動画のどの位置に表示するか（表示時間）を指定してください。指定しないと、テロップを設定することができません。

1 ムービー写メールモード（MPEGモード）の撮影直後の画面で、「6テロップ編集」を選び、Ⓕを押す。

2 登録する番号を選び、Ⓕを押す。
■ 登　済みのテロップの編集：「1設定」選択➡Ⓕ➡設定項目選択➡Ⓕ
■ 登　済のテロップの消去：「2消去」選択➡Ⓕ

3「1テロップ文字列」を選び、Ⓕを押す。

4 テロップを入力し、Ⓕを押す。

5「2表示時間」を選び、Ⓕを押す。
動画の再生画面になります。

6 ◎で、テロップを流す最初の位置を表示させ、Ⓕ（切出）を押す。

7 テロップを流す最後の位置で、Ⓕ（停止）を押す。
■ 開始位置の変更：クリア

8 ✉（完了）を押す。
■ 文字の装飾：☞P.5-46

9 Ⓞ（設定）を押す。
1件のテロップが入力されます。
■ 他のテロップの入力：操作2～9をくり返す
■ テロップ入力の終了：Ⓞ（完了）

文字を装飾する

テロップとして入力した文字に、次の装飾が行えます。

文字色	文字の色を設定します。文字全体に色を付けたり、文字の一部だけに付けることもできます。
テロップ背景色	文字の背景色を設定します。
スクロール	テロップが流れるように設定します。流れる方向や効果を設定することもできます。
イライト	文字の一部や全部を強調します。
点滅文字	文字を点滅させます。
文字サイズ	テロップの文字サイズを設定します。

●文字の装飾は、P.5-45の操作８の画面から行います。

■文字の色や背景色を設定する

1 P.5-45の操作８の画面で、「❸文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「❶文字色」または「❷テロップ背景」を選び、Ⓕを押す。
背景色の場合：操作４へ

3 「❶全体」または「❷文字指定」を選び、Ⓕを押す。
文字指定の場合：◎（指定開始文字選択）➡Ⓕ➡◎（指定終了文字選択）➡Ⓕ

4 設定する色を選び、Ⓕを押す。

■テロップのスクロール方法を設定する

1 P.5-45の操作８の画面で、「❸文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「❸スクロール」を選び、Ⓕを押す。

3 テロップが流れる方向を設定する

1「❶方向」を選び、Ⓕを押す。
2「❶左から右」または「❷右から左」を選び、Ⓕを押す。

テロップの効果を設定する

1「❷効果」を選び、Ⓕを押す。
2「❶スクロールイン」または「❷スクロールアウト」、「❸スクロールイン&スクロールアウト」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

- スクロールイン
  画面の外から中へテロップが流れます。
- スクロールアウト
  画面の中から外へテロップが流れます。
- スクロールイン&スクロールアウト
  画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

■文字の強調や点滅を設定する

1 P.5-45の操作８の画面で、「❸文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「❹ハイライト」または「❺点滅文字」を選び、Ⓕを押す。

3 ◎で指定開始文字を選び、Ⓕを押す。

4 ◎で指定終了文字を選び、Ⓕを押す。

■文字サイズを設定する

1 P.5-45の操作８の画面で、「❸文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「❻文字サイズ」を選び、Ⓕを押す。

3 「❶中」または「❷小」を選び、Ⓕを押す。

■文字装飾の指定をすべて取り消す

1 P.5-45の操作８の画面で、「❸文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「❼装飾取消」を選び、Ⓕを押す。

3 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

静止画や動画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

●横240×縦320ドットで撮影した静止画の送信については、P.5-49を参照してください。
●撮影した静止画を登　したあとは、データフォルダの操作で送信することができます。（☞P.11-11）

1 撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●連写画像の場合、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。
●データフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。（☞◎P.7-3）

補足

簡単メール宛先が登録されているとき
●登　されているメール宛先が表示されます。送信する相手を選びⒻを押すと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（☞◎P.3-3）
●簡単メール宛先の登　方法：☞◎P.7-2
●簡単メール宛先に送信する相手が登　されていない場合は、「0<宛先入力>」を選びます。

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。

●詳しくは、◎P.3-3を参照してください。

補足

●画像加工を行った静止画は、モバイルカメラからは添付できません。データフォルダに登　したあと、データフォルダの操作で送信してください。
●ロングメール（PNGファイルのみ）対応機に送信するときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換する必要があります。（☞P.11-36）
●相手機種のサービス対応状況（ロングメール／スーパーメール／JPEG／PNG）については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

QVGAサイズの静止画を添付する

撮影サイズ「**横240ドット　縦320ドット**」で撮影した静止画を、そのままのサイズ（実画像）で送信したり、横120×縦160ドットに縮小して送信します。

1 撮影直後（登録前）の状態で、☑（機能）を押す。

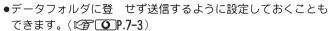
2 「5メール添付」を選び、Ⓕを押す。

3 「1実画像添付」または「3 1/4サイズで添付」を選び、Ⓕを押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。（☞◎P.7-3）
■ 簡単メール宛先登　時：☞P.5-48

4 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞◎P.3-3）

補足

●相手がロングメール対応機やスーパーメール対応機であっても、実画像を受信できない場合があります。

画像を4分割して添付する

撮影サイズ「**横240ドット　縦320ドット**」で撮影した静止画を、4分割してメール送信することができます。
●画像分割メールを送信すると、4通分のスーパーメール料金がかかります。

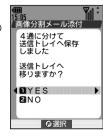
1 撮影直後（登録前）の状態で、☑（機能）を押す。

2 「5メール添付」を選び、Ⓕを押す。

3 「2画像分割メール添付」を選び、Ⓕを押す。

宛先選択の画面が表示されます。
■ 簡単メール宛先登　時：☞P.5-48

4 宛先を選択または入力する。（☞◎P.3-4）

右の画面が表示されます。（分割された画像を添付した4通のメールが、送信トレイに保存されます。）

5 **送信トレイに保存したスーパーメールを送信するとき**

「❶YES」を選び、Ⓕを押す。
送信トレイの画面になります。このあと、送信トレイからメールを送信します。(P.4-15)

送信トレイへの保存のみを行うとき

「❷NO」を選び、Ⓕを押す。
待受画面に戻ります。

補足
- 操作3で、送信トレイに保存された4通のメールには、それぞれ「件名」に「画像分割メール左上」「画像分割メール右上」「画像分割メール左下」「画像分割メール右下」が自動的に入力されています。

デジタルカメラモードで撮影した静止画を添付する

サムネイルを送信したり、横240×縦320ドットに縮小して送信します。
●撮影した静止画を登　したあとは、デジタルカメラフォルダの操作で送信します。

1 **撮影直後(登録前)の状態で、(機能)を押す。**

2 **「❸メール添付」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❶サムネイル添付」または「❷240×320サイズで添付」を選び、Ⓕを押す。**
静止画がデジタルカメラフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。(静止画はあらかじめ添付されています。)
- デジタルカメラフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。(P.7-3)

■ 簡単メール宛先登　時：P.5-48

4 **宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。(P.3-3)**

補足
- 相手がロングメール対応機やスーパーメール対応機であっても、横240×縦320ドットの静止画を受信できない場合があります。
- ロングメール(PNGファイルのみ)対応機に送信するときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換する必要があります。(P.11-36)
- 相手機種のサービス対応状況(ロングメール/スーパーメール/JPEG/PNG)については、「**ボーダフォンライブ!ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

ムービー写メールモードで撮影した動画を添付する

●撮影した動画を登　したあとは、データフォルダの操作で送信します。(P.11-12)

1 **撮影直後(登録前)の状態で、(写メール)を押す。**
動画がデータフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。(動画はあらかじめ添付されています。)
- データフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。(P.7-3)

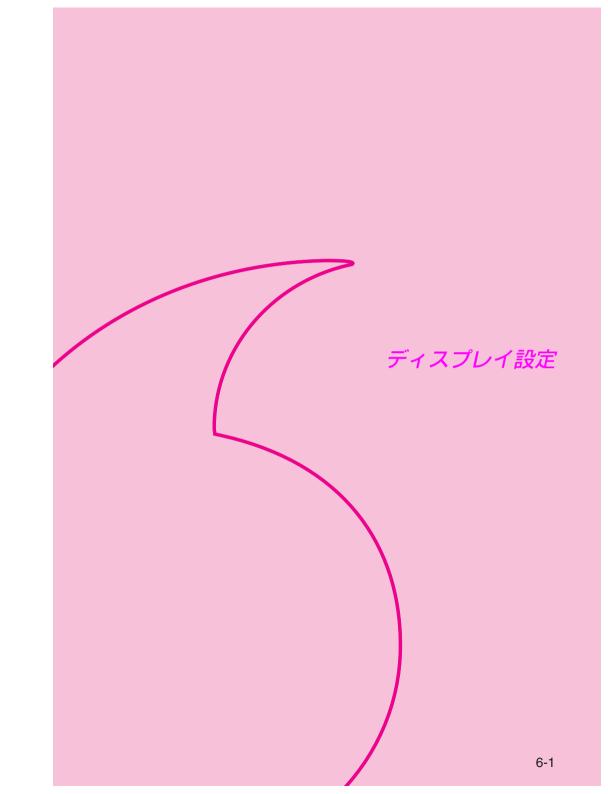
■ 簡単メール宛先登　時：P.5-48

2 **宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。(P.3-3)**

注意
- スーパーメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
- ムービー写メールの「MPEGモード」で撮影した動画は、MPEG-4対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

補足
- 相手がスーパーメール対応機であっても、動画を受信できない場合があります。
- モーションカメラ(MPEG)モードで撮影した動画は、切り出し(P.5-42〜P.5-44)を行うと、スーパーメールに添付して送信することができます。(MPEG-4対応機のみ可能)
- 相手機種のサービス対応状況(スーパーメール)については、「**ボーダフォンライブ!ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

MEMO

ディスプレイ設定

壁紙設定

あらかじめ登　されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用できます。
- 「オリジナル」を選ぶと最大４枚まで壁紙を設定できます。複数の壁紙を設定した場合、２時間ごとに表示が切り替わります。（表示が切り替わる間隔も変更できます。）
- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。
- お買い上げ時には、「ON」、「Vodafone_logo」に設定されています。

壁紙を設定する

1 Ⓕ4 0の順に押す。

2 「1壁紙設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1内蔵画像」または「2オリジナル」を選び、Ⓕを押す。
- 内蔵画像選択時：画像選択➡Ⓕ（操作完了）

4 設定する番号（「1」など）を選び、Ⓕを押す。
- 登　済みの画像の消去：番号選択➡（メニュー）➡「2消去」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

5 データフォルダから、壁紙に設定する画像を選ぶ。
- データフォルダの操作：☞P.11-8

6 Ⓕを押す。
画像が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）
画像がE-アニメータの場合は、２倍のサイズで表示されます。
- ディスプレイより小さな画像の選択時：表示方法の選択画面表示➡表示方法（下記）選択➡Ⓕ
  - センタリング表示…そのままのサイズでディスプレイ中央に表示
  - 並べて表示…そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示
  - 全画面表示…ディスプレイサイズいっぱいに拡大表示
  - 拡大表示…縦横どちらかが、ディスプレイサイズになるまで拡大表示

ディスプレイより小さな画像を選んだとき（オリジナルの場合）

7 Ⓕを押す。
オリジナル壁紙設定の画面に戻ります。
- すでに登　されていたオリジナル画像を変更した場合、元のオリジナル画像は上書きされます。（データフォルダに保存されていない画像は消去されます。）
- 複数の壁紙の設定：操作４～７をくり返す
- 複数の壁紙の表示切替時間変更（複数の壁紙設定時）：（メニュー）➡「3切替時間設定」選択➡Ⓕ➡切替時間（01～24時間ごと）入力➡Ⓕ

8 設定を終わるときは、（完了）を押す。
待受画面に戻り、壁紙が表示されます。

補足
- ボーダフォンライブ！やデータフォルダで、画像を壁紙に登　すると、壁紙設定は自動的に「ON」に設定されます。（待受画面に戻ると、壁紙が表示されます。）
- VアプリをVアプリ待受に設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
  時計表示設定（☞P.6-7）を「カレンダー」（「スタンプ表示（大）」または「スタンプ+スケジュール表示」）に設定した場合、壁紙を設定しても壁紙は表示されません。
- アニメーションを選んだ場合でも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。また、時計表示設定（☞P.6-7）を「カレンダー」（「１ヶ月表示（大）」～「６ヶ月表示」）に設定している場合、アニメーション表示中は「時計小１」で表示されます。

壁紙設定時に待受画面のアイコンを消す

壁紙設定しているとき、待受画面のアンテナマークや電池マークなどを消します。
- お買い上げ時には、「ON」（表示する）に設定されています。

1 Ⓕ4 0の順に押す。

2 「5マーク表示設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
画面表示設定の画面に戻ります。
- アイコンの表示：「1ON」選択➡Ⓕ

マーク表示設定「OFF」の場合

■壁紙設定時に「マーク表示設定」を「OFF」に設定すると

待受画面には、アイコンは表示されません。アイコンを表示するときは、を押します。約５秒間アイコンが表示されたあと、待受画面に戻ります。

補足
- 壁紙を設定していないときは、「マーク表示設定」を「OFF」に設定していても、待受画面にアイコンが表示されます。
- 待受画面以外では、「マーク表示設定」の設定にかかわらず、アイコンが表示されます。

Disneyキャラクター設定

通話中やメール送受信時、各種設定画面、アラーム画面などに、Disneyキャラクターを表示できます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ④⑤の順に押す。

2「❶ON」を選び、Ⓕを押す。
通常モード：「❷OFF」選択➡Ⓕ

■Disneyスタイルを「ON」に設定すると

次の画面で、Disneyキャラクターが表示されます。

メインディスプレイ	通話中画面、不在着信画面、メール送信画面、メール受信画面、設定画面（YES／NO、ON／OFF）、メロディ再生画面、ボーダフォンライブ！の背景アニメ
サブディスプレイ	メール受信画面、アラーム画面

●メインディスプレイの電波状態表示や電池残量表示も、Disneyキャラクターを使ったものになります。

■Disneyスタイルの設定にかかわらずDisneyキャラクターが利用できる機能

次の各機能で、Disneyキャラクターを使ったアニメーションやイラスト、メロディ、サウンド（Disneyキャラクターの声）などが利用できます。

画面表示設定	壁紙設定、マイキャラクタ
アニメーション設定	スクリーンアニメ、ムービングフォトフレーム
サブディスプレイ設定	壁紙設定、着信表示（グラフィックパターン）
フレーム	画像装飾フレーム
メロディ	固定パターン、固定メロディ（MICKEY MOUSE MARCH）

●各機能の選択画面で、「Disney」や「アニメ Disney」などの項目が表示されます。

スクリーンアニメ設定

V601SHを開いたまま操作をしない状態が一定時間以上続いたとき、設定したアニメーションを自動的に表示します。
●ボーダフォンライブ！などで入手したアニメーションも、スクリーンアニメとして利用できます。
●スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）のみです。
●スクリーンアニメが作動する時間（お買い上げ時:「1分」）を設定することもできます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ④⑧の順に押す。

2「❶スクリーンアニメ」を選び、Ⓕを押す。

3「❶ON」を選び、Ⓕを押す。
スクリーンアニメの解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

4「❶アニメーション選択」を選び、Ⓕを押す。
スクリーンアニメの起動時間の設定：「❷起動時間」選択➡Ⓕ➡時間選択➡Ⓕ（操作完了）

15:05
スクリーンアニメ
❶アニメーション選択
❷起動時間
Ⓕ選択

5「❶フライングスクエア」、「❷Disney」、「❸オリジナル」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
オリジナル選択時：画像選択➡Ⓕ
「❸オリジナル」選択時の画像の変更：（変更）➡画像選択（データフォルダの選択：☞P.11-8）

6 Ⓕを押す。
スクリーンアニメ設定の画面に戻ります。

注意

●スクリーンアニメは、次のときは表示されません。
- 待受画面
- 通話中／着信中
- を押して画像の表示サイズを切り替えられる画面
- データフォルダの画像一覧表示画面
- パネルセーブ（☞P.14-44）が働くまでの時間を、スクリーンアニメが働くまでの時間より短くしているとき
- キッチンタイマー・ストップウォッチ起動中
- ミュージックプレイヤー／ボイスレコーダーの　音、再生中
- モバイルカメラ起動中
- Vアプリ起動中
- ボーダフォンライブ！利用中

補足

●Vアプリが Vアプリ待受に設定されている場合やSDメモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、スクリーンアニメを設定しても表示されないことがあります。
●スクリーンアニメを「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

■スクリーンアニメが働くと

自動的に設定したアニメーションが表示されます。何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。

背景アニメ設定

インデックスメニューの９つの項目を選んだときや、ユーザーショートカット画面で表示される、右のような背景アニメを表示しないようにします。

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 Ⓕ④⑧の順に押す。

2 「2背景アニメ」を選び、Ⓕを押す。

3 「2OFF」を選び、Ⓕを押す。

アニメーション設定の画面に戻ります。

■ 背景アニメの表示：「1ON」選択➡Ⓕ

注意
●背景アニメは、次のときは表示されません。
- 通話中（☞P.2-6）
- ミュージック再生中（☞P.8-14）
- スクリーンアニメ表示中（☞P.6-5）

補足
●SDメモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、背景アニメが表示されない場合があります。

ボーダフォンライブ！アニメ設定

メール送受信時やメールサーバー接続時、ウェブやステーションの情報受信時に表示されるアニメーションなどの画像を送受信の種類ごとに表示させないようにします。

●お買い上げ時には、すべて「ON」に設定されています。

1 Ⓕ④⑧の順に押す。

2 「3ボーダフォンライブ！アニメ」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する送受信の種類を選び、Ⓕを押す。

4 「2OFF」を選び、Ⓕを押す。

ボーダフォンライブ！アニメ設定画面に戻ります。

●続けて、他の送受信の種類を設定できます。

■ アニメーションの表示：「1ON」選択➡Ⓕ

時計やカレンダー表示設定

時計の表示形式を設定する

●お買い上げ時には、「時計大1」に設定されています。

1 Ⓕ⑤③の順に押す。

2 「1時計大１」～「4時計小２」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

待受画面に戻り、時計が表示されます。

■ 時計の非表示：「6OFF」選択➡Ⓕ

カレンダーの表示形式を設定する

１ヶ月表示（「スタンプ表示（大）」、「スタンプ+スケジュール表示」、「大」、「小」）２ヶ月・４ヶ月・６ヶ月表示の７種類から選べます。

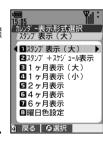
●「スタンプ表示（大）」を選ぶと、日ごとにお好みのスタンプを設定して表示できます。また、「スタンプ+スケジュール表示」を選ぶと、スケジュールもあわせて表示できます。

●「１ヶ月表示（小）」、「２ヶ月表示」のときは、表示位置を変更できます。

●お買い上げ時には、「スタンプ表示（大）」に設定されています。

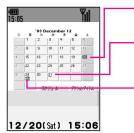
1 Ⓕ⑤③の順に押す。

2 「5カレンダー」を選び、Ⓕを押す。

■ カレンダー曜日色の設定：「8曜日色設定」選択➡Ⓕ➡曜日選択➡Ⓕ➡色選択➡Ⓕ

3 「1スタンプ表示（大）」～「7６ヶ月表示」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

待受画面に戻り、カレンダーが表示されます。

■「4１ヶ月表示（小）」、「5２ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡Ⓕ

カレンダーのみかた

「スタンプ+スケジュール表示」設定時

現在の日付
●現在の日付は、反転表示されています。

スケジュールが設定されている日付
●スケジュール（☞P.14-16）が設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。

スタンプ
●スケジュールで設定したスタンプが表示されます。（☞P.14-16）

●Ⓐを一度押すと前の月のカレンダーが、Ⓥを1度押すと次の月のカレンダーが表示されます。Ⓐを押し続けると、表示される月が連続して変わります。
（「2ヶ月表示」の場合は、1月ずつ順に、「4ヶ月表示」,「6ヶ月表示」の場合は2月づつ順に送ります。）クリアを押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
●カレンダーを表示しているときにPWRを押すと、一時的にカレンダー表示を消します。（もう一度PWRを押すと、カレンダー表示に戻ります。）
カレンダー表示が消えているときにⒶを押すと、Ⓐ（メールの利用）やⓋ（着信履歴の確認）を行えます。

補足
●1999年1月～2098年12月まで表示します。
●壁紙を「ON」に設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定した場合、壁紙を設定しても壁紙は表示されません。
●壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
●VアプリをVアプリ待受に設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

サブディスプレイ設定

サブディスプレイのON／OFFや液晶濃度、待受時の表示内容、着信時の表示などを設定します。

サブディスプレイの表示／照明を設定する

●お買い上げ時には、「ON」（照明：15秒）に設定されています。

1 ⒻⒼ4Ⓟ7**の順に押す。**

2 **「1サブディスプレイON／OFF」、「2照明設定」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**

■「1サブディスプレイON／OFF」選択時：「1ON」（表示する）／「2OFF」（表示しない）選択➡Ⓕ（設定完了）
■「2照明設定」選択時：操作3へ
●サブディスプレイを「OFF」に設定しているときは、その他の項目はグレーで表示され、選択できません。

3 **点灯時間を変更するとき**

1「1ON」を選び、Ⓕを押す。
2 点灯時間（2ケタ：01～99）を入力し、Ⓕを押す。
点灯時間が設定されます。

常時点灯しないようにするとき

「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
●「2OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定するとき

あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.2-4）

1「3点灯時間帯」を選び、Ⓕを押す。
2 開始時刻（4ケタ）と終了時刻（4ケタ）を入力し、Ⓕを押す。
開始時刻と終了時刻の間、パネル照明が点灯します。
3 点灯時間（2ケタ：01～99）を入力し、Ⓕを押す。
点灯時間帯と点灯時間が設定されます。
●時刻設定を行っていない場合、「3点灯時間帯」を設定しても、「1ON」設定と同様にパネル照明は点灯します。

注意
●V601SHを閉じたときのサブディスプレイの照明点灯時間は、設定した時間（秒）にかかわらず最大3秒間です。「1秒」または「2秒」に設定したときは、設定した秒数だけ点灯します。

補足
●サブディスプレイの照明点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

液晶濃度を設定する

サブディスプレイの液晶濃度を９段階で調整できます。見る角度に合わせて、調整してください。

●お買い上げ時には、「濃度５」（標準濃度）に設定されています。

1 **(F)(4)(7)の順に押す。**

2 **「3濃度調整」を選び、(F)を押す。**

3 **(上)（濃くする）または(下)（淡くする）をくり返し押す。**

4 **調整後、(F)を押す。**

サブディスプレイ設定の画面に戻ります。

表示内容を設定する

●時計、マーク、スケジュール／メモ、壁紙がすべて「OFF」に設定されているときは、電池残量表示と電波状態表示、SDメモリカード状態表示、マナーモード表示（マナーモード設定時）のみ表示されます。

●お買い上げ時には、「時計：デジタル時計大１」、「マーク：ON」、「スケジュール／メモ：OFF」に設定されています。

時計を表示する

1 **(F)(4)(7)の順に押す。**

2 **「4待受表示内容設定」を選び、(F)を押す。**

3 **「1時計」を選び、(F)を押す。**

4 **時計を表示するとき**

1「1時計小」または「2時計大」を選び、(F)を押す。

2表示する時計を選び、(F)を押す。

●表示内容は、サンプル画面で確認してください。

■「2時計大」の「3アナログ時計」選択時：設定する文字盤選択➡(F)

3設定する色を選び、(F)を押す。

時計表示が設定され、待受表示内容設定の画面に戻ります。

時計を表示しないとき

「3OFF」を選び、(F)を押す。

待受表示内容設定の画面に戻ります。

補足 ●時刻が設定されていない状態で、「1時計小」または「2時計大」を選ぶと、確認メッセージが表示されます。時刻を設定して(F)を押すと、操作を続けることができます。

注意 ●「スケジュール」または「メモ」に設定したあと、時計を「2時計大」に設定すると、「3スケジュール／メモ」は自動的に「OFF」（解除）に設定されます。

電池残量や電波状態などのマークを表示する

1 **(F)(4)(7)の順に押す。**

2 **「4待受表示内容設定」を選び、(F)を押す。**

3 **「2マーク」を選び、(F)を押す。**

4 **「1ON」を選び、(F)を押す。**

■解除：「2OFF」選択➡(F)

スケジュール／メモを表示する

スケジュールを設定すると、スケジュール当日、設定した時間・スタンプ・内容（始めの５文字）をサブディスプレイに表示します。（時間が経過すると、設定内容の表示は消えます。）

●「スケジュール」または「メモ」に設定すると、時計は「デジタル時計小」になります。

1 **(F)(4)(7)の順に押す。**

2 **「4待受表示内容設定」を選び、(F)を押す。**

3 **「3スケジュール／メモ」を選び、(F)を押す。**

4 **「1スケジュール」または「2メモ」を選び、(F)を押す。**

●「1スケジュール」を選んだときは、待受表示内容設定の画面に戻ります。

5 **表示するメモを入力し、(F)を押す。**

待受表示内容設定の画面に戻ります。

●最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

補足 ●全角５文字ごとに自動的に改行されます。
●全角文字と半角文字を組み合せて入力した場合、入力可能文字数内であってもサブディスプレイにすべての文字が表示されないことがあります。

補足 ●メモを登　したあと、「OFF」に設定しても、登　したメッセージは消えません。再び「メモ」に設定すると、メモが利用できます。

壁紙を設定する

待受中のサブディスプレイに表示する壁紙を設定します。

- あらかじめ登 されている内蔵画像やデータフォルダに登 した画像が利用できます。
- アニメファイル（「」表示）や4枚／9枚連写画像（「」表示）も壁紙に設定できます。連写画像は1枚目が設定されます。（25枚連写画像は設定できません。）
- あらかじめ利用する画像をサブディスプレイ用のサイズに変更しておくと便利です。（☞P.11-28）
- 上下逆に表示したい場合は、元の画像を回転しておくと便利です。（☞P.11-36）
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ 4 7 の順に押す。

2「5壁紙設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1内蔵画像」または「2オリジナル」を選び、Ⓕを押す。
- 内蔵画像選択時：画像選択➡Ⓕ（操作完了）

4 データフォルダから壁紙に設定する画像を選ぶ。
- データフォルダの操作：☞P.11-8

5 Ⓕを押す。

サブディスプレイに表示したときのイメージがわかるように、枠が表示されます。アニメファイルや4枚、9枚連写画像を選んだときは、1枚目の画像が表示されます。
- 画像サイズの変更：(ナビ)（「1/2」⇔「等倍」切替）
- 画像の変更：(クリア)

6 Ⓕを押す。

サブディスプレイ設定の画面に戻ります。

- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

着信中の表示を設定する

電話やメールなどの着信中にサブディスプレイに表示されるカラーパターンやグラフィックパターン（通常着信のみ）を設定します。

- お買い上げ時には、相手表示設定は「ON」（表示する）、カラーパターンは「**ホワイト**」、グラフィックパターンは「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ 4 7 の順に押す。

2「6着信表示」を選び、Ⓕを押す。

3

着信時に相手の名前などを表示しないとき

1「5相手表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
- 「OFF」に設定すると、「メール本文表示設定」も「OFF」に設定されます。
- 相手表示時：「1ON」選択➡Ⓕ

カラーパターンを設定するとき

1「1通常着信」～「4ステーション着信」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
- 「1通常着信」選択時：「1カラーパターン（サブ）」選択➡Ⓕ➡2へ

2 設定するカラーパターンを選ぶ。

サブディスプレイに表示したときのイメージが表示されます。

3 Ⓕを押す。

通常着信の場合は、通常着信設定画面に戻ります。メール着信、ウェブ着信、ステーション着信の場合は、着信表示の画面に戻ります。

グラフィックパターンを設定するとき（通常着信のみ）

1「1通常着信」を選び、Ⓕを押す。

2「2グラフィックパターン（サブ）」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」を選び、Ⓕを押す。
- グラフィックパターンの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

4 設定するグラフィックパターンを選ぶ。
- パターンの表示：(ナビ)（表示）

5 Ⓕを押す。

通常着信の設定画面に戻ります。

●ボーダフォンライブ！の各サービスを無効（OFF）にしているときは、次の項目は選択できません。

■メール無効……………………「**メール着信**」
■ウェブ無効……………………「**ウェブ着信**」
■ステーション無効……………「**ステーション着信**」

●グラフィックパターンを設定すると、着信時にはサブディスプレイにカラーパターンと交互に表示します。
●サブディスプレイの着信表示を設定していても、次のような着信は、その設定内容が優先して表示されます。

■メモリダイヤルの指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールに登 している方からの着信
■メモリダイヤルのグループ着信を設定している方からの着信

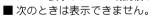
メール本文の表示方法を設定する

V601SHを閉じた状態でメールを受信すると、サブディスプレイにメールの内容が表示されます。これを表示しないようにします。
●相手表示設定を「OFF」に設定しているときは、利用できません。（☞P.6-13）
●お買い上げ時には、「ON」（表示する）に設定されています。

1 Ⓕ④⑦の順に押す。

2「⑦メール本文表示設定」を選び、Ⓕを押す。

3「②OFF」を選び、Ⓕを押す。
サブディスプレイ設定の画面に戻ります。
■ メール本文表示時：「①ON」選択➡Ⓕ

■右のような画面が表示されているときにサイドキーを押すと、最新のメールが表示されます。（詳細：☞P.2-4）
■メール本文表示中のメールの受信：右の画面表示➡サイドキー➡新着メール表示➡メール既読後サイドキー➡受信前に表示していたメールへ
■次のときは表示できません。
●シークレット設定されたフォルダへ振り分けられたメール
●プライバシーレ ルが「Lv3」または「Lv4」のスカイメールやグリーティング

●表示できるのは、最大10件です。11件以上になると確認メッセージが表示され、それ以上メールを表示することができなくなります。このときはサイドキーを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

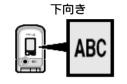
表示方向を設定する

●お買い上げ時には、「**上向き**」に設定されています。

1 Ⓕ④⑦の順に押す。

2「⑧表示方向切替」を選び、Ⓕを押す。
●「**充電時下向き**」に設定すると、充電時のみ表示方向を下向きにして表示します。

上向き

下向き

充電時下向き

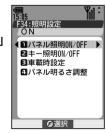
3「①上向き」、「②下向き」、「③充電時下向き」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
サブディスプレイ設定の画面に戻ります。

ディスプレイやボタンの照明設定

ディスプレイ照明／ボタン照明を設定する

ディスプレイやボタン照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。
●1日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
●お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

1 Ⓕ③④の順に押す。

2「①パネル照明ON/OFF」または「②キー照明ON/OFF」を選び、Ⓕを押す。
■ 以降の操作：☞P.6-9の操作３へ

●パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイのパネル照明の明るさを4段階で調整できます。
●お買い上げ時には、「**明るさ4**」に設定されています。

1 **Ⓕ③④の順に押す。**

2 **「④パネル明るさ調整」を選び、Ⓕを押す。**

3 **（明るくする）または（暗くする）をくり返し押す。**
押すごとにパネル照明の明るさが変更されます。
●それぞれの連続操作時間は次のようになります。
■明るさ1…約350分　■明るさ2…約300分
■明るさ3…約260分　■明るさ4…約230分

4 **調整後、Ⓕを押す。**
照明設定の画面に戻ります。

補足 ●パネル照明の明るさは、サブディスプレイには反映されません。

6 ディスプレイ設定

シガーライター充電器に接続したときの照明を設定する

オプション品のシガーライター充電器で充電するとき、V601SHのディスプレイ照明やボタン照明を点灯するように設定します。
●お買い上げ時には、「OFF」（点灯しない）に設定されています。

1 **Ⓕ③④の順に押す。**

2 **「③車載時設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「①ON」を選び、Ⓕを押す。**
■ 車載時設定の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

背景パターン設定

機能メニューなど、リスト画面の背景パターンを9種類の中から選べます。
●お買い上げ時には、「背景1」に設定されています。

1 **Ⓕ④⓪の順に押す。**

2 **「④背景パターン設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「①背景1」～「⑨背景9」のいずれかを選ぶ。**
項目（「③背景3」など）を選ぶごとに、背景が変わります。

4 **Ⓕを押す。**
背景パターンが設定され、画面表示設定の画面に戻ります。

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中などに、キャラクタを表示します。（マイキャラクタ）
●モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！などで入手した画像も、マイキャラクタとして利用できます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

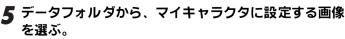
1 **Ⓕ④⓪の順に押す。**

2 **「②マイキャラクタ」を選び、Ⓕを押す。**

3 **マイキャラクタを表示する場面を選び、Ⓕを押す。**

4 **「①キャラクタ」、「②Disney」、「③オリジナル」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**
■「①キャラクタ」または「②Disney」選択時：☞P.6-18操作8へ
■ オリジナル選択時の画像の変更：（変更）
■ マイキャラクタ設定の解除：「④OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

5 **データフォルダから、マイキャラクタに設定する画像を選ぶ。**
■ データフォルダの操作：☞P.11-8

6 Ⓕを押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。
各場面の表示サイズ：下記（利用できない画像は表示されません。）

パワーON	横120　縦130ドット
パワーOFF	横120　縦130ドット
着信	横120　縦38ドット
アラーム	横120　縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、２倍に拡大して表示されます。
■ 画像の表示サイズの変更：（スケジュール/メモ）（「等倍」⇔「２倍」切替）

7 画像の表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できない場合もあります。
■ 画像の変更：（クリア）（☞P.6-17操作５へ）

8 Ⓕを押す。

マイキャラクタが設定されます。
●すでに登　されていたオリジナル画像を変更した場合、元のオリジナル画像は上書きされます。（データフォルダに保存されていない画像は消去されます。）

注意 ●マイキャラクタの「❸着信」を「❸オリジナル」に設定しているときに、メモリダイヤルのピクチャーコール／メールを登　している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきた場合は、マイキャラクタの設定は無効になります。

補足 ●マイキャラクタの表示場面が「❸ 着信」または「❹ アラーム」のときは、E-アニメータ、MNGファイルの画像は利用できません。

電源を入れたときにメッセージを表示する

電源を入れたときに、ご自分の名前やメッセージなどをディスプレイ下部に表示します。（ウェイクアップ）
●お買い上げ時には、「OFF」（表示しない）に設定されています。

1 Ⓕ４０の順に押す。

2 「❸ウェイクアップ」を選び、Ⓕを押す。

3 「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

メッセージの入力画面が表示されます。
■ ウェイクアップの解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

4 メッセージを入力し、Ⓕを押す。

次回から電源を入れたときは、登　したメッセージがディスプレイに表示されます。
●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

ディスプレイの表示を英語にする

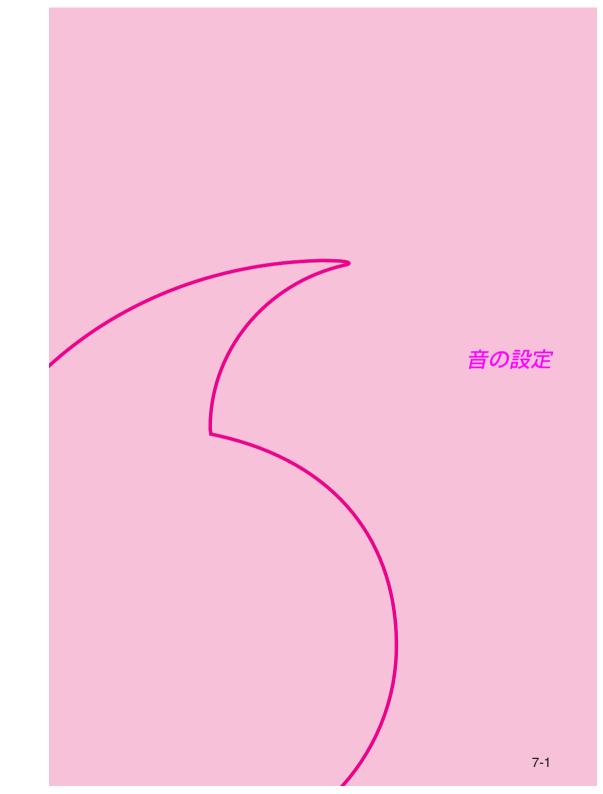
●お買い上げ時には、「日本語」に設定されています。

1 Ⓕ３５の順に押す。

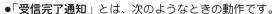
2 「❷English」を選び、Ⓕを押す。

これ以降、英語で表示されます。
■ 日本語表示：「❶日本語」選択➡Ⓕ

MEMO

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、モバイルライト／スモールライトの色や点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。
着信の種類とお買い上げ時の設定は次のとおりです。

	通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	パターン5	効果音 黒電話
着信音量	音量5	音量5	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト
モバイルライトカラーパターン	マスカット（緑色系統）	—	—	—	—	—
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1
着信呼出時間	—	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

●「受信完了通知」とは、次のようなときの動作です。
■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
■メールサーバーのメッセージを消去したとき
■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき
●「配信確認」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。（☞P.4-20）
●設定した内容は、電源を切っても保持されます。

補足
●着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定している場合、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3「2着信音量」を選び、Ⓕを押す。

4 Ⓢで設定する音量を選ぶ。
「音量5」が最大です。「ステップ」に設定すると、約3秒ごとに、「音量1～「音量5」の順に段々と音が大きくなります。
■ 音量の確認：Ⓞ（♪再生）（マナーモード設定中の音量はマナー設定内容と連動します。）

5 Ⓕを押す。
通常着信を「ステップ」に設定すると「🔔」が、「サイレント」に設定すると、「S」が待受時に表示されます。

サイレントが設定されている場合

着信パターンを設定する

パターン5種類、効果音15種類、メロディ 10種類（☞P.7-4）の中から選べます。
●V601SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディおよびボイスフォルダに登　されているボイスファイルは、着信パターンに設定できます。

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3「1着信パターン」を選び、Ⓕを押す。

4 あらかじめ登録されているパターンや効果音を選ぶとき
「1固定パターン」を選び、Ⓕを押す。

あらかじめ登録されているメロディを選ぶとき
「2固定メロディ」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき
「3データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

ボイスフォルダに登録したボイスファイルを選ぶとき
「4ボイスフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

注意
●SDメモリカード内のメロディは、着信パターンに設定できません。
●ボイスファイルは、「受信完了通知」には利用できません。
●メロディのファイル名が全角12文字（半角24文字）を超える場合は、着信パターンに設定できません。
●フォルダ1に登　しているファイルのみ、着信パターンに設定できます。

補足
●サウンドのデータ内容などによっては、着信音として登　できない場合があります。
●設定によっては、ひずんだり、音割れをおこす場合があります。
このときは、音量や強弱設定を下げるか、音色を変更してください。

5 **設定するパターン／効果音／メロディなどを選ぶ。**

■ メロディ／ボイスファイルの再生：メロディ／ボイスファイル選択➡☑（**メニュー**）➡「**再生**」選択➡Ⓕ➡＜停止＞➡⓪
（マナーモードを設定していても再生します。）
メロディ／ボイスファイルを再生するとモバイルライト／スモールライトがランプ設定（☞P.7-6）に従って動作します。

6 **Ⓕを押す。**

着信パターンが設定されます。

補足

- 着信音量（☞P.7-2）が「**サイレント**」または「**ステップ**」の場合、操作5で選んだ種類が「**音量1**」で鳴ります。
- 着信パターンをデータフォルダから選んだ場合、設定しているメロディ等が削除されると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。
- あらかじめ登　されているメロディを着信パターンに設定した場合、バイブ設定（☞P.7-5）が「SMAF連動」に設定されていると、メロディ内のバイブレータが動作します。

あらかじめ登録されているメロディ

曲　　名	作曲者名	画面表示
VOICE OF LOVE ～上を向いて歩こう～	中村　八大	VOICE OF LOVE
MICKEY MOUSE MARCH	DODD JIMMIE	MICKEY MOUSE MARCH
大きな古時計	WORK HENRY CLAY	大きな古時計
森のくまさん	アメリカ民謡	森のくまさん
カノン	PACHELBEL JOHANN	カノン
威風堂々	ELGAR EDWARD	威風堂々
帰れソレントへ	イタリア民謡	帰れソレントへ
弦楽セレナーデ	CHAJKOVSKIJ PETR ILICH	弦楽セレナーデ
MOONLIGHT	TJK	MOONLIGHT
TENDER MOMENT	TJK	TENDER MOMENT

許諾番号
T-03A0134

着信を振動でお知らせする

バイブレータを設定する

1 **Ⓕ①⓪の順に押す。**

2 **設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❸バイブ設定」を選び、Ⓕを押す。**

補足

- 「❸SMAF連動」とは、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
「❸SMAF連動」に設定していても、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されていない場合、バイブレータは動作しません。

4 **「❶ON」、「❷OFF」、「❸SMAF連動」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**

通常着信のバイブ設定を「ON」にすると「Ⓥ（緑色）」が、「SMAF連動」に設定すると「Ⓥ（黄色）」が待受時に表示されます。

補足

- バイブレータを設定中、机の上等にV601SHを置いておくと、着信があったとき振動により落下することがありますのでご注意ください。
充電するときは、落下防止のためにもバイブを「ON」に設定しないことをおすすめします。
- オプションサービスの割込通話サービスをご利用になっているとき、通話中に着信があっても、バイブレータは働きません。また、着信音も鳴りません。専用の割り込み音が聞こえ着信中のメッセージが表示されます。

バイブパターンを設定する

●バイブレータが「ON」に設定されている場合に有効です。(☞P.7-5)

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3「❹バイブパターン」を選び、Ⓕを押す。

4 設定するバイブパターンを選び、Ⓕを押す。

バイブパターン	動作
バイブ1	0.75秒振動→0.75秒停止のくり返し
バイブ2	0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止のくり返し
バイブ3	1秒振動→2秒停止のくり返し
バイブ4	1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止のくり返し
バイブ5	0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止のくり返し

バイブパターンが設定され、設定したバイブパターンで約5秒間バイブレータが動作します。

モバイルライト／スモールライトを設定する

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3「❺ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。

4 モバイルライトに設定するとき

❶「❶モバイルライト」を選び、Ⓕを押す。

❷設定するカラーパターンを選び、Ⓕを押す。

スモールライトに設定するとき

「❷スモールライト」を選び、Ⓕを押す。

●スモールライトは、固定色(緑色)です。

点滅しないようにするとき

「❸OFF」を選び、Ⓕを押す。

5 設定する点滅パターンを選ぶ。

点滅パターン	動　作
パターン1	0.75秒点灯→0.75秒消灯のくり返し
パターン2	0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯のくり返し
パターン3	1秒点灯→2秒消灯のくり返し
パターン4	1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯のくり返し
パターン5	0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動　※(モバイルライトのみ設定可能)

●「❻SMAF連動」とは、着信パターンに設定したメロディ(SMAFファイル)にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。

●「❻SMAF連動」に設定していても、着信パターンに設定したメロディ(SMAFファイル)にランプが設定されていない場合、ランプは動作しません。(ランプは点滅します。)

■ 点滅パターンの確認:Ⓞ(点灯)➡<停止>➡点灯中にⓄ(停止)

6 Ⓕを押す。

ランプが設定されます。

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類(「❶通常着信」以外)を選び、Ⓕを押す。

3「❻着信呼出時間」を選び、Ⓕを押す。

4 呼出し時間(2ケタ:01〜99秒)を入力し、Ⓕを押す。(例:15秒のとき①⑤)

着信呼出時間が設定されます。

各種効果音の設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1		
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5		
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒		

- 「パワー ON」は電源をONにしたとき、「パワー OFF」は電源をOFFにしたときを意味します。
- 「サウンド再生音量」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
- 「サウンドランプ設定」はサウンドを再生したときのランプ設定を意味します。
- 設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

操作音のパターンを設定する

- V601SH のデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディのみ、操作音のパターンに設定できます。
- ボタン確認音の場合、「ピッ」という音（プッシュトーン）も選べます。
- 操作音を鳴らないようにすることもできます。

1 **(F)(あ1)(ぁ3)の順に押す。**
効果音設定の画面が表示されます。

2 **設定する操作音の種類（「1 ボタン確認音」～「4 パワー OFF」）を選び、(F)を押す。**
■ サウンド再生音量の設定 :「5サウンド再生音量」選択➡(F)➡音量選択➡(F)
■ サウンドランプの設定 :「6サウンドランプ設定」選択➡(F)➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡(F)➡＜モバイルライト選択時＞➡カラーパターン選択➡(F)

3 **「1ON」を選び、(F)を押す。**
■ 効果音なし :「2OFF」選択➡(F)

4 **「1サウンド選択」を選び、(F)を押す。**

5 **あらかじめ登録されているパターンや効果音を選ぶとき**
「1固定パターン」を選び、(F)を押す。

あらかじめ登録されているメロディを選ぶとき
「2固定メロディ」を選び、(F)を押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき
「3データフォルダ」を選び、(F)を押す。

注意
- SDメモリカード内のメロディは、操作音のパターンに設定できません。
- メロディのファイル名が全角 12文字（半角24文字）を超える場合は、操作音のパターンに設定できません。

補足
- サウンドのデータ内容などによっては、操作音として登　できない場合があります。

「ピッ」という音にするとき（ボタン確認音のみ）
「4プッシュトーン」を選び、(F)を押す。
操作音のパターンが設定されます。

6 **設定するパターン／効果音／メロディを選ぶ。**
■ 固定パターン／固定メロディの再生 : メロディ選択➡(◎)（♪再生）➡＜停止＞➡(◎)（停止）
■ データフォルダ内のメロディの再生 : メロディ選択 ➡(☑)（メニュー）➡「再生」選択➡(F)➡＜停止＞➡(◎)（停止）

7 **(F)を押す。**
操作音のパターンが設定されます。

補足
- 操作音のパターンをデータフォルダから選んだ場合、設定しているメロディ等が削除されると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。
ただし、ボタン確認音とパワー ONについては、設定しているメロディ 等を削除しても、設定されている音が鳴ります。（削除後、効果音設定の画面で確認すると、お買い上げ時の状態に戻ります。）

操作音の音量を設定する

1 **(F)(あ1)(ぁ3)の順に押す。**

2 **設定する操作音の種類を選び、(F)を押す。**

3 **「1ON」を選び、(F)を押す。**

4 **「2サウンド音量」を選び、(F)を押す。**

5 **(◎)で設定する音量を選び、(F)を押す。**
操作音の音量が設定されます。

操作音の鳴動時間を設定する

1 (F)(1)(3)**の順に押す。**

2 **設定する操作音の種類を選び、**(F)**を押す。**

3 **「❶ON」を選び、**(F)**を押す。**

4 **「❸サウンド時間」を選び、**(F)**を押す。**

5 **ボタン確認音／エラー音のとき**

設定する時間を選ぶ。

パワーON／パワーOFFのとき

設定する時間（2ケタ：01〜10）を入力する。

6 (F)**を押す。**

- ボタン確認音のサウンド選択で「❹ プッシュトーン」を選ぶと、サウンド時間の設定にかかわらずボタン確認音は「❶0.05秒」で鳴ります。
- ボタン確認音やエラー音で選択したサウンドによっては、サウンド時間が短い場合、操作音が鳴らないことがあります。

着信音出力切替

イヤホンマイク端子にオプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを差し込んでいる場合、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。
これをイヤホンからのみ鳴るように設定します。

- お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

1 (F)(1)(5)**の順に押す。**

2 **「❶イヤホンのみ」を選び、**(F)**を押す。**

待受画面に戻ります。

■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「**❷イヤホン＋スピーカー**」選択➡(F)

- イヤホンマイク端子にステレオヘッドホンなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」に設定していても、スピーカーから着信音が鳴ります。

スピーカーホン／スピーカー受話設定

スピーカーを使っての通話時に、こちらの声も相手に届く「**スピーカーホン**」にするか、相手の声だけが聞こえる「**スピーカー受話**」にするかを設定できます。

- 「**スピーカーホン**」にすると、V601SHを置いたままハンズフリーで話すときに便利です。ただし、V601SHを離しすぎたり、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。
- 「**スピーカー受話**」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話できません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 (F)(1)(6)**の順に押す。**

2 **「❶スピーカーホン」または「❷スピーカー受話」を選び、**(F)**を押す。**

■ 通常の通話：「❸OFF」選択➡(F)

スピーカーを使用して通話する

ダイヤル前やダイヤル後、または着信中や通話中にを1秒以上押します。

- 「❶ **スピーカーホン**」に設定しているときは「」が、「❷ **スピーカー受話**」に設定しているときは「」が表示されます。
- 「❸OFF」に設定しているときは、通常の通話となります。

通話を終了すると、スピーカーを使っての通話も解除されます。
通話中にスピーカーを使っての通話を解除するときは、を1秒以上押します。

- オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンなどの利用中は、スピーカーでの通話はできません。

着信用ボイス録音

V601SHで　音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。

- 　音可能時間は30秒です。

1 (F)(1)(7)**の順に押す。**

2 **「❷着信用ボイス録音」を選び、**(F)**を押す。**

3 **タイトルを入力し、Ⓕを押す。**

入力したタイトルは、自動的にファイル名として登　されます。

●全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

4 **Ⓕ（開始）を押す。**

音が始まります。

5 **録音を終わるときは、Ⓕ（登録）を押す。**

V601SHのボイスフォルダのフォルダ１に登　されます。

録音内容の確認

■（操作５のあと）確認するボイスファイル選択➡Ⓕ（再生）➡＜停止＞➡再生中 Ⓞ（戻る）

ボイスファイルの着信音設定

■（操作５のあと）利用するボイスファイル選択 ➡Ⓜ（メニュー）➡「着信音設定」選択➡Ⓕ➡設定する着信の種類選択➡Ⓕ

補足 ● 音中に着信があると　音は中止されます。（　音内容は消去されます。）

オリジナル着信音の作成

自分でメロディを作り、着信音として利用したり、スーパーメールに添付して送信できます。

- １曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×８和音のいずれかまで入力できます。
- オリジナル着信音は、データフォルダ（☞P.11-3）に登　されます。

オリジナル着信音作成の基礎知識

■入力できる音の高さ

次の高さの音が入力できます。（約４オクターブ、半音も使えます。）

ラ#⇓ ド#↓ レ#↓ ファ#↓ ソ#↓ ラ#↓ ド# レ# ファ# ソ# ラ# ド#↑ レ#↑ ファ#↑ ソ#↑ ラ#↑ ド#⇑ レ#⇑ ファ#⇑

ラ⇓ シ⇓ ド↓ レ↓ ミ↓ ファ↓ ソ↓ ラ↓ シ↓ ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド↑ レ↑ ミ↑ ファ↑ ソ↑ ラ↑ シ↑ ド⇑ レ⇑ ミ⇑ ファ⇑

■入力できる音符・休符

次の音符や休符が入力できます。

音符	休符	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）
♪	𝄾	８分音符（休符）
♪.	𝄾.	付点８分音符（休符）
♩	𝄽	４分音符（休符）
♩.	𝄽.	付点４分音符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）
𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅝𝅝𝅝(3)	𝄻𝄻𝄻(3)	全音３連符（休符）
𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯(3)	𝄿𝄿𝄿(3)	16分３連符（休符）
♪♪♪(3)	𝄾𝄾𝄾(3)	８分３連符（休符）
♩♩♩(3)	𝄽𝄽𝄽(3)	４分３連符（休符）
𝅗𝅥𝅗𝅥𝅗𝅥(3)	𝄼𝄼𝄼(3)	２分３連符（休符）

注意 ●オリジナル着信音は、SJM形式で作成されます。オリジナル着信音をスーパーメールに添付して、V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51以外の他機種に送信する場合は、SJM形式からメロディ形式（SMD）またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。また、V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51に添付送信する場合は、オリジナル着信音形式（SJM）で送信してください。（☞Ⓞ P.3-11）

■作成の流れ

1 **オリジナル着信音のタイトルを入力する。**

●ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。

●全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 **曲のテンポを指定する。**

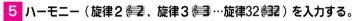
●「速い」、「普通」、「やや遅い」、「遅い」の中から選べます。

3 **和音数を指定する。**

●「８和音」、「16和音」、「32和音」の中から選べます。

4 メロディ（旋律１ ）を１音ずつ入力する。

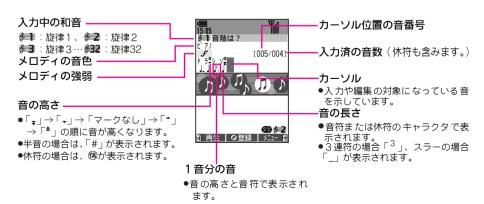
- 音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。半音や３連符の入力も可能です。（P.7-17〜P.7-18）
- 入力中に（再生）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。
  また、を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（P.7-8）と連動します。
  マナーモード設定中でも、（再生）やを押すとメロディが流れます。マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定内容と連動します。（**サウンド再生音量**：P.2-25）
  ただし、いずれの場合も「**サイレント**」のときは「**音量１**」で流れます。
- 入力中に（**メニュー**）を押して「**1音色設定**」、「**2強弱設定**」を選ぶと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 、旋律３ …旋律32 ）を入力する。

- を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
- 入力方法は、旋律１の場合と同様です。
- このあと、各旋律の音色や強弱を設定できます。（P.7-19〜P.7-24）

6 入力したメロディを登録する。

- メロディがすべて入力できれば、登　します。
- 着信パターン（P.7-3）で、データフォルダに登　したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

■入力画面のしくみ

メロディの入力画面は、次のような構造になっています。

注意 ●スーパーメールにオリジナル着信音を「**メロディ形式**」に変換して添付する場合、６旋律（和音）以上は削除されます。また、「SMAF（MA-2）形式」に変換して添付する場合、17旋律（和音）以上は削除されます。

オリジナル着信音を作成する

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、オリジナル着信音を作成してください。

1 の順に押す。

2「**1新規作成**」を選び、を押す。

3 タイトルを入力し、を押す。
タイトルを入力していないときは、確認メッセージが表示され、次へ進めません。
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- 入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登　されます。ファイル名は変更できます。（P.11-13）

4 テンポを選び、を押す。
- テンポの目安は、次のとおりです。
  「**1速い**」………♩= 150
  「**2普通**」………♩= 125
  「**3やや遅い**」…♩= 107
  「**4遅い**」………♩=94
  （「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

5 和音数を選び、を押す。

6 音の高さや休符を指定する。
音の高さや休符の指定方法：P.7-17

7 音符や休符の種類を指定する。
音符や休符の種類の指定方法：P.7-18

8 １つの音が入力できれば、を押す。
カーソルが１つ右に移動し、次の音が入力できます。

9 **操作6～8をくり返し、音を順に入力する。**

- すべての旋律のメロディの再生：◎➡<停止>➡◎
- 表示中の旋律のメロディを再生（カーソル位置まで）：(スケジュール/メモ)➡<停止>➡◎
- 音色の設定：(メニュー)➡「❶音色設定」選択➡Ⓕ（☞P.7-19）
- メロディの強弱の設定：(メニュー)➡「❷強弱設定」選択➡Ⓕ（☞P.7-24）
- 他の旋律のメロディ入力：(文字)（押すたびに旋律切り替え）

10 **すべての音が入力できれば、Ⓕ（登録）を押す。**

- 音色や強弱の修正：☞P.7-19～P.7-24
- 入力済のメロディ修正：「❷修正」選択➡Ⓕ（修正の詳細☞P.7-24～P.7-26）

11 **「❶登録」を選び、Ⓕを押す。**

登　先選択画面が表示されます。

12 **Ⓕ（登録）を押す。**

V601SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されます。

●別のフォルダを選んで登　したり、SDメモリカードに登　することもできます。

補足

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

フォルダ内に同じ名前のオリジナル着信音があるとき

●ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

オリジナル着信音作成中の着信時

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、オリジナル着信音の画面に戻ります。

注意

●多くの旋律に16分音符のような短い音符や3連符を多く入力した場合、◎（再生）を押したとき確認メッセージが表示され、操作9の画面に戻ることがあります。
また、Ⓕ（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、操作9の画面に戻ることがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、3連符を普通の音符に変更したりしてエラーを解消することができます。

メロディの入力方法

1音ごとに次の手順で入力します。

●旋律1～旋律32とも、同様の操作で入力できます。
●メロディ入力画面にするには、P.7-15の操作1～5を行います。

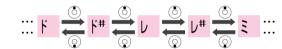
1 音の高さや休符を指定する

下表のボタンを使って、音の高さ（ド～シ）、または休符を指定します。

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1	2	3	4	5	6	7	0

＜音の高さを指定する場合＞

●上記のボタンを1回押すと、中間の音階（マークなし）の音で4分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で1オクターブ上または下の音が順番に選択できます。（休符は除きます。）

●音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さを変えることができます。

＜休符を入力する場合＞

●0を押すと、4分休符が入力されます。（「休」表示）

■続けて、次ページの「音符や休符の種類を指定する」に進みます。

補足

●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されない場合があります。
●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こす場合があります。

2 音符や休符の種類を指定する

(*)または(#)をくり返し押し、音符や休符を指定します。

●(#)を押すと、逆の順に切り替わります。

<付点付きの音符や3連符にするとき>

●音符を選んだあと、(9)を押し付点や3連符を指定します。

※付点は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、2分音符（2分休符）にのみ有効です。

●3連符は3つ続けて入力してください。

例）

注意
●3つ続いていない3連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、スーパーメールに添付できない場合があります。
また、音の高さが極端に違う3連符が入力されているメロディも、スーパーメールに添付できない場合があります。

<音をのばすとき（スラーの指定）>

●音符を選んだあと、(8)を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

なし　スラー　なし

■これで、1つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、(→)で、カーソルを1つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、(↕)を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

(*)を押す

（8分音符が指定）

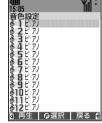
補足
●メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード（☞P.2-23）設定中のときは鳴りません。

メロディの音色を設定する

メロディの音色を、旋律ごとに変更します。

●設定できる音色やジャンル：☞P.7-20～P.7-23

●ご自分で作ったオリジナル音色に設定：☞P.7-28

●お買い上げ時には、すべての旋律が「ピアノ」に設定されています。

1 **オリジナル着信音を作成する。（☞P.7-15～P.7-16の操作1～10）**

2 **「3音色設定」を選び、(F)を押す。**

3 **設定する旋律を選び、(F)を押す。**

4 **(←→)で音色のジャンルを選ぶ。**

●オリジナル音色を選ぶときは、「オリジナル（FM）」または「オリジナル（WT）」を選んでください。

5 **(↕)で音色を選ぶ。**

■ 作成したメロディ再生：(再生)➡<停止>➡(停止)

■ 音色の確認：(確認)➡「ドレミファソラシド」再生➡<停止>➡(停止)

6 **(F)を押す。**

■ 他の旋律の設定：操作3～6をくり返す

7 **設定を終わるときは、(完了)を押す。**

●このあと、「1登録」を選び(F)を押し、メロディの登　を行ってください。

注意
●スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なる場合があります。
また、音色や音階によって聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえる場合があります。
●スピーカーから聞こえる音は、音色によって実際の音階「ドレミファソラシド」とは異なる場合があります。
●旋律1と旋律17、旋律2と旋律18、旋律3と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色になります。

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。

- ご自分で作ったオリジナル音色を８種類登　できます。
- それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：☞P.7-34）

■基本音色

ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値	ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値
ピアノ	PIANO	ﾋﾟｱﾉ	－1	ギター	NYLON GUITAR	ﾅｲﾛﾝ･ｷﾞﾀｰ	－1
	BRIGHT PIANO	ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ	－1		STEEL GUITAR	ｽﾃｨｰﾙ･ｷﾞﾀｰ	－1
	E GRAND PIANO	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ	－1		JAZZ GUITAR	ｼﾞｬｽﾞ･ｷﾞﾀｰ	－1
	HONKY-TONK	ﾎﾝｷｰﾄﾝｸﾋﾟｱﾉ	－1		CLEAN GUITAR	ｸﾘｰﾝ･ｷﾞﾀｰ	－1
	ELE PIANO 1	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ1	－1		MUTED GUITAR	ﾐｭｰﾄ･ｷﾞﾀｰ	－1
	ELE PIANO 2	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ2	－1		OVERDRIVE	O.D.ｷﾞﾀｰ	－1
	HARPSICHORD	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	±0		DISTOTION GTR	Dist.ｷﾞﾀｰ	－1
	CLAVI	ｸﾗﾋﾞ	－1		GTR HARMO	ｷﾞﾀｰﾊｰﾓﾆｸｽ	±0
鉄琴	CELESTA	ﾁｪﾚｽﾀ	＋1	ベース	ACOUST BASS	ｱｺｰｽﾃｨｯｸﾍﾞｰｽ	－2
	GLOCKENSPIEL	ｸﾞﾛｯｹﾝ	＋1		FINGER BASS	ﾌｨﾝｶﾞｰﾍﾞｰｽ	－2
	MUSIC BOX	ｵﾙｺﾞｰﾙ	±0		PICK BASS	ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ	－2
	VIBRAPHONE	ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ	－1		FRET BASS	ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ	－2
	MARIMBA	ﾏﾘﾝﾊﾞ	±0		SLAP BASS 1	ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ1	－2
	XYLOPHONE	ｼﾛﾌｫﾝ	＋1		SLAP BASS 2	ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ2	－2
	TUBULAR BELLS	ﾁｭｰﾌﾞﾗ･ﾍﾞﾙ	－1		SYNTH BASS 1	ｼﾝｾﾍﾞｰｽ1	－2
	DULCIMAR	ﾀﾞﾙｼﾏｰ	－1		SYNTH BASS 2	ｼﾝｾﾍﾞｰｽ2	－2
オルガン	DRAW ORGAN	ﾄﾞﾛｰﾊﾞｰｵﾙｶﾞﾝ	－1	弦楽器	VIOLIN	ﾊﾞｲｵﾘﾝ	±0
	PERC ORGAN	Percｵﾙｶﾞﾝ	－1		VIOLA	ﾋﾞｵﾗ	－1
	ROCK ORGAN	ﾛｯｸｵﾙｶﾞﾝ	－1		CELLO	ﾁｪﾛ	－2
	CHURCH ORGAN	ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ	±0		CONTRABASS	ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	－2
	REED ORGAN	ﾘｰﾄﾞｵﾙｶﾞﾝ	±0		TREM STRINGS	ﾄﾚﾓﾛｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	－1
	ACCORDION	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	±0		PIZZ STRINGS	Pizz.ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	±0
	HARMONICA	ﾊｰﾓﾆｶ	±0		HARP	ﾊｰﾌﾟ	－1
	TANGO ACD	ﾀﾝｺﾞｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	－1		TIMPANI	ﾃｨﾝﾊﾟﾆｰ	－2

ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値	ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値
ストリング	STRINGS 1	ｽﾄﾘﾝｸﾞ1	±0	シンセリード	SQUARE LEAD	矩形ﾘｰﾄﾞ	±0
	STRINGS 2	ｽﾄﾘﾝｸﾞ2	±0		SAW LEAD	鋸歯ﾘｰﾄﾞ	－1
	SYN STRINGS 1	ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ1	±0		CALIOP LEAD	calliopeﾘｰﾄﾞ	－1
	SYN STRINGS 2	ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ2	±0		CHIFF LEAD	chiffﾘｰﾄﾞ	－1
	CHOIR Aahs	ﾎﾞｲｽ(ｱｰ)	－1		CHARANG LEAD	charangﾘｰﾄﾞ	－1
	VOICE Oohs	ﾎﾞｲｽ(ｳｰ)	－1		VOICE LEAD	ﾎﾞｲｽ	－1
	SYNTH VOICE	ｼﾝｾ･ﾎﾞｲｽ	－1		FIFTH LEAD	5度 ﾘｰﾄﾞ	－1
	ORCHESTRA HIT	ｵｰｹｽﾄﾗﾋｯﾄ	－1		BASS & LEAD	ﾍﾞｰｽ&ﾘｰﾄﾞ	－1
ブラス	TRUMPET	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	±0	シンセパッド	NEW AGE PAD	ﾆｭｰｴｲｼﾞﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	TROMBONE	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	－1		WARM PAD	ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	TUBA	ﾁｭｰﾊﾞ	－2		POLYSYN PAD	ﾎﾟﾘｼﾝｾﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	MUTED TRP	ﾐｭｰﾄﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	－1		CHOIR PAD	ｸﾜｲｱﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	FR HORN	ﾌﾚﾝﾁﾎﾙﾝ	－1		BOWED PAD	Bowedﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	BRASS SECTION	ﾌﾞﾗｽｾｸｼｮﾝ	－1		METAL PAD	ﾒﾀﾘｯｸﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	SYN BRASS 1	ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ1	－1		HALO PAD	haloﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	SYN BRASS 2	ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ2	－1		SWEEP PAD	ｽｳｨｰﾌﾟﾊﾟｯﾄﾞ	－1
リード	SOPRANO SAX	ｿﾌﾟﾗﾉ･ｻｯｸｽ	±0	シンセエフェクト	RAIN	雨	－1
	ALTO SAX	ｱﾙﾄ･ｻｯｸｽ	－1		SOUND TRACK	ｻｳﾝﾄﾞ ﾄﾗｯｸ	－1
	TENOR SAX	ﾃﾅｰ･ｻｯｸｽ	－1		CRYSTAL	ｸﾘｽﾀﾙ	±0
	BARITONE SAX	ﾊﾞﾘﾄﾝ･ｻｯｸｽ	－2		ATMOSPHERE	ｱﾄﾓｽﾌｨｱ	－1
	OBOE	ｵｰﾎﾞｴ	－1		BRIGHT	ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ	－1
	ENGLISH HORN	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾎﾙﾝ	－1		GOBLINS	ｺﾞﾌﾞﾘﾝ	－1
	BASSOON	ﾊﾞｽｰﾝ	－2		ECHOES	ｴｺｰ	－1
	CLARINET	ｸﾗﾘﾈｯﾄ	－1		Sci-Fi	SF	－1
笛	PICCOLO	ﾋﾟｯｺﾛ	＋1	エスニック	SITAR	ｼﾀｰﾙ	－1
	FLUTE	ﾌﾙｰﾄ	±0		BANJO	ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ	－1
	RECORDER	ﾘｺｰﾀﾞｰ	±0		SHAMISEN	三味線	±0
	PAN FLUTE	ﾊﾟﾝ･ﾌﾙｰﾄ	±0		KOTO	琴	－1
	BOTTLE	ﾎﾞﾄﾙ･ﾌﾞﾛｳ	－1		KALIMBA	ｶﾘﾝﾊﾞ	－1
	SHAKUHACHI	尺八	－1		BAGPIPE	ﾊﾞｸﾞ･ﾊﾟｲﾌﾟ	－1
	WHISTLE	口笛	±0		FIDDLE	ﾌｨﾄﾞﾙ	－1
	OCARINA	ｵｶﾘﾅ	±0		SHANAI	ｼｬﾅｲ	－1

■基本音色（続き）

ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値
パーカッション	TINKLE BELL	ﾃｨﾝｶ･ﾍﾞﾙ	－1
	AGOGO	ｱｺﾞｺﾞ	±0
	STEEL DRUM	ｽﾃｨｰﾙ･ﾄﾞﾗﾑ	－1
	WOODBLOCK	ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ	±0
	TAIKO DRUM	太鼓	－2
	MELODIC TOM	ﾒﾛﾃﾞｨｯｸ･ﾀﾑ	－1
	SYNTH DRUM	ｼﾝｾ･ﾄﾞﾗﾑ	－2
	REV CYMBALL	ﾘﾊﾞｰｽｼﾝﾊﾞﾙ	－2
効果音	GTR FRETNOISE	ｷﾞﾀｰﾌﾚｯﾄﾉｲｽﾞ	－1
	BREATH NOISE	ﾌﾞﾚｽ･ﾉｲｽﾞ	－1
	SEASHORE	海辺	－1
	BIRD TWEET	鳥	－1
	TELEPHONE	電話のベル	－1
	HELICOPTER	ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ	－1
	APPLAUSE	拍手	－1
	GUNSHOT	ｶﾞﾝ･ｼｮｯﾄ	－1
※オリジナル（FM）	オリジナル1	オリジナル1	－
	オリジナル2	オリジナル2	－
	オリジナル3	オリジナル3	－
	オリジナル4	オリジナル4	－
	オリジナル5	オリジナル5	－
	オリジナル6	オリジナル6	－
	オリジナル7	オリジナル7	－
	オリジナル8	オリジナル8	－

※お買い上げ時には、オリジナル（FM）1～8にあらかじめ次の音色が登録されています。

オリジナル1	ﾋﾟｱﾉ	－1
オリジナル2	ｸﾞﾛｯｹﾝ	＋1
オリジナル3	ﾘｰﾄﾞ ｵﾙｶﾞﾝ	±0
オリジナル4	ﾅｲﾛﾝｷﾞﾀｰ	－1
オリジナル5	ﾊﾞｲｵﾘﾝ	±0
オリジナル6	ｽﾄﾘﾝｸﾞ 1	±0
オリジナル7	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	±0
オリジナル8	ｿﾌﾟﾗﾉ･ｻｯｸｽ	±0

■拡張音色

ジャンル	音色名	画面表示
ドラム（FM）	SeqClick H	Seqｸﾘｯｸ H
	Brush Tap	ﾌﾞﾗｼ1（ﾀｯﾌﾟ）
	BrushSwirl L	ﾌﾞﾗｼ2（ｽｳｨﾙL）
	Brush Slap	ﾌﾞﾗｼ3（ｽﾗｯﾌﾟ）
	BrushSwirl H	ﾌﾞﾗｼ4（ｽｳｨﾙH）
	Snare Roll	ｽﾈｱﾛｰﾙ
	Castanet	ｶｽﾀﾈｯﾄ
	Sticks	ｽﾃｨｯｸｽ
	OpenRimShot	ｵｰﾌﾟﾝﾘﾑｼｮｯﾄ
	ClosedRimShot	ｸﾛｰｽﾞﾘﾑｼｮｯﾄ
	Hand Clap	ﾊﾝﾄﾞｸﾗｯﾌﾟ
	RideCymbalCup	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ
	Tambourine	ﾀﾝﾊﾞﾘﾝ
	Cowbell	ｶｳﾍﾞﾙ
	Vibraslap	ﾋﾞﾌﾞﾗｽﾗｯﾌﾟ
	Bongo H	ﾎﾞﾝｺﾞ H
	Bongo L	ﾎﾞﾝｺﾞ L
	Conga H Mute	ﾐｭｰﾄｺﾝｶﾞ H
	Conga H Open	ｵｰﾌﾟﾝｺﾝｶﾞ H
	Conga L	ｺﾝｶﾞ L
	Timbale H	ﾃｨﾝﾊﾞﾚｽH
	Timbale L	ﾃｨﾝﾊﾞﾚｽL
	Agogo H	ｱｺﾞｺﾞ H
	Agogo L	ｱｺﾞｺﾞ L
	Cabasa	ｶﾊﾞｻ
	Maracas	ﾏﾗｶｽ
	SambaWhistle H	ｻﾝﾊﾞﾎｲｯｽﾙH
	SambaWhistle L	ｻﾝﾊﾞﾎｲｯｽﾙL
	Guiro Short	ｼｮｰﾄｷﾞﾛ
	Guiro Long	ﾛﾝｸﾞｷﾞﾛ
	Claves	ｸﾗﾍﾞｽ
ドラム（FM）	Wood Block H	ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸH
	Wood Block L	ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸL
	Cuica Mute	ﾐｭｰﾄｸｲｰｶ
	Cuica Open	ｵｰﾌﾟﾝｸｲｰｶ
	Triangle Mute	ﾐｭｰﾄﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ
	Triangle Open	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ
	Shaker	ｼｪｰｶｰ
	Jingle Bell	ｼﾞﾝｸﾞﾙﾍﾞﾙ
	Belltree	ﾍﾞﾙﾂﾘｰ
ドラム（WT）	Snare L	ｽﾈｱL
	Snare M	ｽﾈｱM
	Snare H	ｽﾈｱH
	BassDrum L	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑL
	BassDrum M	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑM
	BassDrum H	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑH
	FloorTom L	ﾌﾛｱﾀﾑL
	FloorTom H	ﾌﾛｱﾀﾑH
	Low Tom	ﾛｰﾀﾑ
	Mid Tom L	ﾐｯﾄﾞﾀﾑL
	Mid Tom H	ﾐｯﾄﾞﾀﾑH
	High Tom	ﾊｲﾀﾑ
	Hi-Hat Closed	ｸﾛｰｽﾞﾄﾞ ﾊｲﾊｯﾄ
	Hi-Hat Pedal	ﾍﾟﾀﾞﾙ ﾊｲﾊｯﾄ
	Hi-Hat Open	ｵｰﾌﾟﾝ ﾊｲﾊｯﾄ
	Crash Cymbal1	ｸﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ1
	CrashCymbal 2	ｸﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ2
	Ride Cymbal1	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ1
	Ride Cymbal2	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ2
	Chinese Cymbal	ﾁｬｲﾆｰｽﾞｼﾝﾊﾞﾙ
	SplashCymbal	ｽﾌﾟﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ

●　は、WT音色です。WT音色とは、楽器などの音色の波形データを記　したもので、原音に近い音色を着信音として利用できます。

ジャンル	音色名	画面表示
※オリジナル（WT）	オリジナル1	オリジナル1
	オリジナル2	オリジナル2
	オリジナル3	オリジナル3
	オリジナル4	オリジナル4
	オリジナル5	オリジナル5
	オリジナル6	オリジナル6
	オリジナル7	オリジナル7
	オリジナル8	オリジナル8

※お買い上げ時には、オリジナル（WT）1～8にあらかじめ次の音色が登録されています。

オリジナル1	ｽﾈｱL
オリジナル2	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑL
オリジナル3	ﾌﾛｱﾀﾑL
オリジナル4	ｸﾛｰｽﾞﾄﾞ ﾊｲﾊｯﾄ
オリジナル5	ﾍﾟﾀﾞﾙﾊｲﾊｯﾄ
オリジナル6	ｵｰﾌﾟﾝﾊｲﾊｯﾄ
オリジナル7	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ1
オリジナル8	ｽﾌﾟﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ

7 音の設定

メロディの強弱を設定する

旋律ごとに、メロディの強弱を３段階で設定できます。

●お買い上げ時には、すべての旋律が「強い」に設定されています。

1 オリジナル着信音を作成する。（☞P.7-15～P.7-16の操作１～10）

2「4強弱設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する旋律を選び、Ⓕを押す。

強弱設定画面が表示されます。

4 設定する強さを選ぶ。

■ メロディの強弱の確認：◎（再生）➡<停止>➡◎（停止）

5 Ⓕを押す。

■ 他の旋律の設定：操作３～５をくり返す

■ 設定したメロディの確認：◎（再生）➡<停止>➡◎（停止）

6 設定を終わるときは、✉（戻る）を押す。

●このあと、「1登録」を選びⒻを押し、メロディの登　を行ってください。

オリジナル着信音を修正する

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、オリジナル着信音を修正してください。

1 Ⓕ1 7の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

オリジナル着信音には「♫」が表示されます。

■ SDメモリカード内のサウンドの修正：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

3 修正するオリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。

4「その他編集機能」を選び、Ⓕを押す。

5「データ編集」を選び、Ⓕを押す。

■ 音色や強弱の修正：「音色設定」／「強弱設定」選択➡Ⓕ（☞P.7-19～P.7-24）

6 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

7 テンポを選び、Ⓕを押す。

8 和音数を選び、Ⓕを押す。

■ 他の旋律の修正：文字➡修正する旋律選択

9 カーソルを修正する音に移動する。

和音数変更時

■ 下の画面が表示される場合があります。「1YES」を選びⒻを押すと、和音数が変更されます。（入力している音や旋律が一部消える場合があります。下記の表を参照してください。）

「2NO」を選びⒻを押すと、和音数の指定画面に戻ります。

和音数を変更するとデータの一部が失われる可能性があります。よろしいですか？
1YES
2NO
Ⓕ選択

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９～16
32和音	８和音	旋律９～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わる場合があります。

音の設定

10 音を変更するとき

◎で音の高さを、#／*／8／9の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。
●1～7の各ボタンで音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加するとき

追加する音を入力する。
カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。
●すでに380音（８和音の場合）または190音（16和音の場合）、95音（32和音の場合）入力されているときは、追加できません。

音を消去するとき

クリアを押す。
カーソル位置の１音が消去されます。
■連続したメロディの消去：✉（メニュー）➡「6カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡Ⓕ

11 修正を終わるときは、Ⓕを押す。
■音色や強弱の設定：☞P.7-19～P.7-24

12「1登録」を選び、Ⓕを押す。

13「2上書登録」を選び、Ⓕを押す。
修正したオリジナル着信音が登　されます。

●「1新規登録」を選びⒻを押すと、登　先選択画面が表示されます。このあと、登　先（フォルダ）を選びⒻを押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登　できます。（ファイル名には自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。）
●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

オリジナル着信音を消去する

1 Ⓕ17の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3 消去するオリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。

4「消去」を選び、Ⓕを押す。

5「1YES」を選び、Ⓕを押す。
データフォルダの画面に戻ります。

メロディのコピー／切り取りを行う

●メロディのコピー／切り取りは、オリジナル着信音および編集可能なメロディでのみ行えます。編集ができないメロディでは行えません。

1 Ⓕ17の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3 利用するオリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。

4「その他編集機能」を選び、Ⓕを押す。

5「データ編集」を選び、Ⓕを押す。

6 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

7 テンポを選び、Ⓕを押す。

8 和音数を選び、Ⓕを押す。

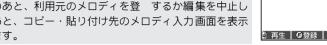
9 ✉（メニュー）を押したあと、「3コピー」（複写するとき）または「4カット」（移動するとき）を選び、Ⓕを押す。

10 コピー／切り取るメロディの最初の音にカーソルを移動し、Ⓕを押す。
最初のメロディが指定され、「終了」が表示されます。

11 コピー／切り取るメロディの最後の音にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

コピー・切り取るメロディが記憶されます。切り取る場合、指定したメロディが元の画面から消去されます。

補足　他のメロディにコピー・貼り付けするとき
●このあと、利用元のメロディを登　するか編集を中止したあと、コピー・貼り付け先のメロディ入力画面を表示します。

12 （メニュー）を押したあと、「5 ペースト」を選び、Ⓕを押す。

13 コピー／貼り付けする位置にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

記憶しているメロディが挿入されます。

オリジナル音色の作成

自分で音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。
●８和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれに、８種類ずつまで登　できます。

オリジナル音色作成の基礎知識

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「**アルゴリズム**」、「**オペレータ**」、「**エフェクト周波数**」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成できます。
●あらかじめ登　されている音色（☞P.7-20～P.7-23）、または自分で作ったオリジナル音色を利用します。実際に音色を再生しながら、各パラメータを変更し、オリジナル音色を作成してください。
●WT音源の音色を作成することもできます。

■作成の流れ

オリジナル音色は、次のような流れで作成します。

1 和音の種類を選ぶ。

●「８,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

2 オリジナル音色の登録先を選ぶ。

●８和音／16和音用、32和音用、WT音源はそれぞれ８種類まで登　できます。

3 オリジナル音色のタイトルを入力する。

●ここで入力したタイトルが、音色選択時に表示されます。
●全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 ベースになる音色を選ぶ。

●あらかじめ登　されている音色から選びます。

5 アルゴリズムを選ぶ。

●あらかじめ登　されている６種類（８和音／16和音の場合）または２種類（32和音の場合）のアルゴリズムの中から選びます。
●WT音源の場合、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する。

●４種類（８和音／16和音の場合）または２種類（32和音の場合）のオペレータ設定ができます。
●**4**で選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
●で設定するパラメータが選べます。
●で内容を変更できます。
●設定中に（再生）を押すと、音色が流れます。

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する。

8 設定した音色を登録する。

●設定がすべて完了すれば、登　します。
●音色設定（P.7-19）で登　したオリジナル音色を選べば、オリジナル着信音の音色として利用できます。

補足　WT音源について
●楽器などの音色の波形データを記　したものを読み出して利用する形式の音源で、原音に近い音色を着信音として利用できます。

■FM音源とは

「**オペレータ**」と呼ばれる１つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成することができます。

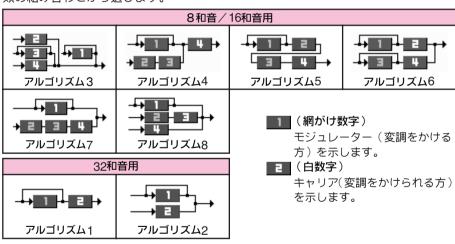
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。

オペレータはアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

●各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。

●特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

■アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。８和音/16和音用は６種類、32和音用は２種類の組み合わせから選びます。

●選んだアルゴリズムにより、モジュレータ（変調をかける方）、キャリア（変調をかけられる方）として機能するオペレータが変化します。

●WT音源の場合、アルゴリズムの設定はありません。

■オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。

●和音数によっては、オペレータに設定できるパラメータの項目が制限される場合があります。

パラメータ	意　味
マルチプル（13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータです。キャリアの値が大きいと高い音になり、モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン（ON/OFF）	１音符の発音長（１つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。 ピアノ、打楽器系等で余韻を残す音を作りたい場合には、「ON」に設定してください。
キースケールレート（２段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「２」に設定すると、より強調されます。
キースケールレベル（４段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレ　ルをかけないものを含めて、４段階から選択します。
トータルレベル（64段階）	（１）キャリア この値が大きくなると音量も大きくなります。 基本的には最大の値（64）に設定し、伴奏等で使用する目的で音量を抑えて鳴らす音色にしたい場合、小さい値に設定することをおすすめします。 （２）モジュレータ この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として40〜64の範囲に設定すると、音色の変化を楽しめます。
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 この時間を長く設定すると音が出ない場合がありますので、この時間を長くする音色を使用する場合は長い音符にしたり、テンポを遅く設定するようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になった後、サスティーンレ　ル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音の場合は持続して出る音量を表し、減衰音の場合は減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレ　ルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレ　ルを持続する時間が長くなります。また、「16」に設定すると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音の場合は音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音の場合は減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色の場合は時間を長く設定してください。
KEYOFF無視（ON/OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を29種類から選択します。
ビブラート（４段階/OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。 有効にする場合は、４段階から選択します。
AM変調（４段階/OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。 有効にする場合は、４段階から選択します。
フィードバック（８段階）	フィードバックされるオペレーターのみ、８段階から選択できます。

補足 ●「持続音」でリリースレートが大きい場合、音符の次に休符があったときでも、鳴り続けます。

■その他の設定項目

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（30段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON/OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階/OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

補足 ●WT音源の場合、「基本オクターブ」、「サスティーン」、「ビブラート倍率」の設定はありません。

オリジナル音色を作成する

1 **Ⓕ 1 8の順に押す。**

2 **「❶８,16和音用」、「❷32和音用」、「❸WT音源」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**
すでにタイトルを変更して音色を設定しているときは、変更されたタイトルが表示されます。

3 **オリジナル音色を登録する番号を選び、Ⓕを２回押す。**
■ タイトル変更なし：Ⓕ➡操作５へ

4 **タイトルを入力し、Ⓕを押す。**
●全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

5 **「ベース音色設定」を選び、Ⓕを押す。**
■ あらかじめ登　されている音色：☞P.7-20～P.7-23

6 **で音色のジャンルを選ぶ。**
●オリジナル音色を選ぶときは、「オリジナル（FM）」または「オリジナル（WT）」を選んでください。

7 **で音色を選ぶ。**
■ 選んだ音色の確認：（再生）➡＜停止＞➡（停止）

8 **Ⓕを押す。**

9 **「音色設定」を選び、Ⓕを押す。**
■ アルゴリズム変更なし：操作12へ

10 **「アルゴリズム」を選び、Ⓕを押す。**
設定できるアルゴリズムが表示されます。

11 **設定するアルゴリズムを選び、Ⓕを押す。**
■ オペレータ変更なし：操作17へ

12 **変更するオペレータを選び、Ⓕを押す。**
一ス音のパラメータが、あらかじめ設定されています。

13 **で変更するパラメータを選ぶ。**

14 **でパラメータを変更する。**
■ パラメータの内容：☞P.7-31～P.7-32

15 **操作13～14をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。**
■ 変更後の音色の確認：（再生）➡＜停止＞➡（停止）

16 **Ⓕまたは（完了）を押す。**

17 **「エフェクト周波数」を選び、Ⓕを押す。**

18 **設定するエフェクト周波数を選び、Ⓕを押す。**
エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

19 **「基本オクターブ」を選び、Ⓕを押す。**

20 **設定するオクターブを選び、Ⓕを押す。**
オクターブ設定完了の確認メッセージが表示されます。

21 **「パンポット」を選び、で設定する値を選ぶ。**

22「サスティーン」を選び、◎で「ON」または「OFF」を選ぶ。

23「ビブラート倍率」を選び、◎で設定する値を選ぶ。

24 ☑（完了）を押す。

25 すべての設定が終われば、☑（完了）を押す。

オリジナル音色が設定されます。

■ 別のオリジナル音色の作成：☞P.7-32～P.7-34の操作３～25をくり返す

●オリジナル音色の音程は、操作５で　ース音色として選んだ音色と同じ音程です。

音色の音程を設定する

あらかじめ登　されている音色、または自分で作ったオリジナル音色ごとに、音程（オクターブ）を４段階で設定します。

●お買い上げ時の各音色の音程：☞P.7-20～P.7-23

1 Ⓕ①⑨の順に押す。

2 ◎で設定する音色のジャンルを選ぶ。

●オリジナル音色の音程を変更するときは、「**オリジナル音色**」の「**基本オクターブ**」で行ってください。（☞P.7-33の操作19、20）

3 ◎で設定する音色を選ぶ。

■ 選んだ音色の確認：◎（再生）➡<停止>➡◎（停止）

4 Ⓕを押す。

5 設定する音程を選ぶ。

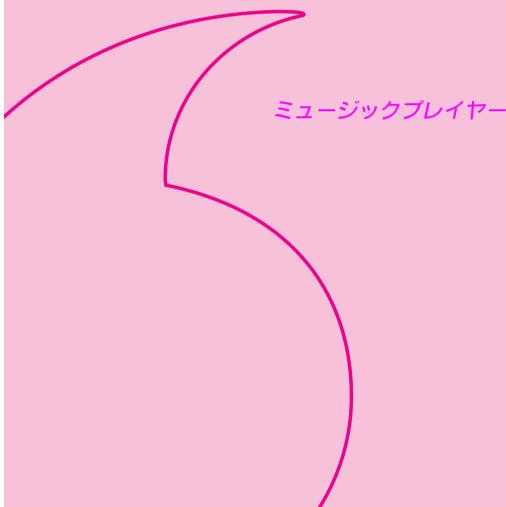
■ 選んだ音程の確認：◎（再生）➡<停止>➡◎（停止）

6 Ⓕを押す。

■ 続けて他の音色の設定：操作２～６をくり返す

■ 設定終了：

●メロディに高い音が含まれている場合、「**＋１オクターブ**」に設定しても、一部の高い音が「**±０オクターブ**」のまま再生される場合があります。

●設定した音程は、SMAFファイルのメロディには無効です。

ミュージックプレイヤーをご利用になる前に

ミュージックプレイヤーをご利用いただく場合、次の内容が必要となります。

機能をご利用になるために必要なもの

- ボーダフォンライブ！のご契約
- ミュージックキー（有料）のダウンロード（☞P.8-2）
- 市販のSDメモリカードのご購入（8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512Mバイト推奨）

デジタル機器から録音するために必要なもの（☞P.8-6、P.8-7）

- オプション品（光デジタル変換ケーブル、アナログ変換ケーブル）のご購入
- 市販の接続ケーブルのご購入

はじめてお使いになるとき（ミュージックキーのご購入とミュージックプレイヤーの起動）

ミュージックプレイヤーをはじめてお使いになるときは、次の手順でミュージックキーをダウンロード（ご購入）ください。

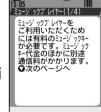
- ミュージックキーのダウンロードはウェブを利用しますので、電波の届く場所で操作してください。
- 一度ミュージックキーをダウンロードいただいたあとは、通常の機能と同様にご利用いただけます。

1 Ⓕ◎（オススメ）の順に押す。

2「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。

ミュージックプレイヤーのご利用に関する画面が表示されます。

- すでにミュージックキーをダウンロードされているときは、ミュージックプレイヤーの画面が表示されます。

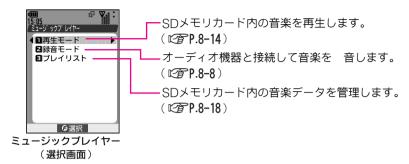
3 ◎を3回押し、「ミュージックプレイヤー（4/4）」の画面を表示する。

4 ◎（YES）を押す。

ウェブに接続され、ミュージックキーダウンロードの画面が表示されます。

- ミュージックキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - ■ミュージックキーの料金
  - ■お支払方法
  - ■利用規約
  - ■ミュージックキーに関するお問い合わせ先

■ 操作の中止：◎（NO）

5 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従ってミュージックキーをダウンロードする。

6 ダウンロード完了後、ミュージックプレイヤーが起動する。

ミュージックプレイヤー（選択画面）

■ ミュージックプレイヤーの終了：◎

- ミュージックプレイヤー（選択画面）で約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

ミュージックプレイヤーのはたらき

V601SHのミュージックプレイヤーを利用すれば、オーディオ機器と接続してCDなどの音楽をV601SHに取り付けたSDメモリカードに　音（保存）し、V601SHで再生できます。

- V601SHには、SDメモリカードが同梱されておりません。市販のSDメモリカードをお買い求めいただき、ご利用ください。
- パソコンなどでSDメモリカードに保存した音楽データ（SD-Audio規格で保存されたMP3データ）を、V601SHで再生できます。ただし、音楽データの形式やSDメモリカードの状態、保存方法等により、再生できない場合もあります。
- V601SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記　する際にSDメモリカードとの間でデータの暗号化・認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータを再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータは　音（保存）できません。

音楽を録音する

録音時のご注意

充電しながら　音してください。

- 　音中に電池が切れることを防ぐため、必ず急速充電器を使用して、充電しながら　音してください。
- 電池レ　ル表示が「◫」以下のときは　音できません。また、　音中に電池レ　ル表示が「◫」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、　音が中止されます。
- 音楽データは、SDメモリカードに保存されます。あらかじめ、SDメモリカードを取り付けておいてください。(☞P.10-3)
- 　音中に電話の着信やメール受信があると、　音が正常に行えない場合があります。オフラインモードにすることをおすすめします。
- 　音中は、絶対にSDメモリカードを取り出さないでください。　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。

- あなたが　音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 　音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 　音したデータを、さらにSDメモリカードなど他のメディアにデジタル　音（コピー）することはできません。

録音時間

　音できる時間は、SDメモリカードの容量やビットレートの設定によって異なります。次の表を目安にしてください。

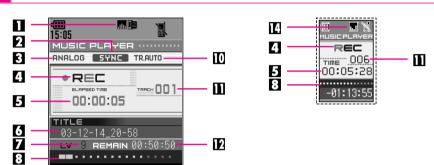
SDメモリカード容量	ビットレート	録音時間
8MB	96kbps	約8分
	128kbps	約6分
16MB	96kbps	約19分
	128kbps	約14分
64MB	96kbps	約80分
	128kbps	約60分

- 上記の時間は、何もデータが保存されていないSDメモリカードの場合の目安です。
- ビットレートとは、音楽データを記　する際の1秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

デジタル入力録音とアナログ入力録音

接続するオーディオ機器の出力端子によって、「**デジタル入力録音**」または「**アナログ入力録音**」が行えます。

デジタル入力録音	光出力端子の付いたオーディオ機器と接続して　音が行えます。CDなどのデジタル信号を直接圧縮するため、高音質でSDメモリカードに保存できます。
アナログ入力録音	アナログの音楽信号をデジタル信号に変換し、SDメモリカードに保存します。デジタル　音に比べ音質は劣りますが、ライン出力端子やヘッドホン端子が利用できるため、いろいろなオーディオ機器からの　音が行えます。

ディスプレイ表示（録音時）

1 録音中表示
　音中に固定表示されます。

2 シンクロ録音表示（☞P.8-10）
シンクロ　音が「ON」に設定されているときに表示されます。

3 録音入力識別表示
DIGITAL：デジタル入力　音／ANALOG：アナログ入力　音

4 動作状態表示
REC：録音中／STOP：停止中

5 現在の録音経過時間

6 タイトル

7 録音レベル

8 録音レベルメータ

9 ビットレート設定表示（☞P.8-10）

10 トラックマーク表示（☞P.8-11）

11 トラック番号

12 録音可能な残り時間
1トラックごとに変化します。

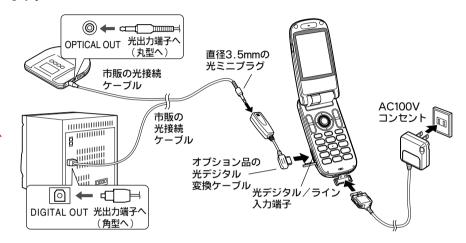
13 サンプリング周波数表示（☞P.8-11）

14 録音中表示
　音中に赤色で固定表示されます。

オーディオ機器の接続方法

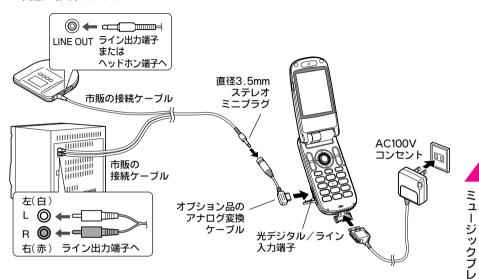
デジタル入力　音、アナログ入力　音それぞれの場合の、V601SHとオーディオ機器の接続方法を説明します。

デジタル入力録音

市販の光接続ケーブルとオプション品の光デジタル変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」とV601SHの「**光デジタル／ライン入力端子**」を接続します。

- V601SH へ接続するときは、光デジタル変換ケーブルを接続ケーブルに取り付けたあと、光デジタル変換ケーブルを持ってゆっくりと確実に差し込んでください。
  また、抜くときも、光デジタル変換ケーブルを持ってまっすぐに抜いてください。
- 接続ケーブルを取り付けているときは、ケーブルをひっぱらないでください。
  強くひっぱったり、無理な力を加えると、V601SH の光デジタル／ライン入力端子が破損する恐れがあります。
- 光デジタル変換ケーブルは、指定品以外は使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V601SH や接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。

アナログ入力録音

市販の接続ケーブルとオプション品のアナログ変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**ライン出力端子**」または「**ヘッドホン端子**」とV601SHの「**光デジタル／ライン入力端子**」を接続します。

- アナログ入力　音の場合、P.8-8の操作１～３でオフラインモードにしてから、オーディオ機器と接続します。

- V601SH へ接続するときは、アナログ変換ケーブルを接続ケーブルに取り付けたあと、アナログ変換ケーブルを持ってゆっくりと確実に差し込んでください。
  また、抜くときも、アナログ変換ケーブルを持ってまっすぐに抜いてください。
- 接続ケーブルを取り付けているときは、ケーブルをひっぱらないでください。
  強くひっぱったり、無理な力を加えると、V601SHの光デジタル／ライン入力端子が破損する恐れがあります。
- アナログ変換ケーブルは、指定品以外は使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V601SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。
- アナログ入力　音をしているときに着信があると、オーディオ機器のライン出力端子を傷める恐れがあります。　音するときは、オフラインモードにすることをおすすめします。（☞P.8-8）
- 市販の接続ケーブルは抵抗が入っているものがあります。
  抵抗入りの接続ケーブルは使用できません。
- アナログ入力　音を行うときに、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンをご利用になることはできません。

8 ミュージックプレイヤー

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、V601SHで　音します。

- あらかじめ、V601SHでフォーマット（初期化）したSDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-11）
  また、急速充電器を接続して、充電しながら　音してください。
- 　音中の音を聞きながら　音することができます。（　音モニター）
  また、　音モニター音量は　音前に調整することができます。（☞P.8-11）
- 再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する曲の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

1 **Ⓕ◎（ｵｽｽﾒ）の順に押したあと、「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❷録音モード」を選び、Ⓕを押す。**

- 通常はオフラインモード（☞P.14-43）にする（「❷NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
- オフラインモード設定（ON）時は、　音画面が表示され、このあと操作4に進みます。

3 **「❷NO」を選び、Ⓕを押す。**

　音画面になります。（☞P.8-5）

■　音前に、　音状態を設定：☞P.8-10

■ オフラインモードにしない：「❶YES」選択➡Ⓕ

4 **オーディオ機器と接続し、オーディオ機器で音楽を再生して、録音レベルを確認する。**

- デジタル入力　音の場合、　音レ　ルは自動的に調整されます。
- アナログ入力　音の場合、ご自分で　音レ　ルを調整します。
  - ■調整方法：　音開始前にオーディオ機器を再生➡◎
  - ■　音レ　ルが最も大きいときでも、　音レ　ルメーターの赤いバーが表示しないように調整してください。
  - ■　音中は、　音レ　ルを調整できません。

5 **Ⓕ（録音）を押す。**

「REC」と「●」が点滅して、シンクロ　音の待機状態になります。

- 「**シンクロ録音**」とは、オーディオ機器の再生と同時に　音を開始させる機能です。（お買い上げ時には、「ON」に設定されています。）

■ シンクロ　音しない：シンクロ　音を「OFF」に設定（☞P.8-10）➡Ⓕ（**録音**）➡オーディオ機器で音楽を再生➡<終了>➡Ⓕ（**停止**）

- 　音停止中に約20分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

6 **接続したオーディオ機器で音楽を再生する。**

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に　音が開始されます。オーディオ機器で再生が終了し、一定時間以上無音が続くと、自動的に　音が終了します。

- アナログ入力　音の場合、接続した機器によっては、オーディオ機器が一時停止中でも　音を開始する場合があります。

■ 　音停止：Ⓕ（**停止**）

録音中にトラックマークを手動で付けるとき

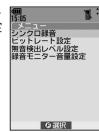
- 手動でトラックマークを付けるときは、　音中にトラックマークを付けたいところで▽（**マーク**）を押します。
- 「**トラックマーク**」とは、プレイリスト内のトラック（曲）にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。V601SHは、　音を開始すると、曲の状態を自動的に検知して、トラックマークが付くようになっています。（☞P.8-11）

- 　音モードの開始時に、オフラインモード設定画面（☞P.8-8の操作2の画面）で「❷NO」を選びオフラインモードを設定した場合、　音終了後に、オフラインモードは自動的に解除されます。
- 　音中は、　音が終了するまで、絶対にSDメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。
- 　音中は、接続ケーブルや変換プラグに触れないでください。雑音や音 とびの原因となります。
- 再生する機器がパソコンやサウンドボードおよびBS／CSデジタルチューナーの場合、　音レ　ルが低くなることがあります。

- 　音中に、リピートアラームなどの予定の時刻になっても、アラーム音は鳴りません。　音モードを終了したあと、待受画面に戻るとアラーム音が鳴ります。
- V601SH で　音（保存）した音楽データには、　音日時のタイトルが自動的に記されます。タイトルは、あとで変更することができます。（☞P.8-18）
- J-SH51またはJ-SH52で　音して未チェックの曲が入っているSDメモリカードをV601SHに取り付けて、　音モードに入ると未チェック曲は削除されます。

録音状態を設定する

　音画面（　音停止中）で〔メニュー〕（メニュー）を押すと、右の　音メニュー画面が表示されます。この画面から、シンクロ　音の設定やビットレートによる音質の設定、無音検出レ　ルや　音時の　音モニター音量の設定が行えます。

- 　音中は、上記の　音状態を設定することはできません。

録音メニュー画面

シンクロ録音の設定

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 録音メニュー画面で、「シンクロ録音」を選び、Ⓕを押す。

2 「❶ON」または「❷OFF」を選び、Ⓕを押す。
　音画面に戻ります。

ビットレートの設定

数字が大きくなるほど、音質はよくなりますが、データ量が大きくなるため、　音できる時間は短くなります。

- お買い上げ時には、「96kbps」に設定されています。

1 録音メニュー画面で、「ビットレート設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「❶96kbps」または「❷128kbps」を選び、Ⓕを押す。
　音画面に戻ります。

無音検出レベルの設定

アナログ　音時など、トラックマーク（☞P.8-11）を付けるとき、無音部分として判別するレ　ルを設定することができます。音量レ　ルの低い状態が続く曲の場合、「-59dB」に設定すると、トラックマークを付きにくくできます。

- お買い上げ時には、「-41dB」に設定されています。

1 録音メニュー画面で、「無音検出レベル設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「❶-41dB」または「❷-59dB」を選び、Ⓕを押す。
　音画面に戻ります。

モニター音量の設定

- お買い上げ時には、「音量３」に設定されています。

1 録音メニュー画面で、「録音モニター音量設定」を選び、Ⓕを押す。

2 ◎で音量を選び、Ⓕを押す。
　音画面に戻ります。

トラックマーク

　音開始後、次のような状態を検知すると、トラックマークが自動的に付きます。

デジタル入力録音	曲間の無音データを検知したとき（CDやMDなどのトラック情報が含まれたデータの場合、　音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。）
アナログ入力録音	曲間の無音状態を検知したとき

- いずれの場合も正しく検知できないときは、１つのトラックとして扱われます。
- シンクロ　音を「ON」に設定している場合、上記の状態が検知されると、　音一時停止状態になります。次のデータ（または音）を検知すると　音を再開します。
- シンクロ　音を「ON」に設定している場合、　音一時停止状態が約15秒間続くと、　音を終了します。
- 無音（または音量レ　ルの低い音）が続く曲を　音した場合、無音（または音量レ　ルの低い音）だけのトラックが作られることがあります。
- トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。
- 接続した機器によっては、トラックマークが自動的につかない場合があります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。（☞P.8-9）

サンプリング周波数

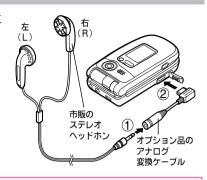
ビットレートと同様に　音時の音質を左右するものとして、「**サンプリング周波数**」があります。サンプリング周波数とは、１秒間に何回データ量（音の強さ）を記　するかを示すもので、数字が大きいほど記　回数が増え、音の再現性がよくなります。V601SHでは、　音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が設定されます。

録音方法	サンプリング周波数
デジタル入力録音	再生側の機器に従い、32kHz／44.1kHz／48kHzのいずれかに自動的に設定されます。 （DVDプレーヤー出力の場合、DTSを「OFF」に設定してください。）
アナログ入力録音	44.1kHz固定になります。

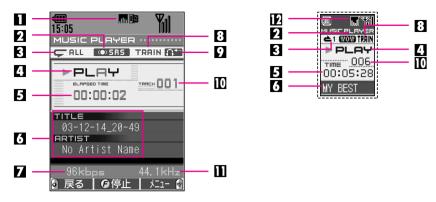
- デジタル入力　音の場合、信号形式の内容によっては、うまく　音できないことがあります。

音楽を再生する

SDメモリカードに　音（保存）した音楽を再生します。

- 再生音は、市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルを利用して聞くことができます。右の図を参考に差し込んでください。
- V601SHのスピーカーから聞くこともできます。

再生時のご注意

- 市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルを使って再生中に電話をかけてきた相手とお話するときは、ステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを取り外してください。
- ステレオヘッドホンを取り付けたり、取り外すときは、アナログ変換ケーブルを持って行ってください。また、アナログ変換ケーブルに無理な力を加えないでください。V601SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- オプション品のアナログ変換ケーブル以外は、使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V601SHのイヤホンマイク端子やステレオヘッドホンが破損する恐れがあります。
- オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンでの音量調整は、音楽再生時のみ有効です。
- 電池レ　ル表示が「▯」以下のときは再生できません。また、再生中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、再生が中止されます。（ミュージックプレイヤーは終了します。）
- スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。この場合は、再生音量を下げてください。
- マナーモード設定中は、V601SHのスピーカーから再生音は鳴りません。

ディスプレイ表示（再生時）

1 再生中表示
再生中にアニメーション表示されます。

2 音質調整表示（TONE CONTROL：☞P.8-16）
TruBass1：BASS1（低音強調小）／TruBass2：BASS2（低音強調大）／
SRS：サラウンド／WOW：サラウンドバス
※何も表示されないときは、ノーマル設定です。

3 リピート／ランダム再生表示（PLAY SETTING：☞P.8-16）
1：1曲リピート再生／ALL：全曲リピート再生／RANDOM：ランダム再生
※何も表示されないときは、リピート再生OFF設定です。

4 動作状態表示
PLAY：再生中／STOP：停止中／FF：早送り中／REW：早戻し中

5 現在の再生経過時間

6 タイトル／アーティスト名

7 ビットレート表示（☞P.8-10）

8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.8-17）
TRAIN：再生音量制限「ON」
※何も表示されないときは、「OFF」設定です。

9 着信優先設定（☞P.8-18）**／リスト名**（☞P.8-19）
着信優先／着信通知

10 トラック番号

11 サンプリング周波数表示（☞P.8-11）

12 再生中表示
再生中に緑色でアニメーション表示されます。

再生する

1 **Ⓕ◎（ ）の順に押したあと、「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「1再生モード」を選び、Ⓕを押す。**

再生画面が表示されます。（☞P.8-13）

補足

SDメモリカード内のタイトルを確認するとき

- このあと、☒（メニュー）を押し、「プレイリスト」を選んだあと、Ⓕを押します。SDメモリカード内のタイトル一覧が表示されます。（プレイリスト画面：☞P.8-18）
- プレイリスト画面でトラック（曲）を選びⒻを押すと、指定したトラック（曲）から再生できます。

3 **Ⓕ（再生）を押す。**

「PLAY」と表示され、1曲目から再生が始まります。（途中で再生を停止していたときは、停止していた位置から再生が始まります。）

- 最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に止まります。（「リピート再生OFF」時）
- 再生停止：Ⓕ（停止）
- 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）（TRAIN（再生音量制限：☞P.8-17）を「ON」に設定しているときは、「音量14」以上にはなりません。）

補足

- 再生画面で、音楽を再生しない状態で、約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

再生中に電話やメールの着信などがあると

再生中に電話がかかってきたときは、再生は継続したまま専用の着信音が鳴り、着信をお知らせします。（自動的に再生を停止するように設定しておくこともできます。☞P.8-18）

また、メールやウェブ、ステーション（ただし緊急情報は除く）の着信があったときは、再生は継続します。再生画面上部のメール着信通知、「✉」や「✹」の点滅、専用の着信音で着信をお知らせします。

次の場合は、再生が自動的に停止されます。続きを再生するときは、上記の操作1～2を行ってください。

- デイリーアラームやスケジュール、自動電源ONなどのアラームが鳴ったとき（☞P.14-10、☞P.14-11、☞P.14-18）
- Vアプリタイマー起動設定時刻になったとき（☞◎P.14-5）
- ステーションの緊急情報を受信したとき（☞◎P.16-10）
- 簡易留守　設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき（☞P.14-6）
- 指定着信拒否の非通知拒否、公衆電話拒否設定時に、非通知や公衆電話からの電話がかかってきたとき（おことわりのメッセージが流れたとき：☞P.12-5）

再生中にできること

再生中の曲を最初から聞く	◎を押します。くり返し押すと、さらに前の曲を聞くことができます。1曲目の再生中に2回押したときは、最後の曲が再生されます。※1
次の曲を聞く	◎を押します。くり返し押すと、さらに次の曲を聞くことができます。最後の曲の再生中（「リピートOFF」時）に押したときは、無効になります。※2
早送りする	◎を押し続けます。ボタンから手を離すと、その時点から再生されます。最後の曲の終わりまで早送りすると、1曲目の最初で停止します。（「リピートOFF」時）※3
早戻しする	◎を押し続けます。ボタンから手を離すと、その時点から再生されます。1曲目の最初まで早戻しすると、1曲目の最初で停止します。※4
途中で再生を止める	Ⓕ（停止）を押します。もう一度Ⓕを押すと、停止している位置から再生が再開されます。

※1　ランダム再生中は、◎をくり返し押しても再生中の曲の頭から再生されます。

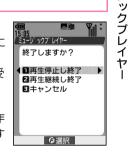
※2　1曲リピート再生中は、◎を押すと再生中の次の曲から再生されます。
全曲リピート再生中は、最後の曲の再生中に◎を押すと、最初の曲が再生されます。
また、ランダム再生中は、◎を押すとランダム再生中の次の曲が再生されます。

※3　1曲リピート再生中に曲の最後まで早送りすると、その曲の最初で停止します。
また、全曲リピート再生やランダム再生中は、ボタンから手を離すまで早送りが続きます。

※4　1曲リピート再生中やランダム再生中に曲の最初まで早戻しすると、その曲の最初で停止します。

再生中の操作

再生中に☎を押すと、右の画面が表示されます。

- 「1再生停止し終了」を選びⒻを押すと、再生が停止し、待受画面に戻ります。
- 「2再生継続し終了」を選びⒻを押すと、再生を継続したまま、待受画面に戻ります。
- 「3キャンセル」を選びⒻを押すと、再生画面に戻ります。
また、再生中にメモリダイヤルやメール作成など、他の機能の操作を行うことができます。ただし、次の操作を行うと、再生を中止するかどうかの確認画面が表示されます。

電話の発信／カメラの利用／SDメモリカードの利用／スーパーメールの送信／メロディ再生／データフォルダの利用／ウェブアクセス／Vアプリの起動　など

- 「1YES」を選びⒻを押すと、再生が中止され各機能が利用できるようになります。（スーパーメールの場合、メール送信完了後、自動的に再生が続きから再開されます。）
- 「2NO」を選びⒻを押すと、各機能の動作は中止され、再生が継続されます。
- 再生中の待受画面で☎を押しても、同様の確認画面が表示されます。
- メール作成画面でデータフォルダ、SDメモリカード、テキストメモなどを利用すると、同様の確認画面が表示されます。（再生を中止した場合でも、メール作成画面に戻ると、自動的に再生が続きから再開されます。）

再生に関する設定を行う

くり返し再生／ランダム再生

全曲または指定した1曲をくり返し再生したり（全曲リピート再生／1曲リピート再生）、ランダムに曲を再生（ランダム再生）できます。

- 1曲リピート再生を設定する場合、くり返し再生する曲の表示中（再生中または停止中）に操作してください。
- お買い上げ時には、「**リピート再生OFF**」に設定されています。

1 **再生画面で、✉（メニュー）を押す。**

2 **「各種設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❶再生設定」を選び、Ⓕを押す。**

4 **設定する再生モードを選び、Ⓕを押す。**

各種設定メニュー画面に戻ります。再生中に設定したときは、設定した再生モードで再生されます。

音質の調整

低音を強調し、迫力のある音で再生します。また、サラウンドで再生できます。

- お買い上げ時には、「**ノーマル**」に設定されています。

1 **再生画面で、✉（メニュー）を押す。**

2 **「各種設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❷音質設定」を選び、Ⓕを押す。**

- 設定できる内容は、次のとおりです。

ノーマル	保存データをそのまま再生
BASS1	低音強調小
BASS2	低音強調大
サラウンド	SRS（サラウンド効果が得られます）
サラウンドバス	サラウンド＋BASS2の効果

- 音質を「BASS1」、「BASS2」、「**サラウンド**」、「**サラウンドバス**」に設定しているときに再生音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、音質を変えるか、再生音量を下げてください。
- 「BASS1」は「**音量14**」以上に設定したとき、「BASS2」は「**音量12**」以上に設定したときに音のひずみを少なくするため、強調レ ルが自動的に調整されます。

4 **設定する音質を選び、Ⓕを押す。**

各種設定メニュー画面に戻ります。
再生中に設定したときは、設定した内容で再生されます。

- この設定は、ヘッドホン利用時のみ有効です。スピーカーでの再生時は、画面の設定表示にかかわらず、「BASS1」、「BASS2」、「**サラウンド**」、「**サラウンドバス**」に設定していても無効となります。
また、モノラルの音楽データの場合、サラウンド効果は無効となります。
- SRS、TruBass、WOWと(●)®記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
SRS、TruBass、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

再生音量の制限（TRAIN）

再生音量を上げすぎると、ヘッドホンによっては周囲に音がもれることがあります。このようなときは、再生音量を「**音量14**」以上に上げられないように設定できます。

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **再生画面で、✉（メニュー）を押す。**

2 **「各種設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❸TRAIN」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❶ON」を選び、Ⓕを押す。**

各種設定メニュー画面に戻ります。
■ TRAINの解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

- 「**音量14**」以上に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「**音量13**」に切り替わります。
TRAINを「OFF」に設定し直しても、「**音量14**」以上の元の状態には戻りません。

8 ミュージックプレイヤー

再生中の着信通知設定

音楽再生中に電話がかかってきたときの動作を、次のいずれかに設定できます。

着信優先	V601SHから設定されている着信音が鳴り、再生が停止します。（ミュージックプレイヤーは終了します。）
着信通知	専用の着信音が鳴り、再生は継続します。

●お買い上げ時には、「**着信通知**」に設定されています。

1 **再生画面で、Ⓜ（メニュー）を押す。**

2 **「各種設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❹着信優先設定」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「❶着信優先」または「❷着信通知」を選び、Ⓕを押す。**
各種設定メニュー画面に戻ります。

8

音楽ファイルを管理／編集する

「**プレイリスト**」とは、　音（保存）時にSDメモリカードに作成される、トラック（曲）の管理リストです。「**プレイリスト**」では、トラック（曲）のタイトルやアーティスト名の変更、トラック（曲）順の並べ替えや消去などが行えます。

●プレイリストの編集や消去中に、SDメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。
●プレイリストの編集や消去中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、ミュージックプレイヤーが終了します。

プレイリストメニューを表示する

プレイリストやトラック（曲）の管理・編集は、プレイリスト画面から行います。

1 **ⒻⓄ（オススメ）の順に押したあと、「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**
■ 再生画面からの操作：Ⓜ（メニュー）

2 **「❸プレイリスト」を選び、Ⓕを押す。**
プレイリスト画面になり、プレイリスト名とトラック（曲）の情報（番号／タイトル）が表示されます。
●V601SHで　音したトラック（曲）は、　音日時のタイトルが自動的に記　されています。
■ プレイリストで再生するトラック（曲）の選択：トラック（曲）のタイトル選択➡Ⓕ

●プレイリスト画面で、文字入力をしない状態で、約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

プレイリスト名
トラック番号　トラックのタイトル

3 **管理・編集するプレイリスト名やタイトルを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。**
●Ⓒ（クリア）を押すと、プレイリスト画面に戻ります。

プレイリストやトラック（曲）の情報を確認するとき
プレイリストメニュー画面で「**プロパティ**」を選び、Ⓕを押します。
●タイトルを選んで操作したときは、タイトル、アーティスト名、再生時間、コメントが表示されます。
●プレイリスト名を選んで操作したときは、プレイリスト名、全タイトル数、総再生時間が表示されます。

プレイリスト名を選んだとき

タイトルを変更する

プレイリスト名、曲名（タイトル）やアーティスト名が変更できます。
●V601SHでの　音（保存）時、　音日時のタイトルが自動的に記　されます。また、アーティスト名は記　されません。ここで説明するプレイリストの操作で新規入力します。
●絵文字は入力できません。
●再生中は、プレイリスト名、タイトル、アーティスト名を変更することはできません。

1 **ⒻⓄ（オススメ）の順に押したあと、「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❸プレイリスト」を選び、Ⓕを押す。**

3 **タイトルを変更するプレイリストやタイトルを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。**

4 **タイトル、アーティスト名を変更するとき**
❶「トラック情報編集」を選び、Ⓕを押す。
❷「❶タイトル」または「❷アーティスト」を選び、Ⓕを押す。

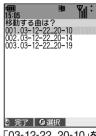
プレイリスト名を変更するとき
❶「♪」の行を選び、Ⓜ（メニュー）を押す。
❷「リストタイトル編集」を選び、Ⓕを押す。

5 **タイトルなどを入力し、Ⓕを押す。**
名称が変更されます。

曲の順番を入れ替える

V601SHは、プレイリストの表示順にしたがって再生されるようになっています。曲の順番を入れ替える（移動する）ことにより再生順を変更できます。
●再生中は、曲の順番を入れ替えることはできません。

1 Ⓕ◎（[オススメ]）の順に押したあと、「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。

2「❸プレイリスト」を選び、Ⓕを押す。

3 ☑（メニュー）を押す。

「03-12-22_20-10」を選んだとき

4「移動」を選び、Ⓕを押す。

5 移動する曲を選び、Ⓕを押す。

6 移動先を選び、Ⓕを押す。
曲の移動が完了します。
●続けて操作3～6をくり返すと、他の曲を移動できます。
●◎（完了）を押すと、プレイリスト画面に戻ります。

曲を消去する

●再生中は、消去することはできません。

1 Ⓕ◎（[オススメ]）の順に押したあと、「ミュージックプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。

2「❸プレイリスト」を選び、Ⓕを押す。

3 消去するタイトル（1曲消去の場合）またはプレイリスト名（全曲消去の場合）を選び、☑（メニュー）を押す。

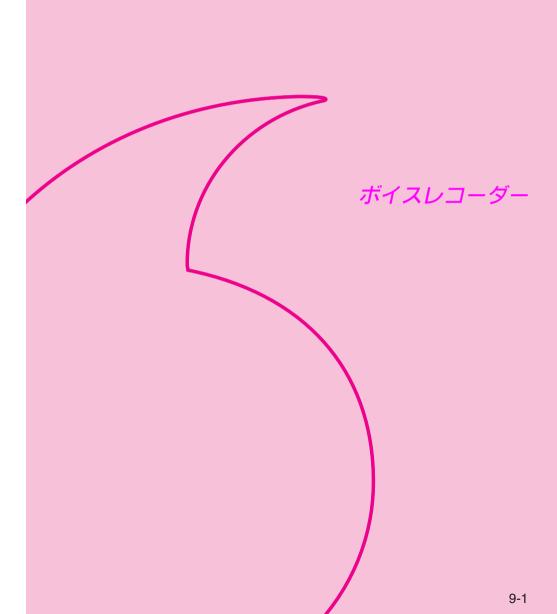
4 **1曲消去するとき**

「消去」を選び、Ⓕを押す。

全曲消去するとき

「リスト内全消去」を選び、Ⓕを押す。

5「❶YES」を選び、Ⓕを押す。
1曲消去した場合は、1曲消去されたあと、プレイリスト画面に戻ります。
全曲消去した場合は、全曲消去されたあと、ミュージックプレイヤー（選択画面）に戻ります。

ボイスレコーダー

音声を録音する

V601SHのマイクを利用して、V601SHやSDメモリカードに音声を　音できます。
- お買い上げ時の状態で、V601SHに最大100分（　音モード「**ロング**」のとき）、または最大20分（　音モード「**ファイン**」のとき）　音することができます。
- 1フォルダあたり最大100ファイルまで　音して登　できます。
- V601SHに　音する場合、1回あたりの最大　音時間は10分になります。
- 通話中の音声の　音はできません。
- 外部マイクとして利用できないプラグなどをイヤホンマイク端子に接続すると、正しく　音ができない場合があります。
- 電池レ　ル表示が「▯」のときは　音できません。また、　音中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、　音が中止されます。

1 Ⓕ⓪（オススメ）の順に押す。

2「ボイスレコーダー」を選び、Ⓕを押す。

3「❷録音モード」を選び、Ⓕを押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。
- 通常はオフラインモードにする（「❷NO」を選ぶ）ことをおすめします。
- すでにオフラインモード（F32）を「❶ON」に設定されているときは、操作5へ進みます。

はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき
- ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、　音した音声ファイルを登するフォルダを選び、Ⓕを押します。
- フォルダ作成：Ⓜ（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡Ⓕ➡フォルダ名入力➡Ⓕ

4「❶YES」または「❷NO」を選び、Ⓕを押す。

音画面（☞P.9-4）になります。
- 登　するフォルダの選択：Ⓜ（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡Ⓕ➡フォルダ選択➡Ⓕ
- 新しいフォルダの作成：Ⓜ（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡Ⓕ➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡Ⓕ➡フォルダ名編集➡Ⓕ
- 登　先の変更：Ⓜ（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡Ⓕ➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」／「**本体へ切替**」選択➡Ⓕ

5 Ⓕ（録音）を押す。

音が開始されます。（　音中はスモールライトが橙色で確認点灯します。）
- 　音中にⓂ（**マーク**）を押すと、以降の音声を別ファイルに分割できます。

- 　音中は、V601SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。

6 録音を終了するときは、Ⓕ（停止）を押す。

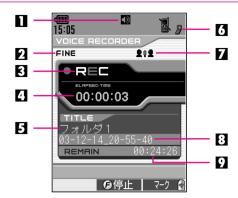
音した音声が登　され、確認メッセージが表示されます。
- 再びⒻ（**録音**）を押すと、　音を再開できます。このときは、別のファイルとして同じフォルダに登　されます。

- 操作4で「❷NO」を選びオフラインモードを設定した場合、　音モードを終了すると、オフラインモードは解除されます。

- V601SHを閉じた状態で音声を　音することもできます。（☞P.14-5）
- V601SHで　音した音声データには、　音日時のタイトルがつきます。タイトルは、あとで変更することができます。
- オフラインモードが設定されていない状態で、　音中に着信があると、　音が自動的に終了したあと、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。
- 　音中は、リピートアラームやVアプリタイマー起動設定の予定の時刻になっても、アラームやVアプリは動作せず　音が継続されます。　音終了後、アラームやVアプリが動作します。

- ボイスレコーダーでの音声技術には「AMR」が使われています。

The AMR applications incorporates patented material owned by Ericsson and Nokia.

ディスプレイ表示（録音時）

1 録音中表示
　音中に赤色表示されます。

2 録音モード表示（☞P.9-5）
LONG：ロング／FINE：ファイン

3 動作状態表示
REC：　音中／STOP：停止中

4 現在の録音経過時間

5 登録フォルダ

6 登録先表示
：本体（V601SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

7 マイク感度表示（☞P.9-4）
：会議用／　：口述用

8 タイトル

9 録音可能な残り時間
　音を終了する（　音した音声が登　される）、または　音中に（**マーク**）を押すと変化します。

●サブディスプレイにも、　音画面が表示されます。

マイク感度を設定する

　音する場所や状況に応じて、マイク感度を設定できます。
マイク感度には、広い場所での会議などに適した「**会議用**」と、対面での打ち合わせなどに適した「**口述用**」とがあります。
●お買い上げ時には、「**会議用**」に設定されています。

1 録音画面で、（メニュー）を押す。

2「マイク感度設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1会議用」または「2口述用」を選び、Ⓕを押す。
マイク感度が設定され、　音画面に戻ります。
●マイク感度設定が「**会議用**」の場合は、V601SHのマイクからおよそ２ｍ前後、「**口述用**」の場合はおよそ20〜30cmを目安にご使用ください。いずれの場合も、一度試しに　音されることをおすすめします。

録音モードを設定する

　音モードを「**ロング**」または「**ファイン**」のいずれかに設定できます。
●「**ファイン**」に設定すると音質がよくなりますが、ファイル容量が大きくなるため、　音できる時間は短くなります。
●ボイス着信音には、「**ファイン**」で　音した音声のみ利用できます。
●お買い上げ時には、「**ファイン**」に設定されています。

1 録音画面で、（メニュー）を押す。

2「録音モード設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1ロング」または「2ファイン」を選び、Ⓕを押す。
　音モードが設定され、　音メニュー画面に戻ります。

音声ファイルを消去する

　音した音声を１件ずつ消去できます。

1 録音画面で、（メニュー）を押す。

2「データ消去」を選び、Ⓕを押す。

3 消去する音声を選び、Ⓕを押す。

4「1YES」を選び、Ⓕを押す。
音声が消去され、操作２の画面に戻ります。

音声を再生する

- 再生音は、V601SHのスピーカーから聞こえます。
- 市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルを利用して再生することもできます。（☞P.8-12）

1 Ⓕ◎（ホスト）の順に押す。

2「ボイスレコーダー」を選び、Ⓕを押す。

3「❶再生モード」を選び、Ⓕを押す。

再生画面（☞P.9-7）が表示されます。

■ 別の音声ファイルの再生：☑（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡Ⓕ➡◎➡フォルダ選択➡Ⓕ➡音声ファイル選択➡Ⓕ

はじめて再生するときや前回再生したフォルダが消去されているとき

- ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、次の操作を行います。
  フォルダ選択➡Ⓕ➡音声ファイル選択➡Ⓕ

ボイスフォルダ画面での操作

- フォルダ作成：◎➡☑（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡Ⓕ➡フォルダ名入力➡Ⓕ
- 名前の変更：ファイル選択➡☑（メニュー）➡「名前の変更」選択➡Ⓕ➡ファイル名入力➡Ⓕ
- ファイル消去：ファイル選択➡☑（メニュー）➡「消去」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ
- ファイル移動（V601SH⇔SDメモリカード間）：ファイル選択➡☑（メニュー）➡「移動」選択➡Ⓕ➡「❶本体」／「❷メモリカード」選択➡Ⓕ➡移動先フォルダ選択➡Ⓕ➡Ⓕ

SDメモリカード内の音声を再生する

- ボイスフォルダ画面で☑（メニュー）を押したあと、「メモリカードへ切替」を選び、Ⓕを押します。

4 Ⓕ（再生）を押す。

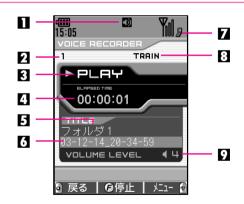
再生が始まります。

■ 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）（TRAIN（再生音量制限：☞P.9-8）を「ON」に設定しているときは、「音量5」にはなりません。）

再生中の音声ファイルを最初から聞く	◎を押します。くり返し押すと、さらに前の音声ファイルを聞くことができます。1件目の再生中に2回押したときは、最後の音声ファイルが再生されます。
次の音声ファイルを聞く	◎を押します。くり返し押すと、さらに次の音声ファイルを聞くことができます。最後の音声ファイルを再生中に押したときは、最初の音声ファイルが再生されます。
早送りをする	◎を押し続けます。ボタンから手を離すと、その時点から再生されます。※1 最後の音声ファイルまで早送りすると、1件目の最初で停止します。※2
早戻しをする	◎を押し続けます。ボタンから手を離すと、その時点から再生されます。※1 1件目の音声ファイルまで早戻しすると、1件目の最初で停止します。※2
途中で再生を止める	Ⓕ（停止）を押します。もう一度Ⓕを押すと、停止している位置から再生が再開されます。

※1　停止中は操作できません。
※2　1件再生に設定しているときは、ファイルをまたがって早送り、早戻しはできません。

再生中の電話やメールの着信時

■ 電話がかかってきたときは、再生が停止されたあと、設定されている各着信音が鳴り、着信をお知らせします。
■ メールなどの着信があった場合は、音楽再生時と同様の動作になります。（☞P.8-14）

ディスプレイ表示（再生時）

❶ 再生中表示
再生中に緑色表示されます。

❷ 再生モード表示（☞P.9-8）
1：1件再生／ALL：全件再生

❸ 動作状態表示
PLAY：再生中／STOP：停止中／FF：早送り中／REW：早戻し中

❹ 現在の再生経過時間

❺ フォルダ名

❻ ファイル名

7 登録先
　：本体（V601SH）／：メモリカード（SDメモリカード）
8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.9-8）
　TRAIN：再生音量制限「ON」
　※何も表示されないときは、「OFF」設定です。
9 再生音量（☞P.9-6）

再生音量を制限する（TRAIN）

再生音量を「音量０」〜「音量４」に制限するように設定できます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **再生画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「各種設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「2TRAIN」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**
操作２の画面に戻ります。
■ TRAINの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

補足
●「音量５」に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「音量４」に切り替わります。
TRAINを「OFF」に設定し直しても、「音量５」には戻りません。

再生モードを設定する

「全件再生」に設定すると、再生する音声ファイルを指定したとき、同じフォルダに登　されている他の音声ファイルも、連続して再生するように設定できます。
●お買い上げ時には、「１件再生」（指定した音声ファイルのみ再生する）に設定されています。

1 **再生画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「各種設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1再生設定」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1 1件再生」または「2全件再生」を選び、Ⓕを押す。**
操作２の画面に戻ります。

音声ファイルを分割する

再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを２つに分割します。

1 **再生中に、分割する位置で（メニュー）を押す。**
●一時停止中でも操作できます。

2 **「データ分割」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**
ボイスフォルダの画面になります。
●分割後のファイルは、分割前のファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字：00〜99）が付いたファイル名になります。

注意
●音声ファイルの先頭および末尾から約20秒程度の間は、データ分割はできません。
●V601SHまたはSDメモリカードの空き容量によっては、分割できない場合があります。
●V601SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用されているときは、データ分割したファイルが正しく再生されない場合があります。

録音した音声を着信音に登録

ボイスレコーダーで　音した音声の一部を切り出し、ボイス着信音に利用できるボイスファイルを作成します。
●ボイス着信音には、　音モード「**ファイン**」で　音した音声のみ利用できます。
●切り出しは、再生中に指定した位置、または一時停止している位置から行われます。（最大約30秒）
●切り出したボイスファイルは新しいファイルとしてボイスフォルダに保存されます。
●切り出し可能なボイスファイルは、本体のボイスフォルダ内のボイスファイルのみです。

着信ボイスを作成する

1 再生中に、切り出しを始める位置で✉（メニュー）を押す。

●一時停止中でも操作できます。

2「切り出し」を選び、Ⓕを押す。

再生画面に戻ります。

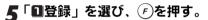
3 Ⓕを押す。

再生が再開されます。

4 切り出しを終わる位置で、Ⓕを押す。

切り出しが開始され、完了すると右の画面が表示されます。

- ボイスファイルの確認：「2 再生確認」選択➡Ⓕ➡＜停止＞➡Ⓕ
- 切り出しのやり直し：「3取消」選択➡Ⓕ

5「1登録」を選び、Ⓕを押す。

ボイスファイルが登　され、ボイスフォルダの画面が表示されます。

着信音に設定する

●ボイス着信音には、V601SHの「**フォルダ 1**」内のボイスファイルのみ利用できます。他のフォルダ内のボイスファイルを利用するときは、あらかじめ「**フォルダ 1**」に移動またはコピーしておいてください。

1 再生画面で、✉（メニュー）を押す。

2「ボイスフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3 着信音に設定するボイスファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

4「着信音設定」を選び、Ⓕを押す。

●ボイス着信音に利用できないボイスファイルの場合、「**着信音設定**」は選択できません。

5 着信の種類を選び、Ⓕを押す。

選んだ着信の着信音として設定され、ボイスフォルダの画面に戻ります。

メモリカード

SDロゴは商標です。

メモリカードをご利用になる前に

V601SHでは、SDメモリカードを利用することができます。V601SHで撮影した画像や音楽を保存したり、V601SH内のデータフォルダやメモリダイヤルなどのデータを保存します。

- V601SHには、SDメモリカードが同梱されておりません。市販のSDメモリカードをご購入いただいて、ご利用ください。
- 市販のSDメモリカードをV601SHで使用する際は、フォーマットする必要があります。（☞P.10-11）
- SDメモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- 他の機器で使用していたSDメモリカードをお使いになる場合は、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.10-10）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたSDメモリカードの場合、データが正しく表示されないことがあります。

メモリカードの取り扱い

SDメモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

SDメモリカードの登　内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。

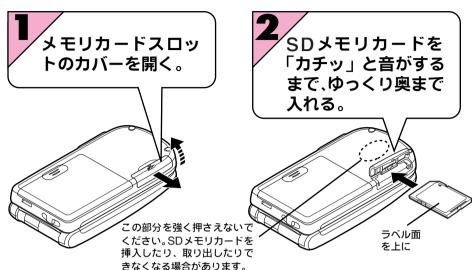
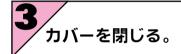
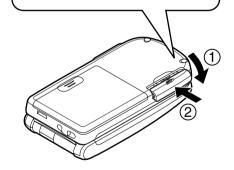
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

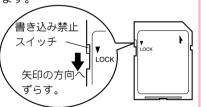
- V601SHの電源を入れた状態でSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 新たにラ　ルやシールを貼らないでください。SDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラ　ルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- SDメモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- SDメモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。
- SDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のSDメモリカードは使用できない場合や正しく動作しない場合があります。

補足
- 本機は**SDメモリカード**および**SD-ROMカード**に対応しています。
- 本機で推奨するSDメモリカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512MバイトのSDメモリカードです。

メモリカードを取り付ける／取り外す

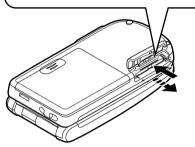
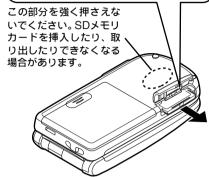
●取り付けかた

必ずV601SHの電源を切った状態で取り付けてください。

書き込み禁止スイッチについて

SDメモリカードには、データの誤消去を防止する「**書き込み禁止スイッチ**」がついています。「**書き込み禁止スイッチ**」を「LOCK」にすると、データの消去や保存などができなくなります。

注意
- メモリカードスロットのカバーは、爪を使って開かないでください。カバーが傷つく恐れがあります。

●取り外しかた

必ずV601SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、SDメモリカードを軽く押し込む。

SDメモリカードを軽く押し込んで手を離すと、SDメモリカードが少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 SDメモリカードを取り出す。

まっすぐにゆっくり引き抜いてください。SDメモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

メモリカードのアイコン

SDメモリカードを取り付けると、画面に次のようなアイコンが表示されます。

	SDメモリカードが取り付けられています。
	SDメモリカードが使用中（読み出し中や書き込み中）です。（緑色点滅または赤色点滅）
	SDメモリカードが書き込み禁止です。（赤色点灯）

●サブディスプレイには「」のマークが表示されます。

●データの読み出し中や書き込み中は、絶対にSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。SDメモリカードまたはV601SHが破損する恐れがあります。

●SDメモリカード以外のものを挿入すると、カードやV601SHが破損する恐れがあります。

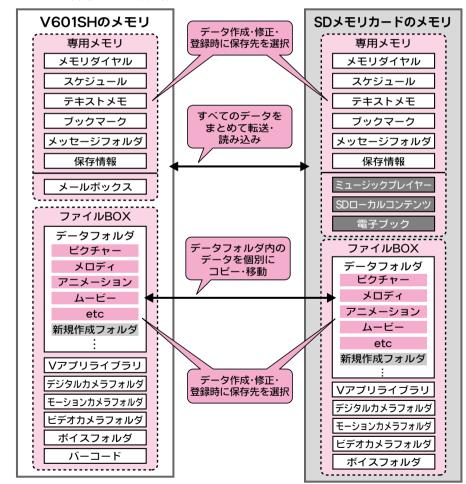
●V601SHにSDメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、SDメモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまで時間がかかることがあります。（SDメモリカードの容量や書き込まれているデータ量によっては、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。）

また、Vアプリライブラリ手動シンクロの確認メッセージが表示される場合があります。（☞ P.13-4）

メモリカード概要

メモリカードのメモリ管理方法について

SDメモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV601SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」とがあります。それぞれのメモリには、次の方法でV601SHからデータを保存します。

●V601SHとSDメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなど、同じデータを保存できない場合もあります。）目的に応じて使い分けてください。

メモリカードを利用する

保存されているデータを確認する

V601SHでSDメモリカードに保存したデータは、次の方法で確認します。

直接SDメモリカードのデータを確認する

次の機能は、各機能から確認してください。

- ●メモリダイヤル
- ●スケジュール
- ●ブックマーク（ウェブ）
- ●メッセージフォルダ（ウェブ）
- ●保存情報（ステーション）

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「❸メモリカードデータ確認」を選び、Ⓕを押す。

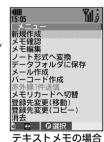
3 確認する項目を選び、Ⓕを押す。

各機能から確認する

1 各機能の画面で、（メニュー）を押す。

●ブックマークの画面からは、Ⓕ（メニュー）を押します。

■ SDメモリカード内のメモリダイヤルの確認：メモリダイヤルの検索画面またはリスト画面➡（切替）（☞P.4-14）

テキストメモの場合

2「メモリカードへ切替」を選び、Ⓕを押す。

■ V601SHに登　されているデータの利用：「本体へ切替」選択➡Ⓕ

●他の機器で使用していたSDメモリカードをお使いになる場合は、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.10-10）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたSDメモリカードの場合、データが正しく表示されないことがあります。

●パソコン等でSDメモリカードに保存したデータを、V601SHで確認した場合、データのファイル属性は無効となります。

メモリカードの使用状況を確認する

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「❶メモリカードメモリ確認」を選び、Ⓕを押す。

メモリ使用量や空き容量が表示されます。

●SDメモリカードのメモリは、お客さまが直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。

例：64MBのSDメモリカードの場合

●ユーザー領域は、約60.6MBになります。メモリカードメモリ確認の「**カード容量**」で表示される数値は、ユーザー領域のメモリ容量です。

メモリカード内のデジタルカメラフォルダ、ビデオカメラフォルダを表示する

デジタルカメラモードやビデオカメラモードで撮影した画像（「**登録先**」を「**メモリカード**」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「**デジタルカメラフォルダ**」や「**ビデオカメラフォルダ**」に登　されます。

- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。
- デジタルカメラフォルダの静止画に対してプリント枚数などを指定することもできます。（DPOF：☞P.5-35）

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2 「3メモリカードデータ確認」を選び、Ⓕを押す。

3 「3デジタルカメラフォルダ」または「5ビデオカメラフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

デジタルカメラフォルダは「DCIM」、ビデオカメラフォルダは「SD_VIDEO」の内容が表示されます。

4 フォルダを選び、Ⓕを押す。

- デジタルカメラモードで撮影した静止画は、通常「100SHARP」フォルダ内に登　されています。
- ビデオカメラモードで撮影した動画は通常「PRL001」フォルダ内に登　されています。

■ 壁紙やデータフォルダに登　：静止画選択　➡Ⓜ（**メニュー**）（☞P.11-41）
■ 静止画の消去：静止画選択 ➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**消去**」選択➡Ⓕ➡「**1YES**」選択➡Ⓕ
■ 映像の外部出力：動画選択➡Ⓜ（**メニュー**）（☞P.11-55）

5 確認する画像を選び、Ⓕを押す。

■ 確認終了：PWR

パソコンなどの他機器での画像編集

V601SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。デジタルカメラモードの画像をパソコンなどで編集する場合、以下の点にご注意ください。

- V601SH で撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、自動的にDCF規格（☞P.5-6）以外のファイルとなってしまい、V601SHで画像を再表示できなくなる場合があります。
- パソコンで加工／編集する場合、SDメモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーした画像ファイルを操作されることをおすすめします。

メモリカード内のモーションカメラフォルダを表示する

モーションカメラモードで撮影した動画（「**登録先**」を「**メモリカード**」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「**モーションカメラフォルダ**」に登　されます。このモーションカメラフォルダを表示して、動画を確認することができます。

- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2 「3メモリカードデータ確認」を選び、Ⓕを押す。

3 「4モーションカメラフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

■ 名前の変更／動画の消去：動画選択➡Ⓜ（**メニュー**）（☞P.11-13〜P.11-14）
■ 動画の情報の確認：確認する動画選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡Ⓕ➡<戻る>➡Ⓠ（**戻る**）

4 確認する動画を選び、Ⓕを押す。

再生が始まります。Ⓕ（**停止**）を押すと、一時停止します。

■ 再生中の操作：☞P.5-41
■ 続けて、別の動画を確認：Ⓠ（**戻る**）
■ 確認終了：PWR

メモリカード内のローカルコンテンツを表示する

SDメモリカード内のHTMLファイルを表示して、SDメモリカード内のファイルやインターネットにアクセスすることができます。

- ウェブを「OFF」にしているときは、操作できません。「ON」にしてから操作してください。（☞ O P.1-9）

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2 「7SDローカルコンテンツ」を選び、Ⓕを押す。

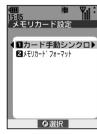
3 表示したいタイトルを選び、Ⓕを押す。

メモリカードの情報を更新する

SDメモリカードを他のボーダフォン携帯電話やパソコン等で利用（データ編集や追加、消去など）した場合、「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新する必要があります。

- 「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新しないと、SDメモリカードが正しく動作しない場合があります。
- SDメモリカード内のファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2 「❾メモリカード設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「❶カード手動シンクロ」を選び、Ⓕを押す。

4 更新するデータを選び、Ⓕを押す。

5 「❶実行」を選び、Ⓕを押す。

SDメモリカードの情報が更新され、待受画面に戻ります。

■ SD メモリカードの情報更新を途中で中止：（**キャンセル**）➡「❶YES」選択➡Ⓕ

■ SD メモリカードの情報更新中にV601SHを利用：SDメモリカードの情報更新中に

注意
- SDメモリカードに空き容量がないときは、カード手動シンクロができない場合があります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

フォーマット（初期化）されていないSDメモリカードを使うときは、V601SHでフォーマットする必要があります。

- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V601SH では正常に使用できない場合があります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

注意
- SD メモリカードをフォーマットすると、SD メモリカード内のすべてのデータが消去されます。ご注意ください。

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2 「❾メモリカード設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「❷メモリカードフォーマット」を選び、Ⓕを押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25

■ 操作用暗証番号の入力間違い：メモリカード設定の画面に戻る

5 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

注意
- メモリカードフォーマットは、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
- メモリカードフォーマット中は、絶対にSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。SDメモリカードまたはV601SHが破損する恐れがあります。

自動的にHTMLファイルを実行する

オートラン機能のはたらき

SDメモリカード内にauto runファイルがあると、SDメモリカードを挿入したときや、SDメモリカード挿入状態で電源を入れたときに、auto runファイルで指定されたローカルコンテンツ対応のHTMLファイルが自動的に表示されます。

●SDメモリカードを取り付けたり、取り外すときは、電源を切った状態で行ってください。

手動でオートランファイルを実行する

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「6オートラン」を選び、Ⓕを押す。

3「1手動オートラン」を選び、Ⓕを押す。

オートランファイルを削除する

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「6オートラン」を選び、Ⓕを押す。

3「2オートラン削除」を選び、Ⓕを押す。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：メモリカードメニューに戻る

5「1実行」を選び、Ⓕを押す。

補足
●auto runファイルを削除すると、自動的にHTMLファイルを表示したり、手動でオートラン機能を実行することはできません。
●auto runファイルを削除してもローカルコンテンツ対応のHTMLファイルは削除されません。ローカルコンテンツを表示する操作（☞P.10-9）を行うとHTMLファイルを表示することができます。

メモリカード内のデータ転送

V601SHとSDメモリカードの間では、次の方法で各データをやりとりします。

コピー／移動	指定したデータを、1件ずつメモリカードに移動／コピーします。 コピー／移動できるデータは、次のとおりです。 メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、データフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、etc、ユーザー作成フォルダ）、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、ボイスデータ、ウェブのメッセージフォルダ、ウェブのブックマーク、Vアプリライブラリ、ステーションの保存情報
一括転送	データの種類ごとに、すべてのデータをメモリカードに転送します。 転送できるデータは、次のとおりです。 上記のコピー／移動できる各データ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）

■ 一括転送について：☞P.10-15
■ データフォルダ内のファイルのコピー／移動：☞P.11-15〜P.11-16

指定したデータをコピー／移動する

データのコピー／移動は、「登録先変更（コピー）」、「登録先変更（移動）」、「コピー」、「移動」、「本体へコピー」、「本体へ移動」、「メモリカードへコピー」、「メモリカードへ移動」が表示される機能や画面で行えます。ここでは、メモリダイヤルのコピー／移動を例に説明します。

●移動したデータは移動元から消去されます。

1 コピー／移動したいメモリダイヤルを呼び出す。
（☞P.4-14〜P.4-17）

2 Ⓕ（メニュー）を押す。

3「登録先変更（コピー）」または「登録先変更（移動）」を選び、Ⓕを押す。

4 Ⓞ（▣）を押す。

登　先がSDメモリカードになります。もう一度Ⓞ（▯）を押すと、V601SHに戻ります。
このあとメモリ番号を入力すると、指定したメモリダイヤルがコピー／移動されます。

データフォルダのデータのコピー／移動

1 コピー／移動したいデータを選び、（メニュー）を押す。
2「コピー」または「移動」を選び、Ⓕを押す。
3「1 本体」または「2 メモリカード」を選び、Ⓕを押す。
4 コピー／移動先のフォルダを選び、Ⓕを押す。
指定したデータが、コピー／移動されます。

メモリダイヤルやデータフォルダ以外のコピー／移動

1 コピー／移動したいデータを選び、Ⓕ（メニュー）または（メニュー）を押す。
2「登録先変更（コピー）」または「登録先変更（移動）」、「本体へコピー」、「本体へ移動」、「メモリカードへコピー」、「メモリカードへ移動」を選び、Ⓕを押す。
指定したデータが、コピー／移動されます。

データをまとめて転送する

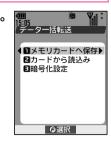
一括転送できるデータの種類と、転送後のファイルの状態は次のとおりです。

1つのファイルにまとめて保存	次の各機能では、機能内のすべてのデータを1つのバックアップファイルとしてメモリカードに保存します。 メモリカードへの保存後は、V601SHから確認することはできません。 メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）、ウェブのブックマーク
個別のファイルで保存	次の各機能では、機能内のデータが個別にメモリカードに保存されます。メモリカードに保存後も、V601SHから確認することができます。 データフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、etc、ユーザー作成フォルダ）、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、ボイスデータ、Vアプリライブラリ、ウェブのメッセージフォルダ、ステーションの保存情報

- データの種類を指定して一括転送することもできます。
- 著作権で保護されている（コピー不可）データをSDメモリカードに一括転送した場合、SDメモリカードにのみ保存され、V601SHからは削除されます。（著作権で保護されているデータはコピーできません。）
- データの内容によっては、SDメモリカードに転送できないデータがあります。
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。
- 電池残量が少ない場合、一括転送はできません。
- この機能は、個人データのバックアップや同機種間（SDメモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動等の目的でご利用されることをおすすめします。

メモリカードに一括転送する

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「5データ一括転送」を選び、Ⓕを押す。

3「1メモリカードへ保存」を選び、Ⓕを押す。

4「2NO」を選び、Ⓕを押す。
- 転送中は、着信することができません。

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
- 操作4のあと、何も操作しないでそのままにしておくと、操作2の画面に戻ります。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：データ一括転送の画面に戻る

6 一括転送するデータの種類を選び、Ⓕを押す。
- 「全て」、「メモリダイヤル」の選択時：確認画面が表示➡「1YES」／「2NO」選択➡Ⓕ

7「1YES」を選び、Ⓕを押す。
SDメモリカードへの一括転送が完了すると、確認メッセージが表示され、データ一括転送の画面に戻ります。
- メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマークを一括転送した場合、1つのファイルとして保存されます。（転送日のファイル名がつきます。）
- 他のデータの種類の一括転送：操作3～7をくり返す
- 一括転送を途中で中止：（キャンセル）

- 内容によっては、転送できないデータもあります。
- 一括転送されたデータは、種類や内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。
- 同じファイル名のデータは転送されません。
- 一括転送したメモリダイヤルのデータには、指定着信音やメールコールに登 されているメロディは含まれていません。また、メモリダイヤルだけを一括転送した場合も、メロディは一緒に転送されません。
- SDメモリカードの空き容量が少ない場合は、データの登 （移動・コピー・データ一括転送を含む）がうまくできないことがあります。
- メモリダイヤル、メール、スケジュールで、暗号化設定（☞P.10-17）を「1ON」に設定してSDメモリカードに一括転送したこれらのデータは、ご自分のV601SHでのみ利用できます。

メモリカードから読み込む

SDメモリカードに一括転送したデータを、V601SHに読み込みます。

●**SDメモリカードからデータを読み込むと、V601SH内のデータは消去されます。消去してもよいかを十分ご確認の上、操作してください。**

●著作権で保護されている（コピー不可）データをSDメモリカードから読み込んだ場合、V601SHにのみ保存され、SDメモリカードからは削除されます。（著作権で保護されているデータはコピーできません。）

●電池残量が少ない場合、SDメモリカードから読み込みできません。

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「5データ一括転送」を選び、Ⓕを押す。

3「2カードから読込み」を選び、Ⓕを押す。

4「2NO」を選び、Ⓕを押す。

●読込み中は、着信することができません。

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：P.1-25

■ 操作用暗証番号の入力間違い：データ一括転送の画面に戻る

■転送されていないデータの種類は、グレーで表示されます。

6 読み込むデータの種類を選び、Ⓕを押す。

●メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマーク以外のデータを選択したときは、このあと操作8へ進みます。

■ SDメモリカードに一括転送したファイルの消去：右の画面で消去するファイル選択➡（消去）➡「1YES」選択➡Ⓕ

7 読み込むファイルを選び、Ⓕを押す。

●ファイルが複数ある場合は、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例：2003年12月20日に一括転送した場合のファイル名「031220XX」

（XXは、00～99、aa～zzの2ケタの数字、英字）

8「1YES」を選び、Ⓕを押す。

9「1実行」を選び、Ⓕを押す。

読み込みが開始されます。

●V601SHへの読み込みが完了すると、確認メッセージが表示され、データ一括転送の画面に戻ります。

■ 他のデータの種類を読み込む：操作3～9をくり返す

■ 読み込みを途中で中止：（キャンセル）

注意

●V601SHの空き容量が少ない場合は、データの登録（移動・コピー・データ一括転送を含む）がうまくできないことがあります。

●データ一括転送でSDメモリカードから連写データを読み込んだとき、データの登録がうまくできなかった場合、V601SHのデータフォルダの連写フォルダ内に「未完成.SRF」が自動的に作成されることがあります。

●SDメモリカードに一括転送した著作権で保護されている（コピー不可）データを再度読み込むことができるのは、ご自分のボーダフォン携帯電話のみとなります。著作権で保護されているデータをSDメモリカードを介して、第三者（ご自分と異なる電話番号）のボーダフォン携帯電話に転用することはできませんので、ご注意ください。

●SDメモリカードに一括転送したデータは、V601SHからは確認することはできません。（SDメモリカードから読み込むと、確認することができます。）

暗号化を設定する

V601SH内のデータをSDメモリカードにまとめて転送する場合、メモリダイヤルやメール、スケジュールを暗号化して保存するかどうかを設定します。暗号化してSDメモリカードに保存されたデータは、ご利用のV601SHでのみ正しく表示されます。他のボーダフォン携帯電話やパソコン等の機器で表示させることはできません。

●暗号化は、メモリダイヤル、メール、スケジュール、それぞれ個別に設定できます。

●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

●あらかじめ、V601SHにSDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-3）

1 Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。

2「5データ一括転送」を選び、Ⓕを押す。

3「3暗号化設定」を選び、Ⓕを押す。

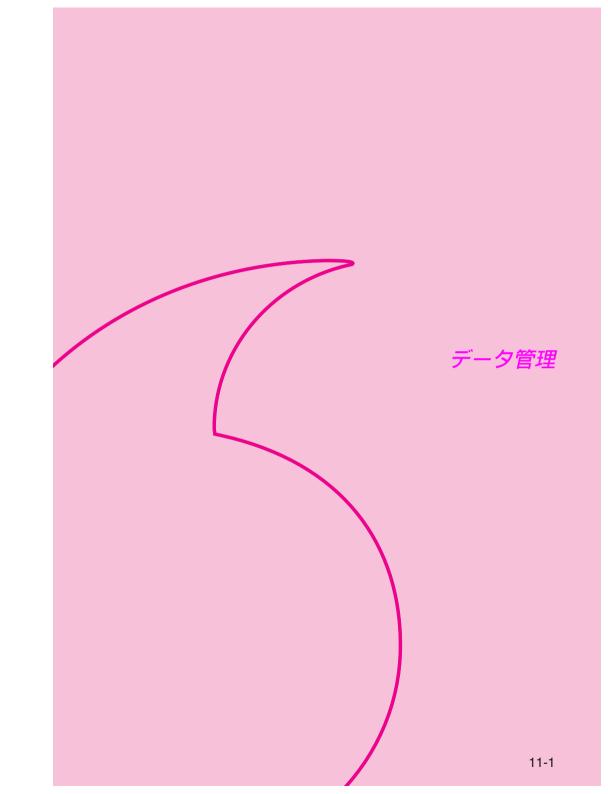
4 暗号化を設定するデータの種類を選び、Ⓕを押す。

5「1ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 暗号化しない：「2OFF」選択➡Ⓕ

6 他のデータの種類を設定するときは、操作4～6をくり返す。

■ 操作終了：

MEMO

データフォルダの概要

データフォルダの構成

V601SHのメモリには、メモリダイヤルやメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理するファイルBOXがあります。

●V601SH で作成または入手したデータは、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。

各機能で作成・入手したデータが保存される専用メモリです。機能ごとに登録できる容量（件数など）が決められています。

各機能で作成・入手したデータの形式によって自動的に振り分けて保存されるメモリです。ファイルBOX全体の容量が決められています。

●専用メモリ内のデータには、「**vファイル**」として、ファイルBOXのデータフォルダに登録できるものもあります。（☞P.11-46）

●V601SHのファイルBOXには、最大約６Mバイトまで登　できます。

ファイルBOXのメモリ使用状況の確認

●Ⓕ③①の順に押し、メモリ確認の画面を表示したあと、「**3ファイルBOX**」を選び、Ⓕを押します。

データフォルダのしくみ

データフォルダには、あらかじめファイルの種類別にいくつかのフォルダが登　されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

●各フォルダには、次のファイル形式のデータが保存されます。

データフォルダ

- **モバイルカメラ（ショートカット）**：モバイルカメラデータへのショートカット
  写メールモード（ピクチャー）のファイル、デジタルカメラモードのファイル、ムービー写メールモード（ムービー）のファイル、モーションカメラ（MPEG）モードのファイル、ビデオカメラモードのファイル
- **ピクチャー**：V601SHで撮影した静止画などの画像（ピクチャー）ファイル
  <JPEGファイル（／.jpg）、PNGファイル（／.png）>
- **メロディ**：V601SHで作成したオリジナル着信音などのメロディファイル
  <SMAFファイル（／.mmf）、メロディファイル（／.smd）>
  <オリジナル着信音（／.sjm）>
- **アニメーション**：V601SHで作成したアニメーションなどのアニメファイル
  <JPEGアニメ（）、PNGアニメ（）>
  <PNG/JPEGアニメ（）、E-アニメータ（／.nva）>
  <MNGファイル（／.mng）>
- **ムービー**：V601SHで撮影した動画などのムービーファイル
  <Nancyファイル（／.noa）、MPEG-4ファイル（／.3gp）>
- **etc**：上記ファイルのほか、vファイル、HTMLファイル、MMLファイル、EMLファイル、SVGファイル、辞書ファイルなど
- **新規作成フォルダ**：ご自分で作成したフォルダ（ファイル形式はetcフォルダと同様）
- ：

※連写画像を撮影／登録すると、連写フォルダが自動的に作成されます。<連写ファイル（／.SRG）>

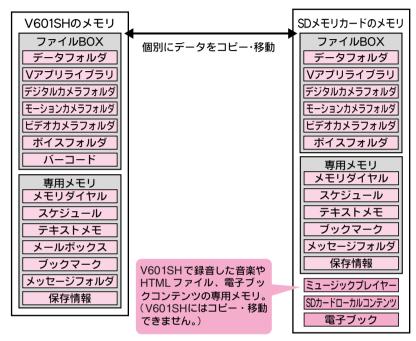
●<　>内は、「**ファイル形式（アイコン／拡張子）**」を示します。
ただし、JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG／JPEGアニメは、拡張子が表示されません。
なお、アイコンはファイルの状態によって、次のように変化することがあります。(下記はJPEGファイルの例です。他の形式のアイコンでも同様に変化します。)

アイコン	意味
（文字が青色のアイコン）	通常のファイルです。
（文字が赤色のアイコン）	コピー／転送不可のファイルです。

メモリカード

V601SHでは、データの保存場所として「**SDメモリカード**」を利用することもできます。SDメモリカードには、V601SHで　音した音楽や撮影した画像や動画が保存されるほか、V601SH内のデータを一括保存したり、作成したデータをSDメモリカード内に直接登　することができます。また、V601SHとSDメモリカード間でデータをコピー・移動することも可能です。

■ SDメモリカード：☞P.10-2

注意

- メールボックスのデータ（メール）は、個別にSDメモリカードにコピー・移動することはできません。ただし、メールボックスのメールをvMessage形式のデータとしてデータフォルダに保存したり、データフォルダにあるvMessage形式のデータをメールボックスに読み込むことはできます。
- データの種類や内容によっては、コピー・移動できない場合があります。
- SDメモリカードに保存したデータの種類や内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。
- 他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）した場合は、「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新する必要があります。（☞P.10-10）

11 データ管理

保存されているファイルの確認

F85

データフォルダ内のファイルを確認する

1 **Ⓕ8 5の順に押す。**

■ SDメモリカード内のデータの確認：☑（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

2 **確認するフォルダを選び、Ⓕを押す。**

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル表示画面：☞P.11-7）

- フォルダ内にご自分でフォルダを作成しているときは、フォルダも表示されます。このあと、フォルダを選びⒻを押すと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。
- フォルダ内のファイルは、日時順やファイル名順に並べ替えて表示することもできます。（☞P.11-6）
- 「**写メールデータ**」や「**デジタルカメラデータ**」、「**ムービー写メールデータ**」、「**モーションカメラ（MPEG）データ**」、「**ビデオカメラデータ**」は、モバイルカメラフォルダから確認できます。

■ フォルダの選びかた：☞P.11-8

画像一覧表示の場合

3 **確認するファイルを選び、Ⓕを押す。**

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

■ 画像表示の位置調整：◈
■ 画像表示の拡大・縮小：◙（**リサイズ**）➡◉（拡大）／◉（縮小）
■ 拡大・縮小した画像を壁紙に登　：拡大・縮小画像表示中Ⓕ
■ 拡大・縮小した画像をなめらかに表示（soft）：拡大・縮小画像表示中 ☑

連写画像の確認

- 分割画像が表示されます。◈ を押すと、連写画像内の静止画を１枚ずつ確認することができます。

240　320ドットより大きい画像（JPEGファイル）の確認

- 画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズを表示するときは、☑（**メニュー**）を押したあと、「**実画像表示**」を選んで、Ⓕを押します。

4 **データフォルダ画面に戻るときは、クリアを押す。**

- 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間で、データフォルダ内のデータをやりとりすることができます。（☞P.13-2）

11 データ管理

画像一覧／ファイル名一覧の切り替え

■ ファイル表示画面（☞P.11-7）を画像一覧表示またはファイル名一覧表示に切り替えることができます。（この設定は、選んだフォルダだけでなく、すべてのフォルダに有効になります。）

1 データフォルダ画面（☞P.11-7）でフォルダを選び、㋱（メニュー）を押す。

ファイル表示画面：フォルダ選択➡㋱（メニュー）

2「便利機能」を選び、Ⓕを押す。

3「ファイル名一覧表示」または「画像一覧表示」を選び、Ⓕを押す。

- この操作以降、選んだ方法で表示されます。

ファイルを日時順や名前順に並べ替える

■ データフォルダ内のファイルは、次の操作を行うと日時順やファイル名順に並べ替えて表示することができます。（この設定は、選んだフォルダだけでなく、すべてのフォルダに有効になります。）

1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で、㋱（メニュー）を押す。

- ファイル表示画面ではフォルダを選択しておいてください。

2「便利機能」を選び、Ⓕを押す。

3「並べ替え」を選び、Ⓕを押す。

並べ替え方法の選択画面が表示されます。

4 並べ替え方法を選び、Ⓕを押す。

■ これ以降、選んだ方法で並べ替えて表示されます。フォルダ内のファイル数が多い場合、並べ替えを行うとフォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

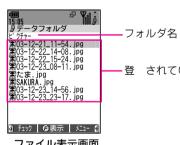
■ フォルダ内に181ファイル以上ある場合は、「**日時**」または「**ファイル名**」に設定しているときでも、並べ替えて表示されません。

ディスプレイ

データフォルダ画面（V601SH内のデータフォルダ選択時）

- ：V601SHのデータフォルダ
- ：SDメモリカードのデータフォルダ
- あらかじめ登　されているフォルダ
- ご自分で作成したフォルダ（☞P.11-12）
- 連写モードで撮影した画像を登　したとき自動的に作成されるフォルダ

ファイル表示画面＜画像一覧＞（V601SH内のピクチャーフォルダ選択時）

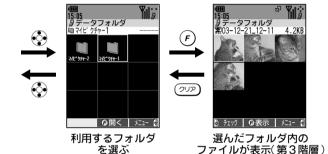
- ファイル名
- ファイル容量
- 登　されているファイル
  - V601SHで表示できない画像の場合は「Error」と表示されます。
  - フォルダは「 」が表示されます。

ファイル表示画面＜ファイル名一覧＞（V601SH内のピクチャーフォルダ選択時）

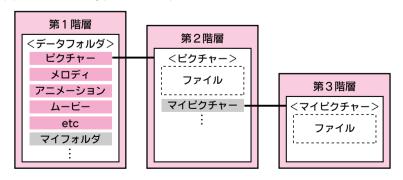
フォルダを選択

データフォルダ画面で、目的のフォルダを選択し、Ⓕを押します。
選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示されます。（第２階層）
さらにフォルダを選びⒻを押すと、下の階層のファイルが表示されます。

- フォルダ内のファイルを選びⒻを押すと、選んだファイルの形式に応じて、表示や再生などが行われます。

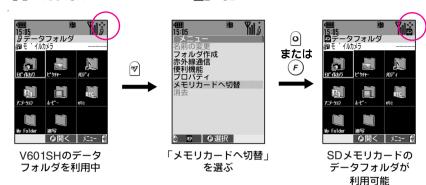
データフォルダ画面（第１階層）　利用するフォルダを選ぶ　選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示（第２階層）

利用するフォルダを選ぶ　選んだフォルダ内のファイルが表示（第３階層）

- 前の画面（１つ上の階層）に戻るときは、クリアを押します。
- データフォルダでは、ご自分でフォルダを作ることにより、３階層までの構造でファイルを管理することができます。（下の図の「**マイフォルダ**」、「**マイピクチャー**」はご自分で作成したフォルダを表しています。）

11 データ管理

メモリカードのデータフォルダを利用する

V601SHのデータフォルダとSDメモリカード内のデータフォルダは、必要に応じてメニュー操作で切り替えて利用します。

- 現在利用しているデータフォルダの種類は、画面右上のマークで確認できます。（「 」：V601SHのデータフォルダ、「 」：SDメモリカードのデータフォルダ）

V601SHのデータフォルダを利用中　「メモリカードへ切替」を選ぶ　SDメモリカードのデータフォルダが利用可能

- V601SHのデータフォルダに戻すときは、「**メモリカードへ切替**」のかわりに「**本体へ切替**」を選びます。

データ登録

V601SHで作成したオリジナル着信音やアニメーション、ボーダフォンライブ！で入手したデータやvファイルなどは、データフォルダへの登　時に、登　するフォルダを選ぶことができます。

- データの登　前に、タイトル（ファイル名）入力画面が表示される場合があります。
- データの登　時には、それぞれのファイル形式に応じたフォルダが最初に表示される場合もあります。（下の図は、JPEGファイルを登　するときの例です。）

登録するフォルダを選ぶ　選んだフォルダ内が表示　Ⓕ→登録

- 登　できないフォルダは、グレー表示され選択できません。

補足
- フォルダ内に同じ名前のファイルがあるときに登　すると、登　するファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加される場合があります。

11 データ管理

画像の表示サイズを切り替える

データフォルダ内の画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルでは、画像を表示中に(スケジュール/メモ)を押すと、画像の表示サイズを「等倍」←→「2倍」に切り替えられます。

- ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えできない場合もあります。また、表示サイズを「2倍」にしたとき、画像の中心部分のみ表示され、画像のすべてを表示できない場合があります。
- 等倍の時は「■」、2倍の時は「■」がディスプレイ上部に表示されます。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ内の画像とデジタルカメラフォルダ内の画像を連続して表示します。

- 連写画像は、連続表示できません。
- 次の画像へ切り替わる間隔（連続表示スピード時間）を設定することもできます。
- 次の画像へ切り替わる時に、上下左右のいずれかから徐々に表示（ワイプ）するように設定することもできます。

1 Ⓕ(8)(5)の順に押す。

2 確認するフォルダを選び、Ⓕを押す。

3 確認するファイルを選び、(メニュー)を押す。

4 「外部出力・連続表示」を選び、Ⓕを押す。

- デジタルカメラフォルダ内の画像を連続表示：「連続表示」選択➡Ⓕ

5 「連続表示」を選び、Ⓕを押す。

選択している画像から、連続表示が開始されます。

- 画像の表示サイズの変更：(スケジュール/メモ)➡（「等倍」←→「2倍」切り替え）
- 連続表示の停止：Ⓕ（停止）➡<再開>➡Ⓕ（再開）
- データフォルダ画面に戻る：連続表示中にⒻ（停止）➡(クリア)（戻る）
- 次の画像へ早送り：(メニュー)（次へ）

連続表示スピード時間を設定する

- お買い上げ時には、「普通」に設定されています。

1 上記の操作4のあと、「連続表示スピード設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「1速い」、「2普通」、「3遅い」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

連続表示時の描画方向を設定する

次の画像を表示するときに、前の画像の上下左右のいずれかから徐々に描画（ワイプ）するように設定できます。

- お買い上げ時には、「1OFF」に設定されています。

1 P.11-10の操作4のあと、「連続表示ワイプ設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「1OFF」～「6ミックスワイプ」の中からいずれかを選び、Ⓕを押す。

- ワイプを中止するには、ワイプ中にⒻを押します。（ワイプ完了後の画像が表示されます。）

フォルダやファイルの情報を確認する

1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で確認したいフォルダまたはファイルを選ぶ。

2 (メニュー)（メニュー）を押す。

3 「プロパティ」を選び、Ⓕを押す。

フォルダやファイルの情報が表示されます。(下)を押すと、隠れている項目が表示されます。

- 各項目の内容は以下のとおりです。

項目	内容
名前	ファイル名やフォルダ名
タイトル※1	メロディファイルのタイトル名
ファイル数※2	ファイル数を表示
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
データサイズ	データサイズ※3
保存サイズ	V601SHまたはSDメモリカード内で実際に使用しているデータサイズ
作成日時	作成された年日時を表示
コピー転送	メール添付やデータ加工、データフォルダ内でのコピー可／不可※4
保存	データフォルダへの保存可／不可※4
外部転送	SDメモリカードへのコピーや移動の可／不可※4
フォルダ保護※5	あり／なし
データフォルダ保護	あり／なし
着信音設定※1	あり／なし※4
効果音設定※1	あり／なし※4
グループ着信設定※1	あり／なし※4
デジタルカメラ登録※6	デジタルカメラフォルダへのコピー可／不可
幅※6	画像の横幅をドットで表示
高さ※6	画像の縦幅をドットで表示

※1 メロディフォルダ内のファイルの場合、表示されます。
※2 チェックマーク（☞P.11-16）が複数選択されているときに表示されます。
※3 チェックマーク（☞P.11-16）が複数選択されているときは、合計のデータサイズが表示されます。
※4 チェックマークが複数選択されているとき、その中のファイルが1つでも該当する場合は「不可」または「あり」と表示されます。
※5 フォルダの場合、表示されます。
※6 JPEG／PNG／MTN／MNG／EVA画像で表示されます。
ファイルサイズが40Kバイトを超える場合は、空欄となります。

ファイルをメールに添付

■ Ⓕ8 5➡フォルダ選択➡Ⓕ➡添付ファイル選択➡（メニュー）➡「**メール添付**」選択➡Ⓕ➡宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信☞ P.3-9～P.3-11
●「**メール添付**」が選択できないファイルの場合、操作できません。（☞P.5-48）

連写画像内の画像をメールに添付

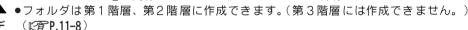
■ 連写画像を表示中に で添付画像選択➡（**メニュー**）➡「**表示画像のみ添付**」

画像を分割してスーパーメールに添付

■ Ⓕ8 5➡フォルダ選択➡Ⓕ➡添付ファイル選択➡（**メニュー**）➡「**メール添付**」選択➡Ⓕ➡「**2画像分割メール添付**」選択➡以降の操作☞P.5-49
●画像分割メールを送信すると、４通分のメール料金がかかります。

フォルダの作成／編集

新しくフォルダを作成する

ご自分で新しいフォルダを作成します。作成したフォルダは、あらかじめ登　されている「**etcフォルダ**」と同様に、すべての形式のファイルを保存できます。（☞P.11-3）
●フォルダは第１階層、第２階層に作成できます。（第３階層には作成できません。）（☞P.11-8）
●あらかじめ登　されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、etc）内や、ご自分で作成したフォルダ内に新しいフォルダを作成することもできます。

1 **Ⓕ8 5の順に押す。**
データフォルダ画面になります。

すでにあるフォルダ内にフォルダを作成する
●フォルダを作成するフォルダを選びⒻを押し、ファイル表示画面にします。

2 **（メニュー）を押す。**

3 **「フォルダ作成」を選び、Ⓕを押す。**

4 **新しいフォルダの名前を入力し、Ⓕを押す。**
新しいフォルダが作成されます。
■ 他のフォルダを作成：操作２～４をくり返す

すでに同じフォルダ名がある
●フォルダ名入力画面に戻ります。フォルダ名を変更して、やり直してください。

フォルダ名やファイル名の変更

●あらかじめ登　されているフォルダの名前は変更できません。
●ファイルの拡張子は変更できません。
●名前には、半角の「¥」、「/」、「:」、「;」、「.」、「<」、「>」、「|」、「?」、「¥」、「"」や絵文字は使用できません。
●SDメモリカード内のフォルダやファイル（☞P.10-6）に対しても行うことができます。

1 **データフォルダ画面で、名前を変えるフォルダやファイルを選ぶ。**
●P.11-5を参照してください。

2 **（メニュー）を押す。**

3 **「名前の変更」を選び、Ⓕを押す。**
■ 着信音設定や効果音設定、グループ設定がされているファイルの場合：確認画面表示➡「**1**YES」選択➡Ⓕ

4 **名前を変更し、Ⓕを押す。**
名前が変更され、元の画面に戻ります。

すでに同じフォルダ名やファイル名がある
●名前の入力画面に戻ります。名前を変更して、やり直してください。

フォルダやファイルを消去する

選択したフォルダやファイルを消去します。
- フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルもすべて消去されます。
- あらかじめ登　されているフォルダは消去できません。
- SDメモリカード内のフォルダやファイル（☞P.10-6）に対しても行うことができます。

1 データフォルダ画面で、消去するフォルダやファイルを選ぶ。
- P.11-5を参照してください。

■ ファイルの複数選択：☞P.11-16

2 ☑（メニュー）を押す。

3「消去」を選び、Ⓕを押す。
消去の確認画面になります。

4「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

フォルダを保護する

データフォルダ内のデータを、操作用暗証番号を入力しないと操作できないようにします。
- 最大10個まで、フォルダ単位で設定することができます。
- 既に登　されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、etc、連写）のほか、ご自分で作成したフォルダに対しても保護設定できます。
- フォルダ名の変更、消去、コピー、移動は、設定を解除しなければできません。
- SDメモリカード内のフォルダには設定できません。
- 壁紙に設定されているデータは保護設定することができません。
- モバイルカメラ（ショートカット）のフォルダには保護設定することができません。

1 データフォルダの画面で、保護したいフォルダを選ぶ。
- P.11-5を参照してください。

2 ☑（メニュー）を押す。

3「便利機能」を選び、Ⓕを押す。

4「フォルダ保護」を選び、Ⓕを押す。

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：データフォルダの画面へ

6「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

- SDメモリカードからV601SHに、データを一括転送した場合、データ保護設定は解除されます。
- ユーザーショートカットに登　したデータが保護設定されている場合、操作するには操作用暗証番号が必要です。

ファイルを移動する

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダに移動します。
- あらかじめ登　されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイルのみ移動できます。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、移動できない場合があります。
- 連写画像は移動できません。

1 データフォルダ画面で、移動するファイルを選ぶ。
- P.11-5を参照してください。

■ ファイルの複数選択：☞P.11-16

2 ☑（メニュー）を押す。

3「移動」を選び、Ⓕを押す。

4「❶本体」を選んで、Ⓕを押す。

■ SDメモリカードへの移動：「❷メモリカード」選択➡Ⓕ
■ 着信音設定や効果音設定、グループ設定されているファイルの場合：確認画面表示➡「❶YES」選択➡Ⓕ
- ファイルを移動すると、そのファイルに設定されている各設定は無効になります。
- 「❷NO」を選びⒻを押すと、データフォルダ画面に戻ります。

5 移動先のフォルダを選び、Ⓕを押す。

6 Ⓕ（登録）を押す。
移動が開始されます。
確認メッセージが表示され、移動先のデータフォルダの画面に戻ります。

- SD メモリカードが書き込み禁止になっている場合は、SD メモリカードへは移動はできません。
- SDメモリカードへ移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。

- 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルを移動すると、移動したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加される場合があります。

ファイルをコピーする

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピーします。

●コピー・転送不可ファイルは、コピーできません。
●あらかじめ登 されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイルのみコピーできます。
●ファイルの種類やデータの内容によっては、コピーできない場合があります。
●写メールモードで撮影した連写画像はコピーできません。

1 データフォルダ画面で、コピーするファイルを選ぶ。

●P.11-5を参照してください。

■ ファイルの複数選択：☞P.11-16

2 ☑（メニュー）を押す。

3「コピー」を選び、Ⓕを押す。

4「❶本体」を選んで、Ⓕを押す。

■ SDメモリカードへのコピー：「❷メモリカード」選択➡Ⓕ

5 コピー先のフォルダを選び、Ⓕを押す。

6 Ⓕ（登録）を押す。

コピーが開始されます。

●SDメモリカードが書き込み禁止になっている場合は、SDメモリカードへはコピーできません。
●SDメモリカードへコピーしたファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。

●同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピーすると、コピーしたファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00~99、aa~zz）が付加される場合があります。

複数ファイルの選択

■ データフォルダ内のファイルを複数選択して、コピーや移動、消去、メールへの添付を行うことができます。

❶ データフォルダ画面で、選択するファイルを選ぶ。

❷ ◎（チェック）を押す。

●「☑」（チェックマーク）が表示され、選択されます。
●すでに「☑」が表示されているファイルに対して操作すると、選択が解除されます。

❸ ❶~❷をくり返し、必要なファイルをすべて選択する。

●最大50件まで選択できます。
●フォルダやグレーで表示されたファイル、Vアプリで使用中のファイルには、選択できません。

■ 選択をすべて解除：☑（メニュー）➡「チェックリセット」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ

11 データ管理

F48

アニメーションの作成

簡単アニメを作成する

V601SHのカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像を、最大4枚まで指定した間隔で連続表示します。

●簡単アニメで利用できる画像は、PNGファイルとJPEGファイルです。
●簡単アニメは、「JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG／JPEGアニメ」で登 されます。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、簡単アニメを作成してください。
●簡単アニメで表示できる画像サイズは横120×縦160ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦160ドットにおさまるよう縮小されます。

簡単アニメを新規作成する

1 Ⓕ④⑧の順に押す。

2「❹アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。

3「❶簡単アニメ」を選び、Ⓕを押す。

4「❶新規作成」を選び、Ⓕを押す。

タイトルの入力画面が表示されます。

5 タイトルを入力し、Ⓕを押す。

タイトルを入力していないときは、確認メッセージが表示され、次へ進めません。

●入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登 されます。ファイル名は変更できます。（☞P.11-13）
●全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

6 速さを選び、Ⓕを押す。

ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

7 指定する番号を選び、Ⓕを押す。

●デジタルカメラモードで撮影した連写画像は利用できません。

■ 連写画像内の4枚の画像の利用：4枚連写画像選択 ➡Ⓕ➡「❶4枚をアニメ」選択➡Ⓕ➡Ⓕ➡操作11へ

■ 連写画像内の1枚の画像の利用：連写画像選択➡Ⓕ➡「❷1枚を選択」選択➡Ⓕ➡利用する画像選択➡Ⓕ➡操作10へ

11 データ管理

8 データフォルダから利用する画像を選び、Ⓕを押す。

- データフォルダの操作：☞P.11-5
- 画像の変更：☑（変更）➡操作８からやり直す
- 表示する順番の変更：◎（戻る）➡操作７からやり直す

9 Ⓕを押す。

画像が指定されます。

- 簡単アニメの再生：☑（メニュー）➡「❶再生」選択➡Ⓕ➡〈停止〉➡◎（戻る）
- 画像の変更：変更する画像選択➡☑（メニュー）➡「❷変更」選択➡Ⓕ➡操作8〜9を行う
- 画像の消去：消去する画像選択➡☑（メニュー）➡「❸消去」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ

10 操作７〜９をくり返し、画像を指定する。

●最大４枚または最大 10Kバイトまで設定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、４枚まで設定できない場合もあります。）

11 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

- タイトル、速さ、画像の修正：「❷修正」選択➡Ⓕ➡タイトルの入力画面へ（修正の詳細：☞P.11-19）

12「❶登録」を選び、Ⓕを押す。

13 Ⓕ（登録）を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

●別のフォルダを選んで登　したり､SDメモリカードに登　することもできます。

●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

フォルダ内に同じ名前のアニメファイル登録時

●ファイル名に自動的に「＾XX」（XXは２ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加されます。

●指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

簡単アニメを編集する

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、簡単アニメを編集してください。

1 Ⓕ４８の順に押す。

2「❹アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。

3「❶簡単アニメ」を選び、Ⓕを押す。

4「❷データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

5 編集する簡単アニメを選び、Ⓕを押す。

6 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

7 速さを選び、Ⓕを押す。

- 画像追加：番号選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ
- 指定画像の変更：変更する番号選択➡☑（メニュー）➡「❷変更」選択➡Ⓕ
- 指定画像の消去：消去する番号選択➡☑（メニュー）➡「❸消去」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ

8 編集が終われば、◎（完了）を押す。

9「❶登録」を選び、Ⓕを押す。

- タイトル未修正時：「❶新規登録」／「❷上書登録」選択➡Ⓕ➡<上書登　選択時>➡操作完了

10 Ⓕ（登録）を押す。

新しい簡単アニメとしてデータフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

アニメーションの保存形式を変換する

JPEGアニメ、PNGアニメを、「MNGファイル」に変換します。
●JPEGアニメ、PNGアニメをパソコンなどへ送信するときに変換します。

保存形式を変換するアニメーションを再生している状態で、(メニュー)を押す。

●「MNG変換」が選択できないアニメーションの場合、操作できません。

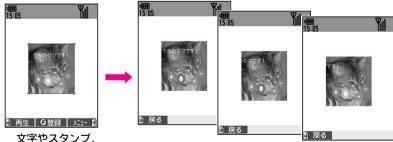
「MNG変換」を選び、Ⓕを押す。

新しいアニメーションとして登 され、データフォルダ画面に戻ります。

補足
●アニメーションサイズや内容によっては、MNG変換できない場合があります。
●MNGファイルに変換すると、画質が変わることがあります。
●MNG変換したファイルは、10Kバイト前後のデータサイズとなります。

注意
●JPEG アニメを MNG ファイルに変換したファイルは、V601SH ／ J-SH53 ／ J-SH52／J-SH51以外では展開できません。V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51以外のボーダフォンライブ！パケット対応機に添付送信等する際は、PNGアニメからMNG変換したものをご使用ください。

E-アニメータを作成する

内蔵のアニメーション用図形（スタンプ）や文字を組み合わせてアニメーションを作成します。背景画像やBGMを設定することもできます。

文字やスタンプ、背景画像を配置　文字やスタンプがアニメーション表示

●E-アニメータは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登 されます。

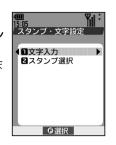
注意
●E-アニメータで作成したファイル（.nva）は、V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51および、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機以外の機種に添付送信しても、ファイルを展開することができません。また、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機に添付送信した場合でも、背景の画像やBGMなどが正しく表示・鳴動しない場合があります。

E-アニメータの基本操作

実際にE-アニメータを作成する前に、E-アニメータの基本操作（テキストの入力方法、スタンプの入力方法）を覚えておきましょう。

■文字またはスタンプの選択方法

「**スタンプ・文字設定画面**」で、「**❶文字入力**」または「**❷スタンプ選択**」を選びます。

●文字・スタンプは、それぞれ最大３個または最大10Kバイトまで入力できます。

■文字の入力方法

1 文字を入力する

文字を入力し、Ⓕを押します。
●入力した文字が表示されます。
●文字の四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。
●１回あたり最大全角75文字（半角150文字）まで入力できます。

補足
複数の文字やスタンプが入力されているとき
●(文字)を押すたびに四隅の「□」が移動し、移動や消去などを行う対象を選ぶことができます。

2 文字の位置を移動する

で、四隅の「□」を入力する位置に移動し、Ⓕを押します。

■ ボタンを押したときの移動幅の設定：(**メニュー**)➡「**❺移動幅設定**」選択➡Ⓕ➡移動幅（２ケタ：01～20ポイント）入力➡Ⓕ

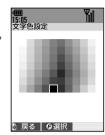
■ 文字の消去：(**メニュー**)➡「**❷消去**」選択➡Ⓕ➡「**❶YES**」選択➡Ⓕ

3 文字の色を設定する

（メニュー）を押したあと、「❹文字色設定」を選びⒻを押します。

●◎で設定する色を選び、Ⓕを押します。

4 文字の動作を設定する

（メニュー）を押したあと、「❺文字動作設定」を選びⒻを押します。

●設定する動作を選び、Ⓕを押します。

5 文字を確定する

Ⓕを押して、文字の位置や色、動作設定を登　します。

●続けて、他の文字やスタンプを入力することができます。

- 文字やスタンプの順番変更：変更する文字やスタンプ選択➡（メニュー）➡「❸移動」選択➡Ⓕ➡◎で文字やスタンプを移動➡Ⓕ
- 入力済みの文字変更：変更する文字選択 ➡（メニュー）➡「❹変更」選択➡Ⓕ➡文字入力（修正）➡5へ戻る

■スタンプの入力方法

1 スタンプの分類を選ぶ

「❶固定パターン」（あらかじめ登　されているスタンプ）または「❷データフォルダ」（ボーダフォンライブ！などで入手したスタンプ）を選び、Ⓕを押します。

●「❷データフォルダ」を選んだときは、V601SHのデータフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

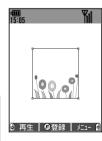
2 入力するスタンプを選ぶ

入力するスタンプを選び、Ⓕを押します。

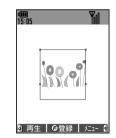
●選んだスタンプが画面中央に表示されます。

●スタンプの四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。

複数のスタンプや文字が入力されている

●（文字）を押すたびに四隅の「□」が移動し、変形や消去などを行う対象を選ぶことができます。

3 スタンプを変形する

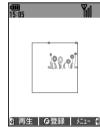
次のボタンを押したあとⒻを押して、スタンプを変形します。

拡大縮少	3	ボタンを押すと拡大します。
	7	ボタンを押すと縮小します。
	2	ボタンを押すと縦方向のみ拡大します。
	6	ボタンを押すと横方向のみ拡大します。
	8	ボタンを押すと縦方向のみ縮小します。
	4	ボタンを押すと横方向のみ縮小します。

●上記の各操作は、（メニュー）を押して、メニュー画面から選択して操作することもできます。

- スタンプの反転：反転するスタンプ選択 ➡（メニュー）➡「❼上下反転」／「❽左右反転」選択➡Ⓕ
- スタンプの消去：（メニュー）➡「❷消去」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ

4 スタンプの位置を移動する

◎でスタンプを入力する位置に移動し、Ⓕを押します。

●文字と同様に、ボタンを押したときの移動幅を設定することもできます。（☞P.11-21）

5 スタンプを確定する

Ⓕを押して、スタンプの位置や形を登　します。

- スタンプや文字の順番変更：変更するスタンプや文字選択➡（メニュー）➡「❸移動」選択➡Ⓕ➡◎でスタンプや文字を移動➡Ⓕ
- 入力済みのスタンプ変更：変更するスタンプ選択➡（メニュー）➡「❹変更」選択➡Ⓕ➡スタンプ選択

●画像（JPEGファイル）とスタンプを組み合わせて、簡単にE-アニメータを作成することもできます。（ムービングフォトフレーム：☞P.11-35）

●1つのE-アニメータに入力可能な文字数およびスタンプ数は、アニメーションの複雑さによって異なります。非常に複雑なアニメーションの場合、スタンプが1つしか入力できないこともあります。

●スタンプによっては、変形などができなかったり、制限があるものもあります。

E-アニメータを新規作成する

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、E-アニメータを作成してください。

1 Ⓕ4 8の順に押す。

2「❹アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。

3「❷E-アニメータ」を選び、Ⓕを押す。

一時保存（☞P.11-26）しているE-アニメータがあるときは、確認メッセージが表示されます。

●「❶YES」を選びⒻを押すと、一時保存しているE-アニメータのタイトル修正画面になります。

4 タイトルを入力し、Ⓕを押す。

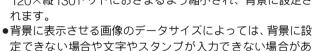
タイトルを入力せずにⒻを押したときは、確認メッセージが表示され、次へ進めません。

●全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

5 背景に画像を表示するとき

❶「❶データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。
❷背景に表示する画像を選び、Ⓕを押す。
❸Ⓕを押す。

●背景に設定できる画像サイズは横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦130ドットにおさまるよう縮小され、背景に設定されます。

●背景に表示させる画像のデータサイズによっては、背景に設定できない場合や文字やスタンプが入力できない場合があります。

補足 ●指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

背景に画像を表示しないとき

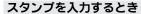
「❷背景なし」を選び、Ⓕを押す。

6 入力する番号を選び、Ⓕを押す。

ここで指定した番号順に、文字やスタンプが重なって表示されます。

7 文字を入力するとき

❶「❶文字入力」を選び、Ⓕを押す。
❷文字を入力する。

■ 文字の入力方法：☞P.11-21

スタンプを入力するとき

❶「❷スタンプ選択」を選び、Ⓕを押す。
❷スタンプを入力する。

■ スタンプの入力方法：☞P.11-22～P.11-23

補足 ●スタンプの内容や大きさによっては、他のスタンプや文字、背景が表示されない場合があります。このような場合は、スタンプを変形や移動したり、他のスタンプや文字の順番を変更（☞P.11-23）すると、表示されるようになります。

8 操作6～7をくり返し、文字やスタンプを入力する。

●文字・スタンプは、それぞれ最大3個または最大10Kバイトまで入力できます。

■ E-アニメータの再生：（メニュー）➡「❶一括再生」選択➡Ⓕ➡<停止>➡

■ 背景の設定：（メニュー）➡「❻背景設定」選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ

■ BGMの設定：（メニュー）➡「❼BGM設定」選択➡Ⓕ➡「❶ON」選択➡Ⓕ➡メロディ選択➡Ⓕ

9 文字やスタンプの入力後、（完了）を押す。

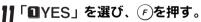
●このあと「❸修正」を選びⒻを押すと、操作4の画面に戻り、内容の修正ができます。（☞P.11-26～P.11-27）

補足 「一時保存」とは

●E-アニメータは登録すると、あとで編集できなくなります。作成中に一旦保存したあとで編集したいときは、「一時保存」しておくと便利です。一時保存は1件のみ行えます。

10「❶登録」を選び、Ⓕを押す。

補足 一時保存したとき

●確認メッセージが表示されますので、Ⓕ（決定）を押します。（一時保存したE-アニメータの編集：☞P.11-26）

11「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

■ 取消：「❷NO」選択➡Ⓕ（操作9へ）

12 Ⓕ（登録）を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

補足 ●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき

●ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

注意 ●データフォルダの空きメモリがないときは、一時保存できません。

一時保存したE-アニメータを編集する

一時保存したE-アニメータは、あとで編集することができます。
●登　したE-アニメータは、編集できません。

1 **Ⓕ4 8の順に押す。**

2 **「4アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「2E-アニメータ」を選び、Ⓕを押す。**

一時保存しているE-アニメータがあるときは、右の画面が表示されます。

4 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

「2NO」を選びⒻを押すと、新規作成（タイトル入力）画面になります。

5 **タイトルを修正し、Ⓕを押す。**

6 **背景を設定し、Ⓕを押す。**

7 **編集する文字やスタンプを選び、Ⓕを押したあと、文字やスタンプを編集する。**

- 文字・スタンプの入力方法：☞P.11-21〜P.11-23
- 他のスタンプや文字の編集：操作7をくり返す
- 背景の変更：（メニュー）➡「6 背景設定」選択➡Ⓕ➡（変更）➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
- BGMの設定：（メニュー）➡「7BGM設定」選択➡Ⓕ➡「1ON」選択➡Ⓕ➡メロディ選択➡Ⓕ
- E-アニメータの登　：操作8へ

8 **編集を終わるときは、（完了）を押す。**

- タイトル、背景設定、文字やスタンプ設定の修正：「3 修正」選択➡Ⓕ（操作4へ）

9 **「1登録」を選び、Ⓕを押す。**

● 一時保存することもできます。（☞P.11-26）

10 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

11 **Ⓕ（登録）を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

補足

●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき

●ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加されます。

注意

●データフォルダの空きメモリがないときは、一時保存できません。

アニメーションを確認する

1 **Ⓕ8 5の順に押す。**

2 **「アニメーション」フォルダを選び、Ⓕを押す。**

- SDメモリカード内のアニメーションの確認：（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

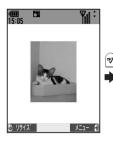
3 **確認するアニメーションを選び、Ⓕ（再生）を押す。**

選んだアニメーションが再生されます。再生中に（戻る）を押すと停止し、操作2の画面に戻ります。

4 **確認を終わるときは、を押す。**

●アニメーションはコピー、移動、消去、ファイル名の変更ができます。（☞P.11-12〜P.11-16）

画像やアニメーションの編集

データフォルダの画像やアニメーションファイルに対して、画像編集を行うことができます。画像編集の各操作は、編集する画像を表示させ（☞P.11-5の操作１～３）、次の操作を行ったあとの画面（画像編集のメニュー画面）から操作します。

■ ☑（メニュー）➡「画像編集」選択➡Ⓕ

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なる場合があります。

☑ ➡

メニュー画面

Ⓕ ➡

15:05
サイズ修正
resize frame paste
effects stamp arrange
frame rotate
format restore
全画面 選択 保存

- 編集前の画像を表示
- 編集中の画像を表示
- メニュー項目の内容を表示
- 画像編集メニュー項目
- 編集後の画像を保存
- 編集中の画像を全画面で表示

画像編集のメニュー画面

●メニュー項目はダイヤルボタンで指定しても選択できます。

●P.11-28～P.11-36では、編集完了までの操作を説明しています。編集した画像の保存方法については、下記を参照してください。

編集後の画像保存

■ 画像編集の各項目でⒻ（決定）または☑（決定）を押すと、画像編集のメニュー画面に戻ります。このときは編集した画像は保存されていません。編集した画像を保存するときは、次の操作を行います。

1 ☑（保存）を押す。

●登　日時のファイル名が自動的に表示されます。

2 タイトルを入力し、Ⓕ（決定）を押す。

●タイトルを変更しないときは、そのままⒻを押してください。

3 Ⓕ（登録）を押す。

■ 登　中止：ⓞ（取消）

■ 登　先変更：クリア➡フォルダ選択➡Ⓕ

■ SDメモリカードへ保存：☑（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ

画像サイズを変更する

データフォルダに登　されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更することができます。

●固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。

●画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。メールに画像を添付するときなどにも便利です。

●画像サイズが大きい場合、エラーが表示され、画像を表示できないことがあります。

固定サイズに変更する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「サイズ修正」を選び、Ⓕを押す。

●「サイズ修正」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「1壁紙用」～「6アラーム時表示用」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）

●各サイズについては、以下のとおりです。

壁紙用	横240　縦320ドット
写メール用	横120　縦160ドット
サブディスプレイ用※	横64　縦96ドット
パワー ON/OFF用※	横120　縦130ドット
着信時表示用※	横120　縦38ドット
アラーム時表示用※	横120　縦51ドット

※このあと、サイズを変更した画像をマイキャラクタのオリジナルに設定すると、２倍に拡大して表示されます。

■ 画像サイズの選択のやり直し：クリア

3 画像の表示範囲を指定するとき

◎を押し、表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できない場合もあります。

画像を拡大縮小するとき

1 ⓞ を押し、ディスプレイ下部左に「移動」を表示させる。

●すでに「移動」が表示されているときは、必要ありません。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）を押し続けて、サイズを変更する。（☞P.11-29の操作２）

■ 画像をなめらかにする：☑（soft）

4 Ⓕ（決定）を２回押す。

5 ☑（保存）を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：⓪（元に戻す）

サイズを自由に変更する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「サイズ修正」を選び、Ⓕを押す。

●「サイズ修正」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「7自由切出」を選び、Ⓕを押す。

画像が表示されます。（「＋」表示）

3 ◎を押し、「＋」を切り出す部分の左上に移動する。

4 Ⓕを押したあと、◎を押し、「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 左上の指定からやり直す：（戻る）

5 （完了）を押す。

■ 画像サイズの選択からやり直す：クリア

■ 以降の操作：☞P.11-29の操作３以降

画像に文字を入力する

●メールへの添付時につけることもできます。（☞P.3-9）

データ管理

1 画像編集メニュー画面（☞P.11-28）で、「テキスト貼付」を選び、Ⓕを押す。

●「テキスト貼付」が選択できない画像の場合、操作できません。

■ 文字色の設定：（文字色）➡文字色選択➡Ⓕ

■ 文字に縁取りをつける：（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡Ⓕ➡「1ON」選択➡Ⓕ

●縁取りの色は、文字色によって決まっています。

2 「1フリーワード」を選び、Ⓕを押す。

●編集した日付を入力することもできます。

■ 日付の入力：「2日付」選択➡Ⓕ

3 文字を入力（☞P.3-4）し、Ⓕを押す。

●「1フリーワード」は、最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

●バーコード読み取り機能は働きません。

■ 画像拡大：スケジュール/メモ➡（「等倍」⇔「２倍」切り替え）

■ 文字の入力し直し：（戻る）➡「1フリーワード」選択➡Ⓕ➡文字入力➡Ⓕ

4 ◎で、文字や日付を付けたい位置に移動し、Ⓕを押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像にマーカーを入力する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「マーカースタンプ」を選び、Ⓕを押す。

2 マーカーの種類を選び、Ⓕを押す。

■ 文字色の変更：（文字色）➡文字色選択➡Ⓕ

■ 文字に縁取りをつける：（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡Ⓕ➡「1ON」選択➡Ⓕ

3 ◎で、マーカーを付けたい位置に移動し、Ⓕを押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ マーカーの変更：（戻る）➡マーカー種類選択➡Ⓕ

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

●画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も装飾できます。

●装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像を装飾すると、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分のみ抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「エフェクト」を選び、Ⓕを押す。

●「エフェクト」が選択できない画像の場合、操作できません。

連写画像を装飾する

●写メールモードで撮影した連写画像の場合、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像のみを装飾する場合は、個別の画像として登　してから操作してください。

11

データ管理

2 装飾の種類を選び、Ⓕを押す。

装飾された画像が表示されます。

●次の装飾が行えます。

セピア	セピア色で濃淡を表現	線検出	線で描いた絵のような効果を表現
きらめき	光輝部を十字に輝かせる効果を表現	アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現	円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
万華鏡	万華鏡のような効果を表現	ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現	ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

●画像サイズが縦51ドットまたは横51ドット以下の場合、装飾できません。

3 Ⓕ（決定）を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：わをん0（元に戻す）

●画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わってしまい、ロングメール対応機へメール送信できない場合があります。

●装飾された画像によっては、装飾後の画像データサイズが大きくなりすぎて、登できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに変えるなど、加工して楽しむことができます。（フェイスアレンジ）

●フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。

●フェイスアレンジには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。

●フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工を施します。そのため、画像内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。
また、次のような画像の場合、うまく加工できないこともあります。
　ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／
　画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／
　ヒゲを生やしている　など

●画像に応じてご自分で、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。（☞P.11-33）

●フェイスアレンジを行った画像をスーパーメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「フェイスアレンジ」を選び、Ⓕを押す。

●「フェイスアレンジ」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 アレンジの種類を選び、Ⓕを押す。

アレンジされた画像が表示されます。

●次のアレンジが行えます。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ あらかじめ設定されている顔パーツの位置や大きさの確認：
　◎（顔抽出）➡<戻る>➡◎（戻る）

■ アレンジのやり直し：◎（戻る）➡フェイスアレンジの画面へ

3 アレンジ後の画像を登録するときは、Ⓕを押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：わをん0（元に戻す）

顔パーツの位置や大きさを指定する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときなどは、ご自分で顔パーツの位置や大きさを指定することができます。

●顔パーツは画像ごとに指定して登　します。

●上記の操作１のあと、次の操作を行います。

1 ◎（顔抽出）を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 ◎（修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

◎で顔の輪郭の左上に「＋」を移動

Ⓕ ➡

◎で顔の輪郭の右下に「＋」を移動

Ⓕ ➡

顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：◎（戻る）

4 **操作３と同様の操作で、右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを、画面上部のガイドに従い、指定する。**

右目の位置を指定

左目の位置を指定

口の位置を指定

5 **指定が終わると、Ⓥ（完了）を押す。**

確認メッセージが表示されたあと、指定した顔パーツがすべて表示されます。

■ 顔パーツの指定のやり直し：操作２からやり直す

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：Ⓞ（**リセット**）

6 **Ⓕを押す。**

新規登　の確認画面が表示されます。

7 **「❶YES」を選び、Ⓕを押す。**

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。（フェイスアレンジの画面に戻ります。）

- このあと、新規登　した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

画像にフレームを付ける

画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

- 「Disney」を選ぶと、Disneyキャラクターのフレームになります。

1 **画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「フレーム」を選び、Ⓕを押す。**

- 「**フレーム**」が選択できない画像の場合、操作できません。

連写画像にフレームを付ける

- 写メールモードで撮影した連写画像の場合、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の１枚の画像のみにフレームを付ける場合は、個別の画像として登　してから操作してください。

2 **利用するフレームを選び、Ⓕを押す。**

フレームが付いた画像が表示されます。

■ フレームの確認：確認するフレーム選択➡Ⓞ（**表示**）➡<戻る>➡Ⓞ（**戻る**）

3 **Ⓕを押す。**

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：Ⓒ（**元に戻す**）

画像にムービングフォトフレームを付ける

画像と内蔵のムービングフォトフレームを組み合わせて、アニメーションを作成することができます。

- ムービングフォトフレームを利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。
- 作成したアニメーションは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登　されます。また、メールに添付送信することもできます。（受信側のボーダフォン携帯電話によっては、ファイルを展開できない場合があります。
- 「Disney」を選ぶと、Disneyキャラクターのムービングフォトフレームになります。

1 **画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「ムービングフォトフレーム」を選び、Ⓕを押す。**

- 「**ムービングフォトフレーム**」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 **利用するムービングフォトフレームを選び、Ⓕを押す。**

選んだ画像とムービングフォトフレームを組み合わせたアニメーションが表示されます。

■ ムービングフォトフレームの確認：確認するフレーム選択➡Ⓞ（**再生**）➡<戻る>➡Ⓞ（**戻る**）

3 **アニメーションを登録するときは、Ⓕを押す。**

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：Ⓒ（**元に戻す**）

- ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦130ドット部分のみ抜き出し、ムービングフォトフレームを付けます。
- 画像の内容によっては、ムービングフォトフレームを付けることができない場合があります。

画像を回転する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「回転」を選び、Ⓕを押す。

●「回転」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 回転の種類を選び、Ⓕを押す。

回転した画像が表示されます。

●このあと（回転）を押すと、さらに時計回りで90度回転します。

3 Ⓕを押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

■ 編集のやり直し：（元に戻す）

画像の保存形式やファイルサイズを変更する

JPEG形式のファイルをPNG形式に変更したり、PNG形式のファイルをJPEG形式に変更することができます。また、写メール用や壁紙用にファイルサイズを変更できます。

●画像の保存形式の変更は、JPEGファイル（「」表示）とPNGファイル（「」表示）のみ行うことができます。

データ管理

1 画像編集のメニュー画面（☞P.11-28）で、「保存形式」を選び、Ⓕを押す。

●「保存形式」が選択できない画像の場合、操作できません。

2「1形式」または「2サイズ」を選び、Ⓕを押す。

●「2サイズ」では、以下のファイルサイズに編集されます。
「1写メール（小）」：約5Kバイト、「2写メール（中）」：約10Kバイト、「3写メール（大）」：約28Kバイト、「4壁紙サイズ」：約40Kバイト

3 変更する保存形式またはサイズを選び、Ⓕを押す。

4 （完了）を押す。

このあと、を押して画像編集メニューに戻ったあと、編集した画像を保存します。（☞P.11-28）

補足

●保存形式やファイルサイズを変更すると、画質が変わることがあります。
●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。（不要なファイルの消去：☞P.11-14）

画像の合成

画像合成編集の各操作は、合成する画像を表示させ（☞P.11-5の操作1～3）、次の操作を行ったあとの画面（画像合成のメニュー画面）から操作します。

■ （メニュー）➡「画像合成」選択➡Ⓕ

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なります。

メニュー画面　画像合成のメニュー画面

分割画像を作成する

最大4枚の画像を縮小し、1枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。

●分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も利用できます。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。

分割画像

データ管理

1 画像合成のメニュー画面（☞P.11-37）で、「4分割画像 240×320」または「4分割画像 120×160」を選び、Ⓕを押す。

●分割画像の左上に配置する画像を選んで操作してください。
●選んだ画像のファイルサイズが大きいときは、確認メッセージが表示されメニュー画面に戻ります。

2 指定する番号を選び、Ⓕを押す。

V601SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

3 利用する画像を選び、Ⓕを押す。

選んだ画像が表示されます。(利用できない画像は選択できません。)

- 画像の変更：☑(変更)➡ピクチャーフォルダの画面へ
- 画像の拡大：(スケジュール/メモ)➡(「等倍」⇔「2倍」切り替え)
- 指定する番号から選び直し：(戻る)

4 Ⓕを押す。

分割画像用の画像として指定されます。

5 操作2～4をくり返し、画像を指定する。

●最大4枚まで設定できます。

- 画像の変更：変更する画像選択➡Ⓕ(メニュー)➡「❷変更」選択➡Ⓕ(操作2へ)➡操作3～4を行う
- 画像の消去：消去する画像選択➡Ⓕ(メニュー)➡「❸消去」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ
- 全画面表示：(全画面)

6 画像の指定が終われば、☑(完了)を押す。

登　日時のファイル名が自動的に表示されます。

- 登　中止：(取消)

7 タイトルを入力し、Ⓕ(決定)を押す。

●タイトルを変更しないときは、そのままⒻを押してください。

- 登　先変更：(クリア)➡フォルダ選択➡Ⓕ
- SDメモリカードへ保存：☑(メニュー)➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ

8 Ⓕ(登録)を押す。

新しい画像として登　され、データフォルダのリスト画面に戻ります。

写メールモードで撮影した連写画像内の1枚の画像の利用

❶ 操作3で、(クリア)(画像一覧表示のとき)または◎(ファイル名一覧表示のとき)を押したあと、連写フォルダを選びⒻを押す。

❷ 連写画像(「」表示)を選び、Ⓕを押す。

●分割画像が表示されます。

❸ ◎で利用する画像を選び、Ⓕを押す。

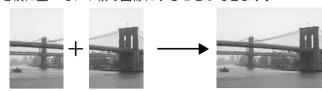
●分割画像用の画像として指定されます。(ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。)
このあと操作5へ進みます。

■ 分割画像も指定できます。(ファイル名のあとに「田」が付加されます。)

補足

●120×160サイズ作成のときは、分割エリアに収まるよう縮小されます。240×320サイズ作成のとき元の画像が、4分割された分割エリアに収まるときは、分割エリアの中央にそのまま表示されます。また、4分割された分割エリアより大きい画像の場合は、4分割された分割エリアに収まるよう縮小されます。

2枚の画像をパノラマ合成する

2枚の画像を横に並べて、1枚の画像にすることができます。

2枚の画像を選択　　パノラマ合成

パノラマ合成時には、画像に応じて次の効果をつけることができます。

標準	パノラマ合成の標準モード。 近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらを合成するのにも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像を合成するのに適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像を合成するのに適しています。

●パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
●2枚の画像サイズが異なる場合、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
●色味が異なる2枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されない場合があります。

1 画像合成のメニュー画面(☞P.11-37)で、「パノラマ合成」を選び、Ⓕを押す。

選んだ画像は左側の画面に表示されます。
●パノラマ合成する1枚目の画像を選んで操作してください。
●「パノラマ合成」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「❷---------------------」を選び、Ⓕを押す。

V601SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

3 合成するもう1枚の画像を選び、Ⓕを押す。

4 Ⓕを押す。

選んだ画像が右側の画面に表示されます。
●2枚目の画像として指定されます。
●画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、確認メッセージ表示後、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

- 画像の確認：画像選択➡Ⓕ➡「❶選択画像表示」選択➡Ⓕ➡<戻る>➡(戻る)
- 画像の変更：画像選択➡Ⓕ➡「❷変更」選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
- 画像の左右入れ替え：☑(入替)

5「効果」を選び、Ⓕを押す。

6「❶標準」～「❸ドキュメント」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

7 画像の指定が終わると、☑（完了）を押す。

合成された画像が表示されます。

- ◎を押すと、画像が移動し、隠れている部分が表示されます。
- ■ 画像の拡大：（スケジュール/メモ）➡（「等倍」⇔「2倍」切り替え）

8 Ⓕを押す。

登　日時のファイル名が自動的に表示されます。

9 タイトルを入力し、Ⓕ（決定）を押す。

- タイトルを変更しないときは、そのままⒻを押してください。
- ■ 登　中止：◎（取消）
- ■ 登　先変更：（クリア）➡フォルダ選択➡Ⓕ
- ■ SDメモリカードへ保存：☑（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ

10 Ⓕ（登録）を押す。

新しい画像として登　され、データフォルダのリスト画面に戻ります。

画像分割メールを結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の1つを指定することで、4枚の画像を自動的に結合することができます。

1 画像合成のメニュー画面で、「画像分割メール結合」を選び、Ⓕを押す。

処理中のメッセージが表示されたあと、結合された画像が表示されます。

- 「画像分割メール結合」が選択できない画像の場合、操作できません。
- 分割画像の数が足りないときや、ファイル名を基準に収集したファイルの形式が正しくないときなどは、確認メッセージが表示されます。
- 選んだ画像が画像分割メール画像でないときは、確認画面が表示され、画像合成処理選択画面に戻ります。
- ■ 画像の拡大：（スケジュール/メモ）➡（「等倍」⇔「2倍」切り替え）

2 Ⓕを押す。

登　日時のファイル名が自動的に表示されます。

3 タイトルを入力し、Ⓕ（決定）を押す。

- タイトルを変更しないときは、そのままⒻを押してください。
- ■ 登　中止：◎（取消）
- ■ 登　先変更：（クリア）➡フォルダ選択➡Ⓕ
- ■ SDメモリカードへ保存：☑（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ

4 Ⓕ（登録）を押す。

新しい画像として登　され、データフォルダのリスト画面に戻ります。

- 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像が存在する場合、正しく結合できない場合があります。
- 画像分割メールで送受信した画像の場合、結合した画像は多少粗くなることがあります。
- 画像分割メールを受信すると、4通分のメール料金がかかります。

画像やアニメーションの利用

指定した画像やアニメーションを壁紙に登　することができます。

P.11-41～P.11-42の各操作は、データフォルダ画面で対象のファイルを選び、☑（メニュー）を押したあとの画面（メニュー画面）から操作します。

- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像やアニメーションを壁紙に登録する

1 メニュー画面（☞P.11-28）で、「壁紙登録」を選び、Ⓕを押す。

- 「壁紙登録」が選択できない画像やアニメーションの場合、操作できません。

2 表示方法を選び、Ⓕを押す。

センタリング表示	そのままのサイズでディスプレイ中央に表示します。
並べて表示	そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示します。
全画面表示	ディスプレイサイズいっぱいに拡大して表示します。（画像によっては一部切り取って表示します。）
拡大表示	横または縦のどちらかが、ディスプレイサイズになるまで拡大します。

3 Ⓕを押す。

- 壁紙に登　（オリジナル❶に登　）され、壁紙設定が自動的に「ON」に設定されます。

- すでにオリジナル❶に画像が登　されている場合は、ここで登　した画像に変更されます。

画像やアニメーションをマイキャラクタに登録する

指定した画像やアニメーションをマイキャラクタに登　することができます。
マイキャラクタへの登　は、壁紙への登　（☞P.11-41）と同様に、編集のメニュー画面から操作します。

●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

1 **メニュー画面（☞P.11-28）で「マイキャラクタ登録」を選び、Ⓕを押す。**

●「マイキャラクタ登録」が選択できない画像やアニメーションの場合、操作できません。

15:05
マイキャラクタ登録
1パワーON
2パワーOFF
3着信
4アラーム
Ⓕ選択

2 **マイキャラクタを表示する場面を選び、Ⓕを押す。**

画像が表示されます。

●E-アニメータ、MNGファイルの画像は、「3着信」、「4アラーム」に利用することはできません。

3 **◎を押し、画像の表示枠を指定する。**

●画像サイズや種類によっては、表示範囲を指定できない場合もあります。

4 **Ⓕを押す。**

●マイキャラクタに登　（オリジナルに登　）されます。（マイキャラクタ設定が自動的に「**オリジナル**」になります。）

補足 ●すでにオリジナルに画像が登　されている場合は、ここで登　した画像に変更されます。

補足 ●マイキャラクタで指定できる画像の表示範囲は右のとおりです。ただし、マイキャラクタとして表示されるときは、2倍に拡大して表示されます。

パワーON	横120×縦130ドット
パワーOFF	横120×縦130ドット
着信	横120×縦38ドット
アラーム	横120×縦51ドット

連写画像を個別の画像として登録する

写メールモードで撮影した連写画像（複数の画像＋分割画像）をそれぞれ個別の画像として登　することができます。また連写画像の内、指定した画像を個別の画像として登　することもできます。

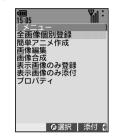
●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）として登　されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

1 **データフォルダから連写フォルダを選び、Ⓕ（開く）を押す。**

2 **個別の画像として登録する連写画像を選び、Ⓕ（表示）を押す。**

連写画像の分割画像が表示されます。

●連写画像には、ファイル名の先頭に「」が表示されています。

3 **連写画像内のすべての画像を登録するとき**

1 （メニュー）を押す。

2「全画像個別登録」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダに登　されます。

連写画像内の1枚の画像を登録するとき

1 ◎を押し、登録する画像を表示する。

●分割画像も登　できます。

2 （メニュー）を押す。

3「表示画像のみ登録」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダに登　されます。

メロディファイル

データフォルダに保存されているファイルに対して、ファイル形式に応じた各種操作を行うことができます。
P.11-43〜P.11-45の各操作は、データフォルダ画面で対象のファイルを選び、（**メニュー**）を押したあとの画面（メニュー画面）から操作します。

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なる場合があります。

●メロディファイル（.smd）で、「**データ編集**」、「**音色設定**」、「**強弱設定**」を行うと、オリジナル着信音（.sjm）形式で保存されます。

メニュー画面

メロディを編集する

1 **メニュー画面で、「その他編集機能」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「データ編集」を選び、Ⓕを押す。**

●「**データ編集**」が選択できないメロディの場合、操作できません。

■ 以降の操作：☞P.7-25の操作5以降

11 データ管理

再生音量を設定する

メロディごとに再生音量を設定することができます。

1 **メニュー画面（☞P.11-43）で、「サウンド再生音量変更」を選び、Ⓕを押す。**

■ 以降の操作：☞P.7-9

メロディの音色を設定する

1 **メニュー画面（☞P.11-43）で、「その他編集機能」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「音色設定」を選び、Ⓕを押す。**

●「音色設定」が選択できないメロディの場合、操作できません。

■ 以降の操作：P.7-19の操作3～6

メロディの強弱を設定する

メロディの強弱を3段階で設定することができます。

1 **メニュー画面（☞P.11-43）で、「その他編集機能」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「強弱設定」を選び、Ⓕを押す。**

●「強弱設定」が選択できないメロディの場合、操作できません。

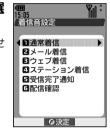
■ 以降の操作：P.7-24の操作3～5

着信パターンに設定する

●V601SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディのみ、着信パターンに設定できます。ただし、メロディフォルダ内のご自分で作成したフォルダにあるメロディは設定できません。

●メロディのファイル名が全角12文字（半角24文字）を超える場合は、着信パターンに設定できません。

1 **メニュー画面（☞P.11-43）で、「着信音設定」を選び、Ⓕを押す。**

●「着信音設定」が選択できないメロディの場合、操作できません。

2 **設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。**

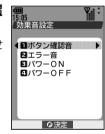
着信パターンに設定され、データフォルダ画面に戻ります。

効果音に設定する

●V601SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディのみ、効果音に設定できます。ただし、メロディフォルダ内のご自分で作成したフォルダにあるメロディは設定できません。

●メロディのファイル名が全角12文字（半角24文字）を超える場合は、効果音に設定できません。

1 **メニュー画面（☞P.11-43）で、「効果音設定」を選び、Ⓕを押す。**

●「効果音設定」が選択できないメロディの場合、操作できません。

2 **設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。**

効果音に設定され、データフォルダ画面に戻ります。

vファイル

vファイルのしくみ

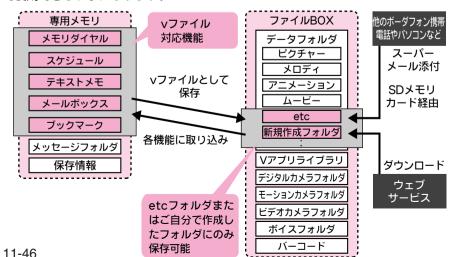
vファイルとは

「**vファイル**」とは、V601SHのメモリダイヤルやスケジュールなどのデータを、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル形式の総称です。
vファイルを利用すると、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで作成したメモリダイヤルやスケジュールなどのデータをV601SHに取り込んだり、V601SHのメモリダイヤルをパソコンで管理することなどが可能になります。
vファイル対応機能と各ファイル形式は次のとおりです。

機能	アイコン	ファイル形式	機能	アイコン	ファイル形式
メモリダイヤル（オーナー情報）	（.vcf）	vCard形式	テキストメモ※1	（.vnt）	vNote形式、Text形式
			メッセージ	（.vmg）	vMessage形式
スケジュール	（.vcs）	vCalendar形式	ブックマーク※2	（.vbm）	vBookmark形式

※1　メモ形式の場合、「」（.txt）が表示されます。
※2　拡張子が「.url」の場合もあります。

vファイルの利用方法

vファイルは、V601SHの専用メモリのデータをデータフォルダに保存すると自動的に作成されます。作成されたvファイルは、メールに添付したり、SDメモリカードを経由して、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとやりとりすることができます。
また、メールやウェブを利用して他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどから受信や入手したvファイルも、データフォルダに保存して各機能に取り込むと、V601SHで使用できるようになります。

vファイルを作成（保存）する

1 **vファイルを作成するデータを表示する。**

メモリダイヤルを保存するとき

保存するメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.4-14～P.4-17）
●オーナー情報を保存する場合は、オーナー情報画面を表示します。（☞P.2-33）

スケジュールを保存するとき

1 スケジュールの一覧画面を表示する。（☞P.14-22の操作１～３）
2 保存するスケジュールを選ぶ。

テキストメモを保存するとき

1 テキストメモの一覧画面を表示する。（☞P.3-28の操作１～２）
2 保存するテキストメモを選ぶ。

メールを保存するとき

1 メールのリスト画面を表示する。（☞P.5-2の操作１～３）
2 保存するメールを選ぶ。

2 **メモリダイヤルのとき**

Ⓕを押す。

スケジュール、テキストメモ、メールのとき

（メニュー）を押す。

3 **「データフォルダに保存」を選び、Ⓕを押す。**

4 **タイトルを入力し、Ⓕを押す。**
V601SHの「etcフォルダ」のファイル表示画面になります。
●ご自分で作成したフォルダなどにも登　できます。
■ SDメモリカード内のデータフォルダにコピー：（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

5 **Ⓕを押す。**
vファイルがデータフォルダに登　されます。

注意
●パーソナルデータや指定着信音、メールコール、メールフォルダが登　されているメモリダイヤルの場合、パーソナルデータや指定着信音、メールコール、メールフォルダは削除して保存されます。
また、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルの場合、登　されている画像のサイズによっては、削除して保存されます。

vファイルを転送する

メールを利用するとき

vファイル（ブックマーク以外）は、メールに添付して他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間で送受信することができます。

- メールに対応していないボーダフォン携帯電話に、vファイルを送信することはできません。
- 受信したvファイルは、データフォルダに保存して各機能に取り込むと利用することができます。

■ 実際の送受信方法：☞P.3-9

メモリカードを利用するとき

SDメモリカードのデータフォルダに保存したvファイルは、SDメモリカード対応の他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどに直接取り付けて利用することができます。また、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどでvファイルを保存したSDメモリカードを、V601SHに取り付けて利用することもできます。

注意
- SDメモリカードに保存したブックマークは、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できません。
- SDメモリカードに保存したvファイルは、内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。

データ管理

パソコン等ボーダフォン携帯電話以外の機器とのやりとり

- パソコン等でvファイルを利用するには、別途vファイル対応のアプリケーションソフトが必要です。
- パソコンやメモリカードドライブの種類によっては、V601SHでフォーマットしたSDメモリカードや、保存したvファイルが読み込めない場合があります。
- パソコン等でフォーマットしたSDメモリカードや保存したvファイルは、V601SHで読み込めない場合があります。

データフォルダのvファイルを取り込む

受信したvファイルなど、データフォルダのvファイルを各機能で利用するには、各機能に取り込む必要があります。

- 受信したvファイルをデータフォルダに保存する方法：☞P.4-26

1 **データフォルダ画面で、取り込むvファイルを選ぶ。**（☞P.11-5）

2 **取り込むvファイルを選び、（メニュー）を押す。**

3 **メモリダイヤルを取り込むとき**

1「メモリダイヤルへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2 メモリ番号を入力して登録する。（☞P.4-3）

スケジュールを取り込むとき

1「スケジュールへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2「1YES」を選び、Ⓕを押す。（☞P.14-16）

テキストメモを取り込むとき

1「テキストメモへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2「1YES」を選び、Ⓕを押す。（☞P.3-28）

メールを取り込むとき

「メールボックスへ登録」を選び、Ⓕを押す。

- V601SHの受信メールボックス、送信メールボックス、送信トレイのいずれかに、自動的に登 されます。

ブックマークを取り込むとき

1「ブックマークへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2「1本体」または、「2メモリカード」を選び、Ⓕを押す。（☞P.10-5）

SVGファイル

データ管理

V601SHでは、 クトルグラフィックスフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイルが表示できます。SVGファイルの表やグラフ、地図などの画像を閲覧することが可能です。

- 「SVG-T」の詳細な情報については「http://www.sharp.co.jp/j/」でご案内しています。

上下左右スクロール	◈
ページスクロール	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大・縮小	3（拡大）／#（やや拡大）／1（縮小）／*（やや縮小）／0（等倍）／5（キーアクションモード）

電子ブックを利用する

V601SHでは、SDメモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧することができます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と言葉の意味などを検索することのできる「**辞書データ**」があります。

- 電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ P.10-2、P.10-5～P.10-6）でご案内しています。
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V601SHではご利用になれない場合があります。

書籍データを読む

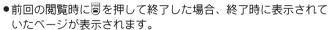
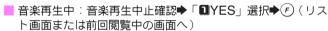
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

1 **Ⓕを押したあと、「メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「8電子ブック」を選び、Ⓕを押す。**

電子ブックフォルダの書籍データのリストが表示されます。電子ブックフォルダに書籍データがない場合は、書籍データがない電子ブックフォルダのリスト表示になります。

- 前回の閲覧時にPWRを押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

■ 音楽再生中：音楽再生中止確認➡「1YES」選択➡Ⓕ（リスト画面または前回閲覧中の画面へ）

■ Vアプリ一時停止中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡Ⓕ（リスト画面または前回閲覧中の画面へ）

■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックを閲覧：（メニュー）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡Ⓕ➡フォルダ選択➡Ⓕ（次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）

■ タイトルや著者などの情報を表示：（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡Ⓕ

3 **読みたいデータを選び、Ⓕを押す。**

- ディスプレイ上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力画面➡パスワード入力➡Ⓕ（閲覧画面へ）

- 書籍データをユーザーショットカットに登　することができます。（☞P.2-34）

補足
- 閲覧中にSDメモリカードが抜かれたときは、確認メッセージが表示され、電子ブックを終了します。

4 **閲覧を終わるときは、（クリア）またはPWRを押す。**

- （**リスト**）が表示されているときは、（**リスト**）を押しても書籍データのリストが表示されます。
- PWRを押した場合、次回閲覧する際に終了時に表示していたページが表示されます。

閲覧画面でのページ移動／目次の利用

■ 閲覧画面での操作は、横書き、縦書きによって次のようになります。

	横書き	縦書き
上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

■ データの先頭や最後に移動することができます。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**先頭へ**」または「**最後へ**」選択➡Ⓕ

■ 先頭からおおよその位置を%で指定して、移動することができます。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**%指定移動**」選択➡Ⓕ➡%入力（2ケタ：00～99）➡Ⓕ

■ 目次を利用すれば、読みたい章を表示することができます。（目次に対応した書籍データのみ有効）
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**目次**」選択➡Ⓕ➡読みたい章を選択➡Ⓕ

閲覧画面の表示方法設定

■ 閲覧画面での表示方法を次の中から選ぶことができます。

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「**小**」「**やや小**」「**中**」「**やや大**」「**大**」のいずれかに設定することができます。（書籍データによっては、文字サイズが固定されている場合もあります。）	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示することができます。（書籍データによっては、切り替えられない場合や設定が指定されている場合もあります。）	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定することができます。（書籍データによっては、表示されない場合もあります。）	OFF

閲覧画面で（**メニュー**）➡「**表示設定**」選択➡Ⓕ➡設定項目選択➡Ⓕ➡設定内容選択➡Ⓕ

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やメールアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用することができます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
情報選択➡Ⓕ➡確認画面表示➡「1OK」選択➡Ⓕ➡電話発信画面／メール作成画面／情報画面表示（データの内容によっては、利用できない場合もあります。）

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所に複写することができます。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡Ⓕ➡☞P.3-17操作3以降

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登　することができます。しおりを登　しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧することができます。

●しおりは１書籍につき最大２個（最大５書籍）まで登　することができます。

1 しおりを登録したいページで、(メニュー)を押したあと、「しおりをはさむ」を選びⒻを押す。

2「1しおり１」または「2しおり２」を選び、Ⓕを押す。

指定したページにしおりが登　されます。

自動しおりについて

●書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登　されます。（自動しおり１）
次に同じ書籍データの閲覧を行い終了した場合、最後に表示していたページが自動しおり１に登　され、前回の自動しおり１は自動しおり２に登　されます。（自動しおりは１書籍につき最大２個まで登　され、古いものから順に自動的に消去されます。）

しおりを登録したページの表示

■ メニュー画面で、「**しおりへ移動**」を選びⒻを押したあと、「**しおり１**」、「**しおり２**」、「**自動しおり１**」、「**自動しおり２**」を選びⒻを押します。

データ管理

補足

マスク情報について

●書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）が埋め込まれている場合があります。マスク情報が埋め込まれている部分を選びⒻを押すと、対応する文字列や画像のマスクが反転します。再度Ⓕを押すと、文字列が表示されなくなります。

ジャンプ情報について

●書籍データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれている場合があります。ジャンプ情報が埋め込まれている文字列を選びⒻを押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで(**戻る**)を押すと、元のページに戻ります。

書籍データ内の画像を利用する

書籍データ内の画像を壁紙に設定する

画像によっては、壁紙に設定できないものがあります。

1 画像を選び、Ⓕを押す。

2「壁紙登録」を選び、Ⓕを押す。

■ 以降の操作：☞P.6-2の操作6以降

■ 壁紙登　の中止：クリア

画像に埋め込まれた情報を利用する

画像データによっては、リンク・ジャンプ情報やマスク情報、動画の実行などの情報が埋め込まれている場合があります。

1 画像を選び、Ⓕを押す。

2「リンクへ移動」、「マスクの切替」、「動画の実行」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

●リンクへ移動…ジャンプ情報の場合、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行する場合には、電子ブックの終了確認が表示されます。（情報の利用／文字列のコピー：☞P.11-51）

●マスクの切替… 隠された特定の文字列または画像を表示します。

●動画の実行…指定のパラパラアニメが動きます。

■ 中止：クリア

辞書データを利用する

メモリカードに保存されている辞書データを利用して、言葉の意味などを検索し、検索結果を表示することができます。

●辞書データの表示方法は、P.11-50の「**書籍データを読む**」の操作と同様です。

辞書データで文字列を検索する

1 辞書データを表示する。（☞P.11-50～P.11-51）

2 検索文字列の入力欄を選び、Ⓕを押す。

辞書データ

データ管理

3 **検索する文字列を入力する。**

4 **Ⓕを押す。**

検索中の確認メッセージが表示されたあと、検索結果画面が表示されます。

- 検索結果画面から、見たい情報を選び、Ⓕを押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面の操作はP.11-51と同じです。（ただし、項目画面が1画面にすべて表示されている場合は、スクロール操作により、ページが切り替わります。）

■ 辞書データや書籍データの情報の確認：メニュー画面で「プロパティ」選択➡Ⓕ

辞書ファイルを利用する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を、漢字変換用の辞書として使用することができます。

- 辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ⓄP.10-2）でご案内しています。

データ管理

1 **データフォルダ画面で、利用する辞書ファイルを選ぶ。**（☞P.11-5）

- 利用できる辞書ファイルには、「」と拡張子「.sdj」が表示されています。

2 **（メニュー）を押す。**

- 「ダウンロード辞書登録」が選択できない辞書ファイルの場合、操作できません。

3 **「ダウンロード辞書登録」を選び、Ⓕを押す。**

4 **辞書を登録する番号を選び、Ⓕを押す。**

辞書が登　され、データフォルダ画面に戻ります。

辞書が登録されている番号の選択時

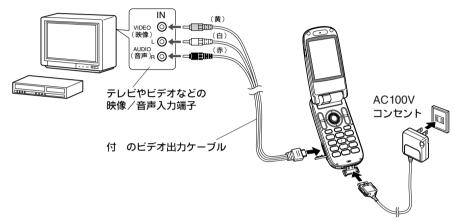
- 上書きしてもよいかどうかの確認画面が表示されます。「❶YES」を選びⒻを押すと、辞書が登　されます。「❷NO」を選びⒻを押すと、操作3を行ったあとの画面に戻ります。

テレビなどで静止画や動画を見る

テレビやビデオなど他の機器とV601SHを接続し、他の機器でV601SHやSDメモリカード内の静止画や動画（ビデオカメラデータのみ）を見ることができます。

- V601SHと他の機器は、付属のビデオ出力ケーブルで接続します。
- 画像によっては、外部出力できないものがあります。

テレビなどの接続方法

データ管理

静止画や動画を見る

他の機器で静止画や動画を見るときは、静止画や動画の外部出力を「ON」に設定します。

1 **V601SHと他の機器を接続する。**

2 **Ⓕ85の順に押す。**

- デジタルカメラフォルダやビデオカメラフォルダの各選択画面からも操作できます。

3 **確認するフォルダを選び、Ⓕを押す。**

4 **画像ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

- 外部出力に対応したVアプリもテレビやビデオなどの他の機器で表示することができます。（☞ⓄP.13-5）

5「映像の外部出力」または「外部出力・連続表示」を選び、Ⓕを押す。

■「外部出力・連続表示」選択時：「映像の外部出力」選択➡Ⓕ

6「1ON」を選び、Ⓕを押す。

外部出力が「ON」に設定され、操作３の画面に戻ります。このあと外部出力したい画像を選んでⒻ（表示・再生）を押すと、他の機器に静止画や動画が表示されます。

●V601SH のディスプレイにも映ります。（ビデオカメラモード除く）

■ 他の機器への出力をしない：「2OFF」選択➡Ⓕ

■ 静止画や動画を回転：「3回転表示」選択➡Ⓕ➡回転角度（または「なし」）選択➡Ⓕ

■ 表示サイズの切替：「4表示サイズ切替」選択➡Ⓕ➡「1等倍」／「2拡大」選択➡Ⓕ

注意

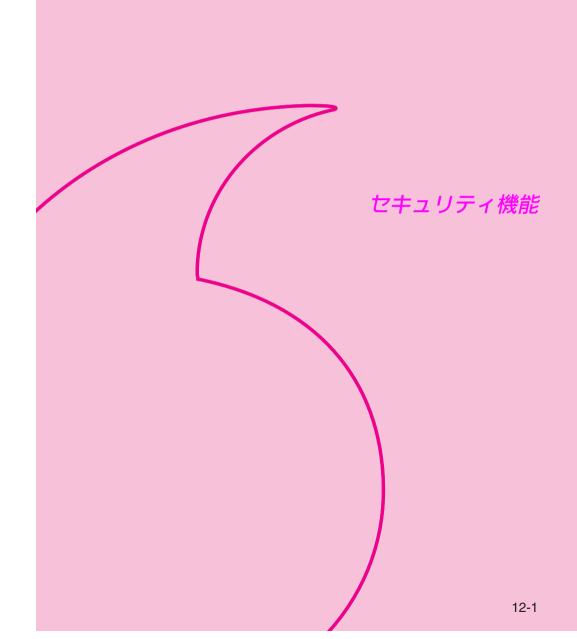
●ご利用になるときは、ビデオ出力ケーブルはゆっくりと確実に差し込んでください。また、ビデオ出力ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。V601SHのVIDEO OUT端子やビデオ出力ケーブルが破損する恐れがあります。
●プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
●テレビなどへ接続するとき、抜くときは、接続する機器側の電源を一旦「切」にしてください。
●ビデオ出力ケーブルはテレビ側のビデオ入力に接続してください。誤ってビデオ出力端子など他の端子に接続すると、故障する場合があります。
●テレビをご覧になるときは、ご利用のテレビの取扱説明書に従ってください。
●付属のビデオ出力ケーブルはV601SH以外へは接続しないでください。
●外部出力をご利用になる際には、V601SHと接続したテレビなどの機器で、音量調整を行ってください。また、V601SHを抜く前にはテレビなどの音量が大きくなりすぎていないことをご確認の上、テレビなどの電源を切ってください。
●お使いのテレビなどによっては、画面にノイズが出たり、乱れる場合があります。

補足

●「ON」に設定すると、静止画／動画や保存場所にかかわらず、すべての再生が他の機器へ出力されます。ただし、ビデオ出力ケーブルを接続していないときは、出力されません。
●「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池の利用時間が短くなります。
●ビデオカメラモードのファイルを外部出力している場合、再生中にⒸを押すと、他の機器への出力を中止し、メインディスプレイで最初から再生されます。

連続表示について

●外部出力が「ON」に設定されている状態で、静止画を連続して表示（☞P.11-10）すると、接続している他の機器側でも連続して表示されます。（連続表示ワイプ設定（☞P.11-11）は、他の機器では表示されません。）

セキュリティ機能

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

誤動作防止を設定する

1 待受中に、Ⓕを1秒以上押す。

「」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定された待受中に、Ⓕを1秒以上押す。

「」が消え、誤動作防止が解除されます。

誤動作防止設定中は

■ 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-11）を押して電話に出ることができます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。

■ を2秒以上押しても、電源は切れません。

無断で利用されたくないとき

操作用暗証番号を入力しないと、電話をかけられないように設定します。（ダイヤル操作禁止）

ダイヤル操作禁止を設定する

1 Ⓕ2 0の順に押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

「」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

ダイヤル操作禁止設定中は

■ 待受状態のときは、長押し（電源のON／OFF）、Ⓕ長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9（操作用暗証番号入力）、クリア（入力中の操作用暗証番号消去）以外の操作はできません。ただし、緊急ダイヤル（110、119）や海上保安庁への緊急通報（118）へは、電話をかけることができます。

■ 電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-11）を押して電話に出ることができます。着信中にⒻを押すと、着信留守電転送（☞P.15-5）ができます。また、を押すと、応答保留もできます。

■ 通話中は、（終話）、（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9（操作用暗証番号入力）以外の操作はできません。

ダイヤル操作禁止を解除する

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

「」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。

- ●操作用暗証番号は表示されません。（「」が表示されます。）
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ
- ●通話中でも同様の操作で解除することができます。
- ●電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤルの操作を禁止する

電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作禁止を設定します。（簡易ロック）

簡易ロックを設定する

1 Ⓕ2 1の順に押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 「1ON」を選び、Ⓕを押す。

このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止が設定されているときの解除方法を説明します。
ダイヤル操作禁止が設定されていないときは、操作２から行ってください。

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
●操作用暗証番号は表示されません。（「*」が表示されます。）
■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 (F)(2)(1)の順に押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

4「2OFF」を選び、(F)を押す。
■ 簡易ロックの設定：「1ON」選択➡(F)

メモリダイヤル使用の禁止

メモリダイヤルを誤って削除したり、他人が使用できないようにします。（メモリ使用禁止）

1 (F)(2)(3)の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「1ON」を選び、(F)を押す。
待受画面に戻ります。
■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡(F)

メモリ使用禁止設定中は

■ メモリダイヤルの検索、登　、修正、発信ができなくなります。
■ メモリダイヤルやオーナー情報を使ったバーコードの作成はできなくなります。（☞P.14-37）
スピードダイヤルで電話をかけることもできません。（☞P.4-17）

ダイヤルボタン発信の禁止

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。（ダイヤル禁止）

1 (F)(2)(4)の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-25
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「1ON」を選び、(F)を押す。
待受画面に戻ります。
■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡(F)

ダイヤル禁止設定中は

■ 緊急ダイヤル（110、119）や海上保安庁への緊急通報（118）へは、電話をかけることができます。
■ メモリダイヤルへの登　はできません。

電話の着信を制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話は受けられないように設定します。

指定着信許可	登　した電話番号からの着信に限り、つながるようになります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登　した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

●電話を受け付けなかった場合、不在時の着信お知らせ表示（☞P.2-17）で「不在着信：○件」と表示され、着信履歴には「着信拒否」として記憶されます。
●電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
●指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

リストに電話番号を登録する

着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登　できます。相手先を登　したあと「**指定着信許可**」または「**指定着信拒否**」を「ON」に設定すると、それぞれの機能が有効になります。

1 **着信許可のとき**

Ⓕ 2 5 の順に押したあと、操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

着信拒否のとき

Ⓕ 2 6 の順に押したあと、操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、「1リスト拒否」を選びⒻを押す。

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 **「3リスト登録」を選び、Ⓕを押す。**

すでに他の方を登　しているときは、名前または電話番号が表示されます。

- 相手先の消去：消去する番号選択➡〔消去〕➡「1YES」選択➡Ⓕ

3 **登録する番号を選び、Ⓕを押す。**

●新規に登　するときは「------------------」が表示されている番号を選んでください。

4 **電話番号を入力する。**

- メモリダイヤルの利用：◎（TEL）➡メモリダイヤル検索（☞P.4-14～P.4-17）

5 **Ⓕを押す。**

直接電話番号を入力した時は電話番号が、メモリダイヤルから選んだときは名前が表示されます。（メモリダイヤルに登　している電話番号と同じ番号を入力しても、登　している名前は表示されません。）

- 追加登　：操作3～5をくり返す

着信拒否のとき

指定した電話番号の着信を許可する

1 **Ⓕ 2 5 の順に押す。**

●指定着信拒否が「ON」に設定されているときは、指定着信拒否を「OFF」に設定してから、やり直してください。

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

●相手先が1件も登　されていないときは、設定できません。

- 指定着信許可の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

指定した電話番号の着信を拒否する

1 **Ⓕ 2 6 の順に押す。**

●指定着信許可が「ON」に設定されているときは、指定着信許可を「OFF」に設定してから、やり直してください。

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1リスト拒否」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

●相手先が1件も登　されていないときは、設定できません。

- 指定着信拒否の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

非通知の電話や公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

1 **Ⓕ 2 6 の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「2非通知拒否」または「3公衆電話拒否」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

指定着信拒否の設定画面に戻ります。

- 着信拒否の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

暗証番号を変更する

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
●交換機用暗証番号の変更はできません。

1 Ⓕ2 8の順に押す。

2 現在の操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 新しい操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

4 もう一度、新しい操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客さまが設定されていた項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。
●メモリダイヤルなどの登　内容は消去されません。
●お買い上げ時の状態に戻る項目（F機能）：☞P.17-6

1 Ⓕ2 9の順に押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 「1実行」を選び、Ⓕを押す。
- 設定リセットの取消：「2キャンセル」選択➡Ⓕ

メモリダイヤルなどの登録内容を消去する

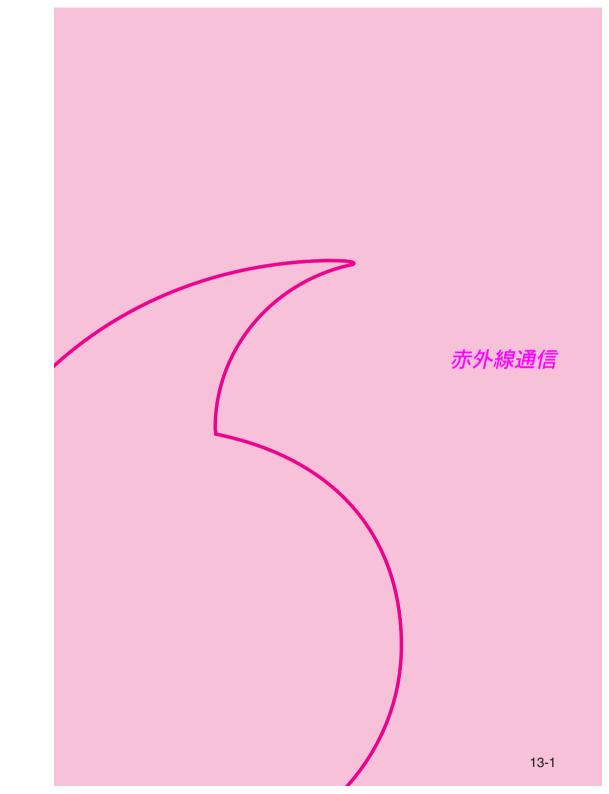
操作用暗証番号以外の登　内容（メモリダイヤルやオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）は、すべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 Ⓕ2 7の順に押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 「1実行」を選び、Ⓕを押す。
- オールリセットの取消：「2キャンセル」選択➡Ⓕ

●一度、オールリセットで消去された登　内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

MEMO

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などと、データを送受信できます。

- 通信中やボーダフォンライブ！の利用中（メールや情報の送受信中）は、赤外線通信は行えません。
- V601SH の赤外線通信機能は、IrMC1.1 に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信機能を利用中は、自動的にオフラインモード（☞P.14-43）に設定されます。そのため、着信、通話、ボーダフォンライブ！、ミュージックプレイヤー、カード手動シンクロ、メールやデータの編集中などには利用できません。赤外線通信が終了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。

送受信できるデータ

赤外線通信機能では、次のデータを送受信できます。

機能	1件	全件	備考
メモリダイヤル	○	○	1件データ送受信では、グループ指定、シークレット設定、パーソナルデータ、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。また、ピクチャーコール／メールに登　されている画像のサイズによっては、送受信できない場合があります。
スケジュール	○	○	
テキストメモ	○	○	ノート形式のみ送受信できます。
メール	○	○	
データフォルダ	○	○	全件送受信は、データフォルダ全体またはフォルダ単位で行えます。また、著作権で保護されているファイルは送受信できません。

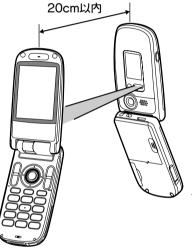
- SDメモリカード内のデータは全件送信できません。
- 100Kバイトを超えるファイルは送受信できません。
- ブックマークデータを受信することもできます。

赤外線通信モード

赤外線通信モードでは、次のことが行えます。

1件データ送信	メモリダイヤルやメールなどの画面で選んだデータを、1件ずつ送信します。
1件データ受信	赤外線通信画面で、送信側の操作によりデータを1件ずつ受信します。受信したデータは自動的に識別され、該当する機能のデータとして追加されます。
フォルダ単位送信	データフォルダ全体またはデータフォルダ画面で選んだフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを送信します。
フォルダ単位受信	赤外線通信画面で、送信側の操作によりデータフォルダ全体または指定したフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを受信します。
全件データ送信	赤外線通信画面で選んだ機能ごとに、すべてのデータを送信します。
全件データ受信	赤外線通信画面で、送信側の操作により指定した機能のすべてのデータを受信します。

赤外線通信機能利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

補足
- 正常に通信できない場合は、再接続の確認の画面が表示されます。
上記のご注意を確認していただいたあと、再接続してください。（「❶YES」を選び、Ⓕを押します。）

赤外線通信を利用する

データを１件ずつ送受信する

●送受信できるデータ：☞P.13-2

データを１件ずつ送信する

赤外線通信を利用した１件送信は、各機能の画面から行います。

1 各機能のリスト画面で送信するデータを表示する。

●メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモは、各詳細画面からでも操作できます。

メモリダイヤル

スケジュール

テキストメモ
（ノート形式のみ）

メール

データフォルダ
（ピクチャーの場合）

2 ☑（メニュー）を押す。

●データフォルダ内のデータを送信するときは、このあと「赤外線通信」を選び、Ⓕを押します。

3「赤外線１件送信」を選び、Ⓕを押す。

自動的にオフラインモードになり、タイトルの入力画面になります。

●このあと、タイトルを変更することもできます。ただしタイトルを変更しても、元のデータの登　名は変更されません。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、操作１のリスト画面に戻ります。

4 タイトルを修正して、Ⓕを押す。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1 YES」を選び、Ⓕを押す。

送信が開始されます。

●送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示され、操作１のリスト画面に戻ります。

データを１件ずつ受信する

1 待受中にⒻ◎（オススメ）の順に押したあと、「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。

2「2 赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25

■ 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線通信画面へ

認証パスワードの入力画面が表示されたとき

●初めて赤外線受信を行うときなどには、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（４ケタ）を入力すると、受信が開始されます。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV601SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（☞P.13-9）

●認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

4 **受信が終われば、登録の確認画面が表示される。**

5 **受信したデータを登録するとき**

「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

データ登　完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

受信したデータを登録しないとき

1「❷NO」を選び、Ⓕを押す。

情報破棄の確認メッセージが表示されます。

2「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

通信終了後、赤外線通信の画面に戻ります。

登録の確認画面
（メモリダイヤルの場合）

データを全件送受信する

赤外線通信機能を利用して、V601SHの各機能ごとのデータをまとめて送受信することができます。

- 送受信できるデータ：☞P.13-2
- 全件データの送受信には、「**暗証番号**」と「**認証パスワード**」の入力が必要になります。
  - ■「**暗証番号**」は、V601SHに設定されている操作用暗証番号（４ケタの数字：☞P.1-25）を入力します。
  - ■「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。送信側・受信側の認証パスワードが一致すると赤外線通信を行うことができます。あらかじめ、受信側の認証パスワードを設定しておくこともできます。（☞P.13-9）
- データフォルダの全件送受信については、P.13-8を参照してください。

データを全件送信する

1 **待受中にⒻ◎（ｵｽｽﾒ）の順に押したあと、「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❶赤外線一括送信」を選び、Ⓕを押す。**

自動的にオフラインモードになります。

- 自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、赤外線通信の画面に戻ります。

3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線通信画面へ

4 **送信する機能を選び、Ⓕを押す。**

5 **受信側を待機状態にする。**

6 **認証パスワード（４ケタ）を入力する。**

- メモリダイヤル選択時：画像データ転送の確認メッセージ表示➡「❶YES」／「❷NO」選択➡Ⓕ➡送信の確認画面表示

7 **15秒以内に、「❶YES」を選び、Ⓕを押す。**

送信が開始され、送信中のメッセージが表示されます。

- 送信が完了すると送信完了のメッセージが表示され、操作３を行ったあとの状態に戻ります。
- 認証パスワードを間違えたときは、操作４の画面に戻ります。

送信の確認画面

データを全件受信する

1 **待受中にⒻ◎（ｵｽｽﾒ）の順に押したあと、「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❷赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。**

3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線通信画面へ

4 **受信が開始されると、登録の確認画面が表示される。**

5 **追加登録するとき**

「❶追加登録」を選び、Ⓕを押す。

データ受信が開始され、受信中のメッセージが表示されます。

- 受信が完了すると受信結果のメッセージが表示され、赤外線通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録するとき

「❷全消去して登録」を選び、Ⓕを押す。

V601SH内のデータをすべて消去したあと、データ受信が開始されます。

- 受信が完了すると受信結果のメッセージが表示され、赤外線通信の画面に戻ります。

登録方法の選択画面

フォルダ単位でデータを送受信する

●送受信できるデータ：☞P.13-2

フォルダ単位で送信する

1 **データフォルダ（☞P.11-5）から送信するフォルダを選び、☑（メニュー）を押す。**

●データフォルダ全体を送信する場合、フォルダを選ぶ必要はありません。

●モバイルカメラ（ショートカット）のフォルダは、送信できません。

2 **「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「赤外線フォルダ送信」または「赤外線データフォルダ送信」（データフォルダ全体の場合）を選び、Ⓕを押す。**

自動的にオフラインモードになります。フォルダ送信の場合、タイトルの入力画面になります。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、データフォルダの画面に戻ります。

●データフォルダ全体を送信する場合、このあと操作５に進みます。

4 **フォルダ名を修正して、Ⓕを押す。**

5 **受信側を待機状態にする。**

6 **15秒以内に、「❶YES」を選び、Ⓕを押す。**

送信が開始されます。

●送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示され、データフォルダの画面に戻ります。

フォルダ単位で受信する

1 **待受中にⒻ◎（オススメ）の順に押したあと、「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❷赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。**

3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25

■ 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線通信画面へ

4 **受信が開始されると、登録の確認画面が表示される。**

5 **受信したデータを保存するとき**

「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

受信完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

受信したデータを保存しないとき

「❷NO」を選び、Ⓕを押す。

通信終了後、赤外線通信の画面に戻ります。

認証パスワード設定

「認証パスワード」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信を行う場合には、受信側、送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。この認証パスワードは、初めて赤外線受信を行うときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、このページの操作で変更することができます。

●初めて赤外線受信を行う前にこのページの操作を行うと、あらかじめ認証パスワードを設定しておくこともできます。この場合、次に赤外線受信を行っても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

1 **待受中にⒻ◎（オススメ）の順に押したあと、「赤外線通信」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❸認証パスワード設定」を選び、Ⓕを押す。**

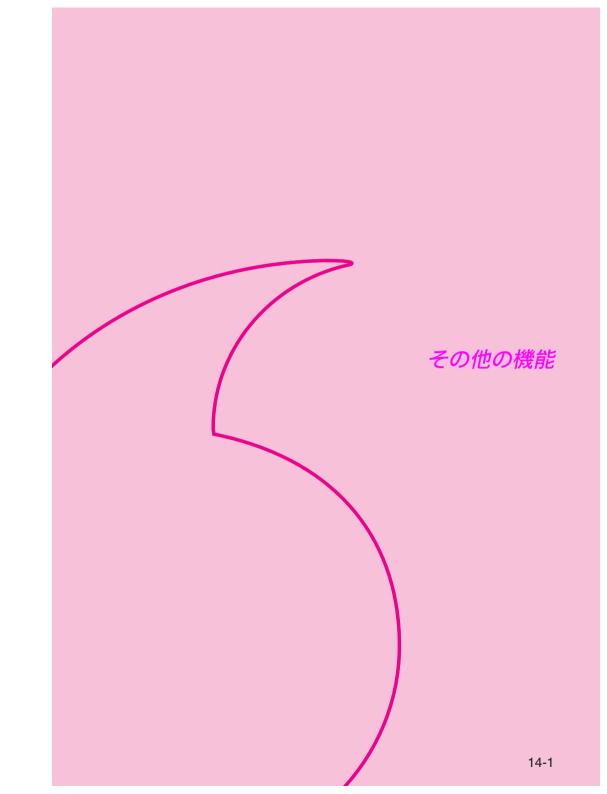
3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

■ 操作用暗証番号：☞P.1-25

■ 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線通信画面へ

4 **設定する認証パスワード（４ケタ）を入力する。**

認証パスワードが設定され、赤外線通信の画面に戻ります。

MEMO

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする

電波状況等の関係で、通話が途中で切れてしまう恐れがあるとき、アラーム音でお知らせします。（通話品質アラーム）
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **Ⓕ3 8の順に押す。**

2 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**
待受画面に戻ります。
■ 通話品質アラームの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

●「ON」に設定していても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音を鳴らさずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

V601SHからポケット　ルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作します。

メモリダイヤルに登録した番号を一括して送る

よく送るポケット　ルのメッセージなどを登　しておくと便利です。
●あらかじめメモリダイヤルにプッシュトーンを登　しておいてください。（☞P.4-3）
●この方法で送る場合、メモリダイヤルには送りたいプッシュトーンのみを登　してください。電話番号を登　すると正しく送信できません。

1 **相手とつながったあと、◎（TEL）を押し、送りたいプッシュトーンを登録したメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.4-14〜P.4-17）**
●相手の携帯電話・自動車電話のディスプレイに右の内容を表示することはできません。

2 **Ⓕを押す。**

3 **「PB一括送信」を選び、Ⓕを押す。**

●メモリダイヤルの番号の中に「,（ポーズ）」が入力されている場合、「,（ポーズ）」までの番号を一区切りとして送信します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあと、ダイヤルボタンを押しプッシュトーンを送る方法です。

1 **相手とつながったあと、送りたい番号を押す。**
●アナウンスやアラーム音等に従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。
●送ることのできるプッシュトーンは「0」〜「9」、「¥」、「#」です。

発信時の便利な機能

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登　し、メモリダイヤルの先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や 186 などお好みの番号を登　できる「**セット発信**」があります。
●お買い上げ時には、国際発信は「0046010」に設定されています。

付加する番号を登録する

1 **Ⓕ7 9の順に押す。**

2 **「1国際発信登録」または「2セット発信登録」を選び、Ⓕを押す。**

3 **登録する番号を入力し、Ⓕを押す。**
●変更するときは、登　されている番号を消したあと、入れ直します。
●「国際発信」は 7　以内、「セット発信」は 6　以内を入力します。

電話をかける

1 **メモリダイヤルを呼び出す。（☞P.4-14〜P.4-17）**

2 **Ⓕを押す。**

3 **「国際発信」または「セット発信」を選び、Ⓕを押す。**
表示されている電話番号の前に番号を付加してダイヤルします。

セット発信ご利用例

「**発信者番号通知サービス**」をお申込みのお客さまが、相手に電話番号を通知したくない場合

V601SHのセット発信番号に「184」を登録する ➡ V601SHのメモリダイヤルからセット発信を行う

「**発信者番号通知サービス**」をお申込みされていないお客さまが、相手に電話番号の通知をしたい場合

V601SHのセット発信番号に「186」を登録する ➡ V601SHのメモリダイヤルからセット発信を行う

サイドキー設定

サイドキーを１秒以上押したときの動作を設定します。

●お買い上げ時には、「**着信時：簡易留守録／待受時：マーク表示**」に設定されています。

着信時の動作を設定する

1 Ⓕ③⑨**の順に押す。**

2「**❶着信時**」**を選び、**Ⓕ**を押す。**

3 設定する動作を選び、Ⓕ**を押す。**

●それぞれの動作は次のとおりです。

簡易留守録	V601SHで相手のメッセージを　音する	☞P.14-5
応答保留	相手にアナウンスを流し、電話を保留する	☞P.2-21
留守電センター転送	留守番電話センターに転送し、相手の伝言を　音する	☞P.15-5
クイックサイレント	かかってきた着信に限り、着信音を「サイレント」にする	☞P.2-21
着信拒否	かかってきた電話を切る	☞P.2-21

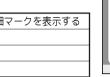
待受時の動作を設定する

1 Ⓕ③⑨**の順に押す。**

2「**❷待受時**」**を選び、**Ⓕ**を押す。**

3 設定する動作を選び、Ⓕ**を押す。**

●それぞれの動作は、次のとおりです。

マーク表示	未読表示やアラーム表示などの詳細マークを表示する
モバイルカメラ起動	モバイルカメラが起動する
ボイスレコーダー起動	ボイスレコーダーが起動する
位置情報表示	位置情報を表示する

■ モバイルカメラ起動選択時：「**❶写メールモード**」～「**❹モーションカメラ（MPEG）モード**」選択➡Ⓕ

電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを　音します。（簡易留守　）

簡易留守録に設定する

簡易留守　は電源が切れていたり、オフラインモードにしているとき、「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.15-4）

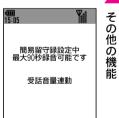
●簡易留守　できるのは最大20件、音声メモやマイボイスメモ（☞P.14-27）と合わせて最大約90秒です。

1 Ⓕ(文字)**の順に押す。**

音可能秒数と「☎」が表示されたあと、簡易留守　に設定されます。（設定完了後、待受画面に戻ります。）

■ 応答文再生：Ⓕ➡「**電話**」選択➡Ⓕ➡「**❼簡易留守**」選択➡Ⓕ➡「**❸応答文再生**」選択➡Ⓕ

■ 留守　応答／　音中の受話音量の変更：Ⓕ➡「**電話**」選択➡Ⓕ➡「**❼簡易留守**」選択➡Ⓕ➡「**❹音量設定**」選択➡Ⓕ➡「**❶受話音量連動**」／「**❷サイレント**」選択➡Ⓕ

補足

●マナーモード（☞P.2-23）設定中は、簡易留守　の設定・解除はできません。マナー設定変更で、簡易留守　の設定・解除を行ってください。

●　音できる時間が７秒以下のときや、すでに20件　音されているときは、簡易留守　に設定できません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.14-7）

簡易留守録を解除する

1 Ⓕ(文字)の順に押す。

簡易留守　の設定が解除され、待受画面に戻ります。

注意
●簡易留守　音中は、簡易留守　を解除することはできません。

簡易留守設定時

■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと　音が始まります。
● 音中にV601SHを閉じても、　音は止まりません。
● 音中に電話に出る：(音内容は残りません。)
■ 音が終わると、「」が表示されます。
● 音後、簡易留守　が設定できない状態（P.14-5）になったときは、簡易留守　は自動的に解除され、「」表示が消えます。(「」は用件を消去するまで表示したままです。)

簡易留守録未設定時

■ 着信中に、Ⓕ(文字) の順に押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。この場合、その着信に限り留守　音します。(簡易留守　は「OFF」の設定のままです。)
■ サイドキー設定の着信時の動作（P.14-4）を「**簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを１秒以上押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。
■ 簡易留守　が設定できない状態（P.14-5）のときに操作すると、確認メッセージが表示され、留守　音はしません。

録音された用件を聞く

1 Ⓕ(スケジュール/メモ)の順に押す。

音件数表示後、新しいものから順に再生されます。
最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ メニュー操作の再生：Ⓕ➡「電話」選択➡Ⓕ➡「**7簡易留守**」選択➡Ⓕ➡「**2録音再生**」選択➡Ⓕ
■ 再生途中の停止：再生中に

補足
●時刻設定（P.2-4）がされていないときや、間違って設定されているときは、正しい日時が表示されません。

再生中に電話がかかってくると
●再生は自動的に止まります。電話に出るとき、を押してください。

■再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中にを押す。	**再生中にを押す。**	**再生中にを２回押す。**
3件目 2件目 1件目 再生→ 再生→	3件目 2件目 1件目 再生→ 再生→	3件目 2件目 1件目 再生→ 再生→

録音された用件を消去する

1 消去する用件を再生中に、(クリア)を押す。

消去の確認画面が表示されます。

2 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

用件が消去されたあと、次の用件が続けて再生されます。次の用件がないときは、待受画面に戻ります。
用件をすべて消去すると、「」が消えます。

応答時間を変更する

０秒～59秒の範囲で設定します。
●お買い上げ時には、「９秒」に設定されています。

1 Ⓕ(4)(4)の順に押す。

2 呼出し時間（00～59秒）を入力し、Ⓕを押す。

■ 着信音を鳴らさずに簡易留守　で応答：「00」を入力➡Ⓕ

補足
●簡易留守　を、オプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になる場合は、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続したとき

V601SHは、オプション品のシガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守　に設定されるようになっています。（車載簡易留守）
これを「OFF」に設定することもできます。

1 Ⓕ4 2の順に押す。

2「2OFF」を選び、Ⓕを押す。
待受画面に戻ります。
■ 車載簡易留守利用時：「1ON」選択➡Ⓕ

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻に毎日アラームでお知らせします。指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。（リピートアラーム）

- 最大5件まで登　できます。
- アラーム動作時にメッセージや電話番号も表示できます。また、アラーム音が鳴っている時間やアラーム音の音量、種類、ランプ、バイブ設定を変えることもできます。

1 Ⓕ5 0の順に押す。

2 設定する番号を選び、Ⓕを押す。
- 新規に登　するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

3「2時刻入力」を選び、Ⓕを押す。
- 時刻は必ず入力してください。

4 アラームの時刻を入力し、Ⓕを押す。
- 時刻は24時間制で入力します。

5「3曜日設定」を選び、Ⓕを押す。
- 「1デイリー」…毎日アラームを鳴らします。
- 「2曜日指定」…指定した曜日にアラームを鳴らします。

6 曜日を指定しないとき

「1デイリー」を選び、Ⓕを押す。

曜日を指定するとき

1「2曜日指定」を選び、Ⓕを押す。
2 アラームを鳴らす曜日を選び、Ⓕを押す。
曜日が指定され、「☑」が表示されます。
- すでに指定されている曜日を選んでⒻを押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。
4 指定が終われば、◎（完了）を押す。

7 メッセージを表示するとき

1「4メッセージ」を選び、Ⓕを押す。
2 メッセージを入力し、Ⓕを押す。
- 最大全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

アラームの詳細を設定するとき

「5サウンド設定」を選び、Ⓕを押す。
■ 以降の操作：☞P.14-12

アラームをくり返し鳴らすとき（スヌーズ設定）

1「6オプション」を選び、Ⓕを押す。
2「3スヌーズ設定」を選び、Ⓕを押す。
3「1ON」を選び、Ⓕを押す。
4 くり返す間隔（02～20分）を入力し、Ⓕを押す。

オプション（☞P.14-12）を設定するとき

「6オプション」を選び、Ⓕを押す。
■ 以降の操作：☞☞P.4-12～P.14-14

8 ◎（完了）を押す。
アラームが設定されます。
- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作2～8をくり返します。

9 設定を終わるときは、Ⓟを押す。
待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。
- V601SHを閉じた状態で、サイドキーを1秒以上押すと、サブディスプレイに「🔔」が表示されます。（サイドキー設定を「待受時：マーク表示」に設定しているとき）

アラーム設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。
- マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
- アラームを解除するまで毎日または設定した曜日にお知らせします。

- 通話中にアラーム設定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラームが動作します。
- アラーム音量調整を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.2-23）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- サブディスプレイにアラーム時刻の画面が表示されているときにサイドキーを1秒以上押すと、登　されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。もう一度サイドキーを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

■アラーム音を途中で止める

を押します。サイドキーを押したり、エニーキーアンサーの各ボタンを押しても止まります。（☞P.2-11）
- 電話番号表示設定時：電話番号表示➡➡発信（表示を消すとき：）
- メール予約設定時：宛先表示➡（**メニュー**）➡「❷**メール送信**」選択➡Ⓕ➡メール画面表示➡（**送信**）➡送信

■スヌーズを設定しているとき

設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。（「」点灯）
- を押してアラームを止めても、スヌーズは解除されません。スヌーズを解除するときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押したあと、「❶YES」を選び、Ⓕを押します。
- 電話番号や予約している送信メールが表示されていても、スヌーズ設定を解除しないと、表示している相手先へ発信・送信することはできません。
- 着信があったときは、電話を受けることはできます。通話終了後を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

- あらかじめ登　していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。

指定時刻に自動的に電源を入れる

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV601SHの電源を入れます。（自動電源ON）
- 自動電源ONを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **Ⓕ 5 1 の順に押す。**

2 **「❶ON」を選び、Ⓕを押す。**

■ 自動電源ONの解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

3 **「❷時刻入力」を選び、Ⓕを押す。**

4 **自動電源ONの時刻を入力し、Ⓕを押す。**

- 時刻は24時間制で入力します。

■ アラームの設定：「❸**アラーム設定**」選択➡Ⓕ➡「❶ON」選択➡Ⓕ➡<詳細設定>➡☞P.14-12

5 **（完了）を押す。**

自動電源ONの設定時刻になると

■電源が切れていたとき

自動的に電源が入ります。

アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。
- マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

■電源が入っていたとき

アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。
- アラーム音を「OFF」に設定していたときは、何も動作を行いません。

- 通話中に自動電源ONの設定時刻になると、アラームを「ON」に設定していても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラームが動作します。
- アラーム音量調整を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.2-23）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- アラーム音の停止：／サイドキー／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-11）

アラーム／自動電源ONの各種設定

アラームや自動電源ON、スケジュールの設定時刻の動作を設定します。

アラーム音選択	アラーム音のパターンを設定します。
アラーム音量調節	アラーム音の音量を設定します。
鳴動時間	アラームの鳴っている時間（2～99秒）を設定します。
バイブ設定	バイブレータでお知らせすることができます。
ランプ設定	ランプの点灯方法（モバイルライト／スモールライト）を設定します。
スヌーズ設定	アラームを繰り返し鳴らすとき、何分ごとに鳴らすかを設定します。
予告アラーム設定※1	設定時刻前にアラームを鳴らします。
電話番号※1	電話番号を表示して、電話をかけることができます。
メール予約※1	アラーム動作時に送信するメールを設定します。

※1　アラーム、スケジュールで利用できます。

●P.14-12～P.14-14の各操作は、次の操作を行ったあとの画面から行います。
■アラーム：P.14-9操作7「5サウンド設定」/「6オプション」選択➡F
■自動電源ON：P.14-11操作4「3アラーム設定」選択➡F➡「1ON」選択➡F
■スケジュール：P.14-17操作6「アラーム」選択➡F➡「1ON」選択➡F➡「3サウンド設定」/「4オプション」選択➡F

アラーム音の種類を変更する

1「アラーム音選択」を選び、Fを押す。

アラーム／スケジュールの場合

2 アラーム音の種類を選び、Fを押す。（☞P.7-3）

3 oを押す。

アラーム音量を変更する

1「アラーム音量調節」を選び、Fを押す。

2 ◎でアラーム音量を選び、Fを押す。

3 oを押す。

鳴動時間を変更する

1「鳴動時間」を選び、Fを押す。

2 鳴動時間（02～99秒）を入力し、Fを押す。

3 oを押す。

バイブ設定を変更する

1「バイブ設定」を選び、Fを押す。

2「1ON」を選び、Fを押す。
●バイブパターンは通常着信音の設定となります。
■ バイブ設定の解除：「2OFF」選択➡F

3 oを押す。

ランプ設定を変更する

1「ランプ設定」を選び、Fを押す。

2「1モバイルライト」または「2スモールライト」を選び、Fを押す。（以降の操作：☞P.7-6）
■ ランプ消灯：「3OFF」選択➡F

3 oを押す。

予告アラームを設定する

1「予告アラーム設定」を選び、Fを押す。

2 アラームの場合

1「1ON」を選び、Fを押す。
■ 予告アラームなし：「2OFF」選択➡F

2 アラーム何分前に予告するか（02～99分）を入力し、Fを押す。

スケジュールの場合

いつから予告するか（「2分単位設定」～「6月単位設定」）を選び、Fを押す。
■ 予告なし：「1OFF」選択➡F

3 oを押す。

14 その他の機能

電話番号を表示する

●「メール予約」を設定しているときは、利用できません。

1 「電話番号」を選び、Ⓕを押す。

2 電話番号を入力し、Ⓕを押す。

■ メモリダイヤルの利用：◎（TEL）➡以降の操作：☞P.4-14〜P.4-17

3 ⓞを押す。

メール予約を設定する

あらかじめ送信するメールを送信トレイに保存しておいてください。
●「電話番号」を設定しているときは、利用できません。

1 「メール予約」を選び、Ⓕを押す。

2 送信するメールを選び、Ⓕを押す。

3 ⓞを押す。

アラームを解除する

解除してもアラーム時刻などの登　内容は消えません。再設定を行うことで、同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 Ⓕ⑤⓪の順に押す。

2 解除する番号を選び、Ⓕを押す。

3 「2解除」を選び、Ⓕを押す。

アラームが解除され「」や「」が消えます。

アラームを再設定する

解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定できます。

1 Ⓕ⑤⓪の順に押す。

2 再設定する番号を選び、Ⓕを押す。

3 「1設定」を選び、Ⓕを押す。

■ アラームの変更：☞P.14-8の操作２以降

4 ⓞ（完了）を押す。

「」が表示されます。予告アラームを設定したときは、「」が表示されます。

■ 設定終了：

アラームの消去

■（操作１のあと）消去する番号選択➡Ⓕ➡「3消去」選択➡Ⓕ

指定した時刻に電源を切る

あらかじめ指定した時刻に、自動的に電源を切ります。（自動電源OFF ）
●自動電源OFFを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ⑤②の順に押す。

2 「1ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 自動電源OFFの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

3 時刻（４ケタ）を入力し、Ⓕを押す。

●時刻は24時間制で入力します。

補足 ●時刻が設定されていない状態で、自動電源OFFを選択すると確認メッセージが表示されます。現在時刻を設定してⒻを押すと、操作を続けることができます。

自動電源OFFの時刻になると

自動的に電源が切れます。
●通話中の場合は通話終了後、メール作成中やカメラ撮影中などのときはすぐに確認画面が表示されます。
■約１分間何も操作せずそのままにしておくか､「1YES」を選び Ⓕ を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます）
■操作の継続:「2NO」選択➡Ⓕ
●送信予約メールを設定していても、確認画面は表示されずに電源が切れます。

14 その他の機能

スケジュール機能

V601SH・ＳＤメモリカードともに、最大400件のスケジュールを登　できます。
- 赤外線通信機能を利用すると、他の機器との間でスケジュール／アクションアイテムをやりとりできます。ただし、シークレットを「ON」に設定しているスケジュール／アクションアイテムは送信できません。

スケジュールを登録する

日時の決まった予定（スケジュール）と、行動予定（アクションアイテム）の２種類の予定を登　できます。
- アラームを設定したり、アラームのオプションも設定できます。
- 画像や表示方法の設定など、各種設定を行うこともできます。

1 待受中に(スケジュール/メモ)を押す。
スケジュール画面が表示されます。

2 (スケジュール/メモ)（新規スケジュール作成）または (文字)（新規アクションアイテム作成）を押す。
- 新規アクションアイテムを選んだときは、このあと操作５を行い、操作３へ進んでください。
- スケジュールを選んだときは、もう一度(スケジュール/メモ)を押すと、カレンダー画面から月日を選ぶことができます。

3 スケジュールは開始・終了日時、アクションアイテムは期限・完了日時を入力する。
- 開始日時／期限日時は必ず入力してください。西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
- １回のみのスケジュールの場合は、このあとⒻ（決定）を押し、操作４へ進みます。１回のみのアクションアイテムの場合は、このあとⒻ（決定）を押し、操作６へ進みます。

くり返しの予定の場合

1 (周期)（周期）を押す。
2「2毎日」、「3毎週」、「4毎月」、「5毎年」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
- ここで表示される内容は設定した日時により異なります。

3 くり返す回数（００～９９回）を入力し、Ⓕを押す。
- 「5毎年」を選んだ場合、くり返す回数は設定できません。
- くり返す回数変更：(回数)（回数）

4 Ⓕを押す。

4「件名」を選び、Ⓕを押す。

5 件名を入力し、Ⓕを押す。
- 件名は全角８文字、半角16文字以内で、必ず入力してください。

6 スタンプを設定するとき

1「スタンプ」を選び、Ⓕを押す。
2 スタンプを選び、Ⓕを押す。

内容を入力するとき

1「内容」を選び、Ⓕを押す。
2 内容を入力し、Ⓕを押す。
- 最大全角64文字、半角128文字まで、入力できます。

アラームを設定するとき（スケジュールのみ）

1「アラーム」を選び、Ⓕを押す。
2「1ON」を選び、Ⓕを押す。
- このあと「1アラーム時刻」を設定しないと、スケジュールの開始時刻にアラームが鳴動します。
- メッセージを表示する：「2メッセージ」選択➡Ⓕ➡メッセージ入力➡Ⓕ
- アラームの詳細を設定：「3サウンド設定」選択➡Ⓕ➡ P.14-12
- アラームをくり返し鳴らす（スヌーズ設定）：「4オプション」選択➡Ⓕ➡「3スヌーズ設定」選択➡Ⓕ➡「1ON」選択➡Ⓕ➡くり返す間隔入力（02～20分毎）➡Ⓕ
- オプション（ P.14-12）を設定：「4オプション」選択➡Ⓕ➡ P.14-13

3 (完了)（完了）を押す。

各種設定を行うとき

「オプション」を選び、Ⓕを押す。
- 以降の操作：P.14-18～P.14-21

スケジュールの場合

7 すべての項目の設定が終われば、(完了)（完了）を押す。
登　の確認画面が表示されます。
- 他の日時に登　：操作２～７をくり返す

8「1YES」を選び、Ⓕを押す。
スケジュールを登　した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

スケジュールを登録している日になると

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「(アラームONアイコン)」（アラームONの場合）または「(アラームOFFアイコン)」（アラームOFFの場合）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

スケジュールの指定時刻になると

アラーム設定を「ON」に設定していた場合、アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- SDメモリカード内のスケジュールの開始時刻になっても、アラームは動作しません。
- アラーム設定を「OFF」に設定しているときは、何も動作を行いません。
- マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

- 通話中に予定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラーム音が鳴ります。
- アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（P.2-23）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- サブディスプレイに予定の時刻の画面が表示されているときにサイドキーを1秒以上押すと、登　されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。もう一度サイドキーを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

■アラーム音を途中で止める

を押します。

- サイドキーを1秒以上押したり、エニーキーアンサーの各ボタンを押しても止まります。（P.2-11）
- 電話番号表示設定時：電話番号表示➡➡発信（表示を消すとき：）

■スヌーズを設定しているとき

設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。（「」点灯）

- を押してアラームを止めても、スヌーズは解除されません。スヌーズを解除するときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押したあと、「❶YES」を選びⒻを押します。
- 電話番号や予約している送信メールが表示されていても、スヌーズ設定を解除しないと、表示している相手先へ発信・送信することはできません。
- 着信があったときは、電話を受けることはできます。通話終了後を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

スケジュールの各種設定

スケジュールの設定時刻の動作を設定します。

項目	内容
シークレット設定	予定をシークレットデータにします。
ピクチャーメモ※1	スケジュールに画像を設定し、予定時刻に表示します。
電話	予定時刻に電話番号を表示して、電話をかけることができます。
メール予約	予定時刻に送信するメールを設定します。
日付色	カレンダーの日付色を設定します。
自動消去保護	登　内容を自動的に保護するかどうかを設定します。
待受表示設定	待受け表示内容の設定を有効にするかどうかを設定します。
優先度	スケジュールの優先度を、「**未設定**」、「**高**」、「**低**」のいずれかに設定します。
状態	予定の状態を、「**予定**」、「**完了**」のいずれかに設定します。

※1　アクションアイテムでは設定できません。

- P.14-19〜P.14-21の各操作は、P.14-17操作6「各種設定を行うとき」の操作を行ったあとの画面から行います。
- 「電話」、「メール予約」の設定：P.14-14

シークレットを設定する

- シークレットを「ON」に設定した予定は、シークレットモードでのみ表示されます。（P.4-24）
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **「シークレット設定」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❶ON」を選び、Ⓕを押す。**

- シークレット設定の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ
- 設定終了：（戻る）

ピクチャーメモを設定する

- お買い上げ時には、「モバイルカメラ」に設定されています。

1 **「ピクチャーメモ」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❶モバイルカメラ」または「❷データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。**

- ピクチャーメモの解除：「❸設定解除」選択➡Ⓕ（設定完了）

3 **静止画を撮影して登録するとき**

1. **「❶写メールモード」を選び、Ⓕを押す。**
2. **撮影する。（撮影方法：P.5-8）**
3. **Ⓕ（登録）を押す。**

動画を撮影して登録するとき

1. **「❷ムービー写メールモード」を選び、Ⓕを押す。**
   モードの選択画面が表示されます。
2. **「❶Nancyモード」または「❷MPEGモード」を選び、Ⓕを押す。**
3. **撮影する。（撮影方法：P.5-19）**
4. **「❶登録」を選び、Ⓕを押す。**

データフォルダから選ぶとき

1. **「❶ピクチャー」、「❷アニメーション」、「❸ムービー」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**
2. **登録する画像を選び、Ⓕを押す。**
   - 設定終了：（戻る）

日付の色を変更する

●お買い上げ時には、「カレンダー設定色」に設定されています。

1 「日付色」を選び、Ⓕを押す。

2 設定するカラーを選び、Ⓕを押す。

■ 設定終了：⊡（戻る）

●日付色を設定していても、表示内容が「1 間詳細表示」のときは、表示されません。

スケジュール／アクションアイテムの待受表示を設定する

予定1件ごとに、表示するかどうかを設定します。他の方に見られたくない予定は「OFF」に設定することをおすすめします。

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 「待受表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 待受表示設定の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

■ 設定終了：⊡（戻る）

スケジュールの表示

■ スケジュールを待受画面に表示するときは、メインディスプレイの場合は、カレンダー表示形式（☞P.6-7）を「❷スタンプ＋スケジュール表示」に、サブディスプレイの場合は、待受表示内容設定（☞P.6-11）を「❸スケジュール／メモ」の「❶スケジュール」に設定します。

待受詳細表示の設定

■ スケジュールを待受画面で表示するときに、詳細を表示するかどうかを設定します。
(スケジュール/メモ)➡⊡（メニュー）➡「待受表示内容」選択➡Ⓕ➡「❶メインディスプレイ」／「❷サブディスプレイ」選択➡Ⓕ➡設定する表示内容選択➡Ⓕ

自動消去保護を設定する

自動消去設定を「ON」に設定しているとき、消去したくないスケジュールを保護します。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 「自動消去保護」を選び、Ⓕを押す。

2 「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 自動消去保護の解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ

■ 設定終了：⊡（戻る）

その他の項目の設定

■「優先度」：「❶未設定」／「❷高」／「❸低」選択➡Ⓕ

■「状態」：「❶予定」／「❷完了」選択➡Ⓕ

スケジュールを管理する

自動消去を設定する

最大登 件数を超えたとき、もっとも古いスケジュールまたは完了済のアクションアイテムを自動的に消去します。

●お買い上げ時には、スケジュール・アクションアイテムともに「OFF」（消去しない）に設定されています。

1 待受中に、(スケジュール/メモ)を押す。

2 ⊡（メニュー）を押す。

3 「自動消去設定」を選び、Ⓕを押す。

4 「❶スケジュール」または「❷アクションアイテム」を選び、Ⓕを押す。

5 「❶自動消去ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 自動消去の解除：「❷自動消去OFF」選択➡Ⓕ

カレンダー曜日色を変更する

1 待受中に、(スケジュール/メモ)を押す。

2 ⊡（メニュー）を押す。

3 「カレンダー曜日色設定」を選び、Ⓕを押す。

4 曜日を選び、Ⓕを押す。

5 設定する色を選び、Ⓕを押す。

■ 他の曜日の色の変更：操作4～5をくり返す

スケジュールの表示方法を設定する

1 待受中に、(スケジュール/メモ)を押す。

2 (メニュー)を押す。

3「表示切替」を選び、(F)を押す。

4「1スタンプ＋詳細表示」～「6全件一覧表示」のいずれかを選び(F)を押す。

切替表示設定

■ スケジュール画面で(切替)を押すと、表示内容が切り替わります。(☞P.14-23)
このときに表示される内容を設定(制限)することができます。
(「☑」: 表示する、「□」: 表示しない)

■ 操作4で「7切替表示設定」選択➡(F)➡表示方法選択(※)➡(チェック)➡<表示方法選択➡をくり返し>➡(F)
※表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

スケジュールを確認する

1 待受中に、(スケジュール/メモ)を押す。

2 スケジュールを確認する日を選び、(F)を押す。

3 確認するスケジュールを選び、(F)を押す。

■ データフォルダ登　:(メニュー)➡「データフォルダに保存」選択➡(F)

■優先度／状態マーク

マーク	優先度	状態	マーク	優先度	状態
□(緑)	未設定	予定	☑(緑)	未設定	完了
□(黄)	低	予定	☑(黄)	低	完了
□(赤)	高	予定	☑(赤)	高	完了

優先度／状態マーク

4 確認を終了するときは、(戻る)を押す。

表示内容の切り替え

■ P.14-22「スケジュールを確認する」の操作1のあと(切替)を押すと、「アクションアイテム表示」→「1　間詳細表示」→「1ヶ月スタンプ表示」→「スケジュール表示」→「全件一覧表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。

■ 表示される内容は設定(制限)できます。(☞P.14-22)

スケジュールの件数確認

■ 待受中に(スケジュール/メモ)➡(メニュー)➡「件数確認」選択➡(F)

スケジュールの作成者・管理番号の確認

■ 待受中に(スケジュール/メモ)➡「スケジュールを確認する日」選択➡(F)➡「スケジュール」選択➡(メニュー)➡「詳細」選択➡(F)
スケジュールの新規登　時に自動的に設定された管理番号が表示されます。作成者はオーナー情報(☞P.4-28)の名前が表示されます。
●表示内容を「スタンプ＋詳細表示」、「1　間詳細表示」、「1ヶ月スタンプ表示」のいずれかに設定しているときは、詳細メニューは表示されません。

スケジュールを編集／消去する

1 待受中に、(スケジュール/メモ)を押す。

2 スケジュールを確認する日を選び、(F)を押す。

3 編集または消去するスケジュールを選び、(F)を押す。

4 (メニュー)を押す。

5 **編集するとき**

1「編集」を選び、(F)を押す。
2変更する項目を選び、(F)を押す。
●編集方法は、スケジュールの設定時と同様です。
(☞P.14-16)
3編集が終われば、(完了)を押す。
4「1新規登録」または「2上書登録」を選び、(F)を押す。

消去するとき

1「1件消去」を選び、(F)を押す。
2「1YES」を選び、(F)を押す。

スケジュールをまとめて消去する

1 待受中に、(スケジュール/メモ)を押す。

2 スケジュールを消去する日を選び、(メニュー)を押す。

3「全消去」を選び、Ⓕを押す。

一日単位で消去するとき

「❷1日スケジュール全消去」または「❻1日アイテム全消去」を選び、Ⓕを押す。

過去またはすべて消去するとき

❶「❶過去スケジュール全消去」、「❸スケジュール全消去」、「❹完了アイテム全消去」、「❺予定アイテム全消去」、「❼アクションアイテム全消去」、「❽全データ消去」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

❷「❶全て」または「❷保護以外」を選び、Ⓕを押す。

❸操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

- 操作用暗証番号：☞P.1-25
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

4「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

ストップウォッチ

最長24時間まで、1／10秒単位でタイムを計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記　できます。

- 計測したタイムは、最新の5件までのラップタイムと合せて、V601SHまたはSDメモリカードのテキストメモに登　できます。

1 Ⓕ(5)(5)の順に押す。

ストップウォッチの画面が表示されます。

- 登　済のタイムの確認：(メニュー)➡「テキストメモ参照」選択➡Ⓕ➡登　箇所選択➡Ⓕ
- V601SHを閉じると、サブディスプレイで操作できます。ただし、ラップタイムは記　できません。

2 メインディスプレイはⒻ（開始）、サブディスプレイはサイドキーを押す。

計測がスタートします。

- ラップタイムの記　（メインディスプレイのみ）：(LAP)
- ディスプレイの切替：(切替)

3 止めるときは再度Ⓕ（停止）またはサイドキーを押す。

途中でラップタイムを記　すると、最新の5件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

- テキストメモ登　：(メニュー)➡「テキストメモ登録」選択➡Ⓕ➡「❶YES」選択➡Ⓕ
- 計測タイムの消去：(リセット)
- 再スタート：Ⓕ(再開)

注意

- サブディスプレイ設定（☞P.6-8）で「❶サブディスプレイON／OFF」を「ON」に設定しないと、サブディスプレイでは操作できません。

補足

- ストップウォッチを終了すると、データはすべて消去されます。保存したいときは、計測終了後テキストメモに登　してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。(PWR)で通話終了後、操作3の画面に戻ります。
- 電池残量が少なくなると、ストップウォッチは中止され、計測中のデータも消去されます。
- ストップウォッチ動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームとランプでお知らせします。
●最長60分まで、１秒単位で設定できます。

1 **Ⓕ5 6の順に押す。**
タイマー起動時間の入力画面が表示されます。

2 **セットする時間（00分01秒～60分00秒）を入力し、Ⓕ（完了）を押す。**
●60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時間の入力画面に戻ります。

3 **Ⓕ（開始）を押す。**
タイマーのカウントダウンが始まります。V601SHを閉じると、サブディスプレイの表示に切り替わります。
■ 途中の停止：Ⓕ（停止）またはサイドキー
■サブディスプレイの場合：サイドキー

タイマーカウントダウン中

注意
●サブディスプレイ設定（☞P.6-8）で「❶サブディスプレイON／OFF」を「ON」に設定しないと、サブディスプレイには表示されません。

■キッチンタイマー設定時間になると

「**タイマー起動時間です**」と表示され、アラームとランプでお知らせします。（アラーム音：パターン１（固定）、音量は「**サウンド再生音量**」、ランプは「**サウンドランプ設定**」と連動します。）
●アラームを止めるときは、60秒間そのままにしておくか、Ⓕを押します。
サブディスプレイのときは、サイドキーを押します。
●マナーモードに設定しているときは、バイブレータ：バイブ１（音量とランプは、マナーモード設定内容と連動します。）でお知らせします。
●リピートアラームやスケジュールを設定しているときは、キッチンタイマー終了後に動作します。（キッチンタイマー動作中は、お知らせしません。）
●着信・通話中にタイマー設定時刻になった場合は、通話終了後を押すと「**タイマー起動時間です**」と表示されます。

補足
●アラーム音は固定です。変更することはできません。
●キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。
で通話終了後、操作３の画面に戻ります。
●操作中に（文字）を１秒以上押して、マナーモードを設定／解除することができます。
●キッチンタイマー動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

通話内容や自分の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中の自分の声（マイボイスメモ）をV601SHに　音します。
●　音できる時間は、簡易留守　（☞P.14-5）と合わせて最大約90秒です。
ただし、　音できる時間が３秒以下になったときや、用件やメモが20件　音されると、それ以上　音できません。
●待受中にSDメモリカードに音声を　音することもできます。（ボイスレコーダー：☞P.9-2）

1 **音声メモを録音するとき**
通話中に、（スケジュール/メモ）を１秒以上押す。

マイボイスメモを録音するとき
❶待受中に、（スケジュール/メモ）を１秒以上押す。
❷「❶マイボイスメモ」を選び、Ⓕを押す。

2 **録音が開始される。**
音声メモの場合、相手の声のみ　音されます。
●マイボイスメモの場合、送話口に向かってお話しください。送話口からの距離の目安は5～10cm位です。

補足
録音を止めるとき
●もう一度（スケジュール/メモ）を押すと、「ピー」と鳴り、　音は終わります。
●音声メモの場合、クローズ終話設定（☞P.2-3）が「ON」に設定されているときにV601SHを閉じると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

注意
●マイボイスメモを　音中に電話がかかってくると、　音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（☞P.2-11）で電話に出ることができます。（途中までの　音は保存されています。）

補足
●電源を切っても　音内容は保存されています。
●音声メモ、マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守　と同様です。（☞P.14-6）

スポットライト

V601SHを懐中電灯のように利用できます。

スポットライトを点灯する

1 **サイドキーを2回押す。**

スポットライト消灯

■ サイドキーを押す／エニーキーアンサー（☞P.2-11）の各ボタンを押す／ V601SH を開く（閉じていたとき）

● スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。

● 次のようなときには、スポットライトが点灯しません。
 ■カメラモード中　■誤動作防止中　■ダイヤル操作禁止中　■通話中
 ■メール受信中　■ボイスレコーダー録音中　■SMAF動作中　■発信中
 ■ストップウォッチ動作中　■キッチンタイマー動作中

● スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、ディスプレイ／サブディスプレイのパネル照明が点灯します。

● 次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、ディスプレイのパネル照明が点灯します。
 ■Vアプリ起動中（Vアプリの「パネル照明」（☞P.15-4）を「常時ON」に設定しているとき）

スポットライトの点灯方法を設定する

スポットライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定します。

● お買い上げ時には、継続点灯時間は「1分」、点灯カラーは「ライチフルーツ（白色系統）」に設定されています。

1 **待受中にⒻを押したあと、「ツール」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「❶スポットライト」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❷スポットライト設定」を選び、Ⓕを押す。**

4 **継続点灯時間を設定するとき**

1「❶継続点灯時間」を選び、Ⓕを押す。

2 設定する時間を選び、Ⓕを押す。

点灯カラーを設定するとき

1「❷点灯カラー」を選び、Ⓕを押す。

2 設定するカラーを選ぶ。

 カラーの確認：（点灯）

3 Ⓕを押す。

補足

● スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

バーコードを読み取る

バーコードの読み取り方法には、次の種類があります。

通常モード	1つのバーコード（JANコード）またはQRコードを読み取るモードです。（複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取ることもできます。）
連続モード	複数のバーコード（JANコード）またはQRコードを連続して読み取るモードです。

- 印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。
- Vアプリ起動中に読み取ることもできます。
- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
- 連続モードで連続して読み取りできる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回まで、QRコードが最大16回までです。
  ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできない場合があります。

注意

- 操作中に他の機能を呼び出している状態（☞P.2-37〜P.2-38）のときは、バーコード読み取りはできません。
- バーコードが汚れていたり、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取るときに、体の一部やV601SHの影がバーコードにかかっている場合は、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用されることをおすすめします。
- ディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。

補足

- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7等）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登　商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取るとき

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれている場合、メモリダイヤルやメールに文字を入力したり、インターネットに接続できます。

1 待受中にⒻⓞ（オススメ）の順に押す。

15:05
バーコード
1 バーコード読み取り
2 バーコード作成
3 読取データ確認
Ⓕ選択

2 「バーコード」を選び、Ⓕを押す。

3 「1バーコード読み取り」を選び、Ⓕを押す。

接写モードでモバイルカメラが起動します。

- V601SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、バーコード読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■ モード切替：（スケジュール/メモ）（通常⇔連続）
■ モバイルライトの利用：（記号#）（「点灯（接写撮影用）」⇔「消灯」切替）
■ 明るさの調整：（☞P.5-32）

4 読み取るバーコードをディスプレイ中央部に表示させる。

5 Ⓕ（認識）を押す。

ピントの自動調整（☞P.5-5）を行ったあと、バーコードの読み取りが開始されます。

- 接写モードで読み取りにくいときは AF モードを切り替えてください。

■ ＡＦモード切替：（文字）（押すたびに「標準」→「マニュアル」→「接写」切替）
■ 読み取りの中止：ⓞ（中止）（操作３の状態に戻る）

QR コードの場合

補足

- フォーカスロック（☞P.5-5）を行って、バーコードを読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.5-28）

通常モードの場合

読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

補足

分割されているバーコードのとき

- 次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 「❶YES」を選びⒻを押すと、次のバーコードの読み取りができる（操作3の状態）になります。Ⓕを押して、バーコードを読み取ってください。
- 「❷NO」を選びⒻを押すと、情報破棄の確認メッセージが表示されます。「❶YES」を選びⒻを押すとすでに読み取ったバーコード内の情報は破棄され、新たにバーコードの読み取りができる（操作3の）状態になります。
- 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示・保存できません。
- 読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面1行目に表示されます。
（例：2/4…4分割の2個目）

連続モードの場合

1 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示される。

2 連続して読み取るときは、「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

読み取り後、1の画面が表示されます。
2をくり返し、必要なバーコードをすべて読み取ります。
（画面1行目には、現在の読み取り個数を示すアイコン（「1」など）が表示されます。）

3 読み取りを終了するときは、「❷NO」を選び、Ⓕを押す。

読み取り結果が表示されます。

読み取り結果の表示サイズ変更

■ お買い上げ時には、文字サイズは「中」、画像サイズは「等倍」に設定されています。
■ 読み取り結果表示中に、(**メニュー**)を押したあと、「**表示サイズ設定**」を選び、Ⓕを押します。「**❶文字サイズ設定**」または「**❷画像サイズ設定**」を選び、Ⓕを押したあと、切り替えるサイズを選び、Ⓕを押します。
■ 読み取り結果表示中に(スケジュール/メモ)を押しても、画像サイズを切り替えることができます。（画像等倍時には「」、画像2倍時には「」がディスプレイ上部に表示されます。）
■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メールやウェブの設定には反映されません。

読み取りのやり直し

■ 読み取り結果表示中に、(**戻る**)を押します。情報破棄の確認メッセージが表示されますので「**❶YES**」を選び、Ⓕを押します。操作3の状態に戻りますので、操作4以降をやり直してください。

読み取り結果に次の文字が含まれている

TEL:✻	電話番号として認識されます。電話をかけたり、メモリダイヤルに登　できます。
✻@✻	メールアドレスとして認識されます。メールを送信したり、メモリダイヤルに登　できます。
http://✻	インターネットのURLとして認識されます。直接接続もできます。

「✻」は英数字1文字以上を示します。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれている

■ 操作6の画面で右のように、メモリダイヤル（「MEMORY:」の場合）やメール（「MAILTO:」の場合）用の項目と内容が表示されます。このあとⒻを押すと、表示されている内容をメモリダイヤル登　画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインがつきます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があった場合は、その文字以降は破線のアンダーラインはつきません。）

7 電話番号を利用して電話をかけるとき

1 先頭に「TEL:」の付いている電話番号を選び、Ⓕを押す。

2 「電話」を選び、Ⓕを押す。

メールアドレスを利用してメール送信するとき

1 「@」が含まれているメールアドレスを選び、Ⓕを押す。

2 「メール送信」を選び、Ⓕを押す。

3 「❶スーパーメール送信」または「❷スカイメール送信」を選び、Ⓕを押す。

以降の操作：P.3-3

電話番号やメールアドレスをメモリダイヤルに登録するとき

1 先頭に「TEL:」の付いている電話番号または「@」が含まれているメールアドレスを選び、Ⓕを押す。

2「メモリダイヤル登録」を選び、Ⓕを押す。

■ 以降の操作：☞P.4-3の操作３以降

URLを利用してインターネットに接続するとき

1 先頭に「http://」の付いているURLを選び、Ⓕを押す。

2「ウェブアクセス」を選び、Ⓕを押す。

■ 以降の操作：☞ P.8-7

画像やメロディをデータフォルダに登録するとき

1 画像やメロディを選び、Ⓕを押す。

2「データフォルダに保存」を選び、Ⓕを押す。

文字をコピーするとき

1 読み取り結果を表示している状態で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「コピー」を選び、Ⓕを押す。

3 コピーする最初の文字にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

4 コピーする最後の文字にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

選んだ文字がコピーされます。他の画面にペーストすることができます。

読み取り結果を登録するとき

1 Ⓜ（メニュー）を押す。

2「読取データの登録」を選び、Ⓕを押す。

● このあと、タイトルを変更することもできます。

3 Ⓕを押す。

● すでに 10 件登　されているときは、確認メッセージが表示され、読み取り結果の画面に戻ります。

● 読み取り結果は、最大10件まで登　できます。（登　した読取データの確認：☞P.14-36）

読み取り結果をメール本文に利用してメール送信するとき

1 読み取り結果が表示されている状態で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「メール送信」を選び、Ⓕを押す。

3「1スーパーメール送信」または「2スカイメール送信」を選び、Ⓕを押す。

4 読み取り結果を確認して、Ⓕを押す。

■ 読み取った文字利用：Ⓜ（切出）➡ 切り出す最初の文字にカーソル移動➡Ⓕ➡ 切り出す最後の文字にカーソル移動➡Ⓕ（以降の操作：☞ P.3-7）

● 先頭に「TEL:」の付いている電話番号、「@」が含まれているメールアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがない場合、それらを利用した各操作は行えません。

文字入力中に読み取るとき

読み取った文字を、文字入力画面のカーソル位置に入力します。

1 文字入力画面で、Ⓜを２回押す。

2「1バーコード読み取り」または「2文字読み取り」を選び、Ⓕを押す。

● V601SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■「1バーコード読み取り」選択時：☞P.14-31～P.14-32操作４～６を行う

■「2文字読み取り」選択時：☞P.14-41~P.14-42

■ 読み取った文字の一部利用（「1バーコード読み取り」のみ）：Ⓜ（切出）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡Ⓕ（開始）➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡操作３へ

3 Ⓕ（決定）を押す。

読み取った文字が、文字入力画面に入力されます。

● 読み取ったときの文字入力状態によっては、読み取った文字がすべて入力されないことがあります。

● 次のときは、文字入力中のバーコード読み取り／文字読み取りはできません。

- テキスト貼付／マーカースタンプの文字入力中
- 通話をしているときの文字入力中
- 赤外線通信時のタイトル入力中
- 通話中のメモリダイヤル作成時
- マルチメニュー起動中（☞P.2-38）
- テキスト貼り付け／マーカースタンプ時
- 電子ブック使用中
- Vアプリ起動中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

1 **Ⓕ8 5の順に押す。**

2 **「ピクチャー」を選び、Ⓕを押す。**

■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡Ⓕ

3 **読み取るバーコードファイルを選び、Ⓕを押す。**

バーコードの画像が表示されます。

4 **（メニュー）を押したあと、「バーコード読み取り」を選び、Ⓕを押す。**

読み取り結果が表示されます。

■ 以降の操作：☞P.14-33〜P.14-34の操作7

メニュー
画像編集
画像合成
壁紙登録
マイキャラクタ登録
簡単アニメ作成
バーコード読み取り
バーコード作成
通常表示
プロパティ
Ⓕ選択

分割されているバーコードのとき

- 次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 「❷自動選択」を選びⒻを押すと、自動読み取りを開始します。読み取りに失敗したものは、「❶個別選択」を選びⒻを押したあと、個別にファイルを指定してください。Ⓕを押すと再読み取りを開始します。
- 読み取りの中止：「❸キャンセル」選択➡Ⓕ➡情報破棄の確認画面表示➡「❶YES」選択➡Ⓕ

- 拡大縮小（リサイズ）したバーコードは読み取りできないことがあります。
- 対応していないコードの場合、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読取データを確認する

登録した読み取り結果（読取データ）を確認します。

1 **待受中にⒻ（オススメ）の順に押す。**

2 **「バーコード」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❸読取データ確認」を選び、Ⓕを押す。**

- このあと読取データを選び（メニュー）を押すと、読取データの情報確認（プロパティ）や名前の変更、消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.11-11、P.11-13、P.11-14）

読取データ確認
バーコード
03-12-22_15-27
03-12-22_15-42
Ⓕ選択 メニュー

4 **確認する読取データを選び、Ⓕを押す。**

読み取り結果が表示されます。

表示した読み取り結果を再び登録することはできません。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-33〜P.14-34

■ 読取データ確認画面に戻る：（戻る）

バーコードを作成する

V601SHのオーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキストやデータフォルダのメロディ、画像（ピクチャー）を利用して、バーコードファイルを作成します。作成したバーコードファイルはデータフォルダに登録したり、スーパーメールに添付して送信することができます。

- 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.2-37〜P.2-38）は、バーコード作成はできません。

バーコード専用モードを利用する

1回の操作につき、1つの情報（オーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキスト、メロディ、画像）を選び、バーコードとして作成します。

- すでにV601SHに登録されている情報から選んで作成したり、新たにメモリダイヤルやメールの内容などを入力して作成することもできます。
- 1つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字のみ入力したときは513文字、漢字のみ入力したときは131文字となります。
- 情報量が多い場合は、一度に最大3416バイト（16分割）まで作成されます。

1 **待受中にⒻ（オススメ）の順に押す。**

2 **「バーコード」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「❷バーコード作成」を選び、Ⓕを押す。**

4 **オーナー情報をバーコード化するとき**

オーナー情報の名前、ヨミ、電話番号（3件）、メールアドレス（3件）、パーソナルデータの情報から作成できます。（郵便番号はバーコード化されません。）

❶「❶オーナー情報」を選び、Ⓕを押す。

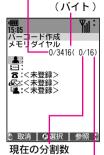
❷操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、Ⓕを押す。

メモリダイヤルをバーコード化するとき

メモリダイヤルの名前、ヨミ、電話番号（3件）、メールアドレス（3件）、パーソナルデータの情報から作成します。（グループ名やオプション設定の内容は、バーコード化されません。）

1「2メモリダイヤル」を選び、Ⓕを押す。
- 新規内容入力：1のあと項目選択➡Ⓕ（各項目の入力画面へ）➡内容入力➡Ⓕ（☞P.4-3〜P.4-4）

2 ☑（参照）を押したあと、バーコード化するメモリダイヤルを選び、Ⓕを押す。（☞P.4-14）
選んだメモリダイヤルの内容が表示されます。

3 Ⓕを押す。

メールをバーコード化するとき

宛先、件名、本文、添付の情報から作成します。

1「3メール」を選び、Ⓕを押す。
- 新規内容入力：1のあと項目選択➡Ⓕ（各項目の入力画面へ）➡内容入力➡Ⓕ（☞ⓄP.3-3）

2 ☑（参照）を押したあと、バーコード化するメールの種類を選び、Ⓕを押す。
- ●受信メールボックス、送信メールボックス、送信トレイから選べます。

3 バーコード化するメールを選び、Ⓕを押す。
選んだメールの内容が表示されます。

- ●宛先は1番目の指定先のみバーコード化されます。
- ●オプション設定内容はバーコード化されません。
- ●バーコード作成時に、メール本文中の改行は削除されます。
- ●次の種類のメールは、バーコード作成できません。
  - ■グリーティング
  - ■ポーリング
  - ■スーパーメール通知
  - ■プライバシーレ　ルが「2」、「3」、「4」のスカイメール

テキスト（文字）をバーコード化するとき

入力したテキスト文、電話番号の情報から作成します。

1「4テキスト」を選び、Ⓕを押す。

2「テキスト文」を選び、Ⓕを押す。

3 バーコード化するテキストを入力し、Ⓕを押す。
- 電話番号の入力：「電話番号」選択➡Ⓕ➡電話番号を入力➡Ⓕ

メロディや画像をバーコード化するとき

データフォルダ内の画像やメロディから作成します。

1「5メロディ」または「6ピクチャー」を選び、Ⓕを押す。

2 バーコード化するメロディまたは画像を選び、Ⓕを押す。
オリジナル着信音（.sjm）を選んだ場合、右のような画面が表示されます。変換するデータ形式を選び、Ⓕを押します。
- ●データ内容やデータサイズによっては、バーコード作成できない場合があります。

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。
バーコードが作成され、表示されます。このあと、操作6に進みます。

5 ☑（作成）を押す。
作成されたバーコードが表示されます。1つのバーコードに作成できる文字数を超えたときは、確認メッセージが表示され、自動的に分割バーコードとして作成されます。
- SDメモリカード登　：☑（メニュー）➡「1登録先」選択➡Ⓕ➡「2メモリカード」（V601SH登　時「1本体」）選択➡Ⓕ
- スーパーメールに添付して送信：☑（メニュー）➡「2メール添付」選択➡Ⓕ（☞ⓄP.3-3）➡<簡単メール宛先登　時>➡送信先選択➡Ⓕ
- データの消去：☑（メニュー）➡「3データ消去」選択➡Ⓕ➡消去するデータ選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

6 Ⓕを押す。
V601SHのデータフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。

各情報の画面からバーコードを作成する

V601SHに登　しているオーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像から、バーコードを作成します。

オーナー情報

メモリダイヤル

メール

テキストメモ

1 **各情報の画面で、Ⓕ（メニュー）または☑（メニュー）を押す。**

- メールの場合は、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

■ データフォルダ内のデータのバーコード作成：「**便利機能**」選択➡Ⓕ

2 **「バーコード作成」を選び、Ⓕを押す。**

操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

■ 以降の操作：☞P.14-39の操作５以降

文字を読み取る

URL、メールアドレス、電話番号、英語名などをモバイルカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

- フォーカスロックすると、自動的にフォーカスをあわせたあと、文字を読み取りできます。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
- 一度に読み取り可能な文字数は半角60文字、行数は３行です。
- Vアプリ起動中に文字を読み取ることはできません。
- 一部記号などで読み取ることができない場合があります。

1 **待受中にⒻ⑨（オススメ）の順に押す。**

2 **「文字読み取り」を選び、Ⓕを押す。**

接写モードでモバイルカメラが起動します。

- V601SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■ ミュージックプレイヤー再生中、SDメモリカード手動シンクロ中：終了確認画面表示➡「❶YES」選択➡Ⓕ

■ モバイルライトの利用：#（「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）

■ 明るさの調整：Ⓢ

3 **読み取る文字を、ディスプレイの中央に表示する。**

ピント調整バー（色が濃くなるほどピントが合います）

- ディスプレイ内の[ ]枠中央に入るように調整してください。[ ]の端の文字は読み取りにくい場合があります。
- 文字読み取り起動時には、反転モード「自動」に設定されています。白抜きの文字など、反転モード「自動」でうまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。

■ 反転モード切替：スケジュール/メモ（押すたびに「**❷通常文字**」（「Ａ」表示）→「**❸反転文字**」（「🅰」表示）→「**❶自動**」切替）

- オートフォーカスの接写モードで読み取りにくいときは、AFモードを切り替えてください。

■ ＡＦモード切替：（押すたびに「**標準**」→「**マニュアル**」→「**接写**」切替）

補足
- フォーカスロック（☞P.5-5）を行って、文字を読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.5-28）

14 その他の機能

4 Ⓕを押す。

ピントの自動調整（☞P.5-5）を行ったあと、文字の読み取りが開始されます。
複数の行を撮影したときは、このあと◎で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは1行単位で行います。）

■ 読み取りの中止：クリア➡操作3へ

5 Ⓕを押す。

文字の読み取りを開始します。

6 読み取りが成功すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、メールアドレス、電話番号、英語名などで表示します。種類が異なっているときは種類を変更し、再認識することができます。

■ 読み取りの種類変更：「❸モード切替」選択➡Ⓕ➡切り替える種類選択➡Ⓕ
（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）

■ 読み取り結果修正：「❷候補選択（編集）」選択➡編集画面へ➡修正する文字にカーソル移動➡候補選択・文字入力

■ 読み取りのやり直し：◎（再読）➡「❶YES」選択➡Ⓕ➡操作3からやり直す

読み取り可能文字数を超過した場合

●文字数カットの確認メッセージが表示され、カット後の読み取りデータが表示されます。

●続けて読み取るときは、☑（**メニュー**）を押したあと、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」を選び、Ⓕを押します。（すでに256バイト読み取り済みのときは、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」は行えません。）

■続き読み取り…改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものとおなじ種類で読み取ります。）

■追加読み取り…改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。

7 「❶OK」を選び、Ⓕを押す。

このあと、下表のとおり利用することができます。

URL	ウェブアクセス、コピー
メールアドレス	メール送信、メモリダイヤル登録、コピー
電話番号	電話をかける、メモリダイヤル登録、コピー

■ 利用方法：☞P.14-33～P.14-34の操作7

■ 読み取り結果の表示サイズ変更：☞P.14-33

●読み取り可能な文字数であっても、35文字を越えると読み取りにくい場合があります。

●次のときは文字読み取りは起動できません。

■ミュージックプレイヤー再生中

■SDメモリカード手動シンクロ中

電波の送受信を停止する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。（オフラインモード）

●オフラインモードを「ON」に設定すると、電話の発信・着信、ボーダフォンライブ！の利用など、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ③②の順に押す。

2 「❶ON」を選び、Ⓕを押す。

待受画面に戻り、「📵」が表示されます。
オフラインモードを「ON」に設定中、V601SHを閉じているときなどは、スモールライトが点滅します。

■ 解除：「❷OFF」選択➡Ⓕ（スモールライト、「📵」消灯）

●バックグラウンドでのメール受信中など、電波のやりとりを行っているときに設定した場合、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。しばらくしてからやり直してください。

右の画面が表示されたとき

●一時停止しているネットワーク接続型のVアプリ（☞P.13-8）があります。
「❶YES」を選びⒻを押すと、オフラインモードが「ON」に設定されます。（オフラインモードを「OFF」に設定するまで、ネットワークには接続できません。）
「❷NO」を選びⒻを押すと、オフラインモードが「OFF」に設定されます。

電池の消費を抑える

電池パックの消費を抑える

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。(バッテリーセーブ)
●「ON」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。
●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 Ⓕ3 3の順に押す。

2「1バッテリーセーブ」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」を選び、Ⓕを押す。
省電力設定の画面に戻ります。
■ バッテリーセーブの解除:「2OFF」選択➡Ⓕ

ディスプレイの消費を抑える

V601SHは、開いたまま操作をしない状態が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。(パネルセーブ)
このパネルセーブが働くまでの時間を2分〜20分の間(1分単位)で変更したり、働かないようにすることができます。
●パネルセーブ時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。
●お買い上げ時には、5分後にパネルセーブが働くよう「ON」(5分)に設定されています。

パネルセーブを設定する

1 Ⓕ3 3の順に押す。

2「2パネルセーブ」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON/OFF設定」を選び、Ⓕを押す。

4「1ON」を選び、Ⓕを押す。
■ パネルセーブの解除:「2OFF」選択➡Ⓕ(操作完了)

5 パネルセーブが働くまでの時間(2ケタ:02〜20分)を入力し、Ⓕを押す。
パネルセーブが働くまでの時間が設定されます。

パネルセーブ動作時

■ 自動的に画面表示が消えます。(スモールライトが橙色点滅)
●通話中やボーダフォンライブ!利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが働かない場合があります。
●パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。
(最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてのみ働きます。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブが解除されてから行ってください。)
●パネルセーブ動作中に V601SH を閉じると、効果音設定(☞P.7-8)の「3 パワーON」で設定されているサウンドが警告音として鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV601SHを開くと、パネルセーブは解除されます。

パネルセーブ動作時にスモールライト表示も消す

●お買い上げ時には、点滅するよう「ランプ表示あり」に設定されます。

1 Ⓕ3 3の順に押す。

2「2パネルセーブ」を選び、Ⓕを押す。

3「2ランプ表示設定」を選び、Ⓕを押す。

4「2ランプ表示なし」を選び、Ⓕを押す。
■ ランプ点灯:「1ランプ表示あり」選択➡Ⓕ

補足
●「ランプ表示あり」に設定すると、「ランプ表示なし」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

簡易電卓

簡易電卓を使えば、12ケタまでの四則演算とパーセント計算を行うことができます。また税込みの計算も行うことができます。

- お買上げ時には、税率は「5％」に設定されています。

1 **F 4 9の順に押す。**

- 待受中に金額を入力し F を押しても、簡易電卓が表示されます。
- 簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）		RM（メモリ呼出）	文字
－（引く）		M+（メモリ加算）	
（掛ける）		．（小数点）	絵＊
÷（割る）		+/－（符号反転）	記号＃
＝（イコール）	F	%（パーセント）	
C・CE（クリア）	クリア	tax（税計算）	
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

■ 税率の変更：税率（01～99%）入力➡（1秒以上）

2 **簡易電卓を終わるときは、PWRを押す。**

■簡易電卓を使った計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	12　4＋5＝	12 4 5 F	53
	（-24）÷3－2＝	24 記号＃ 3 2 F	-10
パーセント計算	180の15%は	180 15	27
	8は32の何%	8 32	25
税込計算	480の5%込みは	480	504
メモリ計算 累計	27　5＝ ＋）87÷3＝ ＋）68＋15＝ （計）＝	27 5 87 3 68 15 文字	M 135 M 29 M 83 M 247
メモリ計算 一時記憶	（13＋3　4）（50－45）＝	13 3 4 50 45 文字 F	M 125

補足
- メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

マネー積算メモを使えば、順次入力した金額の合計を自動的に計算できます。出張時の経費の計算などに便利です。

- 積算メモには最大31件の金額が入力できます。（合計金額は30,999,969円まで、1回の入力は999,999円まで）

マネー積算メモを入力する

1 **待受中に、積算する金額を入力する。**

2 **スケジュール/メモを押す。**

3 **明細名（例：2電車）を選び、Fを押す。**

入力した金額が加算され、待受画面に戻ります。

- 自動的に入力した日時で登　されます。
- 時刻設定（☞P.2-4）がされていない場合、日時には「--/-- -- :--」が登　されます。

■ 明細名の変更：☞P.14-48

- 通話中にマネー積算メモは入力できません。

入力したマネー積算メモを確認する

15:05
F41:マネー積算メモ
1メモ確認
2明細変更
F選択

1 **F 4 1の順に押す。**

2 **「1メモ確認」を選び、Fを押す。**

マネー積算メモの合計が表示されます。

- マネー積算メモが登　されていないときは、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

■ 他の金額の確認：

■ 確認終了：PWR

3 **確認中に明細を変更するとき**

1 変更する明細を選び、（メニュー）を押す。
2「1明細変更」または「2金額変更」を選び、Fを押す。
3 変更する内容を入力し、F（決定）を押す。

確認中に明細を消去するとき

1 消去する明細を選び、（メニュー）を押す。
2「3 1件消去」または「4全消去」を選び、Fを押す。
3「1YES」を選び、Fを押す。

明細名を変更する

● 1つの項目には、最大全角5文字（半角10文字）まで登　できます。

1 Ⓕ4 1の順に押す。

2 「2明細変更」を選び、Ⓕを押す。

3 変更する明細名を選び、Ⓕを押す。

4 明細名を変更し、Ⓕを押す。

●変更した明細名を元に戻すときは、変更した明細を消去し、Ⓕを押します。あらかじめ登　されている明細名に戻ります。

■ 他の明細名の変更：操作3～4をくり返す

■ 変更終了：PWR

「電車」→「書籍」に変更したとき

機能の操作方法を確認する

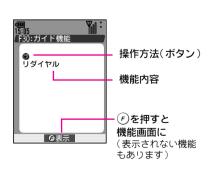
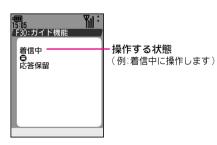
F機能以外の操作方法を確認します。（ガイド機能）

1 Ⓕ3 0の順に押す。

マナーモードの操作方法が表示されます。

2 Ⓒを押す。

別の機能の操作方法が表示されます。

★画面のみかた

3 確認を終わるときは、PWRを押す。

マイク付液晶オーディオリモコンを利用する

ワンタッチで電話をかける

あらかじめメモリダイヤルのメモリ番号000に相手を登　しておけば（☞P.4-3）、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのスイッチを押すだけで、登　した電話番号に電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

●相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。PWRを押しても、電話を切ることができます。

●V601SHを閉じても、電話は切れません。

補足

●ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止が設定されている場合、電話をかけることはできません。（☞P.12-2、P.12-4）

●メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.4-24）

●オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのコードをV601SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのコードを内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。

●プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。

着信音を鳴る設定にしているときに電話がかかってくると、着信音出力切替（☞P.7-10）の設定により、イヤホンのみ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手と、お話しください。

●電話を切る操作は上記と同様です。

外部機器を利用してデータ通信をする

FAX通信をする

1 データ/FAX通信カードなどを接続する。

G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

- FAX通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。
- ボーダフォン携帯電話は電波を利用していますので電波の弱い地域などでは、FAX通信できない場合があります。

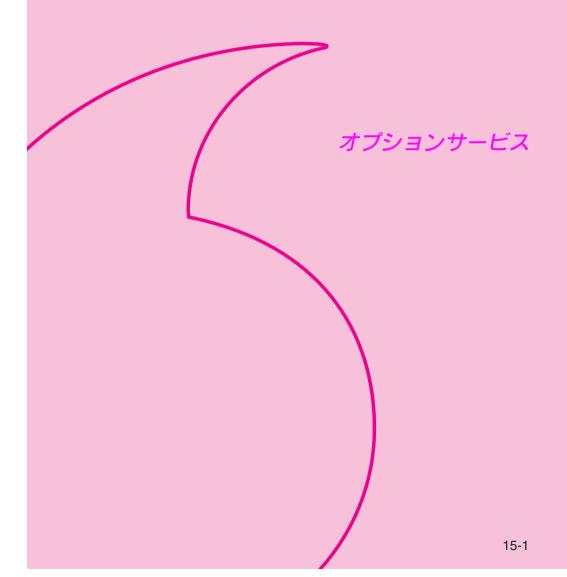
- ボーダフォン携帯電話は9600bps高速データ通信対応です。
- データ/FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信の方法については、データ/FAX通信カードなどの取扱説明書をご参照ください。

パソコン通信をする

1 データ/FAX通信カードなどを接続する。

パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

- パソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。
- ボーダフォン携帯電話は電波を利用していますので電波の弱い地域などでは、パソコン通信できない場合があります。

- パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ/FAX通信カードによって変わります。
- ボーダフォン携帯電話は9600bps高速データ通信対応です。
- データ/FAX通信カードなどの接続方法、パソコン通信の方法については、データ/FAX通信カードなどの取扱説明書をご参照ください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスをご利用できます。
- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V601SH からは操作できません。一般電話からの操作は「**サービスガイドブック**」をご覧ください。
- ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。
- ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。(☞P.15-3)
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき(割込通話サービスを設定しているときは除く)などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。(☞P.15-4)
運転中モード	お客さまが自動車を運転中などで現在電話に出られない旨を、相手にアナウンスでご案内します。(☞P.15-7)
割込通話サービス	今までお話ししていた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。(☞P.15-8)
三者通話サービス	2人での通話中に、もう1人に電話をかけ、3人同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます。(☞P.15-9)
発信者番号通知サービス	お客さまの電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認できます。

オプションサービスのご利用にあたっては、あらかじめ次の点をご確認ください。

オプションサービス	ご契約された地域		
	関東・甲信/東海/関西	北海道/北陸/九州・沖縄	東北・新潟/中国/四国
転送電話サービス	–	–	–
留守番電話サービス	–	お申し込みが必要	お申し込みが必要
運転中モード	ご利用になれません	–	–
割込通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
三者通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
発信者番号通知	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要

–:お申し込み不要で、そのままご利用になれます。

転送電話サービス

転送先の電話番号を登録する

1 **Ⓕ 7 1 2 の順に押す。**

2 **転送先の電話番号を入力し、Ⓕを押す。**

接続中のメッセージが表示されたあと、登　した転送先電話番号が表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
- 転送先を携帯電話や自動車電話にする場合は、電話番号全　を入力してください。一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

転送先として登録できない電話番号
- 「1」から始まる電話番号(例:110、119、118など)
- 「0120」から始まる電話番号(フリーダイヤル)
- 「0990」から始まる電話番号(ダイヤルQ2など)

転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登　しておいてください。

1 **Ⓕ 7 1 1 の順に押す。**

2 **「1あり」(着信音を鳴らす)または「2なし」(着信音を鳴らさない)を選び、Ⓕを押す。**

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
- 「**2なし**」は、関東・甲信/東海/関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
- しばらくすると、待受画面に戻ります。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送電話サービスを停止する

1 Ⓕ⑦③の順に押す。

2 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

転送電話サービス開始後の着信中

■ 着信音が鳴っている間にを押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

転送電話サービスの設定状況の確認

❶ Ⓕ⑦④の順に押す。
❷「❶YES」を選び、Ⓕを押す。
●設定状況に応じて、確認画面が表示されます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

留守番電話サービス

北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、別途お申込みが必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 Ⓕ⑦②の順に押す。

2 「❶あり」（着信音を鳴らす）または「❷なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Ⓕを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●「❷なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

注意
●留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
●すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

F77

留守番電話サービス開始後の着信中

■ 着信音が鳴っている間にを押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービスの機能

■ 留守番電話サービスには、応答メッセージの　音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります。（詳しくは、「**サービスガイドブック**」をご覧ください。）

留守番電話サービス停止時

■ 着信中にⒻの順に押すと、その着信に限り留守番電話サービスセンターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-4）を「❸**留守電センター転送**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、留守番電話センターに転送されます。

留守番電話サービスを停止する

1 Ⓕ⑦③の順に押す。

2 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、次の操作を行うと「」が表示されます。
●電話をかけたとき　●電話がかかってきたとき
●通話を終了したとき　●電波の届く所で電源を入れたとき
●一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合は数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です。）

1 Ⓕ⑦⑦の順に押す。

2 「❶YES」を選び、Ⓕを押す。

センター番号を変更するときは、このあと（**変更**）を押したあと、新しいセンター番号を入力し直し、Ⓕを押します。

3 （**発信**）を押す。

留守番電話センターに接続されます。アナウンスに従って操作してください。

4 を押す。

待受画面に戻ります。

補足 ●「留守」はV601SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 Ⓕ7 4の順に押す。
2「1YES」を選び、Ⓕを押す。
●設定状況に応じて、確認画面が表示されます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V601SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V601SHの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。

●電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
●着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）
●お買上げ時には「20秒」に設定されています。

1 Ⓕ7 0の順に押す。
設定できる呼出し時間が表示されます。

2 呼出し時間を選び、Ⓕを押す。
接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

●転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV601SHの簡易留守（☞P.14-5）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。
例：各サービスの呼出し時間…10秒
簡易留守録の呼出し時間… 9秒
と設定すると、簡易留守　が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

運転中モード

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

運転中モードを開始する

1 1 4 1 3をダイヤルする。

2 発信キーを押す。
運転中モードのサービス開始がアナウンスされます。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合
●すでに転送電話サービスを開始されているときに運転中モードを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

運転中モード開始後の着信中

■ 着信音が鳴らないため電話がかかってきてもわからず、電話を受けることはできません。（電話をかけることはできます。）
●運転中モードが必要でない状態になりましたら、必ず停止してください。
■ 留守番電話サービスにご契約いただいている場合、アナウンス後に相手の伝言メッセージをお預かりします。
●お預かりした伝言メッセージは、通常の留守番電話サービスと同じ操作で再生してください。（☞P.15-5）

運転中モードの設定状況の確認（北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合のみ）

1 1 4 0 3をダイヤルし、発信キーを押す。
●現在の状況がアナウンスされます。
2 終話キーを押す。

運転中モードを停止する

1 運転中モード開始中に、1 4 1 0（北海道／北陸／九州・沖縄地域）または1 4 1 3（東北・新潟／中国／四国地域）をダイヤルする。

2 発信キーを押す。
運転中モードのサービス停止がアナウンスされます。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合
●運転中モード停止の操作をせずに転送電話サービスまたは留守番電話サービスに直接切り替えることもできます。

割込通話サービス

別途お申込みが必要です。

割込通話サービスを設定する

北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

1 **F 7 5の順に押す。**

2 **「1ON」を選び、Fを押す。**

ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

- しばらくすると、待受画面に戻ります。

割込通話サービスの解除

1 F 7 5の順に押す。
2「2OFF」を選び、Fを押す。
- 確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

割込通話サービスの設定を確認する

北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、ご確認できません。

1 **F 7 6の順に押す。**

2 **「1YES」を選び、Fを押す。**

ネットワーク接続後、設定状況に応じて、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

- しばらくすると、待受画面に戻ります。

割込通話サービスを受ける

1 **通話中に電話がかかってくると、割り込み音が聞こえる。**

2 **を押す。**

今まで通話していた相手が保留になり、あとからかかってきた相手と通話できます。

- 保留中の相手との通話：／（切替）
- 通話する相手の切替：／（切替）

- 割込通話サービスは、国際電話ではご利用になれません。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**着信音なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中にを押すかV601SHを閉じた場合

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴ってディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。またはを押すと、保留中の相手との通話になります。

割込通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴ってディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。またはを押すと、保留中の相手との通話になります。

三者通話サービス

別途お申込みが必要です。

通話中にもう1人へ電話をかける

1 **通話中に電話番号を押したあと、を押す。**

相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。

- メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 **通話中にまたは（切替）を押す。**

それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

またはの（切替）を押すたびに、通話する相手を切り替えることができます。

切替通話中に（電源キー）を押すかV601SHを閉じた場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ってディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。（キー）または（電源キー）を押すと、保留中の相手との通話になります。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ってディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。（キー）または（電源キー）を押すと、保留中の相手との通話になります。

切替通話中に、他の２人だけの通話にする（通話中転送）（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

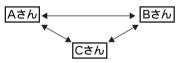
1. Ⓕ⑦⑧の順に押すか、（三者）を押す。
2. 「2 通話中転送」を選び、Ⓕを押す。
3. 「1YES」を選び、Ⓕを押す。
   - 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手の通話になります。（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます。）
   - （電源キー）を押すと、待受画面に戻ります。

三人で同時に通話する（三者通話）

1 切替通話中に、Ⓕ⑦⑧の順に押すか、（三者）を押す。

2「1三者通話」を選び、Ⓕを押す。

三者通話モードになり、３人で同時に通話できます。

- 三者通話中に「**切替通話**」（☞P.15-9）に切り替えることはできません。

三者通話中に（電源キー）を押すかV601SHを閉じた場合

■２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切った場合

■残された相手との通話になります。

三者通話中に、他の２人だけの通話にする（通話中転送）（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

1. Ⓕ⑦⑧の順に押すか、（転送）を押す。
2. 「1YES」を選び、Ⓕを押す。
   - 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人の通話になります。（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます。）
   - （電源キー）を押すと、待受画面に戻ります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone Website (www.vodafone.jp) for the full manual or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

Accessories 16-2
Safety Precautions 16-2
DANGER 16-3
■ Handset, Battery & Charger 16-3
■ Battery 16-3
WARNING 16-4
■ Handset, Battery & Charger 16-4
■ Handset 16-5
■ Charger 16-5
■ Battery 16-6
■ Handset Use & Electronic Medical Equipment 16-6
CAUTION 16-7
■ Handset, Battery & Charger 16-7
■ Handset 16-7
■ Charger 16-7
■ Battery 16-8
General Notes 16-9
■ General Use 16-9
■ In Automobiles 16-9
■ Aboard Aircraft 16-9
■ Handset Care 16-10
Minding Mobile Manners 16-11
■ Basic Handset Etiquette 16-11
■ Manner-Related Features 16-11
Handset Parts & Functions 16-12
■ Handset (Front) 16-12
■ Handset (Side & Back) 16-13
■ Charging Battery 16-15
■ Display 16-17
■ Symbols 16-21
■ Handset Code 16-21
Basic Handset Operations 16-22
■ Turning Handset On/Off 16-22
■ Display Language 16-22
■ Your Phone Number 16-22
■ Clock Setting 16-22
■ Initiating a Call 16-22
■ Redial 16-23
■ Total Charges & Talk Time 16-23
■ Incoming Call 16-23
■ Placing a Caller on Hold 16-24
■ Message Recorder & Voice Mail 16-24
■ Forwarding a Call 16-25
■ Calling from Received Calls 16-25
■ Manner Mode 16-25
Entering Characters 16-26
■ Character Types 16-26
■ Key Assignments 16-27
■ Symbols, Pictographs & Emoticons 16-28
Saving to Phone Book 16-29
■ Phone Book Entry Items 16-29
■ New Phone Book Entries 16-30
■ Editing Phone Book 16-31
■ Saving from Received Calls 16-31
Dialing from Phone Book 16-32
■ Entry Number Search 16-32
■ Search by Reading 16-32
Mobile Camera 16-33
■ Before Using Camera 16-33
■ Capturing Still Images 16-34
Data Folder 16-34
■ Data Folder Contents 16-34
■ Opening Data Folder 16-35
■ Super Mail Attachments 16-35
F Function Shortcuts 16-36
Specifications 16-40
Customer Service 16-42

Accessories

■ Battery (SHBP01)*
(Type 1 lithium-ion battery)

■ Desktop Holder (SHES01)*

■ Rapid Charger (SHCQ01)*

■ Video Cable (SHPS01)*

*Additional quantities may be purchased separately.

- Address accessory-related inquiries to Customer Service, General Information. (☞P.16-42)
- Although an SD Memory Card is not included, V601SH supports SD Memory Cards. Purchase SD Memory Cards to use memory card-related handset features and functions.

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, charger or holder
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal objects away from charger terminals. Keep handset away from necklaces, hairpins, etc. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

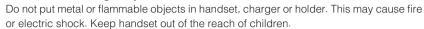
Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:
- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or in extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠ WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset
Do not put metal or flammable objects in handset, charger or holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers
Keep handset, charger and holder away from chemicals/liquids. Fire/electric shock may result.

Avoid sources of fire
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, charger or holder away from microwave ovens
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset
- Do not open handset, battery or holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, charger or holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks
Subjecting handset, charger or holder to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter should get inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand.

Do not swing handset by handstrap
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ring tone settings:
Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During lightning storms, turn power off and take shelter
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Charger: 100V AC
- In-Car Charger: 12/24V DC

Do not use In-Car Charger in cars with a positive earth
Fire may result. Use In-Car Charger only in cars with a negative earth.

Charger Care
- Do not touch plug with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder in automobiles
Extreme temperature or vibration may cause fire or breakage.

If Charger or In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children
Electric shock or injury may occur.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or cause fire.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire/burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22 cm away

Radio waves may cause implanted pacemakers or defibrillators to malfunction.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.

Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical institutions:

- Do not take handset into operating rooms, Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset Care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may enter resulting in malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside a car, etc.)

Handset may heat up and lead to burns.

Inside automobiles:

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Charger

Charger & In-Car Charger

Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.

- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use

May cause burns.

Long periods of disuse

Be sure to unplug Charger or In-Car Charger after use.

Handset Maintenance

When cleaning, disconnect Charger/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Use only the specified fuse
1A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Do not use In-Car Charger when engine is off
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or cause fire.

Do not leave battery in direct sunlight or inside cars. Overheating/fire may occur and battery performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid gets on skin or clothes, rinse with clean water immediately.

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃. Or may leak/overheat. Performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Assistance.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset data. Please keep separate records of Phone Book data, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of Eavesdropping
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

In Automobiles

- Do not use handset while driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/ direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset displays.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- **Handset is not water-proof. Keep it away from fluids and high humidity.**
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (restroom, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- **Heavy objects or excessive pressure should be avoided.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.

Observe Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.

Basic Handset Etiquette

Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Vibration Mode

Activate Vibration Mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Lower or silence Ring Tone Volume for Incoming Calls, Information and V-Applications when carrying the handset in public places.

■ Manner Mode

Press the Manner Key to automatically silence all ring tones and activate Vibration Mode for incoming calls, mail and information.

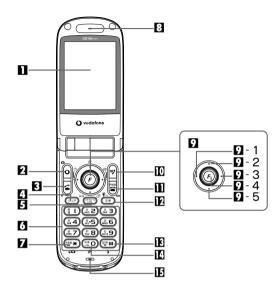
■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use the handset in public places.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer them. Use Optional Services such as Call Forwarding or remote Voice Mail to handle incoming calls.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display

2 Vodafone live! Key
Initiate Vodafone live! Service. Press for 1+ seconds to activate Mobile Camera.

3 Start Key
Initiate/answer calls.

4 Clear Key
Delete entries/return to previous window.

5 Schedule/Memo and A/a Key
Save/check schedule or record/play Voice Memos. Toggle between upper/lower case roman letters or normal/small hiragana/katakana in text entry windows and change image display sizes.

6 Keypad

7 (✱) Key
In Mobile Camera, toggle between Display/Sub Display.
In Images folder, press to jump to the newest image. In Mail messages, press to see the next message. In Roman Letter entry mode, open web/mail address prefixes & suffixes or toggle through Pictograph & Symbol lists.

8 Earpiece

9 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:

- **9**-1 Redial/Notepad Memory Key
  Select dialed numbers. Press for 1+ seconds to open Notepad Memory.
- **9**-2 Mail Key
  Send/open Mail menu.
- **9**-3 Phone Book Key
  Open entries to make calls/send messages. Press for 1+ seconds to save new entries.
- **9**-4 F Key/Key Guard
  Access Functions menu. Press for 1+ seconds to set or release Key Guard.
- **9**-5 Received Calls Key
  Open Received Calls records.

10 Direct Key
List User Shortcuts, etc.

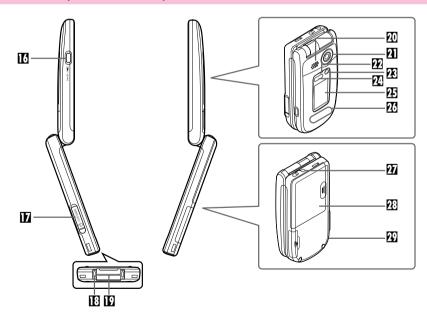
11 Power On/Off & End Key
Turn power on/off, end calls, place callers on hold or cancel operations.

12 Text/Manner Key ( )
Press for 1+ seconds to create Phone Book entries or activate/cancel Manner Mode. Toggle character types in text entry windows.

13 (#) Key
In Mobile Camera, turn Mobile Light On/Off. In Images folder, press to jump to the oldest image. In Mail messages, press to see the older message. In Character Entry Mode, toggle through Symbol & Pictograph lists.

14 (0) Key
Press for 1+ seconds to open Bowlingual CONNECT (V-Application) setup window.

15 Microphone

Handset (Side & Back)

16 Side Key (シャッター /🔈)
With handset closed, activate Message Recorder for incoming calls or Camera, and illuminate Sub Display backlight or Sub Display indicators.

17 Video Out/Earphone Connector
Connect video cable, LCD Remote/Mic, etc.

18 Charger Terminal

19 External Device Connector
Connect Charger here.

20 Speaker

21 Camera
Capture still and video images.

22 Small Light
Illuminates red while charging; flashes orange when Panel Saving is active; and flashes red, green and orange for Off-Line Mode. Set to flash for incoming calls.

23 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail; serves as a strobe or penlight.

24 Infrared Port
Use for infrared data communications.

25 Sub Display

26 Internal Antenna

27 Strap Eyelet
Attach straps as shown.

28 Battery Cover

29 Memory Card Slot
Insert SD memory card here.

.

About Internal Antenna
- V601SH has no external antenna. Signals are received by Internal Antenna.
- Do not touch or cover Internal Antenna.
- Do not place stickers over Internal Antenna.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge a new battery before use or after a period of disuse.

Battery Life
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

Charging
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move charger away from TV or radio if interference occurs.

Precautions
- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and charger terminals clean.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

Battery Disposal
- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to the nearest Vodafone shop. Always follow local regulations.

Desktop Holder

Small Light
Printed Side Up
Release Tab
100V AC
Plug
Rapid Charger
Connection Terminal

1 Insert charger connector into Desktop Holder until it clicks

2 Plug in Charger

3 Gently insert the handset into Desktop Holder

- Fit tabs into slots as shown in 1 and push handset as 2 indicates until it clicks. Small Light illuminates red (goes out when charging is complete).
- Charging takes approx. 110 minutes (with handset power off).

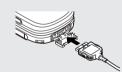
May vary with temperature.

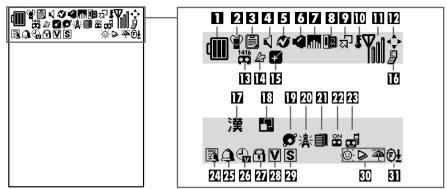
4 After charging, unplug Charger from outlet and remove handset

Pull Rapid Charger straight out.

Rapid Charger

- Insert connector into External Device Connector.

16 Abridged English Manual

Display

Display Indicators

1 Battery Strength / Pen Light
Strong Moderate Low Empty
and flash when Pen Light is in use

2 Manner Mode Active

3 Information
There is unread Mail, Web/Station Information or Communications/Auto Send Report

4 Speaker Phone Active / Speaker Active / (gray) Station Menu Manual Update

5 Active V-Application / Paused V-Application

6 Line Active
Communicating with Mail Server or Service Center

7 Music Player Active/ Voice Recorder Active / Video Out Active

8 SD Memory Card Status

9 SSL / User Shortcut
appears if Web site supports SSL, and appears if it can be set as User Shortcut.

10 Secret Mode Active
Flashes when a Secret entry is open

11 Signal Strength / Off-Line Mode / Infrared Transmission
Strong Moderate Low Weak OUT Out-of-Range

12 Scrolling
Scrolling options

13 Voice Mail
New Voice Mail

14 Mail
Unread mail except Super Mail

15 Super Mail
Unread Super Mail on the Server
Appears only when you signed up for Super Mail.

16 Handset / SD Memory Card
Accessing Handset or SD Memory Card data

16 Abridged English Manual

17 Character Mode
Current Character Type

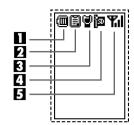
漢	Kanji (Hiragana)
ア	Double-byte Katakana
ｱ	Single-byte Katakana
A	Double-byte Roman Letter/Number (upper/lower case)
a	Double-byte Roman Letter/Number (lower case)
A	Single-byte Roman Letter/Number (upper/lower case)
a	Single-byte Roman Letter/Number (lower case)
1	Single-byte Number
絵	Pictograph Code
区	Character Code
P*	Double-byte Upper Case
P*	Single-byte Upper Case
p*	Double-byte Lower Case
p*	Single-byte Lower Case

*Available in Pager Mode

18 Original / Enlarged
Mail, Web or Data Folder image display size
19 Web
Unread Web Information
20 (red) Station
Unread Station Information
21 Communications Report
New Communications Report
22 Message Recorder Active
23 Message
Message Recorder messages
24 / Schedule
Schedule Alarm On / Off
25 Alarm On
26 V-Application Timer On
27 Keypad Lock Active
28 Vibration Active
29 Silent / Rising Tone
Ringer is Silent or set to Rising Tone
30 Weather Indicators
Current forecast (requires fee)
31 Key Guard Active

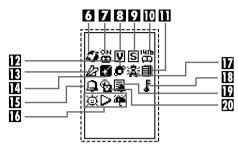
Tip
Different indicators appear in the same positions depending on handset status.
When receiving mail out of Standby, , , , or flashes.
, , Incoming Call settings

Sub Display

Indicators appear on the first line of Sub Display

1 Battery Strength / Pen Light
and flash when Pen Light is in use
2 Information
There is unread Mail, Web/Station Information or Communications/Auto Send Report
3 Manner Mode Active
4 SD Memory Card Status / Music Player Active
5 Signal Strength / Off-Line Mode
Signal Strength (☞P.16-17)

■ **Press Side Key for 1+ seconds to see active Sub Display indicators**

Indicators appear on the second line of Sub Display

- When 2 ***Standby*** of Side Key Settings is set to Mark, press Side Key for 1+ seconds to see active Sub Display indicators.
- Sub Display & Display indicators (☞P.16-17 - P.16-19) represent same functions.
- These indicators disappear when Side Key is released.

6 Active V-Application / Paused V-Application
7 Message Recorder Active / Message
8 Vibration
9 Silent / Rising Tone
10 Voice Mail
11 Communications Report
12 Web
13 Mail
14 Super Mail
15 Alarm Set
16 Weather Indicators
17 Station
18 Secret Mode Active
19 / Schedule
20 V-Application Timer On

- Sub Display is only active when handset is closed.
  (Note: In Camera mode, Sub Display can be used with handset open.)
- Sub Display backlight illuminates when handset is closed or Side Key is pressed unless Sub Display is Off.

Symbols

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select 5 ***Text*** and press F.)

Multi Selector

Select menu items, move cursor, scroll, etc.
Multi Selector Indicators used in this manual:.

Navigational Multi Selector indicators

- Examples of key operations
  - : Press or
  - : Press or
  - : Press , , or

Handset Code

Both Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

"9999" or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change many handset functions.

Note Write down Security Code and keep it in a safe place.
Do not reveal Security Code to others.

Tip Change Security Code as needed.
✱ appear as Security Code is entered.
When the wrong code is entered, Invalid appears.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access Voice Mail via landlines.

Note
- Write down Center Access Code. Call Customer Service if lost (☞P.16-42).
- Conceal Center Access Code. Vodafone is not liable for misuse or damages.

Tip Do not attempt to change Center Access Code. Call Customer Assistance (☞P.16-42).

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Activate Handset Power

Press PWR (for 1+ seconds)

Deactivate Handset Power

Press PWR (for 2+ seconds)

Display Language

1 Press F 3 5
2 Select **2** ***English*** and press F

Your Phone Number

1 Press F 0
2 Press PWR to exit

Clock Setting

1 Press F 5 9
2 Enter current date and time
3 Press F

Initiating a Call

1 Enter a phone number
2 Press Send

Making an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees.)
Enter 0 0 4 6 + 0 1 0 + country code + area code + phone number.
Call Vodafone Service Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service" .

Example: Calling the United Kingdom

1 Enter 0 0 4 6 0 1 0
2 Enter 4 4 (Country Code)
3 Enter the phone number with the area code
4 Press Send

Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

Redial

1 Press ◀
2 Press ▼ or ◀ to search Redial records
3 Press Send

Total Charges & Talk Time

1 Press F 6 0 (Total Charges) or F 6 2 (Total Talk Time)
2 Press PWR to exit

Incoming Call

1 Handset rings and Mobile Light flashes for an incoming call.
Open handset
2 Press Send
Answer calls by pressing: 0-9, ✱, #, メモ, クリア, ●, ▽, ◀, ▶

Placing a Caller on Hold

1 Handset rings and Mobile Light flashes for an incoming call. Open handset

2 Press [PWR] to place caller on hold

3 Press [Send] to talk

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press (F) [文字]	Press (F) [7] [2], select a ring tone, then press (F)
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator	[icon]	[icon]
Play	Press (F) [スケジュール/メモ]	Press (F) [7] [7] and choose **1** ***Yes*** and press (F), then press [key]
Delete	Press [クリア] during play and choose **1** ***Yes***, then press (F)	Press [7] after the message is played back
When Handset Power is Off	Unavailable	Available
When Handset is Out-of-Range	Unavailable	Available

Tip
- When Voice Mail is off, press (F) and [PWR] to forward a call to Voice Mail Center.
- Initiating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Forward a call to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1 Press (F) [7] [1]

2 Select **2** ***Set Fwd Number*** and press (F)

3 Enter a phone number and press (F)

Initiating Call Forwarding

1 Press (F) [7] [1]

2 Select **1** ***Start Fwd*** and press (F)

3 Select a ring tone and press (F)
1 ***Call*** : Ring Tone On or **2** ***No Call*** : Ring Tone Off

Initiating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Calling from Received Calls

1 Press [down]

2 Press [down] or [right] [□] to search Received Calls record

3 Press [Send]

Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.
Default settings:
①Silences Keypad Sound, Power On/Off, Error and Barcode recognition tones.
②Sets the following: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), V-App Volume (Silent), V-App Vibration (On).
These settings can be changed.

1 In Standby, press [文字] for 1+ seconds

Shutter Click sounds even in Manner Mode.
Canceling Manner Mode
In Standby, press [文字] for 1+ seconds.

Entering Characters

Character Types

Press 文字 to toggle between character types.

Key Assignments

Key	Single-byte Roman Letters & Numbers: Upper & Lower Case	Single-byte Roman Letters & Numbers: Lower Case	Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2	A B C a b c 2	a b c 2	2	2
3	D E F d e f 3	d e f 3	3	3
4	G H I g h i 4	g h i 4	4	4
5	J K L j k l 5	j k l 5	5	5
6	M N O m n o 6	m n o 6	6	6
7	P Q R S p q r s 7	p q r s 7	7	7
8	T U V t u v 8	t u v 8	8	8
9	W X Y Z w x y z 9	w x y z 9	9	9
0	, . 0[1] (Line Break)	, . 0[1] (Line Break)	0	0
＊	Single-byte Mail/Web Extensions		＊ - , [2] (Pause)	
#	Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down (Line Break[1])			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)		
クリア (Press)	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
Mail	Recover up to 64 deleted characters [3]			
F	OK			
Camera				Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code

[1] Insert line breaks in message text, Text Memo and BBS. Down (Line Break) only at the end of text.

[2] Use - and , (Pause) for phone number entry.

[3] Press Mail (times the number of characters you want to recover) immediately after deleting characters.

Entering Characters Assigned to the Same Key

Press Right to move cursor to the right, then enter the next character.

Editing Characters

Use the navigation key to move cursor to a character. Press クリア to delete it and then enter another character.

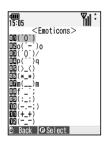
Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1. Press [key] to open Log List (up to 20 recently entered symbols/ pictographs are saved)
2. Press [key] to toggle the lists: Symbol List, Pictograph Code List (1 - 6) and Log List
3. Use [key] to select a symbol or pictographs and press [F] to enter
4. Press [key] Back to exit

Tip In double-byte character entry, three symbol lists are available. Press [key] to toggle between them.

Emoticons

1. Press [key] Menu in character entry
2. Select 8 *Emoticons* and press [F]

3. Use [key] to select an emoticon and press [F] to enter

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, e-mail addresses, etc. to Phone Book.

- Save up to 500 entries (No. 000 - No. 499) to handset.
- Save up to three phone numbers and three mail addresses per entry.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Up to 18 single-byte (9 double-byte) characters.
Reading :		Katakana, roman letters, numbers or symbols appear as you enter names (up to 18 single-byte characters including ゛ and ゜).
Phone Number :		Up to three phone numbers (24 digits each).
E-mail :		Up to three e-mail addresses (60 single-byte characters each).
Group Data :		Sort entries into ten groups (0 - 9). Change group names * or set ring tone by group.
Personal Data :		Add personal details. Use up to 60 single-byte (30 double-byte) characters.
Secret Mode :		Restrict access to Phone Book entries by saving them as secret.
Photo :		Select an image in Data Folder or an image taken with the mobile camera to appear when you open a Phone Book entry. Use Photo to select images to appear for incoming calls/mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set ring tone by caller.
	Incoming Notice	Set ring tone by sender.
	Picture Call/ Mail	Set images to appear by caller or sender.
	Mail Folder	Messages are sorted into folders.

*Group 0 (Untitled) cannot be renamed.

Note **Back-up Important Information**
Keep a separate copy of important data. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book data may be lost. Handset damage may also affect data. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading and phone number.

1. Press (文字)
2. Enter a name
3. Press (F)
   Characters entered for names appear after :
   Confirm the reading.

Correcting Spelling, etc.
Select : and press (F). Correct spelling and press (F).

4. Select : and press (F)
5. Enter a phone number and press (F)
6. Select an icon and press (F)
7. Select : and press (F)
8. Enter an e-mail address and press (F)
9. Select an icon and press (F)
10. Press Save
11. Enter a 3-digit Number (000 - 499)

Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Saving to SD Memory Card
After Step 10, press SD to switch to SD Memory Card, then enter Number (0000 - 9999) in Step 11.

Editing Phone Book

1. Open Phone Book (☞P.16-32)
2. Press (F)
3. Select *Edit* and press (F)

4. Select an item and press (F)
5. Make corrections and press (F)
6. Press Save to finish
7. Press (F)
8. Choose 1 *Yes* and press (F)

Saving from Received Calls

1. Select a phone number (☞P.16-25)
2. Press (F), select 4 ***Add to Phone Book*** and press (F)
3. Select 1 *New Entry* or 2 *New Item* and press (F)
4. New Entry

   Follow Steps 2 -11 on ☞P.16-30

   New Item

   Open Phone Book (☞P.16-32) and press (F).
   Select an icon and press (F), then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book."

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1 Press TEL
The search method used last appears.

2 Press Menu, select *Memory No. Search* and press

3 Enter Memory No. (000 - 499)

4 Select a name and press

Multiple Numbers/Addresses
Use to select other numbers/addresses.

5 Press

Search by Reading

1 Press TEL
The search method used last appears.

2 Press Menu, select *Search by Reading* and press

3 Enter reading and press
Use up to 18 single-byte characters.

4 Select a name and press

Multiple Numbers/Addresses
Use to select other numbers/addresses.

5 Press

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from five different shooting modes.

- Use ***Sha-mail*** and ***Camera*** for still images and ***Movie Sha-mail***, ***Motion Camera*** and ***Video Camera*** for videos.

	Sha-mail	Camera
Image Size	W 240 x H 320 dots W120 x H160 dots W120 x H128 dots W 64 x H 96 dots	W1632 x H1224 dots W1280 x H 960 dots W1024 x H 768 dots W 640 x H 480 dots
Save to	Handset or SD Memory Card	Handset or SD Memory Card
File Format	JPEG File	JPEG File

	Movie Sha-mail		Motion Camera	Video Camera
	Nancy Mode	MPEG Mode		
Image Size	W 80 x H 60 dots	W128 x H 96 dots W 80 x H 60 dots	W176 x H144 dots W128 x H 96 dots	W 320 x H 240 dots
Save to	Handset or SD Memory Card		Handset or SD Memory Card	Handset or SD Memory Card
File Format	Nancy File	MPEG-4 File	MPEG-4 File	MPEG-4 File

Camera Shake
If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self-Timer.

Lens Cover
Use a soft cloth to wipe fingerprints or oil off the lens cover.

CCD Camera

- Mobile Camera is engineered to exacting standards; however, some pixels may appear brighter or darker.
- Taking/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Color filter may be affected if the lens is subjected to direct sunlight.

Capturing Still Images

1. In Standby, press (F)
2. Select *Camera* and press (F)
3. Select 1 *Sha-mail* or 2 *Camera* and press (F)
4. Frame image on Display
5. Press (F) Shoot or Side Key
6. Press (F) Save to save the image
7. Press (PWR) to exit

Using Camera with Handset Closed
After Step 3, close handset, use Sub Display to frame image and Side Key as shutter release.

Data Folder

Data Folder Contents

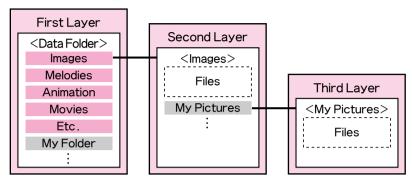
Created data or Mail/Web data are sorted into folders by file format.
The following formats are supported.

<Data Folder>

- **Camera (Shortcut)**: Opens Mobile Camera Data. Shortcut to still and video images captured in Sha-mail, Camera, Movie Sha-mail, Motion Camera or Video Camera mode
- **Images**: For Image Files including Still Images <JPEG files (/.jpg), PNG files (/.png)>
- **Melodies**: Stores Melody Files such as Original Ring Tones <SMAF files (/.mmf), Melody files (/.smd)> <Original Ring Tone (/.sjm)>
- **Animation**: For Animation Files <JPEG Animation (), PNG Animation ()> <PNG/JPEG Animation (), E-Animation (/.nva)> <MNG files (/.mng)>
- **Movies**: Stores Video Images, etc. <Nancy files (/.noa), MPEG -4 files (/.3gp)>
- **Etc.**: Contains above files as well as v files, HTML files, MML files, EML files, SVG files, etc.
- **New Folder**: Create original folders. (Format is the same as Etc. folder.)
  - New Folder (連写) is created when the first Burst Shot is saved. <Burst Shot files (/.SRG)>

File formats (Icons/extensions) are described in < >. Extensions do not appear for JPEG Animation, PNG Animation and PNG/JPEG Animation.

Data Folder Structure

Create up to 3 layers to organize files. (*My Folder* and *My Picture* are created folders.)

Opening Data Folder

1. Press (F) 8 5
2. Select a folder and press (F)
3. Select a file and press (F)
4. Press (PWR) to exit

Super Mail Attachments

Example: Attaching an image in Images Folder to Super Mail

1. Press (F) 8 5
2. Select *Images* and press (F)
3. Select a file and press (✉) Menu
4. Select *Attachment* and press (F)
5. Select Attachment type and press (F)
6. Enter an address, title, text, and send Super Mail

F Function Shortcuts

Select and execute handset functions by pressing the indicated keys.

[1] Unavailable while talking.
[2] Currently unavailable in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu, Okinawa areas.
[3] Currently unavailable in Tohoku, Niigata, Chugoku, Shikoku areas.
[4] Available only when changing between two open lines. Break Away is currently unavailable in Hokkaido, Tohoku, Niigata, Hokuriku, Chugoku, Shikoku, Kyushu, Okinawa areas.

Shortcut	Function	Description
● Sounds		
F 1 0[1]	Call Functions	Set Ring Tones
F 1 1	Volume	Adjust Volume
F 1 3[1]	Sound Effects	Set Sound Effects
F 1 5[1]	Ringer Out	Set Ringer output for Earphone use
F 1 6	Speaker	Set Speaker Phone or Speaker
F 1 7[1]	Original Tones	Save Original Tones/Original Voice
F 1 8[1]	Instrument Effects	Save Instrument Effects
F 1 9[1]	Tone Octave	Set Tone Octave
● Privacy		
F 2 0[1]	Keypad Lock	Disable Keypad
F 2 1[1]	Auto Key Lock	Disable Keypad at Handset Power On
F 2 2	Secret Mode	Display Secret Memory
F 2 3[1]	Phone Book Lock	Disable Phone Book
F 2 4[1]	Restrict Dial	Restrict Calling from Keypad
F 2 5[1]	Accept Call	Accept Calls from Designated Numbers
F 2 6[1]	Reject Call	Reject Calls from Designated Numbers
F 2 7[1]	Reset All	Delete All Saved Information, Restore Defaults
F 2 8[1]	Change Code	Change Security Code
F 2 9[1]	Reset Defaults	Reset Settings to Default values

Shortcut	Function	Description
● Settings 1		
F 3 0	Guide	Display functions other than F functions
F 3 1[1]	Memory	Phone Book, Accumulated Memory, File Cabinet Memory Status
F 3 2[1]	Off-Line Mode	Suspend Handset Transmissions
F 3 3[1]	Battery Saving	Set Power/Panel Saving
F 3 4[1]	Light Settings	Adjust Backlight, Keypad light and In-Car Backlight
F 3 5[1]	言語選択 (Language)	Toggle between Japanese and English Menus
F 3 6[1]	Font Settings	Change Font Size, Font Weight and Font Style
F 3 7[1]	Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
F 3 8[1]	Signal Alert	Alerts you with a sound when signal is weak
F 3 9[1]	SideKey Settings	Select functions for Side Key (for 1+ seconds)
● Settings 2		
F 4 0[1]	Display Settings	Set Display detail
F 4 1	Spending Memo	Show total expenditures and item list
F 4 2[1]	In-Car Recorder	Set/Cancel In-Car Message Recorder
F 4 3[1]	User Dictionary	Save/Edit entries or add downloaded dictionary
F 4 4[1]	Answer Time	Set Message Recorder Answer Time
F 4 5[1]	Disney Style	Set Disney Themed Indicators and Animation
F 4 6[1]	Manner Settings	Change Manner Mode Settings
F 4 7[1]	Sub Display	Set Display and Clock
F 4 8[1]	Animation	Set/Create animation
F 4 9[1]	Calculator	Open Calculator
● Clock		
F 5 0[1]	Repeat Alarm	Set Alarm
F 5 1[1]	Auto Power On	Set/Cancel Auto Power On
F 5 2[1]	Auto Power Off	Set/Cancel Auto Power Off
F 5 3[1]	Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
F 5 5[1]	Stopwatch	Use Stopwatch
F 5 6[1]	Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
F 5 9	Clock Settings	Set Date & Time
● Charges		
F 6 0[1]	Total Charges	Show Total Charges
F 6 1[1]	Call Charge	Show Last Call Charge
F 6 2[1]	Total Talk Time	Show Total Talk Time
F 6 3[1]	Call Time	Show Last Call Talk Time
F 6 4[1]	Instant Display	Show Charge/Talk Time after a call

16 Abridged English Manual

Shortcut	Function	Description
● Services		
F 7 0 [1,3]	Ring Time	Set Call Forwarding/Voice Mail response time
F 7 1 [1]	Call Forwarding	Initiate service/Set a Forwarding Number
F 7 2 [1]	Voice Mail	Initiate Voice Mail Service
F 7 3 [1]	Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
F 7 4 [1]	Check Secretary	Check settings of Call Forwarding or Voice Mail
F 7 5 [1,2,3]	Call Waiting	Set/Cancel Call Waiting
F 7 6 [1,2,3]	Confirm Service	Check Call Waiting Setting
F 7 7 [1]	Play Voice Mail	Listen to messages
F 7 8 [4]	3 Way Calling	Talk with two people simultaneously or leave two people connected
F 7 9 [1]	Setup Preset	Set Prefix when dialing from Phone Book
● Mail		
F 8 1 0 [1]	Mail Box	Open Mail Box
F 8 1 1 [1]	Super Mail	Send Super Mail
F 8 1 2 [1]	Sky Mail	Send Sky Mail
F 8 1 3 [1]	Greeting	Send a message to open at a specific time
F 8 1 4 [1]	Sky Melody	Download Sky Melodies
F 8 1 5 [1]	Mail Settings	Adjust/Customize Mail Settings
● Web		
F 8 2 1 [1]	Vodafone Web	Open and access Web Info (Global Net)
F 8 2 2 [1]	Home	Open Web info page set as Home
F 8 2 3 [1]	Favorite	View/Access saved Web info links
F 8 2 4 [1]	Bookmark	View/Access saved Web info
F 8 2 5 [1]	Internet	Enter a URL or select from Log List to access the Net
F 8 2 6 [1]	Unread Messages	Open and access Auto Delivery info
F 8 2 7 [1]	Message Folder	Open Cache Memory or Message Folder
F 8 2 8 [1]	Web Settings	Adjust and customize Web Settings

Shortcut	Function	Description
● Station		
F 8 3 1 [1]	New Information	Open unread, updated information
F 8 3 2 [1]	Main List	Open Main List
F 8 3 3 [1]	My List	Open My List
F 8 3 4 [1]	Update List	Update Main list
F 8 3 5 [1]	Weather Indicator	Show weather forecast in Standby
F 8 3 6 [1]	Saved Information	Access saved Station information
F 8 3 7 [1]	Location Info	Open Location Information Log
F 8 3 8 [1]	Confirm Request	Confirm fee-based information
F 8 3 9 [1]	Station Settings	Set Station Details
● V-Apps		
F 8 4 1 [1]	V-App Library	Open V-App Library
F 8 4 2 [1]	V-App Settings	Set V-App Details
F 8 4 3 [1]	Save Direct Key	Set V-Application as User Shortcut
● Data Folder		
F 8 5 [1]	Data Folder	Open Data Folder
● Network Settings		
F 8 6 1 [1]	Call Waiting	Settings for incoming calls while on the Internet
F 8 6 2 [1]	Network Setup	Network Connection Status from Server
F 8 6 3 [1]	Clear DNS Cache	Clear DNS Cache
● Others		
F Long Press [1]	Key Guard	Disable Keypad
F	Index Menu	Open Index Menu
F 0	My Number	Show Handset Number
F 文字 [1]	Message Recorder	Set/Cancel Message Recorder
F スケジュール/メモ [1]	Play	Play Messages/Voice Memos
F PWR Incoming call [2,3]	To Voice Mail	Transfer Call to Voice Mail
文字 In Standby	Add to Phone Book	Add data to Phone Book
文字 Long Press	Manner Mode	Set/Cancel Manner Mode
スケジュール/メモ In Standby	Schedule	Open/Set Schedule
スケジュール/メモ Long Press in Standby	Voice Recording	Record My Voice Memo/Voice Recorder/Original Voice
スケジュール/メモ Long Press during call	Voice Memo	Record Voice Memo
スケジュール/メモ Long Press while ☐ appears [1]	User Shortcut	Set User Shortcut
F * # [1]	On/Off	Set/Cancel Mail, Web, Station or V-Apps
F V [1]	V-App Library	Open V-App Library
F O [1]	Handy Features	Open Handy Features

Specifications

V601SH

★Handset Weight	Approximately 117 g (with Battery)
★Continuous Call Time	Approximately 130 minutes
★Continuous Standby Time	Approximately 400 hours (closed)
★Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 110 minutes In-Car Charger: Approximately 110 minutes
★Dimensions (W x H x D)	Approximately 49 x 99 x 25 mm (closed)
★Maximum Output	0.8 W

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Talk Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, in Standby with normal signal reception. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with normal signal reception. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal quality is poor. Battery life may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Battery life is a nominal value, measured under stable signal conditions. Battery life may be less than half this time if handset is used in weak signal conditions.
- Continuous Standby Time will decrease if display/keypad backlights are used frequently.
- Talk Time and Standby Time may decrease when V-Applications are active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Talk Time and Standby Time may decrease by handset operations or settings.
- Displays employ precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

★Power Source	AC 100 V, 50/60 Hz
★Power Consumption	8 VA
★Output Voltage Current	DC 5.6 V/500 mA
★Charging Temperature	5℃ - 35℃
★Dimensions (W x H x D)	Approximately 48 x 17 x 46 mm (without protruding parts, cord)
★Cord Length	Approximately 1.5 m

Desktop Holder

★Input Voltage Current	DC 5.6 V/500 mA
★Output Voltage Current	DC 5.6 V/500 mA
★Charging Temperature	5℃ - 35℃
★Dimensions (W x H x D)	Approximately 63 x 34 x 121 mm (without protruding parts)

Battery

★Voltage	3.7 V
★Type	Lithium-ion
★Capacity	700 mAh
★Dimensions (W x H x D)	Approximately 36 x 4.5 x 47 mm (without protruding parts)

Customer Service

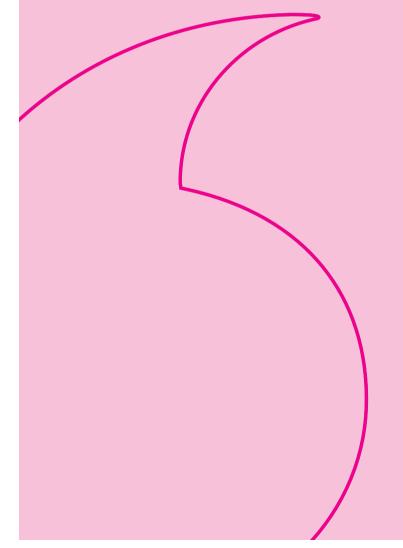
If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

F機能一覧

表中の「ボタン操作」に記載されているボタンを連続して押すと、メニューの表示を待たずに機能を選択・実行できます。

※1　通話中には操作できません。
※2　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用できません。
※3　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用できません。
※4　切替通話中にのみ操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用できません。

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●音関連機能			
F 1 0※1	着信設定	各種着信音を設定	P.7-2
F 1 1	受話音量調節	受話音量を調節	P.2-26
F 1 3※1	効果音設定	各種効果音を設定	P.7-8
F 1 5※1	着信音出力切替	イヤホン装着時の着信音出力場所を設定	P.7-10
F 1 6	スピーカー設定	スピーカーホン（通話）／スピーカー受話を設定	P.7-11
F 1 7※1	オリジナル着信音	オリジナル着信音を登録／着信用ボイスを録音	P.7-11、P.7-12
F 1 8※1	オリジナル音色	オリジナル音色を登録	P.7-28
F 1 9※1	音色オクターブ設定	音色の音程を設定	P.7-34
●管理機能			
F 2 0※1	ダイヤル操作禁止	電話機の使用を禁止	P.12-2
F 2 1※1	簡易ロック	電源ON時に自動的にダイヤル操作禁止を設定	P.12-3
F 2 2	シークレットモード	シークレットメモリを表示	P.4-23
F 2 3※1	メモリ使用禁止	メモリダイヤルの使用や登録を禁止	P.12-4
F 2 4※1	ダイヤル禁止	ダイヤル入力での発信を禁止	P.12-5
F 2 5※1	指定着信許可	指定した相手の着信を許可	P.12-7
F 2 6※1	指定着信拒否	指定した相手の着信を拒否	P.12-7
F 2 7※1	オールリセット	登録内容やデータを消去し、各種設定を初期状態に戻す	P.12-9
F 2 8※1	暗証番号変更	操作用暗証番号を変更	P.12-8
F 2 9※1	設定リセット	各種設定を初期状態に戻す	P.12-9

付録

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●表示／設定1			
F 3 0	ガイド機能	F機能以外の機能の操作方法を表示	P.14-48
F 3 1※1	メモリ確認	メモリダイヤル登録件数を表示／蓄積メモリ・ファイルBOX確認	P.4-7
F 3 2※1	オフラインモード	電波の送受信を停止	P.14-43
F 3 3※1	省電力設定	バッテリーセーブやパネルセーブを設定	P.14-44
F 3 4※1	照明設定	パネル照明／キー照明／車載時照明／パネル照明の明るさを設定	P.6-15
F 3 5※1	Language	日本語表示、英語表示の切替	P.6-19
F 3 6※1	文字表示設定	ディスプレイの文字サイズ、太さ、書体を設定	P.3-16
F 3 7※1	グループ設定	メモリダイヤルのグループ名やグループ着信音を設定	P.4-20
F 3 8※1	通話品質アラーム	通話中の通話品質アラームを設定	P.14-2
F 3 9※1	サイドキー設定	サイドキーを1秒以上押したときの動作を設定	P.14-4
●表示／設定2			
F 4 0※1	画面表示設定	壁紙／マイキャラクタ／ウェイクアップ／背景パターン／マーク表示を設定	P.6-2、P.6-17、P.6-19、P.6-3
F 4 1	マネー積算メモ	マネー積算メモを表示／明細変更	P.14-47
F 4 2※1	車載簡易留守	車載時の自動簡易留守録の設定／解除	P.14-8
F 4 3※1	ユーザー辞書	ユーザー辞書の登録・編集／ダウンロード辞書の設定	P.3-25、P.3-27
F 4 4※1	応答時間	簡易留守録が応答するまでの時間を設定	P.14-7
F 4 5※1	Disneyスタイル	各種表示をDisneyキャラクターに設定	P.6-4
F 4 6※1	マナー設定変更	マナーモード時の設定内容を変更	P.2-24
F 4 7※1	サブディスプレイ	サブディスプレイの表示方法を設定	P.6-8
F 4 8※1	アニメーション設定	アニメの設定／作成	P.6-4、P.6-6
F 4 9※1	簡易電卓	簡易電卓の利用	P.14-46
●時計／アラーム機能			
F 5 0※1	リピートアラーム設定	リピートアラームを設定	P.14-8
F 5 1※1	自動電源ON	指定の時刻に自動的に電源を入れる	P.14-11
F 5 2※1	自動電源OFF	指定の時刻に自動的に電源を切る	P.14-15
F 5 3※1	時計表示設定	待受画面に時計やカレンダーを表示	P.6-7
F 5 5※1	ストップウォッチ	ストップウォッチの利用	P.14-25
F 5 6※1	キッチンタイマー	キッチンタイマーの利用	P.14-26
F 5 9	時刻設定	西暦・日付・時刻を設定	P.2-4
●時間／料金機能			
F 6 0※1	累積通話料金	累積の通話料金の目安を表示	P.2-31
F 6 1※1	通話料金	直前の通話料金の目安を表示	P.2-31
F 6 2※1	累積通話時間	累積の通話時間の目安を表示	P.2-30
F 6 3※1	通話時間	直前の通話時間の目安を表示	P.2-30
F 6 4※1	即時表示	通話後の通話明細表示を設定	P.2-32

17

付録

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●付加サービス機能			
F 7 0 ※1※3	呼出時間設定	転送電話と留守番電話サービスの呼出時間を設定	P.15-6
F 7 1 ※1	転送サービス	転送電話サービスの開始／転送先の登録	P.15-3
F 7 2 ※1	留守番サービス	留守番電話サービスの開始設定	P.15-4
F 7 3 ※1	秘書停止	転送電話と留守番電話サービスの解除	P.15-4、P.15-5
F 7 4 ※1	秘書確認	転送電話と留守番電話サービスの確認	P.15-4、P.15-6
F 7 5 ※1※2※3	割込設定	割込通話サービスの設定／解除	P.15-8
F 7 6 ※1※2※3	割込確認	割込通話サービスの設定確認	P.15-8
F 7 7 ※1	留守録再生	V601SHで伝言メッセージを聞く	P.15-5
F 7 8 ※4	三者サービス	三者通話または通話中転送の選択	P.15-9
F 7 9 ※1	プリセット登録	メモリダイヤルの電話番号に付加する番号を登録	P.14-3
●メール機能			
F 8 1 0 ※1	メールボックス	メールボックスを表示	別冊
F 8 1 1 ※1	スーパーメール	スーパーメールを使って文字メッセージを送信	別冊
F 8 1 2 ※1	スカイメール	スカイメールを使って文字メッセージを送信	別冊
F 8 1 3 ※1	グリーティング	日時指定付きの文字メッセージを送信	別冊
F 8 1 4 ※1	スカイメロディ	スカイメロディセンターから受信するメロディを指定	別冊
F 8 1 5 ※1	メール設定	メールの各項目を設定	別冊
●ウェブ機能			
F 8 2 1 ※1	ボーダフォンウェブ	ボーダフォンウェブに接続	別冊
F 8 2 2 ※1	ホーム	ホームに設定している情報画面への接続	別冊
F 8 2 3 ※1	お気に入り	よく使う情報画面を登録	別冊
F 8 2 4 ※1	ブックマーク	ブックマークを利用して接続	別冊
F 8 2 5 ※1	インターネットアクセス	インターネット（ホームページ）への接続	別冊
F 8 2 6 ※1	未読メッセージ	自動配信サービスで受信した未読情報を表示	別冊
F 8 2 7 ※1	メッセージフォルダ	V601SHに保存している情報を表示	別冊
F 8 2 8 ※1	ウェブ設定	ウェブの各項目を設定	別冊
●ステーション機能			
F 8 3 1 ※1	新着情報	未読の更新情報を表示	別冊
F 8 3 2 ※1	メインリスト	V601SHに自動記憶されている情報を表示	別冊
F 8 3 3 ※1	マイリスト	マイリストに登録した情報を表示	別冊
F 8 3 4 ※1	リスト更新	メインリストを更新	別冊
F 8 3 5 ※1	お天気アイコン	お天気アイコン表示を設定	別冊
F 8 3 6 ※1	保存情報	V601SHに保存している情報を表示	別冊
F 8 3 7 ※1	位置情報	位置情報履歴を表示	別冊
F 8 3 8 ※1	申込み内容確認	有料情報の申込み内容を確認	別冊
F 8 3 9 ※1	ステーション設定	ステーションの各項目を設定	別冊
●Vアプリ機能			
F 8 4 1 ※1	Vアプリライブラリ	Vアプリライブラリを表示	別冊
F 8 4 2 ※1	Vアプリ設定	Vアプリの各項目を設定	別冊
F 8 4 3 ※1	ダイレクトキー登録	Vアプリをユーザーショートカットに登録	別冊

17 付録

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●データフォルダ			
F 8 5 ※1	データフォルダ	データフォルダを表示	P.11-5
●ネットワーク設定			
F 8 6 1 ※1	割込み着信設定	ネットワーク接続中に電話がかかって来たときの動作を設定	別冊
F 8 6 2 ※1	ネットワーク自動調整	ネットワークの接続情報をサーバーから入手	別冊
F 8 6 3 ※1	DNSキャッシュクリア	ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す	別冊
●その他の項目			
F（長押し）※1	誤動作防止	持ち運び時のボタン操作を禁止	P.12-2
F	インデックスメニュー	インデックスメニューを表示	P.1-21
F V ※1	Vアプリライブラリ	Vアプリライブラリを表示	P.1-21
F 0	自局電話番号	この電話機の電話番号を表示	P.2-33
F 文字 ※1	簡易留守設定	簡易留守録を設定／解除	P.14-5
F スケジュール/メモ ※1	録音データ再生	簡易留守録の用件／音声メモを再生	P.14-6
F 終話(着信中)※2※3	着信留守電転送	留守番電話サービスに転送	P.15-5
文字（待受中）	メモリダイヤル登録	メモリダイヤルを登録	P.4-3
文字（長押し）	マナーモード	マナーモードの設定／解除	P.2-23
スケジュール/メモ（待受中）	スケジュール	スケジュールを表示／設定	P.14-16
スケジュール/メモ(待受中長押し)	ボイス録音	マイボイスメモ／ボイスレコーダー／着信用ボイスを録音	P.14-27、P.9-2、P.7-11
スケジュール/メモ(通話中長押し)	音声メモ	音声メモを録音	P.14-27
スケジュール/メモ(☆表示中長押し)※1	ユーザーショートカット登録	ユーザーショートカットを登録	P.2-34
F * # ※1	ON/OFF設定	メール/ウェブ/ステーション/VアプリのON/OFF設定	別冊
F ◎ ※1	オススメメニュー	オススメメニュー一覧を表示	P.1-22

付録

設定リセットで初期化される内容

■初期状態に戻る項目（F機能）

F番号	機能の名前	初期設定	F番号	機能の名前	初期設定	F番号	機能の名前	初期設定
F10	着信設定	※1	F33	省電力設定	※5	F48	アニメーション設定	※12
F11	受話音量調節	音量5	F34	照明設定	※6	F51	自動電源ON	OFF
F13	効果音設定	※2	F35	Language	日本語	F52	自動電源OFF	OFF
F15	着信音出力切替	※3	F36	文字表示設定	※7	F53	時計表示設定	時計大1
F16	スピーカー設定	OFF	F38	通話品質アラーム	OFF	F60	累積通話料金	0円
F19	音色オクターブ設定	※4	F39	サイドキー設定	※8	F61	通話料金	0円
F20	ダイヤル操作禁止	OFF	F40	画面表示設定	※9	F62	累積通話時間	0時間0分
F21	簡易ロック	OFF	F42	車載簡易留守	ON	F63	通話時間	0分0秒
F22	シークレットモード	OFF	F44	応答時間	9秒	F64	即時表示	OFF
F23	メモリ使用禁止	OFF	F45	Disneyスタイル	OFF	F77	留守録再生	※13
F24	ダイヤル禁止	OFF	F46	マナー設定変更	※10	F¥#	ON/OFF設定	※14
F32	オフラインモード	OFF	F47	サブディスプレイ設定	※11			

※1　P.7-2参照
※2　P.7-8参照
※3　イヤホン＋スピーカー
※4　P.7-20～P.7-23、P.7-34参照
※5　バッテリーセーブモード：ON
　　パネルセーブモード：ON/OFF設定：ON（5分）、ランプ表示設定：ランプ表示あり
※6　パネル照明、キー照明共にON/OFF設定：ON（15秒）、車載時設定：OFF、パネル明るさ調整：明るさ4
※7　文字サイズ設定：すべて中、文字太さ設定：ふつう、書体設定：通常
※8　着信時：簡易留守　、待受時：マーク表示
※9　壁紙設定：ON、マイキャラクタ：すべてOFF、ウェイクアップ：OFF、背景パターン設定：背景1、マーク表示設定：ON
※10 簡易留守　：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON
※11 サブディスプレイON／OFF設定：ON、照明設定：ON（15秒）、濃度調整：濃度5、待受表示内容設定（時計：デジタル時計大1、マーク：ON、スケジュール／メモ：OFF）、壁紙設定：OFF、着信表示（相手表示設定：ON、カラーパターン：すべてホワイト、グラフィックパターン：OFF）、表示方向切替：上向き、メール本文表示設定：ON
※12 スクリーンアニメ：OFF、背景アニメ：ON、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON
※13 留守　再生番号：1416
※14 メール、ウェブ、ステーション、Vアプリ共にON

■初期状態に戻る項目（F機能以外）

機能	初期設定
マナーモード	解除
簡易留守録	解除
メモリダイヤル検索モード	メモリNo検索
メモリカードの暗号化設定	メモリダイヤル、メール、スケジュール：すべてOFF
スポットライト	継続点灯時間：1分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示
バーコード読取／文字読み取り表示サイズ設定	文字サイズ設定：中、画像サイズ設定：等倍
ユーザーショートカット	1簡易電卓、2リピートアラーム設定、3着信設定、4画面表示設定、0バウリンガル コネクト、（長押し）Vアプリライブラリ

トラブルシューティング

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●PWRを1秒以上押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV601SHに装着されていますか？	●PWRを1秒以上押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」が表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.12-2） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.12-3）
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0からはじまる相手の方の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「」が表示）	●市外局番など0からはじまる相手の方の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.14-43）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」が表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.12-2） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.12-3） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.12-5）

症状	確認すること	処置
メモリダイヤルを使って電話がかけられない	●かけたいメモリダイヤルをシークレットメモリに登　していませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.4-24） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.12-4）
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV601SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV601SHに装着されていますか？ ●V601SH　が卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V601SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V601SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●5℃～35℃の温度範囲でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。長時間通話すると、V601SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—
電池の消耗が早い	●使用環境（気温・充電状況・電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●電池パックの利用可能時間（☞P.1-14）、持ちについて（☞P.1-14）、消耗を軽減する（☞P.1-15）を参照してください。
ディスプレイの表示がちらつく	●蛍光灯の下では、ディスプレイの表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時ディスプレイの表示が暗い	●ディスプレイの特性によるもので、故障ではありません。	—

●故障の際の連絡先やアフターサービスについては、P.17-22を参照してください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

■「　」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.14-43）

設定を解除しないと、電話の発信・着信、ボーダフォンライブ！の利用・受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池パックの残量がなくなっています。（☞P.1-15）

電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「　」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.12-2）

設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止は解除されます。エニーキーアンサー（☞P.2-11）で電話に出ることができます。V601SHを閉じた状態でサイドキーを1秒以上押すと、サブディスプレイに「**サイドキー誤動作防止　F長押しで解除**」と表示されます。

■「　」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.12-2）

ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサー（☞P.2-11）で電話に出ることができます。

スモールライト／電池残量表示

スモールライトや電池残量表示は、次のような状態をお知らせします。

電源が入っているとき

スモールライト	電池残量表示（　）	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃～35℃以外、電池なし
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

電源が切れているとき

スモールライト	電池残量表示（▮▮▮）	状態
消灯	消灯	周囲温度が５℃～35℃以外、電池なし
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

保証書とアフターサービス

■保証書

V601SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に記載しております。

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**トラブルシューティング**」に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.17-22）にご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「取扱店」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.17-22）までご連絡ください。

なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登　・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、故障または修理の際にV601SHに登　したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解・改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

区点コード一覧

文字	コード
	0101
、	0102
。	0103
，	0104
．	0105
・	0106
：	0107
；	0108
？	0109
！	0110
゛	0111
゜	0112
´	0113
｀	0114
¨	0115
＾	0116
￣	0117
＿	0118
ヽ	0119
ヾ	0120
ゝ	0121
ゞ	0122
〃	0123
仝	0124
々	0125
〆	0126
〇	0127
ー	0128
―	0129
‐	0130
／	0131
＼	0132
～	0133
∥	0134
｜	0135
…	0136
‥	0137
‘	0138
’	0139
“	0140
”	0141
（	0142
）	0143
〔	0144
〕	0145
［	0146
］	0147
｛	0148
｝	0149
〈	0150
〉	0151
《	0152
》	0153
「	0154
」	0155
『	0156
』	0157
【	0158
】	0159
＋	0160
－	0161
±	0162

文字	コード
×	0163
÷	0164
＝	0165
≠	0166
＜	0167
＞	0168
≦	0169
≧	0170
∞	0171
∴	0172
♂	0173
♀	0174
°	0175
′	0176
″	0177
℃	0178
￥	0179
＄	0180
¢	0181
£	0182
％	0183
＃	0184
＆	0185
＊	0186
＠	0187
§	0188
☆	0189
★	0190
○	0191
●	0192
◎	0193
◇	0194
◆	0201
□	0202
■	0203
△	0204
▲	0205
▽	0206
▼	0207
※	0208
〒	0209
→	0210
←	0211
↑	0212
↓	0213
〓	0214
∈	0226
∋	0227
⊆	0228
⊇	0229
⊂	0230
⊃	0231
∪	0232
∩	0233
∧	0242
∨	0243
¬	0244
⇒	0245
⇔	0246
∀	0247
∃	0248

文字	コード
∠	0260
⊥	0261
⌒	0262
∂	0263
∇	0264
≡	0265
	0266
≪	0267
≫	0268
√	0269
∽	0270
∝	0271
∵	0272
∫	0273
∬	0274
Å	0282
‰	0283
♯	0284
♭	0285
♪	0286
†	0287
‡	0288
¶	0289
◯	0294
0	0316
1	0317
2	0318
3	0319
4	0320
5	0321
6	0322
7	0323
8	0324
9	0325
A	0333
B	0334
C	0335
D	0336
E	0337
F	0338
G	0339
H	0340
I	0341
J	0342
K	0343
L	0344
M	0345
N	0346
O	0347
P	0348
Q	0349
R	0350
S	0351
T	0352
U	0353
V	0354
W	0355
X	0356
Y	0357
Z	0358
a	0365

文字	コード
b	0366
c	0367
d	0368
e	0369
f	0370
g	0371
h	0372
i	0373
j	0374
k	0375
l	0376
m	0377
n	0378
o	0379
p	0380
q	0381
r	0382
s	0383
t	0384
u	0385
v	0386
w	0387
x	0388
y	0389
z	0390
ぁ	0401
あ	0402
ぃ	0403
い	0404
ぅ	0405
う	0406
ぇ	0407
え	0408
ぉ	0409
お	0410
か	0411
が	0412
き	0413
ぎ	0414
く	0415
ぐ	0416
け	0417
げ	0418
こ	0419
ご	0420
さ	0421
ざ	0422
し	0423
じ	0424
す	0425
ず	0426
せ	0427
ぜ	0428
そ	0429
ぞ	0430
た	0431
だ	0432
ち	0433
ぢ	0434
っ	0435
つ	0436

文字	コード
づ	0437
て	0438
で	0439
と	0440
ど	0441
な	0442
に	0443
ぬ	0444
ね	0445
の	0446
は	0447
ば	0448
ぱ	0449
ひ	0450
び	0451
ぴ	0452
ふ	0453
ぶ	0454
ぷ	0455
へ	0456
べ	0457
ぺ	0458
ほ	0459
ぼ	0460
ぽ	0461
ま	0462
み	0463
む	0464
め	0465
も	0466
ゃ	0467
や	0468
ゅ	0469
ゆ	0470
ょ	0471
よ	0472
ら	0473
り	0474
る	0475
れ	0476
ろ	0477
ゎ	0478
わ	0479
ゐ	0480
ゑ	0481
を	0482
ん	0483
ァ	0501
ア	0502
ィ	0503
イ	0504
ゥ	0505
ウ	0506
ェ	0507
エ	0508
ォ	0509
オ	0510
カ	0511
ガ	0512
キ	0513
ギ	0514

文字	コード
ク	0515
グ	0516
ケ	0517
ゲ	0518
コ	0519
ゴ	0520
サ	0521
ザ	0522
シ	0523
ジ	0524
ス	0525
ズ	0526
セ	0527
ゼ	0528
ソ	0529
ゾ	0530
タ	0531
ダ	0532
チ	0533
ヂ	0534
ッ	0535
ツ	0536
ヅ	0537
テ	0538
デ	0539
ト	0540
ド	0541
ナ	0542
ニ	0543
ヌ	0544
ネ	0545
ノ	0546
ハ	0547
バ	0548
パ	0549
ヒ	0550
ビ	0551
ピ	0552
フ	0553
ブ	0554
プ	0555
ヘ	0556
ベ	0557
ペ	0558
ホ	0559
ボ	0560
ポ	0561
マ	0562
ミ	0563
ム	0564
メ	0565
モ	0566
ャ	0567
ヤ	0568
ュ	0569
ユ	0570
ョ	0571
ヨ	0572
ラ	0573
リ	0574
ル	0575
レ	0576

文字	コード
ロ	0577
ヮ	0578
ワ	0579
ヰ	0580
ヱ	0581
ヲ	0582
ン	0583
ヴ	0584
ヵ	0585
ヶ	0586
Α	0601
Β	0602
Γ	0603
Δ	0604
Ε	0605
Ζ	0606
Η	0607
Θ	0608
Ι	0609
Κ	0610
Λ	0611
Μ	0612
Ν	0613
Ξ	0614
Ο	0615
Π	0616
Ρ	0617
Σ	0618
Τ	0619
Υ	0620
Φ	0621
Χ	0622
Ψ	0623
Ω	0624
α	0633
β	0634
γ	0635
δ	0636
ε	0637
ζ	0638
η	0639
θ	0640
ι	0641
κ	0642
λ	0643
μ	0644
ν	0645
ξ	0646
ο	0647
π	0648
ρ	0649
σ	0650
τ	0651
υ	0652
φ	0653
χ	0654
ψ	0655
ω	0656
А	0701
Б	0702

文字	コード
В	0703
Г	0704
Д	0705
Е	0706
Ё	0707
Ж	0708
З	0709
И	0710
Й	0711
К	0712
Л	0713
М	0714
Н	0715
О	0716
П	0717
Р	0718
С	0719
Т	0720
У	0721
Ф	0722
Х	0723
Ц	0724
Ч	0725
Ш	0726
Щ	0727
Ъ	0728
Ы	0729
Ь	0730
Э	0731
Ю	0732
Я	0733
а	0749
б	0750
в	0751
г	0752
д	0753
е	0754
ё	0755
ж	0756
з	0757
и	0758
й	0759
к	0760
л	0761
м	0762
н	0763
о	0764
п	0765
р	0766
с	0767
т	0768
у	0769
ф	0770
х	0771
ц	0772
ч	0773
ш	0774
щ	0775
ъ	0776
ы	0777
ь	0778
э	0779

文字	コード
ю	0780
я	0781
─	0801
│	0802
┌	0803
┐	0804
┘	0805
└	0806
├	0807
┬	0808
┤	0809
┴	0810
┼	0811
━	0812
┃	0813
┏	0814
┓	0815
┛	0816
┗	0817
┣	0818
┳	0819
┫	0820
┻	0821
╋	0822
┠	0823
┯	0824
┨	0825
┷	0826
┿	0827
┝	0828
┰	0829
┥	0830
┸	0831
╂	0832
【あ】	
亜	1601
唖	1602
娃	1603
阿	1604
哀	1605
愛	1606
挨	1607
姶	1608
逢	1609
葵	1610
茜	1611
穐	1612
悪	1613
握	1614
渥	1615
旭	1616
葦	1617
芦	1618
鯵	1619
梓	1620
圧	1621
斡	1622
扱	1623
宛	1624
姐	1625

文字	コード
虻	1626
飴	1627
絢	1628
綾	1629
鮎	1630
或	1631
粟	1632
袷	1633
安	1634
庵	1635
按	1636
暗	1637
案	1638
闇	1639
鞍	1640
杏	1641
【い】	
以	1642
伊	1643
位	1644
依	1645
偉	1646
囲	1647
夷	1648
委	1649
威	1650
尉	1651
惟	1652
意	1653
慰	1654
易	1655
椅	1656
為	1657
畏	1658
異	1659
移	1660
維	1661
緯	1662
胃	1663
萎	1664
衣	1665
謂	1666
違	1667
遺	1668
医	1669
井	1670
亥	1671
域	1672
育	1673
郁	1674
磯	1675
一	1676
壱	1677
溢	1678
逸	1679
稲	1680
茨	1681
芋	1682
鰯	1683
允	1684
印	1685
咽	1686

文字	コード
員	1687
因	1688
姻	1689
引	1690
飲	1691
淫	1692
胤	1693
蔭	1694
院	1701
陰	1702
隠	1703
韻	1704
吋	1705
【う】	
右	1706
宇	1707
烏	1708
羽	1709
迂	1710
雨	1711
卯	1712
鵜	1713
窺	1714
丑	1715
碓	1716
臼	1717
渦	1718
嘘	1719
唄	1720
欝	1721
蔚	1722
鰻	1723
姥	1724
厩	1725
浦	1726
瓜	1727
閏	1728
噂	1729
云	1730
運	1731
雲	1732
【え】	
荏	1733
餌	1734
叡	1735
営	1736
嬰	1737
影	1738
映	1739
曳	1740
栄	1741
永	1742
泳	1743
洩	1744
瑛	1745
盈	1746
穎	1747
頴	1748
英	1749
衛	1750
詠	1751

鋭 1752
液 1753
疫 1754
益 1755
駅 1756
悦 1757
謁 1758
越 1759
閲 1760
榎 1761
厭 1762
円 1763
園 1764
堰 1765
奄 1766
宴 1767
延 1768
怨 1769
掩 1770
援 1771
沿 1772
演 1773
炎 1774
焔 1775
煙 1776
燕 1777
猿 1778
縁 1779
艶 1780
苑 1781
薗 1782
遠 1783
鉛 1784
鴛 1785
塩 1786
【お】
於 1787
汚 1788
甥 1789
凹 1790
央 1791
奥 1792
往 1793
応 1794

押 1801
旺 1802
横 1803
欧 1804
殴 1805
王 1806
翁 1807
襖 1808
鴬 1809
鴎 1810
黄 1811
岡 1812
沖 1813
荻 1814
億 1815
屋 1816
憶 1817
臆 1818
桶 1819
牡 1820
乙 1821
俺 1822
卸 1823
恩 1824
温 1825
穏 1826
音 1827
【か】
下 1828
化 1829
仮 1830
何 1831
伽 1832
価 1833
佳 1834
加 1835
可 1836
嘉 1837
夏 1838
嫁 1839
家 1840
寡 1841
科 1842
暇 1843
果 1844
架 1845
歌 1846
河 1847
火 1848
珂 1849
禍 1850
禾 1851
稼 1852
箇 1853
花 1854
苛 1855
茄 1856
荷 1857
華 1858
菓 1859
蝦 1860
課 1861
嘩 1862
貨 1863
迦 1864
過 1865
霞 1866
蚊 1867
俄 1868
峨 1869
我 1870
牙 1871
画 1872
臥 1873
芽 1874
蛾 1875
賀 1876
雅 1877
餓 1878
駕 1879
介 1880
会 1881
解 1882
回 1883
塊 1884
壊 1885
廻 1886
快 1887
怪 1888
悔 1889
恢 1890
懐 1891
戒 1892
拐 1893
改 1894

魁 1901
晦 1902
械 1903
海 1904
灰 1905
界 1906
皆 1907
絵 1908
芥 1909
蟹 1910
開 1911
階 1912
貝 1913
凱 1914
劾 1915
外 1916
咳 1917
害 1918
崖 1919
慨 1920
概 1921
涯 1922
碍 1923
蓋 1924
街 1925
該 1926
鎧 1927
骸 1928
浬 1929
馨 1930
蛙 1931
垣 1932
柿 1933
蛎 1934
鈎 1935
劃 1936
嚇 1937
各 1938
廓 1939
拡 1940
撹 1941
格 1942
核 1943
殻 1944
獲 1945
確 1946
穫 1947
覚 1948
角 1949
赫 1950
較 1951
郭 1952
閣 1953
隔 1954
革 1955
学 1956
岳 1957
楽 1958
額 1959
顎 1960
掛 1961
笠 1962
樫 1963
橿 1964
梶 1965
鰍 1966
潟 1967
割 1968
喝 1969
恰 1970
括 1971
活 1972
渇 1973
滑 1974
葛 1975
褐 1976
轄 1977
且 1978
鰹 1979
叶 1980
椛 1981
樺 1982
鞄 1983
株 1984
兜 1985
竃 1986
蒲 1987
釜 1988
鎌 1989
噛 1990
鴨 1991
栢 1992
茅 1993
萱 1994

粥 2001
刈 2002
苅 2003
瓦 2004
乾 2005
侃 2006
冠 2007
寒 2008
刊 2009
勘 2010
勧 2011
巻 2012
喚 2013
堪 2014
姦 2015
完 2016
官 2017
寛 2018
干 2019
幹 2020
患 2021
感 2022
慣 2023
憾 2024
換 2025
敢 2026
柑 2027
桓 2028
棺 2029
款 2030
歓 2031
汗 2032
漢 2033
澗 2034
潅 2035
環 2036
甘 2037
監 2038
看 2039
竿 2040
管 2041
簡 2042
緩 2043
缶 2044
翰 2045
肝 2046
艦 2047
莞 2048
観 2049
諌 2050
貫 2051
還 2052
鑑 2053
間 2054
閑 2055
関 2056
陥 2057
韓 2058
館 2059
舘 2060
丸 2061
含 2062
岸 2063
巌 2064
玩 2065
癌 2066
眼 2067
岩 2068
翫 2069
贋 2070
雁 2071
頑 2072
顔 2073
願 2074
【き】
企 2075
伎 2076
危 2077
喜 2078
器 2079
基 2080
奇 2081
嬉 2082
寄 2083
岐 2084
希 2085
幾 2086
忌 2087
揮 2088
机 2089
旗 2090
既 2091
期 2092
棋 2093
棄 2094

機 2101
帰 2102
毅 2103
気 2104
汽 2105
畿 2106
祈 2107
季 2108
稀 2109
紀 2110
徽 2111
規 2112
記 2113
貴 2114
起 2115
軌 2116
輝 2117
飢 2118
騎 2119
鬼 2120
亀 2121
偽 2122
儀 2123
妓 2124
宜 2125
戯 2126
技 2127
擬 2128
欺 2129
犠 2130
疑 2131
祇 2132
義 2133
蟻 2134
誼 2135
議 2136
掬 2137
菊 2138
鞠 2139
吉 2140
吃 2141
喫 2142
桔 2143
橘 2144
詰 2145
砧 2146
杵 2147
黍 2148
却 2149
客 2150
脚 2151
虐 2152
逆 2153
丘 2154
久 2155
仇 2156
休 2157
及 2158
吸 2159
宮 2160
弓 2161
急 2162
救 2163
朽 2164
求 2165
汲 2166
泣 2167
灸 2168
球 2169
究 2170
窮 2171
笈 2172
級 2173
糾 2174
給 2175
旧 2176
牛 2177
去 2178
居 2179
巨 2180
拒 2181
拠 2182
挙 2183
渠 2184
虚 2185
許 2186
距 2187
鋸 2188
漁 2189
禦 2190
魚 2191
亨 2192
享 2193
京 2194

供 2201
侠 2202
僑 2203
兇 2204
競 2205
共 2206
凶 2207
協 2208
匡 2209
卿 2210
叫 2211
喬 2212
境 2213
峡 2214
強 2215
彊 2216
怯 2217
恐 2218
恭 2219
挟 2220
教 2221
橋 2222
況 2223
狂 2224
狭 2225
矯 2226
胸 2227
脅 2228
興 2229
蕎 2230
郷 2231
鏡 2232
響 2233
饗 2234
驚 2235
仰 2236
凝 2237
尭 2238
暁 2239
業 2240
局 2241
曲 2242
極 2243
玉 2244
桐 2245
粁 2246
僅 2247
勤 2248
均 2249
巾 2250
錦 2251
斤 2252
欣 2253
欽 2254
琴 2255
禁 2256
禽 2257
筋 2258
緊 2259
芹 2260
菌 2261
衿 2262
襟 2263
謹 2264
近 2265
金 2266
吟 2267
銀 2268
【く】
九 2269
倶 2270
句 2271
区 2272
狗 2273
玖 2274
矩 2275
苦 2276
躯 2277
駆 2278
駈 2279
駒 2280
具 2281
愚 2282
虞 2283
喰 2284
空 2285
偶 2286
寓 2287
遇 2288
隅 2289
串 2290
櫛 2291
釧 2292
屑 2293
屈 2294

掘 2301
窟 2302
沓 2303
靴 2304
轡 2305
窪 2306
熊 2307
隈 2308
粂 2309
栗 2310
繰 2311
桑 2312
鍬 2313
勲 2314
君 2315
薫 2316
訓 2317
群 2318
軍 2319
郡 2320
【け】
卦 2321
袈 2322
祁 2323
係 2324
傾 2325
刑 2326
兄 2327
啓 2328
圭 2329
珪 2330
型 2331
契 2332
形 2333
径 2334
恵 2335
慶 2336
慧 2337
憩 2338
掲 2339
携 2340
敬 2341
景 2342
桂 2343
渓 2344
畦 2345
稽 2346
系 2347
経 2348
継 2349
繋 2350
罫 2351
茎 2352
荊 2353
蛍 2354
計 2355
詣 2356
警 2357
軽 2358
頚 2359
鶏 2360
芸 2361
迎 2362
鯨 2363
劇 2364
戟 2365
撃 2366
激 2367
隙 2368
桁 2369
傑 2370
欠 2371
決 2372
潔 2373
穴 2374
結 2375
血 2376
訣 2377
月 2378
件 2379
倹 2380
倦 2381
健 2382
兼 2383
券 2384
剣 2385
喧 2386
圏 2387
堅 2388
嫌 2389
建 2390
憲 2391
懸 2392
拳 2393
捲 2394

検 2401
権 2402
牽 2403
犬 2404
献 2405
研 2406
硯 2407
絹 2408
県 2409
肩 2410
見 2411
謙 2412
賢 2413
軒 2414
遣 2415
鍵 2416
険 2417
顕 2418
験 2419
鹸 2420
元 2421
原 2422
厳 2423
幻 2424
弦 2425
減 2426
源 2427
玄 2428
現 2429
絃 2430
舷 2431
言 2432
諺 2433
限 2434
【こ】
乎 2435
個 2436
古 2437
呼 2438
固 2439
姑 2440
孤 2441
己 2442
庫 2443
弧 2444
戸 2445
故 2446
枯 2447
湖 2448
狐 2449
糊 2450
袴 2451
股 2452
胡 2453
菰 2454
虎 2455
誇 2456
跨 2457
鈷 2458
雇 2459
顧 2460
鼓 2461
五 2462

17 付録

互 2463
伍 2464
午 2465
呉 2466
吾 2467
娯 2468
後 2469
御 2470
悟 2471
梧 2472
檎 2473
瑚 2474
碁 2475
語 2476
誤 2477
護 2478
醐 2479
乞 2480
鯉 2481
交 2482
佼 2483
侯 2484
候 2485
倖 2486
光 2487
公 2488
功 2489
効 2490
勾 2491
厚 2492
口 2493
向 2494

后 2501
喉 2502
坑 2503
垢 2504
好 2505
孔 2506
孝 2507
宏 2508
工 2509
巧 2510
巷 2511
幸 2512
広 2513
庚 2514
康 2515
弘 2516
恒 2517
慌 2518
抗 2519
拘 2520
控 2521
攻 2522
昂 2523
晃 2524
更 2525
杭 2526
校 2527
梗 2528
構 2529
江 2530
洪 2531
浩 2532
港 2533
溝 2534
甲 2535
皇 2536
硬 2537
稿 2538
糠 2539
紅 2540
紘 2541
絞 2542
綱 2543
耕 2544
考 2545
肯 2546
肱 2547
腔 2548
膏 2549
航 2550
荒 2551
行 2552
衡 2553
講 2554
貢 2555
購 2556
郊 2557
酵 2558
鉱 2559
砿 2560
鋼 2561
閤 2562
降 2563
項 2564
香 2565
高 2566
鴻 2567
剛 2568
劫 2569
号 2570
合 2571
壕 2572
拷 2573
濠 2574
豪 2575
轟 2576
麹 2577
克 2578
刻 2579
告 2580
国 2581
穀 2582
酷 2583
鵠 2584
黒 2585
獄 2586
漉 2587
腰 2588
甑 2589
忽 2590
惚 2591
骨 2592
狛 2593
込 2594

此 2601
頃 2602
今 2603
困 2604
坤 2605
墾 2606
婚 2607
恨 2608
懇 2609
昏 2610
昆 2611
根 2612
梱 2613
混 2614
痕 2615
紺 2616
艮 2617
魂 2618
【さ】
些 2619
佐 2620
叉 2621
唆 2622
嵯 2623
左 2624
差 2625
査 2626
沙 2627
瑳 2628
砂 2629
詐 2630
鎖 2631
裟 2632
坐 2633
座 2634
挫 2635
債 2636
催 2637
再 2638
最 2639
哉 2640
塞 2641
妻 2642
宰 2643
彩 2644
才 2645
採 2646
栽 2647
歳 2648
済 2649
災 2650
采 2651
犀 2652
砕 2653
砦 2654
祭 2655
斎 2656
細 2657
菜 2658
裁 2659
載 2660
際 2661
剤 2662
在 2663
材 2664
罪 2665
財 2666
冴 2667
坂 2668
阪 2669
堺 2670
榊 2671
肴 2672
咲 2673
崎 2674
埼 2675
碕 2676
鷺 2677
作 2678
削 2679
咋 2680
搾 2681
昨 2682
朔 2683
柵 2684
窄 2685
策 2686
索 2687
錯 2688
桜 2689
鮭 2690
笹 2691
匙 2692
冊 2693
刷 2694

察 2701
拶 2702
撮 2703
擦 2704
札 2705
殺 2706
薩 2707
雑 2708
皐 2709
鯖 2710
捌 2711
錆 2712
鮫 2713
皿 2714
晒 2715
三 2716
傘 2717
参 2718
山 2719
惨 2720
撒 2721
散 2722
桟 2723
燦 2724
珊 2725
産 2726
算 2727
纂 2728
蚕 2729
讃 2730
賛 2731
酸 2732
餐 2733
斬 2734
暫 2735
残 2736
【し】
仕 2737
仔 2738
伺 2739
使 2740
刺 2741
司 2742
史 2743
嗣 2744
四 2745
士 2746
始 2747
姉 2748
姿 2749
子 2750
屍 2751
市 2752
師 2753
志 2754
思 2755
指 2756
支 2757
孜 2758
斯 2759
施 2760
旨 2761
枝 2762
止 2763
死 2764
氏 2765
獅 2766
祉 2767
私 2768
糸 2769
紙 2770
紫 2771
肢 2772
脂 2773
至 2774
視 2775
詞 2776
詩 2777
試 2778
誌 2779
諮 2780
資 2781
賜 2782
雌 2783
飼 2784
歯 2785
事 2786
似 2787
侍 2788
児 2789
字 2790
寺 2791
慈 2792
持 2793
時 2794

次 2801
滋 2802
治 2803
爾 2804
璽 2805
痔 2806
磁 2807
示 2808
而 2809
耳 2810
自 2811
蒔 2812
辞 2813
汐 2814
鹿 2815
式 2816
識 2817
鴫 2818
竺 2819
軸 2820
宍 2821
雫 2822
七 2823
叱 2824
執 2825
失 2826
嫉 2827
室 2828
悉 2829
湿 2830
漆 2831
疾 2832
質 2833
実 2834
蔀 2835
篠 2836
偲 2837
柴 2838
芝 2839
屡 2840
蕊 2841
縞 2842
舎 2843
写 2844
射 2845
捨 2846
赦 2847
斜 2848
煮 2849
社 2850
紗 2851
者 2852
謝 2853
車 2854
遮 2855
蛇 2856
邪 2857
借 2858
勺 2859
尺 2860
杓 2861
灼 2862
爵 2863
酌 2864
釈 2865
錫 2866
若 2867
寂 2868
弱 2869
惹 2870
主 2871
取 2872
守 2873
手 2874
朱 2875
殊 2876
狩 2877
珠 2878
種 2879
腫 2880
趣 2881
酒 2882
首 2883
儒 2884
受 2885
呪 2886
寿 2887
授 2888
樹 2889
綬 2890
需 2891
囚 2892
収 2893
周 2894

宗 2901
就 2902
州 2903
修 2904
愁 2905
拾 2906
洲 2907
秀 2908
秋 2909
終 2910
繍 2911
習 2912
臭 2913
舟 2914
蒐 2915
衆 2916
襲 2917
讐 2918
蹴 2919
輯 2920
週 2921
酋 2922
酬 2923
集 2924
醜 2925
什 2926
住 2927
充 2928
十 2929
従 2930
戎 2931
柔 2932
汁 2933
渋 2934
獣 2935
縦 2936
重 2937
銃 2938
叔 2939
夙 2940
宿 2941
淑 2942
祝 2943
縮 2944
粛 2945
塾 2946
熟 2947
出 2948
術 2949
述 2950
俊 2951
峻 2952
春 2953
瞬 2954
竣 2955
舜 2956
駿 2957
准 2958
循 2959
旬 2960
楯 2961
殉 2962
淳 2963
準 2964
潤 2965
盾 2966
純 2967
巡 2968
遵 2969
醇 2970
順 2971
処 2972
初 2973
所 2974
暑 2975
曙 2976
渚 2977
庶 2978
緒 2979
署 2980
書 2981
薯 2982
藷 2983
諸 2984
助 2985
叙 2986
女 2987
序 2988
徐 2989
恕 2990
鋤 2991
除 2992
傷 2993
償 2994

勝 3001
匠 3002
升 3003
召 3004
哨 3005
商 3006
唱 3007
嘗 3008
奨 3009
妾 3010
娼 3011
宵 3012
将 3013
小 3014
少 3015
尚 3016
庄 3017
床 3018
廠 3019
彰 3020
承 3021
抄 3022
招 3023
掌 3024
捷 3025
昇 3026
昌 3027
昭 3028
晶 3029
松 3030
梢 3031
樟 3032
樵 3033
沼 3034
消 3035
渉 3036
湘 3037
焼 3038
焦 3039
照 3040
症 3041
省 3042
硝 3043
礁 3044
祥 3045
称 3046
章 3047
笑 3048
粧 3049
紹 3050
肖 3051
菖 3052
蒋 3053
蕉 3054
衝 3055
裳 3056
訟 3057
証 3058
詔 3059
詳 3060
象 3061
賞 3062
醤 3063
鉦 3064
鍾 3065
鐘 3066
障 3067
鞘 3068
上 3069
丈 3070
丞 3071
乗 3072
冗 3073
剰 3074
城 3075
場 3076
壌 3077
嬢 3078
常 3079
情 3080
擾 3081
条 3082
杖 3083
浄 3084
状 3085
畳 3086
穣 3087
蒸 3088
譲 3089
醸 3090
錠 3091
嘱 3092
埴 3093
飾 3094

拭 3101
植 3102
殖 3103
燭 3104
織 3105
職 3106
色 3107
触 3108
食 3109
蝕 3110
辱 3111
尻 3112
伸 3113
信 3114
侵 3115
唇 3116
娠 3117
寝 3118
審 3119
心 3120
慎 3121
振 3122
新 3123
晋 3124
森 3125
榛 3126
浸 3127
深 3128
申 3129
疹 3130
真 3131
神 3132
秦 3133
紳 3134
臣 3135
芯 3136
薪 3137
親 3138
診 3139
身 3140
辛 3141
進 3142
針 3143
震 3144
人 3145
仁 3146
刃 3147
塵 3148
壬 3149
尋 3150
甚 3151
尽 3152
腎 3153
訊 3154
迅 3155
陣 3156
靭 3157
【す】
笥 3158
諏 3159
須 3160
酢 3161
図 3162
厨 3163
逗 3164
吹 3165
垂 3166
帥 3167
推 3168
水 3169
炊 3170
睡 3171
粋 3172
翠 3173
衰 3174
遂 3175
酔 3176

錐 3177
錘 3178
随 3179
瑞 3180
髄 3181
崇 3182
嵩 3183
数 3184
枢 3185
趨 3186
雛 3187
据 3188
杉 3189
椙 3190
菅 3191
頗 3192
雀 3193
裾 3194

澄 3201
摺 3202
寸 3203
【せ】
世 3204
瀬 3205
畝 3206
是 3207
凄 3208
制 3209
勢 3210
姓 3211
征 3212
性 3213
成 3214
政 3215
整 3216
星 3217
晴 3218
棲 3219
栖 3220
正 3221
清 3222
牲 3223
生 3224
盛 3225
精 3226
聖 3227
声 3228
製 3229
西 3230
誠 3231
誓 3232
請 3233
逝 3234
醒 3235
青 3236
静 3237
斉 3238
税 3239
脆 3240
隻 3241
席 3242
惜 3243
戚 3244
斥 3245
昔 3246
析 3247
石 3248
積 3249
籍 3250
績 3251
脊 3252
責 3253
赤 3254
跡 3255
蹟 3256
碩 3257
切 3258
拙 3259
接 3260
摂 3261
折 3262
設 3263
窃 3264
節 3265
説 3266
雪 3267
絶 3268
舌 3269
蝉 3270
仙 3271
先 3272
千 3273
占 3274
宣 3275
専 3276
尖 3277
川 3278
戦 3279
扇 3280
撰 3281
栓 3282
栴 3283
泉 3284
浅 3285
洗 3286
染 3287
潜 3288
煎 3289
煽 3290
旋 3291
穿 3292
箭 3293
線 3294

繊 3301
羨 3302
腺 3303
舛 3304
船 3305
薦 3306
詮 3307
賎 3308
践 3309
選 3310
遷 3311
銭 3312
銑 3313
閃 3314
鮮 3315
前 3316
善 3317
漸 3318
然 3319
全 3320
禅 3321
繕 3322
膳 3323
糎 3324
【そ】
噌 3325
塑 3326
岨 3327
措 3328
曾 3329
曽 3330
楚 3331
狙 3332
疏 3333
疎 3334
礎 3335
祖 3336
租 3337
粗 3338
素 3339
組 3340
蘇 3341
訴 3342
阻 3343
遡 3344
鼠 3345
僧 3346
創 3347
双 3348
叢 3349
倉 3350
喪 3351
壮 3352
奏 3353
爽 3354
宋 3355
層 3356
匝 3357
惣 3358
想 3359
捜 3360
掃 3361
挿 3362
掻 3363
操 3364
早 3365
曹 3366
巣 3367
槍 3368
槽 3369
漕 3370
燥 3371
争 3372
痩 3373
相 3374
窓 3375
糟 3376
総 3377
綜 3378
聡 3379
草 3380
荘 3381
葬 3382
蒼 3383
藻 3384
装 3385
走 3386
送 3387
遭 3388
鎗 3389
霜 3390
騒 3391
像 3392
増 3393
憎 3394

臓 3401
蔵 3402
贈 3403
造 3404
促 3405
側 3406
則 3407
即 3408
息 3409
捉 3410
束 3411
測 3412
足 3413
速 3414
俗 3415
属 3416
賊 3417
族 3418
続 3419
卒 3420
袖 3421
其 3422
揃 3423
存 3424
孫 3425
尊 3426
損 3427
村 3428
遜 3429
【た】
他 3430
多 3431
太 3432
汰 3433
詑 3434
唾 3435
堕 3436
妥 3437
惰 3438
打 3439
柁 3440
舵 3441
楕 3442
陀 3443
駄 3444
騨 3445
体 3446
堆 3447
対 3448
耐 3449
岱 3450
帯 3451
待 3452
怠 3453
態 3454
戴 3455
替 3456
泰 3457
滞 3458
胎 3459
腿 3460
苔 3461
袋 3462
貸 3463
退 3464
逮 3465
隊 3466
黛 3467
鯛 3468
代 3469
台 3470
大 3471
第 3472
醍 3473
題 3474
鷹 3475
滝 3476
瀧 3477
卓 3478
啄 3479
宅 3480
托 3481
択 3482
拓 3483
沢 3484
濯 3485
琢 3486
託 3487
鐸 3488
濁 3489
諾 3490
茸 3491
凧 3492
蛸 3493
只 3494

叩 3501
但 3502
達 3503
辰 3504
奪 3505
脱 3506
巽 3507
竪 3508
辿 3509
棚 3510
谷 3511
狸 3512
鱈 3513
樽 3514
誰 3515
丹 3516
単 3517
嘆 3518
坦 3519
担 3520
探 3521
旦 3522
歎 3523
淡 3524
湛 3525
炭 3526
短 3527
端 3528
箪 3529
綻 3530
耽 3531
胆 3532
蛋 3533
誕 3534
鍛 3535
団 3536
壇 3537
弾 3538
断 3539
暖 3540
檀 3541
段 3542
男 3543
談 3544
【ち】
値 3545
知 3546
地 3547
弛 3548
恥 3549
智 3550
池 3551
痴 3552
稚 3553
置 3554
致 3555
蜘 3556
遅 3557
馳 3558
築 3559
畜 3560
竹 3561
筑 3562
蓄 3563
逐 3564
秩 3565
窒 3566
茶 3567
嫡 3568
着 3569
中 3570
仲 3571
宙 3572
忠 3573
抽 3574
昼 3575
柱 3576
注 3577
虫 3578
衷 3579
註 3580
酎 3581
鋳 3582
駐 3583
樗 3584
瀦 3585
猪 3586
苧 3587
著 3588
貯 3589
丁 3590
兆 3591
凋 3592
喋 3593
寵 3594

帖 3601
帳 3602
庁 3603
弔 3604
張 3605
彫 3606
徴 3607
懲 3608
挑 3609
暢 3610
朝 3611
潮 3612
牒 3613
町 3614
眺 3615
聴 3616
脹 3617
腸 3618
蝶 3619
調 3620
諜 3621
超 3622
跳 3623
銚 3624
長 3625
頂 3626
鳥 3627
勅 3628
捗 3629
直 3630
朕 3631
沈 3632
珍 3633
賃 3634
鎮 3635
陳 3636
【つ】
津 3637
墜 3638
椎 3639
槌 3640
追 3641
鎚 3642
痛 3643
通 3644
塚 3645
栂 3646
掴 3647
槻 3648
佃 3649
漬 3650
柘 3651
辻 3652
蔦 3653
綴 3654
鍔 3655
椿 3656
潰 3657
坪 3658
壷 3659
嬬 3660
紬 3661
爪 3662
吊 3663
釣 3664
鶴 3665
【て】
亭 3666
低 3667
停 3668
偵 3669
剃 3670
貞 3671
呈 3672
堤 3673
定 3674
帝 3675
底 3676
庭 3677
廷 3678
弟 3679
悌 3680
抵 3681
挺 3682
提 3683
梯 3684
汀 3685
碇 3686
禎 3687
程 3688
締 3689
艇 3690
訂 3691
諦 3692
蹄 3693
逓 3694

邸 3701
鄭 3702
釘 3703
鼎 3704
泥 3705
摘 3706
擢 3707
敵 3708
滴 3709
的 3710
笛 3711
適 3712
鏑 3713
溺 3714
哲 3715
徹 3716
撤 3717
轍 3718
迭 3719
鉄 3720
典 3721
填 3722
天 3723
展 3724
店 3725
添 3726
纏 3727
甜 3728
貼 3729
転 3730
顛 3731
点 3732
伝 3733
殿 3734
澱 3735
田 3736
電 3737
【と】
兎 3738
吐 3739
堵 3740
塗 3741
妬 3742
屠 3743
徒 3744
斗 3745
杜 3746
渡 3747
登 3748
菟 3749
賭 3750
途 3751
都 3752
鍍 3753
砥 3754
砺 3755
努 3756
度 3757
土 3758
奴 3759
怒 3760
倒 3761
党 3762
冬 3763
凍 3764
刀 3765
唐 3766
塔 3767
塘 3768
套 3769
宕 3770
島 3771
嶋 3772
悼 3773
投 3774
搭 3775
東 3776
桃 3777
梼 3778
棟 3779
盗 3780
淘 3781
湯 3782
涛 3783
灯 3784
燈 3785
当 3786
痘 3787
祷 3788
等 3789
答 3790
筒 3791
糖 3792
統 3793
到 3794

董 3801
蕩 3802
藤 3803
討 3804
謄 3805
豆 3806
踏 3807
逃 3808
透 3809
鐙 3810
陶 3811
頭 3812
騰 3813
闘 3814
働 3815
動 3816
同 3817
堂 3818
導 3819
憧 3820
撞 3821
洞 3822
瞳 3823
童 3824
胴 3825
萄 3826
道 3827
銅 3828
峠 3829
鴇 3830
匿 3831
得 3832
徳 3833
涜 3834
特 3835
督 3836
禿 3837
篤 3838
毒 3839
独 3840
読 3841
栃 3842
橡 3843
凸 3844
突 3845
椴 3846
届 3847
鳶 3848
苫 3849
寅 3850
酉 3851
瀞 3852
噸 3853
屯 3854
惇 3855
敦 3856
沌 3857
豚 3858
遁 3859
頓 3860
呑 3861
曇 3862
鈍 3863
【な】
奈 3864
那 3865
内 3866
乍 3867
凪 3868
薙 3869
謎 3870
灘 3871
捺 3872
鍋 3873
楢 3874
馴 3875
縄 3876
畷 3877
南 3878
楠 3879
軟 3880
難 3881
汝 3882
【に】
二 3883
尼 3884
弐 3885
迩 3886
匂 3887
賑 3888
肉 3889
虹 3890
廿 3891
日 3892
乳 3893
入 3894

如 3901
尿 3902
韮 3903
任 3904
妊 3905
忍 3906
認 3907
【ぬ】
濡 3908
【ね】
禰 3909
祢 3910
寧 3911
葱 3912
猫 3913
熱 3914
年 3915
念 3916
捻 3917
撚 3918
燃 3919
粘 3920
【の】
乃 3921
廼 3922
之 3923
埜 3924
嚢 3925
悩 3926
濃 3927
納 3928
能 3929
脳 3930
膿 3931
農 3932
覗 3933
蚤 3934
【は】
巴 3935
把 3936
播 3937
覇 3938
杷 3939
波 3940
派 3941
琶 3942
破 3943
婆 3944
罵 3945
芭 3946
馬 3947
俳 3948
廃 3949
拝 3950
排 3951
敗 3952
杯 3953
盃 3954
牌 3955
背 3956
肺 3957
輩 3958
配 3959
倍 3960
培 3961
媒 3962
梅 3963
楳 3964
煤 3965
狽 3966
買 3967
売 3968
賠 3969
陪 3970
這 3971
蝿 3972
秤 3973
矧 3974
萩 3975
伯 3976
剥 3977
博 3978
拍 3979
柏 3980
泊 3981
白 3982
箔 3983
粕 3984
舶 3985
薄 3986
迫 3987
曝 3988
漠 3989
爆 3990
縛 3991
莫 3992
駁 3993
麦 3994

函 4001
箱 4002
硲 4003
箸 4004
肇 4005
筈 4006
櫨 4007
幡 4008
肌 4009
畑 4010
畠 4011
八 4012
鉢 4013
溌 4014
発 4015
醗 4016
髪 4017
伐 4018
罰 4019
抜 4020
筏 4021
閥 4022
鳩 4023
噺 4024
塙 4025
蛤 4026
隼 4027
伴 4028
判 4029
半 4030
反 4031
叛 4032
帆 4033
搬 4034
斑 4035
板 4036
氾 4037
汎 4038
版 4039
犯 4040
班 4041
畔 4042
繁 4043
般 4044
藩 4045
販 4046
範 4047
釆 4048
煩 4049
頒 4050
飯 4051
挽 4052
晩 4053
番 4054
盤 4055
磐 4056
蕃 4057
蛮 4058
【ひ】
匪 4059
卑 4060
否 4061
妃 4062
庇 4063
彼 4064
悲 4065
扉 4066
批 4067
披 4068
斐 4069
比 4070
泌 4071
疲 4072
皮 4073
碑 4074
秘 4075
緋 4076
罷 4077
肥 4078
被 4079
誹 4080
費 4081
避 4082
非 4083
飛 4084
樋 4085
簸 4086
備 4087
尾 4088
微 4089
枇 4090
毘 4091
琵 4092
眉 4093
美 4094

鼻 4101
柊 4102
稗 4103
匹 4104
疋 4105
髭 4106
彦 4107
膝 4108
菱 4109
肘 4110
弼 4111
必 4112
畢 4113
筆 4114
逼 4115
桧 4116
姫 4117
媛 4118
紐 4119
百 4120
謬 4121
俵 4122
彪 4123
標 4124
氷 4125
漂 4126
瓢 4127
票 4128
表 4129
評 4130
豹 4131
廟 4132
描 4133
病 4134
秒 4135
苗 4136
錨 4137
鋲 4138
蒜 4139
蛭 4140
鰭 4141
品 4142
彬 4143
斌 4144
浜 4145
瀕 4146
貧 4147
賓 4148
頻 4149
敏 4150
瓶 4151
【ふ】
不 4152
付 4153
埠 4154
夫 4155
婦 4156
富 4157
冨 4158
布 4159
府 4160
怖 4161
扶 4162
敷 4163
斧 4164
普 4165
浮 4166
父 4167
符 4168
腐 4169
膚 4170
芙 4171
譜 4172
負 4173
賦 4174
赴 4175
阜 4176
附 4177
侮 4178
撫 4179
武 4180
舞 4181
葡 4182
蕪 4183
部 4184
封 4185
楓 4186
風 4187
葺 4188
蕗 4189
伏 4190
副 4191
復 4192
幅 4193
服 4194

福 4201
腹 4202
複 4203
覆 4204
淵 4205
弗 4206
払 4207
沸 4208
仏 4209
物 4210
鮒 4211
分 4212
吻 4213
噴 4214
墳 4215
憤 4216
扮 4217
焚 4218
奮 4219
粉 4220
糞 4221
紛 4222
雰 4223
文 4224
聞 4225
【へ】
丙 4226
併 4227
兵 4228
塀 4229
幣 4230
平 4231
弊 4232
柄 4233
並 4234
蔽 4235
閉 4236
陛 4237
米 4238
頁 4239
僻 4240
壁 4241
癖 4242
碧 4243
別 4244
瞥 4245
蔑 4246
箆 4247
偏 4248
変 4249
片 4250
篇 4251
編 4252
辺 4253
返 4254
遍 4255
便 4256
勉 4257
娩 4258
弁 4259
鞭 4260
【ほ】
保 4261
舗 4262
鋪 4263
圃 4264
捕 4265
歩 4266
甫 4267
補 4268
輔 4269
穂 4270
募 4271
墓 4272
慕 4273
戊 4274
暮 4275
母 4276
簿 4277
菩 4278
倣 4279
俸 4280
包 4281
呆 4282
報 4283
奉 4284
宝 4285
峰 4286
峯 4287
崩 4288
庖 4289
抱 4290
捧 4291
放 4292
方 4293
朋 4294

法 4301
泡 4302
烹 4303
砲 4304
縫 4305
胞 4306
芳 4307
萌 4308
蓬 4309
蜂 4310
褒 4311
訪 4312
豊 4313
邦 4314
鋒 4315
飽 4316
鳳 4317
鵬 4318
乏 4319
亡 4320
傍 4321
剖 4322
坊 4323
妨 4324
帽 4325
忘 4326
忙 4327
房 4328
暴 4329
望 4330
某 4331
棒 4332
冒 4333
紡 4334
肪 4335
膨 4336
謀 4337
貌 4338
貿 4339
鉾 4340
防 4341
吠 4342
頬 4343
北 4344
僕 4345
卜 4346
墨 4347
撲 4348
朴 4349
牧 4350
睦 4351
穆 4352
釦 4353
勃 4354
没 4355
殆 4356
堀 4357
幌 4358
奔 4359
本 4360
翻 4361
凡 4362
盆 4363
【ま】
摩 4364
磨 4365
魔 4366
麻 4367
埋 4368
妹 4369
昧 4370
枚 4371
毎 4372
哩 4373
槙 4374
幕 4375
膜 4376
枕 4377
鮪 4378
柾 4379
鱒 4380
桝 4381
亦 4382
俣 4383
又 4384
抹 4385
末 4386
沫 4387
迄 4388
侭 4389
繭 4390
麿 4391
万 4392
慢 4393
満 4394

漫 4401
蔓 4402
【み】
味 4403
未 4404
魅 4405
巳 4406
箕 4407
岬 4408
密 4409
蜜 4410
湊 4411
蓑 4412
稔 4413
脈 4414
妙 4415
粍 4416
民 4417
眠 4418
【む】
務 4419
夢 4420
無 4421
牟 4422
矛 4423
霧 4424
鵡 4425
椋 4426
婿 4427
娘 4428
【め】
冥 4429
名 4430
命 4431
明 4432
盟 4433
迷 4434
銘 4435
鳴 4436
姪 4437
牝 4438
滅 4439
免 4440
棉 4441
綿 4442
緬 4443
面 4444
麺 4445
【も】
摸 4446
模 4447
茂 4448
妄 4449
孟 4450
毛 4451
猛 4452
盲 4453
網 4454
耗 4455
蒙 4456
儲 4457
木 4458
黙 4459
目 4460
杢 4461
勿 4462
餅 4463
尤 4464
戻 4465
籾 4466
貰 4467
問 4468
悶 4469
紋 4470
門 4471
匁 4472
【や】
也 4473
冶 4474
夜 4475
爺 4476
耶 4477
野 4478
弥 4479
矢 4480
厄 4481
役 4482
約 4483
薬 4484
訳 4485
躍 4486
靖 4487
柳 4488
薮 4489
鑓 4490
【ゆ】
愉 4491
愈 4492
油 4493
癒 4494

諭 4501
輸 4502
唯 4503
佑 4504
優 4505
勇 4506
友 4507
宥 4508
幽 4509
悠 4510
憂 4511
揖 4512
有 4513
柚 4514
湧 4515
涌 4516
猶 4517
猷 4518
由 4519
祐 4520
裕 4521
誘 4522
遊 4523
邑 4524
郵 4525
雄 4526
融 4527
夕 4528
【よ】
予 4529
余 4530
与 4531
誉 4532
輿 4533
預 4534
傭 4535
幼 4536
妖 4537
容 4538
庸 4539
揚 4540
揺 4541
擁 4542
曜 4543
楊 4544
様 4545
洋 4546
溶 4547
熔 4548
用 4549
窯 4550
羊 4551
耀 4552
葉 4553
蓉 4554
要 4555
謡 4556
踊 4557
遥 4558
陽 4559
養 4560
慾 4561
抑 4562
欲 4563
沃 4564
浴 4565
翌 4566
翼 4567
淀 4568
【ら】
羅 4569
螺 4570
裸 4571
来 4572
莱 4573
頼 4574
雷 4575
洛 4576
絡 4577
落 4578
酪 4579
乱 4580
卵 4581
嵐 4582
欄 4583
濫 4584

17 付録

藍 4585
蘭 4586
覧 4587
【り】
利 4588
吏 4589
履 4590
李 4591
梨 4592
理 4593
璃 4594
痢 4601
裏 4602
裡 4603
里 4604
離 4605
陸 4606
律 4607
率 4608
立 4609
葎 4610
掠 4611
略 4612
劉 4613
流 4614
溜 4615
琉 4616
留 4617
硫 4618
粒 4619
隆 4620
竜 4621
龍 4622
侶 4623
慮 4624
旅 4625
虜 4626
了 4627
亮 4628
僚 4629
両 4630
凌 4631
寮 4632
料 4633
梁 4634
涼 4635
猟 4636
療 4637
瞭 4638
稜 4639
糧 4640
良 4641
諒 4642
遼 4643
量 4644
陵 4645
領 4646
力 4647
緑 4648
倫 4649
厘 4650
林 4651
淋 4652
燐 4653
琳 4654
臨 4655
輪 4656
隣 4657
鱗 4658
麟 4659
【る】
瑠 4660
塁 4661
涙 4662
累 4663
類 4664
【れ】
令 4665
伶 4666
例 4667
冷 4668
励 4669
嶺 4670
怜 4671
玲 4672
礼 4673
苓 4674
鈴 4675
隷 4676
零 4677
霊 4678
麗 4679
齢 4680
暦 4681
歴 4682
列 4683
劣 4684
烈 4685
裂 4686
廉 4687
恋 4688
憐 4689
漣 4690
煉 4691
簾 4692
練 4693
聯 4694
蓮 4701
連 4702
錬 4703
【ろ】
呂 4704
魯 4705
櫓 4706
炉 4707
賂 4708
路 4709
露 4710
労 4711
婁 4712
廊 4713
弄 4714
朗 4715
楼 4716
榔 4717
浪 4718
漏 4719
牢 4720
狼 4721
篭 4722
老 4723
聾 4724
蝋 4725
郎 4726
六 4727
麓 4728
禄 4729
肋 4730
録 4731
論 4732
【わ】
倭 4733
和 4734
話 4735
歪 4736
賄 4737
脇 4738
惑 4739
枠 4740
鷲 4741
亙 4742
亘 4743
鰐 4744
詫 4745
藁 4746
蕨 4747
椀 4748
湾 4749
碗 4750
腕 4751
弌 4801
丐 4802
丕 4803
个 4804
丱 4805
丶 4806
丼 4807
丿 4808
乂 4809
乖 4810
乘 4811
亂 4812
亅 4813
豫 4814
亊 4815
舒 4816
弍 4817
于 4818
亞 4819
亟 4820
亠 4821
亢 4822
亰 4823
亳 4824
亶 4825
从 4826
仍 4827
仄 4828
仆 4829
仂 4830
仗 4831
仞 4832
仭 4833
仟 4834
价 4835
伉 4836
佚 4837
估 4838
佛 4839
佝 4840
佗 4841
佇 4842
佶 4843
侈 4844
侏 4845
侘 4846
佻 4847
佩 4848
佰 4849
侑 4850
佯 4851
來 4852
侖 4853
儘 4854
俔 4855
俟 4856
俎 4857
俘 4858
俛 4859
俑 4860
俚 4861
俐 4862
俤 4863
俥 4864
倚 4865
倨 4866
倔 4867
倪 4868
倥 4869
倅 4870
伜 4871
俶 4872
倡 4873
倩 4874
倬 4875
俾 4876
俯 4877
們 4878
倆 4879
偃 4880
假 4881
會 4882
偕 4883
偐 4884
偈 4885
做 4886
偖 4887
偬 4888
偸 4889
傀 4890
傚 4891
傅 4892
傴 4893
傲 4894
僉 4901
僊 4902
傳 4903
僂 4904
僖 4905
僞 4906
僥 4907
僭 4908
僣 4909
僮 4910
價 4911
僵 4912
儉 4913
儁 4914
儂 4915
儖 4916
儕 4917
儔 4918
儚 4919
儡 4920
儺 4921
儷 4922
儼 4923
儻 4924
儿 4925
兀 4926
兒 4927
兌 4928
兔 4929
兢 4930
竸 4931
兩 4932
兪 4933
兮 4934
冀 4935
冂 4936
囘 4937
册 4938
冉 4939
冏 4940
冑 4941
冓 4942
冕 4943
冖 4944
冤 4945
冦 4946
冢 4947
冩 4948
冪 4949
冫 4950
决 4951
冱 4952
冲 4953
冰 4954
况 4955
冽 4956
凅 4957
凉 4958
凛 4959
几 4960
處 4961
凩 4962
凭 4963
凰 4964
凵 4965
凾 4966
刄 4967
刋 4968
刔 4969
刎 4970
刧 4971
刪 4972
刮 4973
刳 4974
刹 4975
剏 4976
剄 4977
剋 4978
剌 4979
剞 4980
剔 4981
剪 4982
剴 4983
剩 4984
剳 4985
剿 4986
剽 4987
劍 4988
劔 4989
劒 4990
剱 4991
劈 4992
劑 4993
辨 4994
辧 5001
劬 5002
劭 5003
劼 5004
劵 5005
勁 5006
勍 5007
勗 5008
勞 5009
勣 5010
勦 5011
飭 5012
勠 5013
勳 5014
勵 5015
勸 5016
勹 5017
匆 5018
匈 5019
甸 5020
匍 5021
匐 5022
匏 5023
匕 5024
匚 5025
匣 5026
匯 5027
匱 5028
匳 5029
匸 5030
區 5031
卆 5032
卅 5033
丗 5034
卉 5035
卍 5036
凖 5037
卞 5038
卩 5039
卮 5040
夘 5041
卻 5042
卷 5043
厂 5044
厖 5045
厠 5046
厦 5047
厥 5048
厮 5049
厰 5050
厶 5051
參 5052
簒 5053
雙 5054
叟 5055
曼 5056
燮 5057
叮 5058
叨 5059
叭 5060
叺 5061
吁 5062
吽 5063
呀 5064
听 5065
吭 5066
吼 5067
吮 5068
吶 5069
吩 5070
吝 5071
呎 5072
咏 5073
呵 5074
咎 5075
呟 5076
呱 5077
呷 5078
呰 5079
咒 5080
呻 5081
咀 5082
呶 5083
咄 5084
咐 5085
咆 5086
哇 5087
咢 5088
咸 5089
咥 5090
咬 5091
哄 5092
哈 5093
咨 5094
咫 5101
哂 5102
咤 5103
咾 5104
咼 5105
哘 5106
哥 5107
哦 5108
唏 5109
唔 5110
哽 5111
哮 5112
哭 5113
哺 5114
哢 5115
唹 5116
啀 5117
啣 5118
啌 5119
售 5120
啜 5121
啅 5122
啖 5123
啗 5124
唸 5125
唳 5126
啝 5127
喙 5128
喀 5129
咯 5130
喊 5131
喟 5132
啻 5133
啾 5134
喘 5135
喞 5136
單 5137
啼 5138
喃 5139
喩 5140
喇 5141
喨 5142
嗚 5143
嗅 5144
嗟 5145
嗄 5146
嗜 5147
嗤 5148
嗔 5149
嘔 5150
嗷 5151
嘖 5152
嗾 5153
嗽 5154
嘛 5155
嗹 5156
噎 5157
噐 5158
營 5159
嘴 5160
嘶 5161
嘲 5162
嘸 5163
噫 5164
噤 5165
嘯 5166
噬 5167
噪 5168
嚆 5169
嚀 5170
嚊 5171
嚠 5172
嚔 5173
嚏 5174
嚥 5175
嚮 5176
嚶 5177
嚴 5178
囂 5179
嚼 5180
囁 5181
囃 5182
囀 5183
囈 5184
囎 5185
囑 5186
囓 5187
囗 5188
囮 5189
囹 5190
圀 5191
囿 5192
圄 5193
圉 5194
圈 5201
國 5202
圍 5203
圓 5204
團 5205
圖 5206
嗇 5207
圜 5208
圦 5209
圷 5210
圸 5211
坎 5212
圻 5213
址 5214
坏 5215
坩 5216
埀 5217
垈 5218
坡 5219
坿 5220
垉 5221
垓 5222
垠 5223
垳 5224
垤 5225
垪 5226
垰 5227
埃 5228
埆 5229
埔 5230
埒 5231
埓 5232
堊 5233
埖 5234
埣 5235
堋 5236
堙 5237
堝 5238
塲 5239
堡 5240
塢 5241
塋 5242
塰 5243
毀 5244
塒 5245
堽 5246
塹 5247
墅 5248
墹 5249
墟 5250
墫 5251
墺 5252
壞 5253
墻 5254
墸 5255
墮 5256
壅 5257
壓 5258
壑 5259
壗 5260
壙 5261
壘 5262
壥 5263
壜 5264
壤 5265
壟 5266
壯 5267
壺 5268
壹 5269
壻 5270
壼 5271
壽 5272
夂 5273
夊 5274
夐 5275
夛 5276
梦 5277
夥 5278
夬 5279
夭 5280
夲 5281
夸 5282
夾 5283
竒 5284
奕 5285
奐 5286
奎 5287
奚 5288
奘 5289
奢 5290
奠 5291
奧 5292
奬 5293
奩 5294
奸 5301
妁 5302
妝 5303
佞 5304
侫 5305
妣 5306
妲 5307
姆 5308
姨 5309
姜 5310
妍 5311
姙 5312
姚 5313
娥 5314
娟 5315
娑 5316
娜 5317
娉 5318
娚 5319
婀 5320
婬 5321
婉 5322
娵 5323
娶 5324
婢 5325
婪 5326
媚 5327
媼 5328
媾 5329
嫋 5330
嫂 5331
媽 5332
嫣 5333
嫗 5334
嫦 5335
嫩 5336
嫖 5337
嫺 5338
嫻 5339
嬌 5340
嬋 5341
嬖 5342
嬲 5343
嫐 5344
嬪 5345
嬶 5346
嬾 5347
孃 5348
孅 5349
孀 5350
孑 5351
孕 5352
孚 5353
孛 5354
孥 5355
孩 5356
孰 5357
孳 5358
孵 5359
學 5360
斈 5361
孺 5362
宀 5363
它 5364
宦 5365
宸 5366
寃 5367
寇 5368
寉 5369
寔 5370
寐 5371
寤 5372
實 5373
寢 5374
寞 5375
寥 5376
寫 5377
寰 5378
寶 5379
寳 5380
尅 5381
將 5382
專 5383
對 5384
尓 5385
尠 5386
尢 5387
尨 5388
尸 5389
尹 5390
屁 5391
屆 5392
屎 5393
屓 5394
屐 5401
屏 5402
孱 5403
屬 5404
屮 5405
乢 5406
屶 5407
屹 5408
岌 5409
岑 5410
岔 5411
妛 5412
岫 5413
岻 5414
岶 5415
岼 5416
岷 5417
峅 5418
岾 5419
峇 5420
峙 5421
峩 5422
峽 5423
峺 5424
峭 5425
嶌 5426
峪 5427
崋 5428
崕 5429
崗 5430
嵜 5431
崟 5432
崛 5433
崑 5434
崔 5435
崢 5436
崚 5437
崙 5438
崘 5439
嵌 5440
嵒 5441
嵎 5442
嵋 5443
嵬 5444
嵳 5445
嵶 5446
嶇 5447
嶄 5448
嶂 5449
嶢 5450
嶝 5451
嶬 5452
嶮 5453
嶽 5454
嶐 5455
嶷 5456
嶼 5457
巉 5458
巍 5459
巓 5460
巒 5461
巖 5462
巛 5463
巫 5464
已 5465
巵 5466
帋 5467
帚 5468
帙 5469
帑 5470
帛 5471
帶 5472
帷 5473
幄 5474
幃 5475
幀 5476
幎 5477
幗 5478
幔 5479
幟 5480
幢 5481
幤 5482
幇 5483
幵 5484
并 5485
幺 5486
麼 5487
广 5488
庠 5489
廁 5490
廂 5491
廈 5492
廐 5493
廏 5494
廖 5501
廣 5502
廝 5503
廚 5504
廛 5505
廢 5506
廡 5507
廨 5508
廩 5509
廬 5510
廱 5511
廳 5512
廰 5513
廴 5514
廸 5515
廾 5516
弃 5517
弉 5518
彝 5519
彜 5520
弋 5521
弑 5522
弖 5523
弩 5524
弭 5525
弸 5526
彁 5527
彈 5528
彌 5529
彎 5530
弯 5531
彑 5532
彖 5533
彗 5534
彙 5535
彡 5536
彭 5537
彳 5538
彷 5539
徃 5540
徂 5541
彿 5542
徊 5543
很 5544
徑 5545
徇 5546
從 5547
徙 5548
徘 5549
徠 5550
徨 5551
徭 5552
徼 5553
忖 5554
忻 5555
忤 5556
忸 5557
忱 5558
忝 5559
悳 5560
忿 5561
怡 5562
恠 5563
怙 5564
怐 5565
怩 5566
怎 5567
怱 5568
怛 5569
怕 5570
怫 5571
怦 5572
怏 5573
怺 5574
恚 5575
恁 5576
恪 5577
恷 5578
恟 5579
恊 5580
恆 5581
恍 5582
恣 5583
恃 5584
恤 5585
恂 5586
恬 5587
恫 5588
恙 5589
悁 5590
悍 5591
惧 5592
悃 5593
悚 5594
悄 5601
悛 5602
悖 5603
悗 5604
悒 5605
悧 5606
悋 5607
惡 5608
悸 5609
惠 5610
惓 5611
悴 5612
忰 5613
悽 5614
惆 5615
悵 5616
惘 5617
慍 5618
愕 5619
愆 5620
惶 5621
惷 5622
愀 5623
惴 5624
惺 5625
愃 5626
愡 5627
惻 5628
惱 5629
愍 5630
愎 5631
慇 5632
愾 5633
愨 5634
愧 5635
慊 5636
愿 5637
愼 5638
愬 5639
愴 5640
愽 5641
慂 5642
慄 5643
慳 5644
慷 5645
慘 5646
慙 5647
慚 5648
慫 5649
慴 5650
慯 5651
慥 5652
慱 5653
慟 5654
慝 5655
慓 5656
慵 5657
憙 5658
憖 5659
憇 5660
憬 5661
憔 5662
憚 5663
憊 5664
憑 5665
憫 5666
憮 5667
懌 5668
懊 5669
應 5670
懷 5671
懈 5672
懃 5673
懆 5674
憺 5675
懋 5676
罹 5677
懍 5678
懦 5679
懣 5680
懶 5681
懺 5682
懴 5683
懿 5684
懽 5685
懼 5686
懾 5687
戀 5688
戈 5689
戉 5690
戍 5691
戌 5692
戔 5693
戛 5694
戞 5701
戡 5702
截 5703
戮 5704
戰 5705
戲 5706
戳 5707
扁 5708
扎 5709
扞 5710
扣 5711
扛 5712
扠 5713
扨 5714
扼 5715
抂 5716
抉 5717
找 5718
抒 5719
抓 5720
抖 5721
拔 5722
抃 5723
抔 5724
拗 5725
拑 5726
抻 5727
拏 5728
拿 5729
拆 5730
擔 5731
拈 5732
拜 5733
拌 5734
拊 5735
拂 5736
拇 5737
抛 5738
拉 5739
挌 5740
拮 5741
拱 5742
挧 5743
挂 5744
挈 5745
拯 5746
拵 5747
捐 5748
挾 5749
捍 5750
搜 5751
捏 5752
掖 5753
掎 5754
掀 5755
掫 5756
捶 5757
掣 5758
掏 5759
掉 5760
掟 5761
掵 5762
捫 5763
捩 5764
掾 5765
揩 5766
揀 5767
揆 5768
揣 5769
揉 5770
插 5771
揶 5772
揄 5773
搖 5774
搴 5775
搆 5776
搓 5777
搦 5778
搶 5779
攝 5780
搗 5781
搨 5782
搏 5783
摧 5784
摯 5785
摶 5786
摎 5787
攪 5788
撕 5789
撓 5790
撥 5791
撩 5792
撈 5793
撼 5794
據 5801
擒 5802
擅 5803
擇 5804
撻 5805
擘 5806
擂 5807
擱 5808
擧 5809
舉 5810
擠 5811
擡 5812
抬 5813
擣 5814
擯 5815
攬 5816
擶 5817
擴 5818
擲 5819
擺 5820
攀 5821
擽 5822
攘 5823
攜 5824
攅 5825
攤 5826
攣 5827
攫 5828
攴 5829
攵 5830
攷 5831
收 5832
攸 5833
畋 5834
效 5835
敖 5836
敕 5837
敍 5838
敘 5839
敞 5840
敝 5841
敲 5842
數 5843
斂 5844
斃 5845
變 5846
斛 5847
斟 5848
斫 5849
斷 5850
旃 5851
旆 5852
旁 5853
旄 5854
旌 5855
旒 5856
旛 5857
旙 5858
无 5859
旡 5860
旱 5861
杲 5862
昊 5863
昃 5864
旻 5865
杳 5866
昵 5867
昶 5868
昴 5869
昜 5870
晏 5871
晄 5872
晉 5873
晁 5874
晞 5875
晝 5876
晤 5877
晧 5878
晨 5879
晟 5880
晢 5881
晰 5882
暃 5883
暈 5884
暎 5885
暉 5886
暄 5887
暘 5888
暝 5889
曁 5890
暹 5891
曉 5892
暾 5893
暼 5894
曄 5901
暸 5902
曖 5903
曚 5904
曠 5905
昿 5906
曦 5907
曩 5908
曰 5909
曵 5910
曷 5911
朏 5912
朖 5913
朞 5914
朦 5915
朧 5916
霸 5917
朮 5918
朿 5919
朶 5920
杁 5921
朸 5922
朷 5923
杆 5924
杞 5925
杠 5926
杙 5927
杣 5928
杤 5929
枉 5930
杰 5931
枩 5932
杼 5933
杪 5934
枌 5935
枋 5936
枦 5937
枡 5938
枅 5939
枷 5940
柯 5941
枴 5942
柬 5943
枳 5944
柩 5945
枸 5946
柤 5947
柞 5948
柝 5949
柢 5950
柮 5951
枹 5952
柎 5953
柆 5954
柧 5955
檜 5956
栞 5957
框 5958
栩 5959
桀 5960
桍 5961
栲 5962
桎 5963
梳 5964
栫 5965
桙 5966
档 5967
桷 5968
桿 5969
梟 5970
梏 5971
梭 5972
梔 5973
條 5974
梛 5975
梃 5976
檮 5977
梹 5978
桴 5979
梵 5980
梠 5981
梺 5982
椏 5983
梍 5984
桾 5985
椁 5986
棊 5987
椈 5988
棘 5989
椢 5990
椦 5991
棡 5992
椌 5993
棍 5994
棔 6001
棧 6002
棕 6003
椶 6004
椒 6005
椄 6006
棗 6007
棣 6008
椥 6009
棹 6010
棠 6011
棯 6012
椨 6013
椪 6014
椚 6015
椣 6016
椡 6017
棆 6018
楹 6019
楷 6020
楜 6021
楸 6022
楫 6023
楔 6024
楾 6025
楮 6026
椹 6027
楴 6028
椽 6029
楙 6030
椰 6031
楡 6032
楞 6033
楝 6034
榁 6035
楪 6036
榲 6037
榮 6038
槐 6039
榿 6040
槁 6041
槓 6042
榾 6043
槎 6044
寨 6045
槊 6046
槝 6047
榻 6048
槃 6049
榧 6050
樮 6051
榑 6052
榠 6053
榜 6054
榕 6055
榴 6056
槞 6057
槨 6058
樂 6059
樛 6060
槿 6061

17 付録

17 付録

權 6062
槹 6063
槲 6064
槧 6065
樅 6066
榱 6067
樞 6068
槭 6069
樔 6070
槫 6071
樊 6072
樒 6073
櫁 6074
樣 6075
樓 6076
橄 6077
樌 6078
橲 6079
樶 6080
橸 6081
橇 6082
橢 6083
橙 6084
橦 6085
橈 6086
樸 6087
樢 6088
檐 6089
檍 6090
檠 6091
檄 6092
檢 6093
檣 6094

檗 6101
蘗 6102
檻 6103
櫃 6104
櫂 6105
檸 6106
檳 6107
檬 6108
櫞 6109
櫑 6110
櫟 6111
檪 6112
櫚 6113
櫪 6114
櫻 6115
欅 6116
蘖 6117
櫺 6118
欒 6119
欖 6120
鬱 6121
欟 6122
欸 6123
欷 6124
盜 6125
欹 6126
飮 6127
歇 6128
歃 6129
歉 6130
歐 6131
歙 6132
歔 6133
歛 6134
歟 6135
歡 6136
歸 6137
歹 6138
歿 6139
殀 6140
殄 6141
殃 6142
殍 6143
殘 6144
殕 6145
殞 6146
殤 6147
殪 6148
殫 6149
殯 6150
殲 6151
殱 6152
殳 6153
殷 6154
殼 6155
毆 6156
毋 6157
毓 6158
毟 6159
毬 6160
毫 6161
毳 6162
毯 6163
麾 6164
氈 6165
氓 6166
气 6167
氛 6168
氤 6169
氣 6170
汞 6171
汕 6172
汢 6173
汪 6174
沂 6175
沍 6176
沚 6177
沁 6178
沛 6179
汾 6180
汨 6181
汳 6182
沒 6183
沐 6184
泄 6185
泱 6186
泓 6187
沽 6188
泗 6189
泅 6190
泝 6191
沮 6192
沱 6193
沾 6194

沺 6201
泛 6202
泯 6203
泙 6204
泪 6205
洟 6206
衍 6207
洶 6208
洫 6209
洽 6210
洸 6211
洙 6212
洵 6213
洳 6214
洒 6215
洌 6216
浣 6217
涓 6218
浤 6219
浚 6220
浹 6221
浙 6222
涎 6223
涕 6224
濤 6225
涅 6226
淹 6227
渕 6228
渊 6229
涵 6230
淇 6231
淦 6232
涸 6233
淆 6234
淬 6235
淞 6236
淌 6237
淨 6238
淒 6239
淅 6240
淺 6241
淙 6242
淤 6243
淕 6244
淪 6245
淮 6246
渭 6247
湮 6248
渮 6249
渙 6250
湲 6251
湟 6252
渾 6253
渣 6254
湫 6255
渫 6256
湶 6257
湍 6258
渟 6259
湃 6260
渺 6261
湎 6262
渤 6263
滿 6264
渝 6265
游 6266
溂 6267
溪 6268
溘 6269
滉 6270
溷 6271
滓 6272
溽 6273
溯 6274
滄 6275
溲 6276
滔 6277
滕 6278
溏 6279
溥 6280
滂 6281
溟 6282
潁 6283
漑 6284
灌 6285
滬 6286
滸 6287
滾 6288
漿 6289
滲 6290
漱 6291
滯 6292
漲 6293
滌 6294

漾 6301
漓 6302
滷 6303
澆 6304
潺 6305
潸 6306
澁 6307
澀 6308
潯 6309
潛 6310
濳 6311
潭 6312
澂 6313
潼 6314
潘 6315
澎 6316
澑 6317
濂 6318
潦 6319
澳 6320
澣 6321
澡 6322
澤 6323
澹 6324
濆 6325
澪 6326
濟 6327
濕 6328
濬 6329
濔 6330
濘 6331
濱 6332
濮 6333
濛 6334
瀉 6335
瀋 6336
濺 6337
瀑 6338
瀁 6339
瀏 6340
濾 6341
瀛 6342
瀚 6343
潴 6344
瀝 6345
瀘 6346
瀟 6347
瀰 6348
瀾 6349
瀲 6350
灑 6351
灣 6352
炙 6353
炒 6354
炯 6355
烱 6356
炬 6357
炸 6358
炳 6359
炮 6360
烟 6361
烋 6362
烝 6363
烙 6364
焉 6365
烽 6366
焜 6367
焙 6368
煥 6369
煕 6370
熈 6371
煦 6372
煢 6373
煌 6374
煖 6375
煬 6376
熏 6377
燻 6378
熄 6379
熕 6380
熨 6381
熬 6382
燗 6383
熹 6384
熾 6385
燒 6386
燉 6387
燔 6388
燎 6389
燠 6390
燬 6391
燧 6392
燵 6393
燼 6394

燹 6401
燿 6402
爍 6403
爐 6404
爛 6405
爨 6406
爭 6407
爬 6408
爰 6409
爲 6410
爻 6411
爼 6412
爿 6413
牀 6414
牆 6415
牋 6416
牘 6417
牴 6418
牾 6419
犂 6420
犁 6421
犇 6422
犒 6423
犖 6424
犢 6425
犧 6426
犹 6427
犲 6428
狃 6429
狆 6430
狄 6431
狎 6432
狒 6433
狢 6434
狠 6435
狡 6436
狹 6437
狷 6438
倏 6439
猗 6440
猊 6441
猜 6442
猖 6443
猝 6444
猴 6445
猯 6446
猩 6447
猥 6448
猾 6449
獎 6450
獏 6451
默 6452
獗 6453
獪 6454
獨 6455
獰 6456
獸 6457
獵 6458
獻 6459
獺 6460
珈 6461
玳 6462
珎 6463
玻 6464
珀 6465
珥 6466
珮 6467
珞 6468
璢 6469
琅 6470
瑯 6471
琥 6472
珸 6473
琲 6474
琺 6475
瑕 6476
琿 6477
瑟 6478
瑙 6479
瑁 6480
瑜 6481
瑩 6482
瑰 6483
瑣 6484
瑪 6485
瑶 6486
瑾 6487
璋 6488
璞 6489
璧 6490
瓊 6491
瓏 6492
瓔 6493
珱 6494

瓠 6501
瓣 6502
瓧 6503
瓩 6504
瓮 6505
瓲 6506
瓰 6507
瓱 6508
瓸 6509
瓷 6510
甄 6511
甃 6512
甅 6513
甌 6514
甎 6515
甍 6516
甕 6517
甓 6518
甞 6519
甦 6520
甬 6521
甼 6522
畄 6523
畍 6524
畊 6525
畉 6526
畛 6527
畆 6528
畚 6529
畩 6530
畤 6531
畧 6532
畫 6533
畭 6534
畸 6535
當 6536
疆 6537
疇 6538
畴 6539
疊 6540
疉 6541
疂 6542
疔 6543
疚 6544
疝 6545
疥 6546
疣 6547
痂 6548
疳 6549
痃 6550
疵 6551
疽 6552
疸 6553
疼 6554
疱 6555
痍 6556
痊 6557
痒 6558
痙 6559
痣 6560
痞 6561
痾 6562
痿 6563
痼 6564
瘁 6565
痰 6566
痺 6567
痲 6568
痳 6569
瘋 6570
瘍 6571
瘉 6572
瘟 6573
瘧 6574
瘠 6575
瘡 6576
瘢 6577
瘤 6578
瘴 6579
瘰 6580
瘻 6581
癇 6582
癈 6583
癆 6584
癜 6585
癘 6586
癡 6587
癢 6588
癨 6589
癩 6590
癪 6591
癧 6592
癬 6593
癰 6594

癲 6601
癶 6602
癸 6603
發 6604
皀 6605
皃 6606
皈 6607
皋 6608
皎 6609
皖 6610
皓 6611
皙 6612
皚 6613
皰 6614
皴 6615
皸 6616
皹 6617
皺 6618
盂 6619
盍 6620
盖 6621
盒 6622
盞 6623
盡 6624
盥 6625
盧 6626
盪 6627
蘯 6628
盻 6629
眈 6630
眇 6631
眄 6632
眩 6633
眤 6634
眞 6635
眥 6636
眦 6637
眛 6638
眷 6639
眸 6640
睇 6641
睚 6642
睨 6643
睫 6644
睛 6645
睥 6646
睿 6647
睾 6648
睹 6649
瞎 6650
瞋 6651
瞑 6652
瞠 6653
瞞 6654
瞰 6655
瞶 6656
瞹 6657
瞿 6658
瞼 6659
瞽 6660
瞻 6661
矇 6662
矍 6663
矗 6664
矚 6665
矜 6666
矣 6667
矮 6668
矼 6669
砌 6670
砒 6671
礦 6672
砠 6673
礪 6674
硅 6675
碎 6676
硴 6677
碆 6678
硼 6679
碚 6680
碌 6681
碣 6682
碵 6683
碪 6684
碯 6685
磑 6686
磆 6687
磋 6688
磔 6689
碾 6690
碼 6691
磅 6692
磊 6693
磬 6694

磧 6701
磚 6702
磽 6703
磴 6704
礇 6705
礒 6706
礑 6707
礙 6708
礬 6709
礫 6710
祀 6711
祠 6712
祗 6713
祟 6714
祚 6715
祕 6716
祓 6717
祺 6718
祿 6719
禊 6720
禝 6721
禧 6722
齋 6723
禪 6724
禮 6725
禳 6726
禹 6727
禺 6728
秉 6729
秕 6730
秧 6731
秬 6732
秡 6733
秣 6734
稈 6735
稍 6736
稘 6737
稙 6738
稠 6739
稟 6740
禀 6741
稱 6742
稻 6743
稾 6744
稷 6745
穃 6746
穗 6747
穉 6748
穡 6749
穢 6750
穩 6751
龝 6752
穰 6753
穹 6754
穽 6755
窈 6756
窗 6757
窕 6758
窘 6759
窖 6760
窩 6761
竈 6762
窰 6763
窶 6764
竅 6765
竄 6766
窿 6767
邃 6768
竇 6769
竊 6770
竍 6771
竏 6772
竕 6773
竓 6774
站 6775
竚 6776
竝 6777
竡 6778

竢 6779
竦 6780
竭 6781
竰 6782
笂 6783
笏 6784
笊 6785
笆 6786
笳 6787
笘 6788
笙 6789
笞 6790
笵 6791
笨 6792
笶 6793
筐 6794

筺 6801
笄 6802
筍 6803
笋 6804
筌 6805
筅 6806
筵 6807
筥 6808
筴 6809
筧 6810
筰 6811
筱 6812
筬 6813
筮 6814
箝 6815
箘 6816
箟 6817
箍 6818
箜 6819
箚 6820
箋 6821
箒 6822
箏 6823
筝 6824
箙 6825
篋 6826
篁 6827
篌 6828
篏 6829
箴 6830
篆 6831
篝 6832
篩 6833
簑 6834
簔 6835
篦 6836
篥 6837
籠 6838
簀 6839
簇 6840
簓 6841
篳 6842
篷 6843
簗 6844
簍 6845
篶 6846
簣 6847
簧 6848
簪 6849
簟 6850
簷 6851
簫 6852
簽 6853
籌 6854
籃 6855
籔 6856
籏 6857
籀 6858
籐 6859
籘 6860
籟 6861
籤 6862
籖 6863
籥 6864
籬 6865
籵 6866
粃 6867
粐 6868
粤 6869
粭 6870
粢 6871
粫 6872
粡 6873
粨 6874
粳 6875
粲 6876
粱 6877
粮 6878
粹 6879
粽 6880
糀 6881
糅 6882
糂 6883
糘 6884
糒 6885
糜 6886
糢 6887
鬻 6888
糯 6889
糲 6890
糴 6891
糶 6892
糺 6893
紆 6894

紂 6901
紜 6902
紕 6903
紊 6904
絅 6905
絋 6906
紮 6907
紲 6908
紿 6909
紵 6910
絆 6911
絳 6912
絖 6913
絎 6914
絲 6915
絨 6916
絮 6917
絏 6918
絣 6919
經 6920
綉 6921
絛 6922
綏 6923
絽 6924
綛 6925
綺 6926
綮 6927
綣 6928
綵 6929
緇 6930
綽 6931
綫 6932
總 6933
綢 6934
綯 6935
緜 6936
綸 6937
綟 6938
綰 6939
緘 6940
緝 6941
緤 6942
緞 6943
緻 6944
緲 6945
緡 6946
縅 6947
縊 6948
縣 6949
縡 6950
縒 6951
縱 6952
縟 6953
縉 6954
縋 6955
縢 6956
繆 6957
繦 6958
縻 6959
縵 6960
縹 6961
繃 6962
縷 6963
縲 6964
縺 6965
繧 6966
繝 6967
繖 6968
繞 6969
繙 6970
繚 6971
繹 6972
繪 6973
繩 6974
繼 6975
繻 6976
纃 6977
緕 6978
繽 6979
辮 6980
繿 6981
纈 6982
纉 6983
續 6984
纒 6985
纐 6986
纓 6987
纔 6988
纖 6989
纎 6990
纛 6991
纜 6992
缸 6993
缺 6994

罅 7001
罌 7002
罍 7003
罎 7004
罐 7005
网 7006
罕 7007
罔 7008
罘 7009
罟 7010
罠 7011
罨 7012
罩 7013
罧 7014
罸 7015
羂 7016
羆 7017
羃 7018
羈 7019
羇 7020
羌 7021
羔 7022
羞 7023
羝 7024
羚 7025
羣 7026
羯 7027
羲 7028
羹 7029
羮 7030
羶 7031
羸 7032
譱 7033
翅 7034
翆 7035
翊 7036
翕 7037
翔 7038
翡 7039
翦 7040
翩 7041
翳 7042
翹 7043
飜 7044
耆 7045
耄 7046
耋 7047
耒 7048
耘 7049
耙 7050
耜 7051
耡 7052
耨 7053
耿 7054
耻 7055
聊 7056
聆 7057
聒 7058
聘 7059
聚 7060
聟 7061
聢 7062
聨 7063
聳 7064
聲 7065
聰 7066
聶 7067
聹 7068
聽 7069
聿 7070
肄 7071
肆 7072
肅 7073
肛 7074
肓 7075
肚 7076
肭 7077
冐 7078
肬 7079
胛 7080
胥 7081
胙 7082
胝 7083
胄 7084
胚 7085
胖 7086
脉 7087
胯 7088
胱 7089
脛 7090
脩 7091
脣 7092
脯 7093
腋 7094

隋 7101
腆 7102
脾 7103
腓 7104
腑 7105
胼 7106
腱 7107
腮 7108
腥 7109
腦 7110
腴 7111
膃 7112
膈 7113
膊 7114
膀 7115
膂 7116
膠 7117
膕 7118
膤 7119
膣 7120
腟 7121
膓 7122
膩 7123
膰 7124
膵 7125
膾 7126
膸 7127
膽 7128
臀 7129
臂 7130
膺 7131
臉 7132
臍 7133
臑 7134
臙 7135
臘 7136
臈 7137
臚 7138
臟 7139
臠 7140
臧 7141
臺 7142
臻 7143
臾 7144
舁 7145
舂 7146
舅 7147
與 7148
舊 7149
舍 7150
舐 7151
舖 7152
舩 7153
舫 7154
舸 7155
舳 7156
艀 7157
艙 7158
艘 7159
艝 7160
艚 7161
艟 7162
艤 7163
艢 7164
艨 7165
艪 7166
艫 7167
舮 7168
艱 7169
艷 7170
艸 7171
艾 7172
芍 7173
芒 7174
芫 7175
芟 7176
芻 7177
芬 7178
苡 7179
苣 7180
苟 7181
苒 7182
苴 7183
苳 7184
苺 7185
莓 7186
范 7187
苻 7188
苹 7189
苞 7190
茆 7191
苜 7192
茉 7193
苙 7194

茵 7201
茴 7202
茖 7203
茲 7204
茱 7205
荀 7206
茹 7207
荐 7208
荅 7209
茯 7210
茫 7211
茗 7212
茘 7213
莅 7214
莚 7215
莪 7216
莟 7217
莢 7218
莖 7219
茣 7220
莎 7221
莇 7222
莊 7223
荼 7224
莵 7225
荳 7226
荵 7227
莠 7228
莉 7229
莨 7230
菴 7231
萓 7232
菫 7233
菎 7234
菽 7235
萃 7236
菘 7237
萋 7238
菁 7239
菷 7240
萇 7241
菠 7242
菲 7243
萍 7244
萢 7245
萠 7246
莽 7247
萸 7248
蔆 7249
菻 7250
葭 7251
萪 7252
萼 7253
蕚 7254
蒄 7255
葷 7256
葫 7257
蒭 7258
葮 7259
蒂 7260
葩 7261
葆 7262
萬 7263
葯 7264
葹 7265
萵 7266
蓊 7267
葢 7268
蒹 7269
蒿 7270
蒟 7271
蓙 7272
蓍 7273
蒻 7274
蓚 7275
蓐 7276
蓁 7277
蓆 7278
蓖 7279
蒡 7280
蔡 7281
蓿 7282
蓴 7283
蔗 7284
蔘 7285
蔬 7286
蔟 7287
蔕 7288
蔔 7289
蓼 7290
蕀 7291
蕣 7292
蕘 7293
蕈 7294

蕁 7301
蘂 7302
蕋 7303
蕕 7304
薀 7305
薤 7306
薈 7307
薑 7308
薊 7309
薨 7310
蕭 7311
薔 7312
薛 7313
藪 7314
薇 7315
薜 7316
蕷 7317
蕾 7318
薐 7319
藉 7320
薺 7321
藏 7322
薹 7323
藐 7324
藕 7325
藝 7326
藥 7327
藜 7328
藹 7329
蘊 7330
蘓 7331
蘋 7332
藾 7333
藺 7334
蘆 7335
蘢 7336
蘚 7337
蘰 7338
蘿 7339
虍 7340
乕 7341
虔 7342
號 7343
虧 7344
虱 7345
蚓 7346
蚣 7347
蚩 7348
蚪 7349
蚋 7350
蚌 7351
蚶 7352
蚯 7353
蛄 7354
蛆 7355
蚰 7356
蛉 7357
蠣 7358
蚫 7359
蛔 7360
蛞 7361
蛩 7362
蛬 7363
蛟 7364
蛛 7365
蛯 7366
蜒 7367
蜆 7368
蜈 7369
蜀 7370
蜃 7371
蛻 7372
蜑 7373
蜉 7374
蜍 7375
蛹 7376
蜊 7377
蜴 7378
蜿 7379
蜷 7380
蜻 7381
蜥 7382
蜩 7383
蜚 7384
蝠 7385
蝟 7386
蝸 7387
蝌 7388
蝎 7389
蝴 7390
蝗 7391
蝨 7392
蝮 7393
蝙 7394

蝓 7401
蝣 7402
蝪 7403
蠅 7404
螢 7405
螟 7406
螂 7407
螯 7408
蟋 7409
螽 7410
蟀 7411
蟐 7412
雖 7413
螫 7414
蟄 7415
螳 7416
蟇 7417
蟆 7418
螻 7419
蟯 7420
蟲 7421
蟠 7422
蠏 7423
蠍 7424
蟾 7425
蟶 7426
蟷 7427
蠎 7428
蟒 7429
蠑 7430
蠖 7431
蠕 7432
蠢 7433
蠡 7434
蠱 7435
蠶 7436
蠹 7437
蠧 7438
蠻 7439
衄 7440
衂 7441
衒 7442
衙 7443
衞 7444
衢 7445
衫 7446
袁 7447
衾 7448
袞 7449
衵 7450
衽 7451
袵 7452
衲 7453
袂 7454
袗 7455
袒 7456
袮 7457
袙 7458
袢 7459
袍 7460
袤 7461
袰 7462
袿 7463
袱 7464
裃 7465
裄 7466
裔 7467
裘 7468
裙 7469
裝 7470
裹 7471
褂 7472
裼 7473
裴 7474
裨 7475
裲 7476
褄 7477
褌 7478
褊 7479
褓 7480
襃 7481
褞 7482
褥 7483
褪 7484
褫 7485
襁 7486
襄 7487
褻 7488
褶 7489
褸 7490
襌 7491
褝 7492
襠 7493
襞 7494

襦 7501	諧 7563	貍 7630	踰 7692	轉 7759	邵 7826	銹 7888	钁 7955	雍 8022	頸 8084	駻 8151
襤 7502	諤 7564	貎 7631	踴 7693	轆 7760	郢 7827	銷 7889	鑿 7956	襍 8023	頤 8085	駸 8152
襭 7503	諱 7565	貔 7632	蹊 7694	轎 7761	郤 7828	鋩 7890	閂 7957	雜 8024	頡 8086	騁 8153
襪 7504	謔 7566	豼 7633		轗 7762	扈 7829	錏 7891	閇 7958	霍 8025	頷 8087	騏 8154
襯 7505	諠 7567	貘 7634	蹇 7701	轜 7763	郛 7830	鋺 7892	閊 7959	雕 8026	頽 8088	騅 8155
襴 7506	諢 7568	戝 7635	蹉 7702	轢 7764	鄂 7831	鍄 7893	閔 7960	雹 8027	顆 8089	駢 8156
襷 7507	諷 7569	貭 7636	蹌 7703	轣 7765	鄒 7832	錮 7894	閖 7961	霄 8028	顏 8090	騙 8157
襾 7508	諞 7570	貪 7637	蹐 7704	轤 7766	鄙 7833		閘 7962	霆 8029	顋 8091	騫 8158
覃 7509	諛 7571	貽 7638	蹈 7705	辜 7767	鄲 7834	錙 7901	閙 7963	霈 8030	顫 8092	騷 8159
覈 7510	謌 7572	貲 7639	蹙 7706	辟 7768	鄰 7835	錢 7902	閠 7964	霓 8031	顯 8093	驅 8160
覊 7511	謇 7573	貳 7640	蹤 7707	辣 7769	酊 7836	錚 7903	閨 7965	霎 8032	顰 8094	驂 8161
覓 7512	謚 7574	貮 7641	蹠 7708	辭 7770	酖 7837	錣 7904	閧 7966	霑 8033		驀 8162
覘 7513	諡 7575	貶 7642	踪 7709	辯 7771	酘 7838	錺 7905	閭 7967	霏 8034	顱 8101	驃 8163
覡 7514	謖 7576	賈 7643	蹣 7710	辷 7772	酣 7839	錵 7906	閼 7968	霖 8035	顴 8102	騾 8164
覩 7515	謐 7577	賁 7644	蹕 7711	迚 7773	酥 7840	錻 7907	閻 7969	霙 8036	顳 8103	驕 8165
覦 7516	謗 7578	賤 7645	蹶 7712	迥 7774	酩 7841	鍜 7908	閹 7970	霤 8037	颪 8104	驍 8166
覬 7517	謠 7579	賣 7646	蹲 7713	迢 7775	酳 7842	鍠 7909	閾 7971	霪 8038	颯 8105	驛 8167
覯 7518	謳 7580	賚 7647	蹼 7714	迪 7776	酲 7843	鍼 7910	闊 7972	霰 8039	颱 8106	驗 8168
覲 7519	鞫 7581	賽 7648	躁 7715	迯 7777	醋 7844	鍮 7911	濶 7973	霹 8040	颶 8107	驟 8169
覺 7520	謦 7582	賺 7649	躇 7716	邇 7778	醉 7845	鍖 7912	闃 7974	霽 8041	飄 8108	驢 8170
覽 7521	謫 7583	賻 7650	躅 7717	迴 7779	醂 7846	鎰 7913	闍 7975	霾 8042	飃 8109	驥 8171
覿 7522	謾 7584	贄 7651	躄 7718	逅 7780	醢 7847	鎬 7914	闌 7976	靄 8043	飆 8110	驤 8172
觀 7523	謨 7585	贅 7652	躋 7719	迹 7781	醫 7848	鎭 7915	闕 7977	靆 8044	飩 8111	驩 8173
觚 7524	譁 7586	贊 7653	躊 7720	迺 7782	醯 7849	鎔 7916	闔 7978	靈 8045	飫 8112	驫 8174
觜 7525	譌 7587	贇 7654	躓 7721	逑 7783	醪 7850	鎹 7917	闖 7979	靂 8046	餃 8113	驪 8175
觝 7526	譏 7588	贏 7655	躑 7722	逕 7784	醵 7851	鏖 7918	關 7980	靉 8047	餉 8114	骭 8176
觧 7527	譎 7589	贍 7656	躔 7723	逡 7785	醴 7852	鏗 7919	闡 7981	靜 8048	餒 8115	骰 8177
觴 7528	證 7590	贐 7657	躙 7724	逍 7786	醺 7853	鏨 7920	闥 7982	靠 8049	餔 8116	骼 8178
觸 7529	譖 7591	齎 7658	躪 7725	逞 7787	釀 7854	鏥 7921	闢 7983	靤 8050	餘 8117	髀 8179
訃 7530	譛 7592	贓 7659	躡 7726	逖 7788	釁 7855	鏘 7922	阡 7984	靦 8051	餡 8118	髏 8180
訖 7531	譚 7593	賍 7660	躬 7727	逋 7789	釉 7856	鏃 7923	阨 7985	靨 8052	餝 8119	髑 8181
訐 7532	譫 7594	贔 7661	躰 7728	逧 7790	釋 7857	鏝 7924	阮 7986	勒 8053	餞 8120	髓 8182
訌 7533		贖 7662	軆 7729	逶 7791	釐 7858	鏐 7925	阯 7987	靫 8054	餤 8121	體 8183
訛 7534	譟 7601	赧 7663	躱 7730	逵 7792	釖 7859	鏈 7926	陂 7988	靱 8055	餠 8122	髞 8184
訝 7535	譬 7602	赭 7664	躾 7731	逹 7793	釟 7860	鏤 7927	陌 7989	靹 8056	餬 8123	髟 8185
訥 7536	譯 7603	赱 7665	軅 7732	迸 7794	釡 7861	鐚 7928	陏 7990	鞅 8057	餮 8124	髢 8186
訶 7537	譴 7604	赳 7666	軈 7733		釛 7862	鐔 7929	陋 7991	靼 8058	餽 8125	髣 8187
詁 7538	譽 7605	趁 7667	軋 7734	遏 7801	釼 7863	鐓 7930	陷 7992	鞁 8059	餾 8126	髦 8188
詛 7539	讀 7606	趙 7668	軛 7735	遐 7802	釵 7864	鐃 7931	陜 7993	靺 8060	饂 8127	髯 8189
詒 7540	讌 7607	跂 7669	軣 7736	遑 7803	釶 7865	鐇 7932	陞 7994	鞆 8061	饉 8128	髫 8190
詆 7541	讎 7608	趾 7670	軼 7737	遒 7804	鈞 7866	鐐 7933		鞋 8062	饅 8129	髮 8191
詈 7542	讒 7609	趺 7671	軻 7738	逎 7805	釿 7867	鐶 7934	陝 8001	鞏 8063	饐 8130	髴 8192
詼 7543	讓 7610	跏 7672	軫 7739	遉 7806	鈔 7868	鐫 7935	陟 8002	鞐 8064	饋 8131	髱 8193
詭 7544	讖 7611	跚 7673	軾 7740	逾 7807	鈬 7869	鐵 7936	陦 8003	鞜 8065	饑 8132	髷 8194
詬 7545	讙 7612	跖 7674	輊 7741	遖 7808	鈕 7870	鐡 7937	陲 8004	鞨 8066	饒 8133	
詢 7546	讚 7613	跌 7675	輅 7742	遘 7809	鈑 7871	鐺 7938	陬 8005	鞦 8067	饌 8134	髻 8201
誅 7547	谺 7614	跛 7676	輕 7743	遞 7810	鉞 7872	鑁 7939	隍 8006	鞣 8068	饕 8135	鬆 8202
誂 7548	豁 7615	跋 7677	輒 7744	遨 7811	鉗 7873	鑒 7940	隘 8007	鞳 8069	馗 8136	鬘 8203
誄 7549	谿 7616	跪 7678	輙 7745	遯 7812	鉅 7874	鑄 7941	隕 8008	鞴 8070	馘 8137	鬚 8204
誨 7550	豈 7617	跫 7679	輓 7746	遶 7813	鉉 7875	鑛 7942	隗 8009	韃 8071	馥 8138	鬟 8205
誡 7551	豌 7618	跟 7680	輜 7747	隨 7814	鉤 7876	鑠 7943	險 8010	韆 8072	馭 8139	鬢 8206
誑 7552	豎 7619	跣 7681	輟 7748	遲 7815	鉈 7877	鑢 7944	隧 8011	韈 8073	馮 8140	鬣 8207
誥 7553	豐 7620	跼 7682	輛 7749	邂 7816	銕 7878	鑞 7945	隱 8012	韋 8074	馼 8141	鬥 8208
誦 7554	豕 7621	踈 7683	輌 7750	遽 7817	鈿 7879	鑪 7946	隲 8013	韜 8075	駟 8142	鬧 8209
誚 7555	豢 7622	踉 7684	輦 7751	邁 7818	鉋 7880	鈩 7947	隰 8014	韭 8076	駛 8143	鬨 8210
誣 7556	豬 7623	跿 7685	輳 7752	邀 7819	鉐 7881	鑰 7948	隴 8015	齏 8077	駝 8144	鬩 8211
諄 7557	豸 7624	踝 7686	輻 7753	邊 7820	銜 7882	鑵 7949	隶 8016	韲 8078	駘 8145	鬪 8212
諍 7558	豺 7625	踞 7687	輹 7754	邉 7821	銖 7883	鑷 7950	隸 8017	竟 8079	駑 8146	鬮 8213
諂 7559	貂 7626	踐 7688	轅 7755	邏 7822	銓 7884	鑽 7951	隹 8018	韶 8080	駭 8147	鬯 8214
諚 7560	貉 7627	踟 7689	轂 7756	邨 7823	銛 7885	鑚 7952	雎 8019	韵 8081	駮 8148	鬲 8215
諫 7561	貅 7628	蹂 7690	輾 7757	邯 7824	鉚 7886	鑼 7953	雋 8020	頏 8082	駱 8149	魄 8216
諳 7562	貊 7629	踵 7691	轌 7758	邱 7825	鋏 7887	鑾 7954	雉 8021	頌 8083	駲 8150	魃 8217

魏 8218	鴃 8280	麩 8347
魍 8219	鴆 8281	麸 8348
魎 8220	鴪 8282	麪 8349
魑 8221	鴦 8283	麭 8350
魘 8222	鶯 8284	靡 8351
魴 8223	鴣 8285	黌 8352
鮓 8224	鴟 8286	黎 8353
鮃 8225	鵄 8287	黏 8354
鮑 8226	鴕 8288	黐 8355
鮖 8227	鴒 8289	黔 8356
鮗 8228	鵁 8290	黜 8357
鮟 8229	鴿 8291	點 8358
鮠 8230	鴾 8292	黝 8359
鮨 8231	鵆 8293	黠 8360
鮴 8232	鵈 8294	黥 8361
鯀 8233		黨 8362
鯊 8234	鵝 8301	黯 8363
鮹 8235	鵞 8302	黴 8364
鯆 8236	鵤 8303	黶 8365
鯏 8237	鵑 8304	黷 8366
鯑 8238	鵐 8305	黹 8367
鯒 8239	鵙 8306	黻 8368
鯣 8240	鵲 8307	黼 8369
鯢 8241	鶉 8308	黽 8370
鯤 8242	鶇 8309	鼇 8371
鯔 8243	鶫 8310	鼈 8372
鯡 8244	鵯 8311	皷 8373
鰺 8245	鵺 8312	鼕 8374
鯲 8246	鶚 8313	鼡 8375
鯱 8247	鶤 8314	鼬 8376
鯰 8248	鶩 8315	鼾 8377
鰕 8249	鶲 8316	齊 8378
鰔 8250	鷄 8317	齒 8379
鰉 8251	鷁 8318	齔 8380
鰓 8252	鶻 8319	齣 8381
鰌 8253	鶸 8320	齟 8382
鰆 8254	鶺 8321	齠 8383
鰈 8255	鷆 8322	齡 8384
鰒 8256	鷏 8323	齦 8385
鰊 8257	鷂 8324	齧 8386
鰄 8258	鷙 8325	齬 8387
鰮 8259	鷓 8326	齪 8388
鰛 8260	鷸 8327	齷 8389
鰥 8261	鷦 8328	齲 8390
鰤 8262	鷭 8329	齶 8391
鰡 8263	鷯 8330	龕 8392
鰰 8264	鷽 8331	龜 8393
鱇 8265	鸚 8332	龠 8394
鰲 8266	鸛 8333	
鱆 8267	鸞 8334	堯 8401
鰾 8268	鹵 8335	槇 8402
鱚 8269	鹹 8336	遙 8403
鱠 8270	鹽 8337	瑤 8404
鱧 8271	麁 8338	凜 8405
鱶 8272	麈 8339	熙 8406
鱸 8273	麋 8340	
鳧 8274	麌 8341	
鳬 8275	麒 8342	
鳰 8276	麕 8343	
鴉 8277	麑 8344	
鴈 8278	麝 8345	
鳫 8279	麥 8346	

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター
総合案内 ボーダフォン携帯電話から157(無料)
紛失・故障受付 ボーダフォン携帯電話から113(無料)

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-259-113(無料)
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-247-113(無料)
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

索引

あ

アラームを鳴らす 14-8
暗証番号 1-25
E-アニメータ 11-20
インデックスメニュー 1-21
ウェイクアップ 6-18
運転中モード 15-7
英数字入力モード 3-2
F 機能一覧 17-2
絵文字コード入力モード 3-2、3-10
応答保留 2-21
オーナー情報 2-33、4-28
オールリセット 12-9
オススメメニュー 1-22
オフラインモード 14-43
オリジナル着信音 7-12
オリジナル音色 7-28
音色オクターブ設定 7-34
音声メモ 2-27、14-27

か

カーソル 3-6
ガイド機能 14-48
各ボタンに割り当てられた文字 3-4
画像一覧表示 11-5
画像装飾 11-31
画像分割メール 5-49、11-12
カタカナ入力モード 3-2
カナ英数字変換 3-21
かな入力方式 3-2
壁紙 6-2
画面表示設定
　壁紙設定 6-2
　マーク表示設定 6-3
　マイキャラクタ 6-17
　文字表示設定 3-16
カレンダー 6-7
簡易電卓 14-46
簡易留守録 14-5
　解除する 14-6
　設定する 14-5
　用件を聞く 14-6
　用件を消去する 14-7
　呼出し時間(応答時間)変更 14-7
簡易ロック 12-3
漢字(ひらがな)入力モード 3-2、3-6
簡単アニメ 11-17
キッチンタイマー 14-26
クイックオペレーション 1-24
区点コード入力モード 3-2、3-12
クローズ終話設定 2-3
圏外 17-9
言語選択 6-19
交換機用暗証番号 1-25
国際発信 14-3
声のメモを録音する 14-27
誤動作防止 12-2

さ

サービス呼出し時間 15-6
サイドキー設定 14-4
サイレント 7-3
サウンド再生音量 7-8
サブディスプレイ 1-10、6-8
三者通話サービス 15-9
　相手を切り替えながら通話する 15-9
　３人で同時に通話する 15-10
　他の２人だけの通話 15-10
　もう一人へ電話をかける 15-9
シークレットモード 4-24
時刻を合わせる 2-4
指定着信音 4-8
指定着信許可 12-5
指定着信拒否 12-5
自動電源 OFF 14-15
自動電源 ON 14-11
自分の電話番号を表示する(自局電話番号) 2-33
車載簡易留守 14-8

- 写メール 5-48
- 写メールモード 5-6、5-8
- 受話音量調節 2-26
- 照明設定 6-15
- スーパーメールに添付する 5-48、11-12
- スクリーンアニメ 6-4
- スケジュール 14-16
- ステップ 7-3
- ストップウォッチ 14-25
- スピーカー受話 7-11
- スピーカーホン 7-11
- スピードダイヤル 4-17
- スポットライト 14-28
- 西暦を合わせる 2-4
- 設定リセット 12-9
- セット発信 14-3
- 操作音
  - 音量調整 7-9
  - 時間設定 7-10
  - パターン設定 7-8
- 操作用暗証番号 1-25
  - 変更 12-8
- 即時表示 2-32

た

- ダイヤル禁止 12-5
- ダイヤル操作禁止 12-2
- ダウンロード辞書 3-27、11-54
- 着信 2-10
- 着信音
  - 音量調整 7-2
  - 着信パターン設定 7-3
  - 着信呼出時間 7-7
  - バイブパターン 7-6
  - バイブレータ 7-5
  - ランプ設定 7-6
- 着信音出力切替 7-10
- 着信用ボイス録音 7-11
- 着信履歴 2-12
- 着信留守電転送 15-5
- 通話時間 2-30
- 通話内容を録音 14-27
- 通話品質アラーム 14-2
- 通話明細を表示する 2-32
- 通話料金 2-31
- Disney スタイル 6-4
- DPOF 5-35
- データフォルダ 11-2
  - 新しくフォルダを作成する 11-12
  - ファイルを確認する 11-5
  - ファイルをコピーする 11-16
  - フォルダを移動する 11-15
  - フォルダやファイルを消去する 11-14
  - フォルダやファイル名の変更 11-13
  - フォルダを保護する 11-14
  - 画像の外部出力 11-55
- テキストメモ 3-28
- デジタルカメラモード 5-6、5-8
- 電子ブック 11-50
- 転送電話サービス 15-3
  - 転送先の電話番号を登　する 15-3
  - 転送設定を確認する 15-4
  - 転送を開始する 15-3
  - 転送を停止する 15-4
- 電池レベル（電池残量表示） 1-12
- 電話を受ける 2-10
- 電話をかける 2-6
  - 以前にかけた番号に（リダイヤル） 2-8
  - かけてきた方に（着信履歴） 2-12
  - 登　してある番号に（メモリダイヤル） 4-14
- 電話を切る 2-7
- 登録
  - オーナー情報 4-28
  - オリジナル着信音 7-12
  - オリジナル音色 7-28
  - スケジュール 14-16
  - 着信履歴の電話番号 4-6
  - テキストメモ 3-28
  - メモリダイヤル 4-2
  - ユーザー辞書 3-25
  - リダイヤルの電話番号 4-6
- 時計 2-4
  - アラーム 14-8
  - 時刻を合わせる 2-4
- 時計表示設定 6-7

な

- ノートパッドメモリ 2-28

は

- バーコード 14-30
  - 作成 14-37
  - 読み取り 14-31
- 背景アニメ 6-6
- 背景パターン 6-17
- バイブパターン 7-6
- バイブレータ 7-5
- パソコン通信 14-50
- バッテリーセーブ 14-44
- パネル明るさ調整 6-16
- パネルセーブ 14-44
- パノラマ合成 11-39
- ピクチャーコール／メール 4-11
- 日付を合わせる 2-4
- FAX 通信 14-50
- ファンクションメニュー 1-22
- フェイスアレンジ 11-32
- フォト 4-5
- 不在時の着信お知らせ表示 2-17
- プッシュトーン 14-2
- ボイスレコーダー 9-2
  - 再生する 9-6
  - 　音する 9-2
- ボーダフォンライブ！アニメ 6-6
- ポケベル入力方式 3-13

ま

- マイキャラクタ 6-17
- マイク付液晶オーディオリモコン 14-49
- マイボイスメモ 14-27
- 待受画面 2-2
- マナーモード 2-23
- マネー積算メモ 14-47
- ムービー写メールモード 5-17、5-19
- ムービングフォトフレーム 11-35
- メールコール 4-10
- メールフォルダー 4-12
- メニュー 1-21
- メモリカード 10-2
- メモリ確認 5-23
- メモリダイヤル 4-2
  - 画像（フォト）の登　 4-5
  - グループ着信音の設定 4-20
  - グループ名の変更 4-20
  - グループを指定して呼び出す 4-16
  - 修正・変更 4-18
  - 消去 4-19
  - 使用を禁止する（メモリ使用禁止） 12-4
  - 作る（登　） 4-3
  - 登　件数を確認する 4-7
  - 検索方法を選ぶ 4-14
  - 秘密のメモリダイヤルを作る 4-23
  - メモリ番号を入力して呼び出す 4-15
  - 「ヨミ」の行を指定して呼び出す 4-15
  - 「ヨミ」を入力して呼び出す 4-16
- メモリ番号 4-4、4-15
- 文字の入力方法 3-4
- 文字表示設定 3-16
- 文字読み取り 14-41
- 文字を修正する 3-17
- 文字を消去する 3-18
- モバイルカメラ 5-2
  - 明るさを調整する 5-32
  - オートフォーカス 5-5
  - 画質を設定する 5-33
  - 撮影環境を設定する 5-33
  - 撮影サイズを設定する 5-32
  - 撮影した画像を確認する 5-38
  - 撮影する 5-8、5-19
  - サムネイル 5-7
  - 自動保存 5-31
  - シャッター音を設定する 5-30
  - 写メールモード 5-6、5-8
  - スーパーメールに添付する 5-48
  - ズームを利用する 5-29
  - 静止画のプリントを指定する（DPOF） 5-35
  - 設定をリセットする 5-31
  - セルフタイマーを利用する 5-24
  - デジタルカメラモード 5-6、5-8
  - 動画の音声　音を設定する 5-34

登　先を設定する........................ 5-30
表示サイズを設定する 5-29
フレームを付けて撮影する........... 5-12
V601SHを閉じて撮影する 5-26
マニュアル撮影........................... 5-28
モバイルライトを利用する........... 5-27
連写撮影する 5-14
画設定.................................... 5-34

や

ユーザー辞書 3-25

ら

リダイヤル...................................... 2-8
リピートアラーム........................... 14-8
留守番電話サービス........................ 15-4
V601SHから伝言を聞く 15-5
留守番電話サービスの設定を確認する .. 15-6
留守番電話サービスを開始する 15-4
留守番電話サービスを停止する 15-5
留守番電話センターに転送する 15-5
連写モード.................................... 5-14
連続表示.................................... 11-10

わ

割込通話サービス........................... 15-8
割込通話の設定を確認する 15-8
割込通話を受ける........................ 15-8
割込通話を解除する 15-8
割込通話を設定する 15-8
ワンコールサイレント 2-20
ワンタッチ変換 3-22

付録

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V601SH

★質量	**約117g（電池パック装着時）**	
★連続通話時間	**約130分**	
★連続待受時間	**約400時間（折りたたみ時）**	
★充電時間	**急速充電器**	**：約110分**
	シガーライター充電器	**：約110分**
（V601SHの電源を切って充電した場合）		
★サイズ（幅×高さ×奥行）	**約49×99×25mm（折りたたみ時）**	
★最大出力	**0.8W**	

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V601SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
  詳しくは、P.1-14を参照してください。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

17 付録

■急速充電器

★電源	AC100V、50/60Hz共用
★消費電力	8VA
★出力電圧／出力電流	DC5.6V／500mA
★充電温度範囲	5℃～35℃
★サイズ（幅×高さ×奥行）	約48×17×46mm（突起部、コード除く）
★コードの長さ	約1.5m

■卓上ホルダー

★入力電圧／入力電流	DC5.6V／500mA
★出力電圧／出力電流	DC5.6V／500mA
★充電温度範囲	5℃～35℃
★サイズ（幅×高さ×奥行）	約63×34×121mm（突起部 除く）

■電池パック

★電圧	3.7V
★使用電池	リチウムイオン電池
★容量	700mAh
★外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約36×4.5×47mm（突起部 除く）